

第七十五回帝國議會 院 建議委員會會議錄(速記)第七回

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 齋藤 直橋君
理事 釘本 衛雄君 理事 濱地 文平君
理事 小中 清一君
則元 卯太郎君 田代 正治君
川崎 末五郎君 庄司 一郎君
長野 綱良君 肥田 琢司君
中川 重春君 野溝 勝君
山田 清君 河合 義一君
沖島 鏡三君 野口 喜一君
中原 謹司君

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 吉田 善吾君
內務大臣 伯府 兒玉 秀雄君
出席政府委員左ノ如シ

企畫院部長 横山 勇君
內務事務次官 鶴見 祐輔君
北海道廳長官 戶塚 九一郎君
大藏書記官 植木 庚子郎君
陸軍主計中將 石川 半三郎君
海軍事務次官 松山 常次郎君
海軍參與官 小山 邦太郎君
海軍主計中將 武井 大助君
文部事務次官 子爵 舟橋 元賢君
文部參與官 仲井 間宗一君
文部省專門學務局長 關口 鯉吉君
文部省實業學務局長 岩松 五良君
商工參與官 喜多 壯一郎君

第五類第一號 建議委員會會議錄 第七回 昭和十五年三月十九日

商工省鐵道局長 辻 謹吾君
鐵道參與官 大島 寅吉君
鐵道省運輸局長 長崎 惣之助君
鐵道省建設局長 堀越 清六君
鐵道省電氣局長 森田 重彦君
拓務事務次官 松岡 俊三君
樺太廳長官 棟居 俊一君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 伊藤 五郎君 議員 片岡 恒一君
議員 今成 留之助君 議員 高橋 義次君
議員 土田 莊助君 議員 山道 義一君
議員 紅霧 昭君 議員 稻田 直道君
議員 塚本 三三君 議員 服部 英明君
議員 山川 三郎君 議員 增永 元也君
議員 前川 正一君 議員 手代木 隆吉君
議員 三木 武夫君 議員 安藤 正純君
議員 清水 德太郎君 議員 宮本 雄一郎君
議員 岡本 實太郎君
內務省土木事務官 近藤 欣一君
農林書記官 梶原 茂嘉君
農林書記官 小山田 光一君
本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ

內閣所管
一 國有林村ノ湧下並配給ノ一元的機關設置ニ關スル建議案(手代木隆吉君外三名提出)(第一〇三號)
二 戰役殊勳者優遇ニ關スル建議案(片岡恒一君外二名提出)(第八八號)
鐵道省所管

三 岡山島取間ニ直通列車運轉ニ關スル建議案(久山知之君外二名提出)(第八六號)
四 東北地方ノ鐵道電化ニ關スル建議案(中川重春君外一名提出)(第九六號)
五 名古屋美濃太田間鐵道敷設ニ關スル建議案(加藤一君外十一名提出)(第一〇一號)
六 伊豆半島環狀線敷設ニ關スル建議案(服部英明君外二名提出)(第一〇二號)
七 東北地方ノ鐵道網特ニ橫斷線ノ整備促進ニ關スル建議案(土田莊助君提出)(第一〇四號)
八 伊那三信風來寺曹川各地方鐵道國營ニ關スル建議案(中原謹司君外二名提出)(第一〇五號)
九 鳴門海峡隧道鐵道敷設連成ニ關スル建議案(紅霧昭君提出)(第一〇四號)
一〇 土讚線土佐山田間ヨリ德島縣牟岐線ニ連絡スル鐵道敷設ニ關スル建議案(紅霧昭君提出)(第一〇六號)
一一 本州中央部鐵道網完成ニ關スル建議案(大野伴睦君提出)(第一〇四號)
一二 德島縣鍛冶屋原穴吹間鐵道敷設ニ關スル建議案(三木武夫君提出)(第一〇七號)
一三 國部篠山間鐵道線建設促進ニ關スル建議案(山川三郎君提出)(第一〇三〇號)
拓務省所管
一四 滿洲開拓綜合訓練機關ヲ東北地方

ニ設置ニ關スル建議案(伊藤五郎君提出)(第九九號)
內務省所管
一五 印章ノ製作保管販賣ニ關シ取締令制定ニ關スル建議案(原玉重君提出)(第一〇〇號)
一六 大分熊本間縣道ノ國道編入ニ關スル建議案(綾部健太郎君外二名提出)(第一〇二號)
一七 地方自治體財政調整中央金庫設置ニ關スル建議案(大野伴睦君提出)(第一〇五號)
一八 全國ノ湖沼水利開發ニ關スル建議案(中山福藏君外一名提出)(第五七號)
一九 軍港要港所在地各市町村ノ財政稅制行政調査特別委員會設置ニ關スル建議案(肥田琢司君外十七名提出)(第六六號)
二〇 國道十二號線改修ニ關スル建議案(齋藤直橋君外二名提出)(第一〇〇號)
二一 東北地方ノ河川改修促進ニ關スル建議案(上田莊助君提出)(第一〇五號)
二二 信濃川上流改修工事促進ニ關スル建議案(今成留之助君外二名提出)(第一〇七號)
二三 國道十號十一號線改修ニ關スル建議案(松本忠雄君外六名提出)(第一〇八號)
二四 海部川改修ニ關スル建議案(紅霧昭君提出)(第一一五號)
二五 日和佐川改修ニ關スル建議案(紅

五三

本野村等ヲ以テ、此ノ本野村等ニ對シテ、是レハ本野村等ノ...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

○建設委員代理 大(三)三三三、鐵道十號...

助君、第一〇五號

○土田莊助君 東北地方ノ河川ニ對シマシテハ只今原始河川ノ狀況ニナツテ居ル所ガ相當アルノデゴザイマス、其ノ中最モ重要ナル河川ニ於キマシテハ、農耕地帯ヲ貫通スル河川此ノ儘ニ放任致シテ置クト云フコトハ食糧ノ増産問題、地方民ノ生活問題等ニモ關聯致シマシテ、更ニ戰時下ニ於テ非常ニ重要性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ河川ノ改修ノ出來ニ結果トシテ、農産物ノ減産ハ最早數百萬石ニ及ンデ居ルト云フコトハ内務省ノ御承知ノ通りデアリマス、一例ヲ引イテ見マシテ、秋田縣ノ雄物川ハ、全國ノ大河川ノ部門ニ入りマス所ノ直轄河川デアリマシテ、未ダ何等改修工事ハ施サレテ居ラスノデアリマス、内務省ニ於カレマシテモ其ノ重要性ヲ認メラレマシテ過去四箇年ノ歳月ヲ費シマシテ、實施測量ヲ爲サレマシテ既ニ實施設計モ完成致シテ居ルノデアリマス、此ノ河川ハ中ノスマデモナク秋田縣ノ農耕地帯又人口ノ密度ノ一番多イ處ヲ貫通シテ居リマスルシ、秋田縣農産物ノ三分ノ二ハ此ノ河川ノ流域ニ依ツテ生産サレテ居ルノデアリマス、而モ此ノ河川ハ雄勝、平鹿、仙北ヲ貫通致シマシテ更ニ河邊郡ヲ通り秋田市ニ參リマシテ日本海ニ注グノデアリマスルガ、其ノ河口ノ點ニ於テ米女木山ト謂フ山ガアルノデアリマス、此ノ山ガ普テハ此ノ川ヲ遮ツテ居ツク、其ノ關係上過去ニ於キマシテハ雄勝、平鹿、仙北、河邊ノ一部ハ一大湖水デアツタト云フコトヲ今回内務省ノ御調ニ依ツテ明確ニ相成ツタノデアリマス、所謂湖沼ニ棲息スル貝類ガ全部此ノ四郡ニ跨ツテ山腹ニ貝殻ガ著イテ居ツ

タ、此ノ米女木山ヨリ自然ノ力ガ開鑿致シマシテソレガ現在米女木峽ト相成ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ状態デアリマスルカテラ豪雨ノ參リマシタ際ハ其ノ被害ノ程度ハ實ニ豫測出來スノデアリマス、明治二十七年ノ大洪水ニ於キマシテモ人畜ノ死傷ハ非常デアリマシテ、而モ農産物ノ被害ト云フモノハ當時ニ於テ四千萬圓ト申サレテ居リマス現在ノ價格カラ見マシテモ或ハ何億ニ達シタト云フ被害ガ出來タ次第デアリマス、此ノ戰時下ニ於キマシテ食糧ノ確保又人心ノ安定ト云フ上カラ見マシテモ最重要ナル問題デアルノデアリマスカラ政府ニ於カレマシテハ是非昭和十六年度ヨリ起工シテ載クコトヲ御願致シマシテ政府ノ所信ヲ承リ又各委員ノ御賛成ヲ御願致シタイ次第デアリマス

○鶴見政府委員 東北地方ノ河川ノ堤防ノナイモノナドゴザイマシテ、洪水ノ度ニ其ノ沿岸地方ガ非常ニ損害ヲ受ケテ居ルト云フコトハ政府ニ於テモ十分ノ認識メテ居リマス、是等ノ連年ノ被害ヲ救済致シタイト云フ爲ニ東北振興計畫ヲ樹立致シマシテ、其ノ内容ノ一ツト致シマシテ是等ノ河川ノ改修ヲ致シテ居ル次第デアリマス、現ニ内務省直轄河川中ノ七河川ト縣施行中ノ中小河川三十河川ゴザイマスケレドモ、是ダケデ尙ホ十分デアルトハ考ヘテ居リマセスノデ、尙ホ今後ニ改修ヲ要スルモノガ多數アルト考ヘテ居ルノデアリマス、只今御話ニナリマシタ雄物川ノ如キハ洶ニ其ノ一例デアリマシテ、是ノ調査ニ付キマシテモ只今七分通り完成致シテ居リマスルカラ、更ニ此ノ調査ヲ取急ギマシテ出來上リマシタ上ニ於キマシテ政府財政ノ都合ヲ見マシテ、

成ベク御希望ニ副ヒマセウ改修ヲ完成致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス
○釘本委員 只今ノ建議ニ關聯シテ一寸政府ノ御方針ヲ承ツテ置キマス、阿賀野川ハ福島縣カラ新潟縣ニ流レル一大河川デアリマシテ、其ノ改修ノ必要ナルコトハ政府モ夙ニ之ヲ認メ其ノ工事ニ著手シテ居ルノデアリマス、然ルニ其ノ工事ガ完成シナイ中ニ豫算ガモウ盡キントシテ居リマス爲ニ、地方民ハ前途ドウナルコトカト大變心配致シテ居ル譯デアリマス、殊ニ近來其ノ上流ノ只見川、大川、日橋川等ニ水力電氣工事ガ盛ンニ起リマス關係上、一層其ノ危險ガ多クナツテ參ツテ居ルノデアリマス、就キマシテハ是非是方中斷スルコトノナイヤウニ豫算ヲ取ツテ、最初ノ設計以上ニ完全ナル工事ヲシテ載キタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ關シテ政府ノ御方針ヲ一寸承ツテ置キマス
○鶴見政府委員 只今ノ阿賀野川ノ御質問ニ付テ御答辯申上ゲマス、御話ノ通り此ノ河川ハ政府モ年度別ヨリ決メテ改修工事ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、本年度ニ於キマシテモ其ノ不足額ヲ追加致シタイト存ジマシテ其ノ要求ヲ致シマシタケレドモ、財政ノ都合デ是ガ議會提出ノ運ビニ至ラナカツタノデアリマス、併シナガラ御示シノ如ク年度別モ非常ニ少イコトと思ヒマスカラ、成ベク近い機會ニ於キマシテ是方豫算ヲ計上シテ此ノ改修ヲ完成致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス
○齋藤委員長 本建議案ヲ可決スルニ御異議アリマセウカ
○齋藤委員長 可決致シマス、次ハ日程第二

加ヘテ參リマシレバ、原料ガ少クテ勞銀モ少クテ其ノ知識ノ力ト云フモノガ非常ニ高價ナモノニナツテ輸出サレルト云フコトハ、私ガ申上ゲルマデモナク政府當局ニ於テモ十分御承知ノコトト思ヒマス、丁度外國カラ小サイ時計ヲ買ツテ來ル、ソレノ材料、工賃ト云フモノハ價ナモノデアアルガ、ソレガ一箇百圓ニモ二百圓ニモ賣レルト云フヤウナコトハ、是ハ一ツノ實例デアリマスガ、要スルニ加工ノ原料ヲ日本ニ輸入シテソレヲ高價ナモノニシテ輸出スル、サウ云フヤウナ貿易ノ方法ヲ考ヘナケレバナラス、其ノ爲ノ地點ガ日支事變後ニ於テハドウシテモ一ツ日本ニナケレバナラスト私ハ思ヒマス、所ガ御承知ノ通りニ我が國內ニ於ケル工業ノ地域ト云フモノハ、關東方面ニ於キマシテハ東京、横濱ヲ中心トシタ工場地帯、關西方面ニ於キマシテハ、中京ノ名古屋方面ト大阪、神戸ヲ中心トシタ工業地帯ト云フヤウニナツテ居リマス、關東方面ハ亞米利加、南洋方面ノ貿易ニ關係シ、從來關西方面ハ南洋、支那大陸ノ方ニ關係シテ居リマシタガ、兩地方トモ只今土地ノ關係カラ申シマシテモ或ハ努力ノ關係カラ申シマシテモ殆ド飽和状態ニ置カレテ居ル、ソレデ満足方面ガ今後支那事變後ニ於テ今日以上ニ密接ニ關係ヲ持ツト云フコトニナリマスルト、此ノ飽和ノ状態ノ所ニ持ツテ來ルトスレバ徒ニ土地ノ値上リ、其ノ他勞銀ノ値上リヲ來スノミナラス、其處マデ持ツテ來ル往復ノ資金ガ生産費ニ加算サレ或ハ船腹モ數ヲ要スル、或ハ鐵道ノ輸送力ガ増大シナケレバナラス、日本ノ交通機關カラ申シマシテモ甚ダ無駄ナコトニナルト云フコトニナル、其ノ點ヲ考ヘテ見マシテ、ドウシ

テモ一番満足ニ近イ北九州ニ於キマシテ新ニ斯ウ云フ方面ノ經濟的ノ港灣ヲ造ルト云フコトガ自然ノ結果デナケレバナルマイト思フ、是ダケノ莫大ナ國民ノ貴イ生命ヲ犧牲ニ供シ、又今後ニ於テモ莫大ナ軍費ヲ要スル此ノ支那事變後ニ於キマシテ、政府ニ於テ之ニ對スル御用意ガ缺ケテ居ルト云フコトハ私ハ非常ニ遺憾ニ思フ、此ノ點ヲ考ヘラレタカドウカ分リマセウガ、今度ノ豫算ヲ見マスルト、内務省案トシテ北九州ニ於テ關門綜合計畫ナルモノガ現ハレテ居リマス、是ハ北九州ニ斯ウ云フ目的ノ港灣ガ必要デアルト云フコトヲ政府ガ御認メニナツテ、ソレガ即チ關門綜合計畫デアルノカドウカ私ハ能ク存ジマセウガ、私ヲ以テ申上ゲマスルト、關門綜合計畫ナルモノハ、是等ノ點ヲ御考ヘニナツタ結果デハナイノデヤナイカト考ヘル、ドウ云フ譯デサウ云フコトヲ言フカト申シマスル、今後ニ於ケル經濟的ノ港灣ト云フモノハ從來ノ如ク海運ト陸運バカリデハ到底イカナイ、ドウシテモ立體的ニ空運ト陸運ト海運ト三ツガ之ニ綜合シナケレバナラスコトハ當然ノコトト思フ、サウ云フ點カラ關門綜合ノ港灣ノ計畫ナルモノハ甚ダ其ノ連絡ハ將來不完全ダト思フ、只今ノ如ク國內鐵道ノ終端驛ガ下關デアリマシテ、下關カラ釜山マデ連絡スル、是ハ今ノ所差支ナイヤウデスガ、併シ最近ニ於ケル朝鮮、滿支方面ノ旅客、貨物ノ増加ト云フモノハ到底只今ノ設備デハ達シラレナイ、ソレカラ大連航路ニナリマスル、是ハ向側ノ門司マデ參リマシテ、アノ、チヤンネルヲ渡ツテ門司カラ行ク、所ガ御承知ノ通りニアノ關門ノ港ト云フモノハ非常ニ千溝ノ差ガアリマシテ、非常ニ潮流ガ早

イ、ソレデ殆ドアノ中ニ碇泊シテ居リマスル從來ノ船ト云フモノハ其ノ潮流ノ流レニ依ツテ始終碇泊中心ニ廻轉シテ居ル、非常ニアスコノ通航ガ困難デアル、此ノ點ハ從來海軍ノ方ニ於テモ非常ニ心配サレテ關門綜合計畫ノアノ港灣ノ構築サレルト云フコトハ此ノ方面カラ來テ居ルト云フコトヲ私ハ想像申上ゲル、唯船艙ノ著クハアノ岸壁ニ其ノ潮流ヲ流レテ著ク、大連汽船ノ如キハサウ云フヤウナ状態ニナツテ居リマシテ、將來ニ於ケル滿支方面ノ澤山ノ物資ヲ集メルトカ、其ノ他ノ點ニ於テハ此ノ港灣ハ一私ハ港灣ト申シマセウ、アレハ「チヤンネル」ヲ中心トシテ居ルアノ港灣ヲ將來滿支方面ニ於ケル日本ノ支關トシテノ港トサレルト云フ點ニ於テ非常ニ考ヘナケレバナラスト私ハ思フ、ノミナラス此ノ空運トノ關係ハ只今ノ所ハ殆ド近キ場所ニ飛行場ヲ設置スルコトハ不可能デアリマス、殆ド山デアリマシテ、遠ク離レレバ中國方面ニサウ云フ地點ガアル、或ハ豐前ノ方ニ出ラレカモ知レマセウ、詰リ陸運ト海運トノ連絡ガ不完全デアルノミナラス、陸海運ニ置カレテ居ル、而シテ假ニ工場地帯ト云フコトニナリマス、アノ附近ニソレダケノ廣漠タル原野ハナイ、御承知ノ通り皆總テ山バカリデアラ、内務省ノ關門綜合計畫ノ案ヲ仄聞致シマスルモ西ノ方ヲ渡シテ案サレマシテ、其ノ土地只今ノ小倉ノ前ノ方ヲ埋立テ、斯ウ云フコトデ其ノ爲ニ非常ニ金ガ掛ル、第一期計畫ニ於テ一億圓、第二期計畫ニ於テ二億圓ト云フヤウニ莫大ナ費用ガ掛ルヤウニ承ツテ居ル、所ガ假ニ

サウ云フ金ヲアスコニ掛ケテ造ラレマシテモ、アノ關門玄海方面ハ冬季間ニ於キマシテハ、非常ニ西風、北風ガ強イ、此ノ埋立タ土地ニサウ云フ色々ナ工場其ノ他ヲ造ラレルト云フコトハ非常ニ私ハ建築其ノ他ニ於テ、或ハ色々ナ點ニ於テ不便且ツ非常ニ金ガ掛ルノデヤナイカト考ヘル、勿論只今ノ小倉ヲ入レマシタ戸畑デアルトカ、或ハ八幡市デアルトカ云フ方面ニナリマス、是等ハ筑豊炭田ノ下ニ置カレテ居リマスカラ、是ハ我國ニ於ケル一ツノ製鐵所ヲ中心トスル重要ナ工業地帯トナサレテ宜シイト思フ、所ガ只今ノ製鐵所ヲ中心トシタアノ附近ノ工場デ何ニ困ツテ居ルカト云フト、幸ニ動力ダケハ火力デヤリ、ソレト同時ニ日向方面カラ來ル水力ニ依リマシテ動力ノ不自由ハ感ジテ居リマセウケレドモ、一番大事ナ工業用水ガナイ、筑豊炭田ニ於キマシテ非常ニ深ク掘ツタリ色々ナ關係モアリマセウガ、アスコノ附近ニアル唯一ノ川ハ遠賀川デアリマシテ、是ハ殆ド水ガナイ、昔ハ遠賀川デ以テ石炭ヲ運ンデ居リマシタガ、殆ド今日ハ用ヲ爲シマセウ、斯ウ云フヤウナ工合ニ福岡縣ト致シマシテモ工業用水ノ爲ニ地下水ノ掘鑿ヲヤツタリ有ユル方法ヲ講ジテ居リマスルガ、遂ニ今日マデ工業用水ニ困ツテ居ルト云フヤウナ状態ニ置カレテ居ル、斯ウ云フヤウナ状態デ土地ガナク、工業用水ニ缺ケテ居ル附近ヲ將來此ノ滿支方面ヲ中心トスルヤウナ經濟都市ニサレルト云フ御考ガ若シアルトスレバ、是ハ私ハ非常ニ誤デハナイカ、勿論非常ニ大キナ金ヲ掛ケマシテ築後川ノ上流カラ工業用水ヲ取ルコトハ不可能デアリマセウケレドモ、是ハ莫大ナ費用ヲ要シマシテ結局

アノ附近ニ於ケル工業製品ニ非常ナ負擔ガ
掛ルト考ヘル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マ
スト、ヤハリ此ノ北九州ニ於キマシテ廣
土地ヲ有シ、ソレカラ動力ニ自由ナク、
工業用水ノ潤澤アル所ハ、アノ附近ヲ見
渡シマスト、是ハ福岡、博多ヲ中心トシタ
アノ附近ヨリナイト私ハ考ヘテ居ル、ソレ
ド勿論只今ノ所ハアノ博多灣ナルモノハ淺
ウゴザイマス、軍艦ノ如キハ遠キ沖ノ方ニ
居リマシテ只今ノ所ハ淺ウゴザイマスケレ
ドモ、是ハ詰リ博多灣ノ淺イノハ北風ガ強
イ爲ニ土砂ガ流サレテ浅クナツテ居
ル、今日ハ既ニ志賀島半島ト云フモノガア
リマシテ、是ハ一ツノ防波堤ニナツテ居ル、
今日ノ所アノ博多灣ヲ埋メル所ノ河川ハ太宰
府附近カラ來テ居ル那賀川トソレヨリ小サ
イ橋井川ノ二ツノ小サイ川デアル、是ガ將
來アノ博多灣ヲ埋メルガ爲メ川トハ存ジマ
セス、ソレデ之ニ多少アノ自然ノ土地ノ廣
イ、サウシテ只今ハ其ノ風ノ爲ニ埋ツテ居
ル博多灣ヲ淺クサレマスト、是ハ相當永遠ニ
深イ港灣ガ出來ル、斯様ニ思フノデアリマス、
アノ西ノ方ニナリマスト相當深イコトニナツ
テ居リマス、是ガ昔ハ一時朝鮮支那方面ニ對ス
ル確ニ日本唯一ノ貿易港トシテ博多港ト云
フモノガ利用セラレテ居リマシタガ、今日
段々船舶ガ大キタルニ連レマシテ、大キイ
船舶ノ横着ケニナルコトハ現在不可能ニナ
ツテ衰ヘテ來テ居リマスケレドモ、私ハ將
來此ノ滿支方面ニ對スル關係ヲ考ヘテ見ル
ト、アノ土地ニ比ベマシテ工業動力ノ潤澤、
工業用水ノ潤澤ナルニ加ヘ、而モ淺海後ニ
於ケル陸運ト海運ト、只今アノ雁ノ巢ノ
航空ヲ利用シテ、是デ立體交通ノ利便
ヲ圖ツテ、初メテ其ニ滿支方面カラ内地ヘ

來テ碇泊スルニ最モ適當ナル土地デハナイ
カ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ
鐵道省ガ關門鐵道ニ莫大ナ金ヲ掛ケテ居ル
ト云フコトハ、單ニ是ガ南支方面ニ於ケル場
合ハ長崎經由上海マデノ旅客ヲ送ルダケデ
ハ餘リニ政府ノ負擔ガ私ハ強過ギルト思フ、
多過ギルト思フ、是ガ關門鐵道ヲ抜ケマシ
テ或ハ博多灣ニ入ルト云フコトニナリマス
ト、茲ニ初メテ博多港ヲ中心トシテ釜山ニ
モ近クナリ、大連ヘモ行ケルシ、或ハ羅津
ニモ行ケルシ或ハ天津、青島ニモ行ケルト
云フ風ニ、實ニ四通八達ノ港ニナリマシテ
茲ニ初メテ國有鐵道トシテアノ關門鐵道ニ
莫大ナ金ヲ掛ケテ意義ガアルモノデアルト
私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、殊ニ今日ノ鐵道省
ガ出シマシタ東京下關間ノ廣軌計畫ノ如キ
ハ只今ハ東京ガケハハツキリ決ツテ居リマ
スケレドモ、向フハ下關デアルト云フコト
ダケデアリマシテ、現在ノ廣軌ノ復線ヲ下
關ニ著ケルダケデモ、アノ下關ノ港灣ニ對
シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、是ガ疑
問デアルノニ加ヘテ、廣軌ノ鐵道ヲアノ下
關ニ持ツテ來ルト斯様ニ鐵道省ハ言ツテ居
ル、鐵道省ガドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ
ト云フ、ソコハ唯漠然タルモノデアアル、唯
今ノ旅客貨物ノ輸送ニ依ツテ東京下關間
ガ困ルカラ廣軌ノ鐵道ヲ造ルノダ、斯ウ云
ツテ居ル、所ガアノ下關ノ潮流ノアル狭イ
港灣デソレダケノ旅客貨物ヲ結ハドハドウ
ナルカト云フト、ソコハハツキリシテ居
ナイ、是ハ内務省政務次官ハ元鐵道省ニ居ラ
レマシテ、其ノ邊ノ御分リダラウト思フ、只
今内務省ニ居ラレマシタガ、此ノ鐵道ト港灣
ノ關係ハ連絡ガナイ、又海運ト航空ト通信
省ノ所管デ日本ニ於ケル交通機關ハ一元的

マシテ、向フノ方ニハ或ハ天津ノ港ヲドウ
云フ風ニ改築シヤウトカ、或ハ青島ヲドウ
シヤウトカ、或ハ天津デハイカヌカラ塘沽
ノ築港ヲドウシヤウ、斯ウ云フ方面ニ金ヲ
使ハレルナラバ、先ツ第一ニ本家ノ日本ノ
玄關口ニソレダケノ設備ヲサレコトガ私
ハ先決問題ダト思フ、是等ノ御考ガ政府ニ
オアリニナルダラウトハ思ハレマスケレド
モ、今マデ何等ソレニ對スル御考慮ガ拂ハ
レテ居ナイ、斯ウ云フ點ヲ私共ハ非常ニ遺
憾ニ思ヒマシテ、此ノ建議案ヲ出シタヤウ
ナ次第デアリマス、ドウカ委員諸君カラモ
是非トモ御贊成ヲ受ケマシテ、此ノ建議案
ガ可決セラレマシテ、政府ニ於テモ是非ト
モ一ツ、港灣ノ問題デスカラ内務省ガ中心
ニナラレテ、只今マデノ關門綜合計畫
是ハアツテ宜シウゴザイマス、從來ノ北九
州ノ五大都市ノ繁榮ヲ増ス必要ガナイ、下
關ハ下關トシテ港灣ノ價值ガアル、又門
司港ガ或ル程度從來ノ港ガ衰ヘルト云フコ
トニナリマスレバ、是ハ只今非常ニ困ツテ
居ル筑豊炭田ノ若松、或ハ戸畑ニ於ケル石
炭ノ積下ロシト云フコトハ、現在ノ程度ニ
於テハ難カシイ、將來製鐵所ノ發達ニ連レ
マシテ、彼處ヘ亞米利加方面或ハ南洋方面
カラ來ル鐵道ノ船、或ハ肩鐵ノ船ノ出入ヲ
ヤレバ一杯デアアル、アノ洞海灣ノ築港計畫
ハ只今内務省御計畫ニナツテ擴ゲラレ
テ居リマスガ、アレダケデ一杯デアリマ
シテ、今後ニ於ケル政府ノ企圖スル石炭増
産ヲオヤリニナルト云フガ、石炭ハ出テモ
積下ロシ積込ミハ出來ヌ、斯ウ云フ情勢ニ
置カレテ居リマスカラ、私ハサウ云フ方面
ノモノハ門司方面デ完全ナ設備ヲサレテ、
彼處デ石炭ノ積下ロシヲヤルト云フコトニ

ナリマスレバ、門司方面ト雖モ別ニ北九州
ノ關門方面ニ港灣ガ奮ハレテモ、サウ心配
スル必要ガナイ、何故斯ウ云フコトヲ附加
ヘルカト申シマスト、兎角内務省ハ港灣間
題ニナレバ、地方ノ人ガ色々盛ニ運動ヲサ
レル、サウスルトツイソレニ引カサレテ、
先ツ新シイ所ノ構築ヲセラレヨリモ、既
設ノ方ノ人ノ言フコトヲ聽クト云フコトニ、
自然ナリ勝チデアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘ
マスカラ、此ノ機會ニ關門ノ方面ノ人達モ
將來共十分ニ各、從來計畫シテ居ル仕事ヲヤ
リナガラ立行ク、門司港ハ旅客ノ爲ニ、或
ハ石炭専門ノ爲ニ一番適當ナル場所ダト私ハ
考ヘル、サウ云フ風ニナリマスト關門綜合
計畫ト云フモノハ、先ツ是ハ例ヘバ海運上
ノ問題カラ考ヘテ、アレ以上船舶ノ往復ス
ルコトハ中々困難デアアル(簡單々々)ト呼
フ者アリ)ソレデハモウ大體是デ要點ヲ盡
シタト思ヒマスカラ餘リ長ク喋ルルト或ハ
否決サレルト困リマスカラ是デ打切りマシ
テ、是非御可決願ヒタイト思ヒマス

○鶴見政府委員 只今ノ増永君ノ御建議ニ
御答ヲ申上ゲマス、北九州ニ大規模ノ港灣
修築ヲ致シタイト云フ御建議デゴザイマス
ガ、殊ニ其ノ理由トシテ北九州ガ最近ノ日
滿支ノ關係上、産業上、國防上、交通上非
常ニ重大ナル増シタト云フコトニ關スル有
力ナル御發言ニ付キマシテハ、政府ニ於テ
モ十分御意見アル所ヲ參考ト致シマシテ、
將來ノ計畫ニ付テハ必ズ其ノ御意見ガ現ハ
レルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、現
ニ北九州ノ重要デアルト云フコトハ、政府
ニ於テモ十分認メテ居リマス、只今ノ港灣ノ
設備改善ヲ致シテ居リマスハ、例ヘバ門司
若松港、是ハ洞海灣ヲ含ンデ居リマス、

統制機關ガナイ、斯様ナコトモ私ハ政府ニ、
鐵道省ニ於テアレヨナルナラバ内務省ハ一
體アノ港灣ヲドウスルカ、彼處ニ船舶ヲ著
ケルニ付テ通信省ハドウスルカト云フコト
ヲ相關聯シテ一ツノ政策ト云フモノガ是非
ナクテハナラヌ、ソレデ鐵道省ガ東京下
關間ノ今後ニ於ケル旅客貨物ノ輸送ニ依ツ
テ廣軌ヲ造ルト云フコトハ、是ハ當然ノコト
ト思ヒマスケレドモ、此ノ復線ヲシテ有
意義ナラシメル爲ニハ、ヤハリ是ガ關門隨
道ヲ現在ノ狹軌ノ復線ト共ニ並シテ九州ニ
渡ツテ、福岡、博多港ニ行ツテコソ初メテ
意義ヲナス、サウシマススト其處ノ岸壁ニ只
今ノ大連航空ト同ジヤウニ一萬噸級デモ何
デモ横付ケニシテ、サウシテ旅客貨物ノ捌
口ガ出來ル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル、此ノ
點ハ先達テ私ガ一寸要緊方面ノ委員ヲ命
ゼラレタ際ニ於キマシテモ陸軍ニ於テハ今
回ノ支那事變ニ於テ非常ニ軍事輸送ニ御困
リニナツタ、ソレデ只今マデノ宇品港カラ
ノ軍事輸送ハ將來非常ニ問題デアアル、斯ウ
云フコトニナツテ只今一部九州ノ北ノ方ニ
其ノ輸送港ヲ造ルト云フコトニ、其ノ豫算
ガ提出サレテ只今審議中デアリマス、之ニ
對シテモ、成程軍艦ノ秘密上或ル地點ニ運
送船或ハ其ノ他ノコトヲ展マレテ、ソレニ相
當ノ設備ヲナサルコトハ、是ハ必要ダト思フ
併シナガラアノ伊萬里ニ持ツテ行ツテ、是等
ノ總テ陸上ノ交通機關ガ現在ノ通りデ、
假ニアレバ改築致シマシテモ、是ハ一朝有
事ノ場合ニ於テ、鮮滿方面ニ迅速ニ且ツ大
量ニ日本ノ兵隊或ハ日本ノ兵器ヲ送ルト云
フコトハ、是ハ難カシイ、又港灣ニ相當設備
ヲ致シマシテモ、是ハ非常ニ迅速ニ且ツ大量
ノ兵器軍隊ヲ送ルニハ非常ニ困難ガ伴フ、其

ノ場合ニ豫テ設備シテ居ル博多灣ニ於ケル
港灣設備ヲ利用シテ、運送船ニ假裝サレル場
合ハ已マ得ナイガ、成ベク分ラナイヤウニ
其處ニ着ケテ行ツタ、夜間デモドン／＼送ツ
テ行クト云フコトニナルト、迅速ニ朝鮮、滿洲
北支方面ニ送レル、軍事上カラ申シマシテ
モ、今度ノ事變ニ於テ宇品港ニ於テ、或ハ
門司其ノ他ニ於テ、アノ沖合ニ著ケテ居ル
運送船ニ兵器ヲリ或ハ軍馬ヲリ小サイ小舟
ニ乗セテ行ツテ、「ウキンチ」デ釣揚ゲテ行
クト云フアノ御困難ハ、私ハ非常ナコトダ
ト思フ、隨テ宇品方面カラ參リマスルト非
常ナ時日ヲ要スル、運送船ノ數ガ非常ニ殖
エル、往復ノ時間ダケデモ運送船ノ數ガ徒
ニ殖エルノデアリマス、サウシテ碇泊時間
ガ長ケレバ長イ程船ノ數ハ殖エル、斯ウ云
フ點カラ私ハ軍當局ニ申シマシタ所ガ、ア
ノ方面ニサウ云フコトガ出來ルコトハ非常
ニ希望シテ居ル、サウ云フ御言葉デアリマ
シタ、斯ウ云フ風ニ軍事上カラ申シマシテ
モ勿論、經濟上カラ申シマシテモ、此ノ支
那事變ヲヤツテ居リナガラ、鐵道省ハ一部
廣軌ノ復線ヲ東京市カラ下關マデ造ルト云
フコトマデ氣ガ付イテ居リナガラ、其ノ最
後ノ此ノ軍事上經濟上ノ都市ヲ政府ガ御忘
レニナツテ居ルト云フコトハ、如何ニモ私
共ハ遺憾ニ堪ヘス、是ガドウモ軍部ノ陸海
軍關係、或ハ鐵道ノ關係、通信ノ關係、内
務省ノ港灣ノ關係、ソレ等ニ一ツノ連絡シ
タル交通審議會ト申シマスカ、只今交通省
ト云フモノハ出來マスマイケレドモ、サウ
云フ機關ガナイカラ尻切レ蜻蛉ニナツテ居
ルト私ハ考ヘル、此ノ點ハ是非トモ私ハ支
那事變目的ノ完遂ノ爲ニハ、是ダケ日本ガ滿
鐵ナリ或ハ北支開發方面ニ相當ノ金ヲ投ジ

是ハ大分前カチ香川縣ノ興論トナツテ居ルノデアリマスガ、特ニ斯ウ云フ時期デゴザ...

ニ堰堤ヲ設ケマシテ、雨水ノ多ク洪水ノ際ニ水ヲ貯藏致シテ置イテ、其ノ後ノ灌溉用...

觀シマス云フト、只今茲ニ電達ベマシタ...

給テ一元化スル、斯ウ云フコトニナリマス...

○勸業政府委員 御答致シマス、香川縣ガ平生河水ガ濁ニ少イ爲ニ灌溉用水トシテハ...

○勸業委員長 大ハ内閣所管、日程第一、國有林村ノ地下配給ノ一元化ノ機關設置ニ...

○勸業委員長 昨今デハ一連三府四十三縣ニ夏ウテ冷冬ニハ所管ノ伐採ノ集積場...

○勸業委員長 昨今デハ一連三府四十三縣ニ夏ウテ冷冬ニハ所管ノ伐採ノ集積場...

圓滑ヲ期シ、其ノ實ヲ舉グル爲ニハ既存ノ機構ヲ破壊スルコトデナク、寧ろ其ノ施設ト...

材ヲ持ツテ居ルト、ソレヲ所謂供出セシメラレルト云フガ爲ニ、或ル者ハ故ラニ此ノ...

果シテ九・一八ト云フヤウナモノヲ何處マデ維持スルコトガ出來ルカ出來ナイカ、所謂...

○植村政府委員 順序ハ違ヒマスガ、他ノ都合モゴザイマスノデ、先ニ私ノ方カラ御...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

○山道要一君 只今委員長カラ御宣告被キ...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

マシタ通り、海軍ノ軍港並ニ要港ノ所在地...

シテ軍港要港ハ特殊ノ状態ニ在ル即チ財政上ノ基礎モ非常ニ薄弱デアリ、行政方面ニ付キマシテモ、海軍トシテハ直接間接シテ居リマス關係上、只今御述ニナリマシタ通りノ狀況ニ在ルコトハ確認シテ居ル所デアリマシテ、之ニ付キマシテハ皆サンガ非常ナ御關心ヲ御持チニナツテ其ノ改善ニ努力セラレツツアリマスコトハ、私トシテ非常ニ敬意ヲ表スルノデアリマス、從來海軍トシテモ助成金其ノ他ニ付テ大藏省ニ交渉致シマシテ色々ヤツテ居リマス、マダ十分ノ程度ニハ達シテ居ラズ思ヒマスケレドモ、海軍トシテモ其ノ方向ニ付ツテ行クヤウニスル必要ガアルト思ツテ居リマス、何レニシマシテモ今回ノ税制ノ改正ニ伴フ分與稅其ノ他ノ點モアリマスルシ、尙ホ能ク觀メ合シマシテ、財政其ノ他ノ改善ノ實ヲ上ガルヤウニ付ツテ行ク必要ガアラウトハ思ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテハ内務大臣カラ御述ニナリマシタ通り、同所見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、最後ニ其ノ調査機構ノ問題ニ付テモ、是ハ海軍トシテハ内務大臣ノ言ハレタ通りニ尙ホ十分檢討調査ヲ致シマシテ善處致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ノ公ナル財政ガ今ヤ全ク窮乏其ノ極ニ達シテ居リマシテ、病膏ニ入ツテ居ル所ノソレ等ノ市町村ハ、分與稅ヤ或ハ配付稅ト云フヤウナモノニ依ツテ、到底是ハ救ヒ得ナイ状態ニ陥ツテ居ル、之ヲ暫定的ナ、或ハ彌縫ヲ事トスルヤウナ、左様ナ救済策デアツテハイケナイノデアリマシテ、百年ノ大計ヲ確立シテ、恆久的ナル所ノ公財政ト云フモノヲ助ケ、ソレ等ノ市町村ガ考ヘテ居リマス所ノ有ル都市計畫、細カク言ヒマスナラバ、當該市町村ノ交通、道路、衛生、或ハ水道、下水道工事、社會事業、教育上ノ諸施設、其ノ他百般ノ文化的都市計畫等ノ實現ノ爲ニハ、此ノ海軍ノ助成金ヲ倍加サレテ、十五年度ニ於テハ三十二萬圓ガ六十萬圓ニ編成ヲ成イタトカ、或ハ今回稅制改正ニ依ツテ分與稅或ハ配付稅等ノ御手盛ノ手ニ依ツテハ、到底救済シ得ナイモナルノアル、既ニ病ハ第三期症候ニ入ツテ居リマシテ、到底簡單ナル「カンフル」注射等ニ於テハ救済シ得ナイモノナル、仍テ根本的ナ恆久政策ヲ確立スルニ上テ、専ラ海軍御當局ガ御主體トナラレ、内務省ハ市町村ノ直接ノ指導誘掖上ノ機關トシテ、是等市町村ノ窮乏其ノ極ニ達シテ居ル公財政ト云フモノヲ救済ヲ爲ス意味ニ於テ、ソレニ貴衆兩院其ノ他學者等ヲ加ヘラレマシテ、財政的方面カラ見マシテ、奈落ノ淵ニ沈淪シテ居リ、如何トモシ難イ渦中ニ入ツテ救振イテ居ル是等ノ市町村ノ根本的對策トシテ、特別ナル審議會或ハ對策調査會ト云フモノヲ起シテ戴キタイト云フノガ此ノ建議ノ趣旨デゴザイマス、是等ノ市町村ガ非常ニ困ツテ居ルトカ、公財政ノ窮乏ガ其ノ極ニ達シテ居ルトカ云フヤウナコトハ、無論内

務大臣ニ對シテハ當該府縣ノ長官ヨリソレソレ報告モアリ、又建議案モアツタコトデゴザイマスカラ御承知ノコトと思ヒマス、又海軍ノ各鎮守府ノ長官等ヨリ、海軍大臣ニ對シマシテハ御報告等モゴザイマシタ結果、御同情アル所ノ助成金約倍加サレタヤウナ點カラ考ヘマシテモ、御理解ハ十二分ニゴザイマセウケレドモ、我等同志ノ此ノ建議案ヲ通シテ御要望上ガル所ノ目的ヲ特別審議會、特別ナル所ノ對策ノ調査會ヲ起シテ戴キタイト云フコトガ此ノ建議ノ根本目的デアリマス、然ルニ兩大臣ノ御答辯ハ、十二分ニ御諒解或ハ御同情御認識ノアルコトハ、御答辯ニ依ツテ承知致シテ居ルノデアリマスルガ、吾々ノ主眼トスル所ノ、對策協議會ヲ共ニ協力シテ持テタイト云フ點ニ於テハ、マダ遺憾ナガラ不徹底ナ状態ニアルコトヲ私ハ残念ニ思ヒマス、仍テ尙ホ速戰即決的ニ或ハ熱慮斷行ト云フ言葉モゴザイマセウケレドモ、御決心ヲ煩ハス意味ニ於テ、吾々ガ親シク實地ヲ視察シテ參リマシタ一點ヲ、極ク簡單ニ申上ゲマシテ、御決心ヲ固メテ戴キ材料ノ爲ニ申上ゲナレバナラヌノデアリマス、極ク簡單デアリマスカラ、御聽取ヲ御願申上ゲタイト思フノデアリマス

ノ討論ノ際ニ於テ申上ゲタノデアリマスガ、左様ナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ浦郷ノ學校ニハ家事ノ實習室、手工作業室、理化藥學藥品室、衛生室、宿直室等ノ特別室ガナイノデアリマス、又此ノ學校ニ併立シテアリマス青年學校ナドモ、生徒ハ二百名デアリマスガ、機關銃ハ一挺モアリマセウ、木銃ガタツタ十三挺デアリマス、將來國家ノ干城タルベキ青年ノ教育、而モ政府ガ義務教育ヲ施行サレテ居リマスル青年學校、ソレモ東北地方ノヤウナ窮乏セル所ノ農漁山村デゴザイマシタナラバ別問題デゴザイマスガ、尙モ機關銃ガ一挺モナイ、木銃ガタツタ十三挺デアリマス、ソレカラ久里濱小學校ニハ次デアリマス、改造シテ假教室ニ當テ居ルヤウナ次デアリマス、教育方面ハサウ云フ關係ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ橫濱賀市全體ノ昭和十四年度末ニ於ケル小學校ノ生徒數ハ二萬四千七百八十四名デアリマスガ、此ノ中海軍關係ノ兒童數ハ一萬一千五百六十七名デアリマス、而シテ昭和十四年度ノ小學校ノ教育費ノ合計ガ四十五萬二千九百圓デゴザイマシタモノガ、昭和十四年度ニ於キマシテハ五十九萬九千七百六十二圓ト云フ風ニ教育費ガ果増致シテ居リマス、サウシテ現在橫濱賀市ノ市債ハ一一般會計ニ於テハ六百六十三萬八千九百七十一圓、特別會計ニ於ケル市ノ借金ト云フモノガ四百四十五萬七千七百七十七圓、合計致シマシテ一千一百五十四萬四千七百四十八圓デアリマス、ソレカラ傳染病患者ハ全國一流デア

リマス、全國ニ於キマシテ、人口一万人中傳染病患者ガ一九・七五人、ソレカラ都市ニ於テハ三三・九五人トナツテ居ルニ比シマシテ、橫濱賀市ハ六一・九九人ト云フヤウナ傳染病患者ガアルノデアリマス、ソレカラ横濱賀市ノ市稅ハ、昭和十四年度ノ總計ガ五萬三千餘圓デアリマス、然ルニ其ノ中内務大臣ノ特別ノ認可ヲ受ケテ賦課スル所ノ、即チ制限外課稅ガ驚ク勿レ三十九萬八千圓デアリマス、特別戶數割ガ五十六萬九千圓ト云フヤウナ状態ニナツテ居リマス、如何ニ軍港都市デアアル所ノ横濱賀市ノ財政ト云フモノガ窮乏其ノ極ニ達シテ居ルカ、隨テ小學校ノ教育、青年學校ニ設備ガ思フヤウニ出來ナイカ、現在ノ海軍御出身ノ市長サンデアリマシテモ、青年學校ノ改善モ出來ナイト云フヤウナ状態ヲマザク見セ付ケラレテ居ルノデアリマス

ニシテ發生シテ居ルカト言ヒマスラバ、下水ト云フモノガ全ク不完備マルモノデアリマシテ、殆ド完成シテ居リマセウ、此ノ點ハ内務大臣ニ能ク御考察ヲ願ヒ御指導ヲ煩ハサナレバナラヌコトトスル所デアリマスガ、小高イコトトスル所ノヤウニ小サナ住宅ガアリ、雨ガ降りマシタ場合ニハ糞尿ガ溢流ノ如ク流れテ來ル、サウシテ側溝或ハ溝ノ中カラ「メタン」瓦斯ガブウブウ發生シテ居ル、ソレ等ノ關係ガ重要ナル關係ヲナシテ斯ノ如キ傳染病患者ガ發生ヲシテ居ルヤウナ状態デアリマス、而モソレ等ノ下水道ヲ完成スル爲ニハ少タトモ五百萬圓ノ金ガ要ル、併シ税金ハ取レマセウ、吳市ノ如キハ税金ノ取レナイ戶數ガドノ位アルカト云フト八千戶デアリマス、是ハ擔稅力ガナイ證據デアリマス、今度ハ市民稅ト云フヤウニ稅制ガ改革ニナリマスカラ、極端ナコトヲ言ヒマスレバ五錢或ハ十錢ト云フ少額ナル市稅ガ取レカモ分リマセウケレドモ、今マデノ特別戶數割ノ賦課ニ於テ取レナイノガ八千戶アツタ、左様ナル關係ニ於テ起債能力ハモウアリマセウ、故ニ内務大臣ハ起債ヲ許可シナイノデアリマシマセウ、府縣知事モ許可シマセウ、起債ハ出來ナイ、税金ハ取レナイトナルト、一體吳市ノ將來ハ何處ニ行クノデアリマセウカ、私ハ東北ニ於テ町村長ノ職ニ在リマセウガ、如何ニ貴族院議員或ハ陸軍中將ノ方ガ此ノ市長ニナラレマシテモ、此ノ窮境ヲ打開スル爲ニハドウシナレバナラヌカト云フコトヲ思フト、自分ガ地方ニアリ町村長ノ地位ニ在ルコトと思ヒマセウ御同情申上ゲタヤウナ次デアリマス、更ニ吳市ノ

教育關係ニ付テ一言觸レマスラバ、吳市ノ學校ノ總數ハ七百七十五學級、其ノ中文部大臣ガ制限シテ居ル制限外ノ即チ七十七名、八十名以上ノ生徒ヲ違法ニ收容サナシテ居ル學級ガ八十八學級、現在二十四教室ガ絕對ニ足りナイ、學校ノ講堂ハゴザイマセウケレドモ、其ノ講堂ヲ六教室、八教室ニ割ツテ教育シテ居ルノ事、事實上講堂ハアリマセウ、市制ヲ布イテ居ル所ニ於テ講堂ノナイ學校ガ一體何處ニアリマセウカ、四大節ノ式ヲ行フ場合ニハ、連ニ「テーブル」或ハ腰掛ヲ屋外ニ出シテ其處デヤツテ居ルト云フヤウナ悲惨ナル状態ヲ見ル時ニ於テ、海軍軍港、海軍工廠ヲ擔スル此ノ吳市ノ將來ハ一體何處ニ行クカト云フコトヲ實ニ痛感セザルヲ得ナイヤウナ次デアリマス、吳市ノ小學校兒童ハ昭和十四年度ニ於テ三萬五千二百五十四名、内海軍關係ノ家庭ノ兒童ハ一萬七千人デアリマス、斯様ナル關係ニナツテ居リマス、海軍關係ノ方々ハ生殖力ノ最モ旺盛ナル青年層ガ多イノデアリマスカラ、ソレ等ノ子供ハドン／＼殖エリマス、然ルニ小學校ノ教室ガ足ラヌ、併シ起債ハ許サレマセウ、稅ガ取レマセウ、一體何處ヘ兒童ガ收容シテ教育シタラ宜シイノデアリマセウカ、内務大臣ハ地方行政ニ關シテ高イ指導力或ハ高イ理想ヲ御持デアリマセウカラ、奇想天外カラ落チルヤウナ名案ガアルカ存ジマセウガ、私モ町村長ヲ十餘年ヤツテ居ルケレドモ、税金ハ微シナイ、起債ガ許サレナイ、ドウシタラ宜イカト云フ點ニ於テ町村長ノ職ヲ辭セザル羽目ニ陥ルノデアリマス、佐世保、東舞鶴等要港、工廠關係ノ町村ノ疲弊困憊セル状態ヲ一々申上ゲマセウレバ一時間二時間申上ゲテモ時

間ガ足リマセウガ、此ノ點デ打切りマス、吾々ノ建議ノ要點ハ同頭ニ申上ゲタ如ク斯ノ如キ状態デアリマスガ故ニ、此ノ配付稅ヲ少クオモテ見テ、市ニハ配付稅ハ參リマスガ、町村ニハ參リマセウ、隨テ市ガケデハナク、左様ナ姑息ナコトデアルノデアリマスカラ、左様ナ姑息ナコトデアルノ海軍關係ノ當該市町村ハ救ハレマセウカラ、私共ハ各派團結致シマシテ、此ノ建議案ヲ提出致シ、アナタ方ト能ク協力シテ立派ナ軍港都市ヲ造リ立派ナ工廠所在地ノ市町村ヲ造リ、以テ海軍ノ爲ニモ十分ナル便宜、海軍ノ發展ニ御協力申上ゲサセタイト云フ意味デ此ノ建議案ヲ出シテ居ルノデアリマス、一問一答的ニ御答辯ヲ戴クコトハ結構デアリマスガ、要ハ躊躇遠慮スル所ナク特別ナ中央ノ審議會或ハ調査會ヲ速ニ設ケテ、是コソ眞ニ官民一致協力ノ力ニ依ツテ、是等ノ町村ノ現狀ヲ打開シテ行クト云フコトニ付テ明快率直ニ御明答アラント切望致シマシテ、私ノ建議ノ趣旨ヲ打切りマス

○兒玉國務大臣 重ねテ實情ノ御説明デアリマスノデ、洵ニ御同感ニ堪ヘナイ點ガアルノデアリマス、斯ノ如キ状態デアリマスカラ、海軍當局ニ於ケレテモ助成金ノ増加ヲ圖ラレタコトト存ジマスシ、又今回地方稅制ノ關係ト致シマシテ相當ノ茲ニ財政餘力ヲ生ジ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今御話ニナリマシタ事情ヲ篤ト考慮ニ入レマシテ、之ヲ如何ニ處理スベキカト云フコトニ付キマシテハ政府トシテハ慎重ニ考ヘナレバナラヌト思ツテ居リマス、果シテ調査會ヲ置キマシテ、十分ナル效果ヲ見ルデアラウカ或ハ調査會ヲ置カナクモ同ジ結果ヲ生ミ出スコトガ出

ソレカラ吳市ノコトモ一言觸レテ見タイノデアリマス、現在吳市ニハ、今朝ノ新聞ヲ見テ私ハ驚イテ居ルノデアリマスガ、天然痘患者ガ三十六名ニナツテ居ル、吳市ハ全國百六十八ノ市ノ中ニ於テ最高率ノ傳染病患者ヲ持ツテ居ル市デアリマス、昭和十三年度ノ滿一箇年ノ間ニ、傳染病患者ノ總數ガ一千四百八十一人デアリマス、此ノ中海軍軍人、軍屬、工廠員等ノ同家族ノ罹病者ハ八百五十名ト云フ統計デアリマス、昭和五年度以來昭和十四年度ニ至ル吳市ノ傳染病關係ノ統計ガゴザイマセウケレドモ省略致シマス、昭和九年一月ヨリ昭和十四年十月マデ約五箇年間ニ於ケル所ノ隔離病舎ニ收容サレタル傳染病患者延人員ハ十二萬人、斯様ナ大量ノ傳染病ガナゼ吳市ニ不幸

第五類第一號 建議委員會議錄 第七回 昭和十五年三月十九日

第六九

第六九

來ルカドカ、是等ノ點ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ慎重ニ考慮ヲ致ス必要ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ直ニ調査會ヲ設ケルコトニ御賛同申上ゲルコトガ敢テスル譯ニ行カナイノデアリマスガ、只今申上ゲテ通り如何ニシテナラバ最モ善イ結果ヲ得ラレルカト云フコトニ付キマシテハ政府トシテハ只今御述ニナリマシタ實情ニ即シマシテ慎重ニ考慮致シタイ、斯ウ思フテ居リマス

○沖島委員 私人提案者ノ一人デアリマシテ、而モ政友會ノ政務調査會カラ派遣セラレテ横濱市ノ實情ヲ視シテ調査シタモノデアリマス、本建議案ノ提出ノ理由ニ付キマシテハ詳細ニ御説明ガアリマシタ、又軍港所在市町村ノ財政窮乏ノ爲ニ如何ニ衛生施設教育施設ヲ負擔シ、窮乏シテ居ルカト云フ詳細ニ實情ニ付キマシテハ庄司君カラ御述ニナリマシタカラ、私ハ蛇足ヲ加ヘマセス、實ハ與テモ横濱市ノ最近軍港上ノ施設ノ擴充ノ爲ニ非常ニ市勢ガ發展シ、股賑ヲ極メ、一見シテ非常ニ好景氣ト見テ居ツタノデアリマスガ、横濱實ニ參リマシテ視シタ其ノ市ノ財政ノ内容ヲ見テ驚イタ、學校ノ點デアリマスガ、一昨年衆議院カラ派遣サレテ私共南洋地方ヲ視察シマシタ、蘭領ナリ、英領ナリノ各地ニ行ツテ活動シテ居リマスル邦人居留民團ノ經營シテ居ル學校ヲ見タ、盛ニ各地方邦人ガ發展シ、活動シテ居リマスルガ、一タビ居留民團ノ經營シテ居リマスル學校へ行ツテ兒童ヲ見テ、如何ニモ可哀想ダト云フ感シヲ抱イテ居ツタノデアリマスガ、横濱實ニ各小學校ヲ見マシテ南洋ノ居留民團ノ經營シテ居ル學校以下デアル、日本ノ帝都ノ眞近

ナ、アノ大キナ軍港ノ横濱實市ノ學校ガ斯ウ云フ有様デアル、是ハ全ク行ツテ見ナケレバ分リマセヌガ、餘リニモヒドイ、久里濱デアリマシタカ明治八年カニ建設タ學校ヲ修繕シ修繕シテ使ツテ居ル、ソレヨリ仕様ガナト云フ、一例ヲ舉ゲレバサウ云フ譯デアリマス、内務大臣ハ此ノ稅制ノ改革ニ依ツテ、過重ナル負擔ヲ緩和シテヤル言ハレルガ、ドウモ其ノ程度ノ御認識デハ失禮デアリマスガ餘リニ各軍港、要港都市ノ實情ニ懸ケ難レテ居リシナイカ、サウ云フモノデハナイ、過重ナル負擔ヲ我慢スルケレドモ、庄司君ノ言ハレルヤウニ、是以上課稅ガ出來ナイ、起債ガ出來ナイ、ソレデ下水モ學校デモ修繕タル有様ニ放任シテ置クヨリ仕様ガナト云フ實情デアアル、過重ナル負擔ヲ輕減スルコト云フコトハ今ノ軍港都市ノヒドイ有様ヲ救済スルコトハ出來マセス、先程山道君カラ八幡市ノ製鐵所ノ例ヲ引カレマシタガ、是ハ八幡市バカリデアリマセヌ、最近大キナ工場ガ出來テ急ニ都市ガ膨脹スル、先程庄司君ガ海軍關係ノ子弟ノ數ヲ舉ゲラマシタガ、都市ノ發展ノ爲ニ、會社ノ直接間接ノ關係者ノ子弟ガ百人ノ中ニ五十人アル、サウ云フ場合ニ、會社ハ半分ノ負擔ヲ持ツカト云フト、實際ハ七割、八割ノ負擔ヲスル、其ノ位ニシナケレバ急激ノ膨脹ノ都市ノ施設ニハ間ニ合ハナイ、所ガ海軍ノ方ハ多少負擔ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ點ハ私ハ奇異ニ感ジマシタノハ、横濱實市ノ市長ニ聽イタラ、海軍ノ方ノ施設ノ膨脹ノ爲ニ斯ウ云フコトニナツテ居ル、而モ他ノ産業施設ト云フモノハ、軍港ナルガ故ニ出來ナイ、ソコデ其ノ費用ノ大部分ハ海軍ニ負擔シテ費

ツカラ宜イデハナイカト言ツタ所ガ、其ノ市ノ吏員ノ申シマスノニ、此ノ市ハ海軍ノ才力立ツテ居ルト云ハナケレバ、海軍ノ方ノ御機嫌ガ悪イノデアリマス、彼處ニ行ツタラ平身低頭シテ居ラナイト、愚圖々々言ハバ外ハ移轉スルゾト云ハレル、アナタ方ガ言ハレルナラバ宜イガ、吾々ニハサウ云フコトハ言ヘマセヌ、才力立ツテ居リマスト云ハナケレバ機嫌ガ悪イ、或ハサウカモ知レマセヌガ、吾々ノ常識ニ最近色々ナ事業ノ發展ノ爲ニ急激ノ膨脹ヲシタ都市ノ施設ニ關スル常識カラ言フト、是ハ當然ト云フ言葉ヲ使ツテハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、吾々ノ常識カラ言ハバ、其ノ膨脹ノ市ノ經費ノ大部分ハ、ヤハリ海軍デ持ツテ載クベキデハナイカ、ソレヲ言フト市町村ノ方ハ内務省ノ關係ガカラ、内務省ノ方へ行ツテ話ヲシロ、斯ウ云フヤウナ取扱ヲ受ケテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ管轄ハ何レニ致シマシテモ、政府ノ責任ニ於テ之ヲ何トカシテヤラナケレバナラヌ、私ハ横濱實市ガシカ見ナイノデスガ横濱實市ハ震災ノ爲ニ大變ナ市債ヲ募集シタ、其ノ負擔ノ過重ガ今デモ免レヌカラ、特ニヒドイノダラウト思ヒマスガ、其ノ他ノ軍港ノ人ハ横濱實市ヨリモマダ向フガヒドイコトデアレバ、殆ド吾々想像ガ出來ナイノコトデアリマスガ、ソコデ此ノ調査機關ヲ拵ヘデアリマスガ、ソコデ此ノ調査機關ヲ拵ヘデアリマスガ、併シテ調査機關ガ出來ナケレバ私ハ十分ノ救済ハ出來ナイと思フ、各關

係省ガ交渉シテト云フ程度デハ到底満足ナ結果ハ得ラレナイノデアリマス、横濱實市ノ人達ガ我が黨ノ本部ニ陳情ニ來テ派ヲ流シテ居ル、私モ初メハ憐、東京マデ旅費ヲ使ツテ陳情ニ來タケレドモ、餘リ關心ハ持タナカウツ、併シ一タビ横濱實市ニ行ツテ見テビツクリシタ、是ハ成程ヒドイ、斯ウ云フコトガアルトハ想像出來ナカウツト感ジタ位デアリマスガ、特別ニ調査機關ガ出來テ、特ニ責任ヲ以テ其ノ事ノ爲ニ調査スルニアラザレバ、十分ナルコトハ出來ナイダラウト云フヤウニ考ヘマシテ、特ニ此ノ調査機關ヲ設置シテ載キタイト云フ建議ヲ提出シタ次第デアリマス、内務大臣ノ二回ニ互ル御答辯ガアリマシタカラ、私ハ是以上答辯ハ求メマセヌガ、是非トモ一ツ此ノ調査機關ヲ御拵ヘハナルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○肥田委員 私人提案者ニ在シテ居リマスカラ簡單ニ申上ゲマスガ、海軍ノ當局ノ方ハ非常ニ此ノ助成金ノ増額ヲ吾々ハ市長ト共ニ御願シテ、其ノ度毎ニ軍港都市ノ財政ノ行詰リヤ、全ク衛生教育ト云フモノハ捨テテ居ルコト云フテモ宜イ位ナ其ノ實際ノ窮狀ヲ能ク申シテ居リマスガ、海軍當局ノ方ハ殆ド御存ジデアルト思フガ、唯海軍當局トシテハ軍港所在市ノ救済ハ何トカシテヤラナケレバイケナイト云ハレル、是ハ當然デアリマスガ、私ハ軍港都市ノ財政ノ救済ト云フコトハ是ハ重大問題デハナカラウカト思フ、ナゼカト申シマス、其ノ國防上重大ナル軍港地デアルニモ拘ラズ、衛生ノ設備ニ缺陷ヲ生ジ、爲ニ傳染病ガ續出スル、只今庄司君モ御話ノ通りニ全ク傳染病ト云ヒマス、廣島縣デハ吳カラ何時モ

始マル、又一番多數出ルノデアリマス、此ノ傳染病ノ爲ニ市當局モ吾々モ何時モ苦シンデ居ル、今回モ只今言ハレタ通りニ天然痘ガ三十六名出テ居ル、是カラドノ位出ルカ分リマセヌガ、斯ウ云フ風ニ衛生設備ノ不完全ト云フコトハ言換ヘバ斯ウシテ傳染病ガ續出スルノデアリマス、ソレデ私ハ海軍當局ノ方ニハ説明ヲシナイデモ、寧ろ海軍當局ノ方ハ中デハ内務省デ丁度財政稅制行政調査ノ特別委員會設置ノ建議案ガ出タノデアアルカラ、何か特別ナ方法ヲ以テ特別ニ救済ヲシテ呉レバ宜イ、斯ウ思ツテ居ラレル其ノ中ハ讀メル、唯内務當局ニ於ケレバ認識ガ不足ナノデス、是ハ兒玉内務大臣ニ申上ゲルノデアリマセヌ、兒玉内務大臣ハ只今提案者ノ山道君、庄司君、沖島君ノ説明ヲ御聽キニナツテ、能ク理解ガ行キマシタト云フ御言葉ノ中ニ非常ニ含蓄アルコトヲ言ハレタカラ、是非今マデノ内務大臣ヨリ以上ニ私ハ理解シテ下サツテ居ルト思ヒマス、ソレデ色々申上ゲルト長クナリマスケレドモ、吾々ハ只今沖島君ノ言ハレタ通りニ軍港ガ出來タ爲ニ、吳市ハ固ヨリ其ノ附近ノ町村ト云フモノハ非常ニ發展シタ、ダカラマア我慢シロ、我慢シロト云フ長イ間我慢ニ我慢ヲシタノガ、遂ニ只今申上ゲタ通りニ財政ノ行詰リトナツタ、全ク市民ノ七割マデハ殆ド海軍ノ工廠ノ従業員デアリマス、ソレデ此ノ人々ハ擔稅力ハナイ、斯ウ云フ人々ニ依ツテ市ト云フモノハ出來上ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ今回ノ建議ヲ出シマスルマデハ實ニ軍港都市ト云フモノハ我慢ニ我慢ヲシテ居リマシタガ、政黨ガ是ハ放任シテ置イテハ容易ナラヌコトデアアル、ナ

ゼナラバ國防上重要ナル軍港都市ヲ此ノ儘ニ放任シテ置イテハ洵ニ容易ナラヌト云フノデ、民政黨初メ政友會ニ派ガ起ラマシテ、各軍港都市ニ調査員ヲ派遣セラレテ、サウシテ詳細ナル調査ヲサレタ結果驚カレタ、全ク是ハ容易ナラヌコトデアアルト云フコトカラ、今回共同提案デ此ノ建議案ト云フモノハ出シタノデアリマス、普通ノ建議案デアリナイノデアリマス、ソレデ内務大臣ハ特別調査委員會ヲ設置シタケレドモ他ニ方法ガアルト云フヤウナ御言葉モアリマシタケレドモ、併シナガラ私ハドウモ認識ヲ十分ニ深メテ費フ必要ガアル、實際斯ウシテ此處デ吾々ガ一寸簡單ニ申上ゲマシタノデハ實情ハ十分ノデアリマス、ソレト同時ニモウ慎重ナル考慮ナドシテ費フ餘地ハナイ、元來内務省自ラ進シテ此ノ軍港都市ノ財政ノ救済ヲシテヤラナクナラヌト云フコトヲサレレノガ當然デアラウト私ハ思フ、斯ウシテ吾々ガ所謂政黨ガ起ツテアナタ方ニ御懇ヘシナクテモ内務當局ノ人々ガ此ノ軍港都市ノ財政ノ窮狀、行詰ツタ有様ヲ見ラレマシタ場合ニ於キマシテハ、當然是ハ何トカ一ツ救済方法ヲシテヤラナクナラヌデアリマス、デアリマスカラモウ庄司君ナリ沖島君ナリ提案者ノ山道君ニ於テ十分ニ盡サレテ居リマスカラ、私ハモウ多クハ申上ゲマセヌ、ソレデ内務大臣ニモウ一タビ御答辯ヲ御願スルノハ無理カモ分リマセヌケレドモ、唯此ノ慎重ナル考慮ヲシテ何カノ方法ヲシテヤルト云フコトヨリハ、寧ろ特別ニ調査ノ委員會ヲ一ツ設置シテ、サウシテ早ク調査スルト同時ニ救済シヤル、斯ウ云フコトニ私ハ御

答ヲ願ツタラ宜イカト思フノデアリマス、役所ト云フモノハ何時モ一能ク、イヤ慎重ノ考慮ヲスル、至急調査ヲスル、ト云ハレマスガ、實際是ハ議會ノ間ガケサウ云フ御答辯ヲサレガ、モウ議會ガ決ムト之ヲ御志レニナツタヤウニシテ居ルコトガ多イ、今日ノ軍港都市ノ實際ノ窮狀ヲ知ラレタ場合ニ於テハ、ソナナ調査トカ或ハ考慮トカ云フ餘地ハナイノデアリマスガ、ドウカ其ノ點ヲ十分ニ一ツ御考慮下サツテ、サウシテ私ハ軍港要港ノ所在地各市町村ノ財政稅制行政ノ調査ノ特別委員會ヲ特ニ一ツ設置シテ費ヒタイノデアリマスガ、ソレ等ニ付テモウ一ツ明快ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○兒玉國務大臣 重ねテ御話デアリマスルノデ、建議ノ御趣旨ノ存スル所ハ能ク諒解致シマシタ、之ヲ如何ニ處理スルカト云フコトニ付テハ深ク考究スルコトニ致シマス

○齋藤委員長 日程第一九、本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第二四、海部川改修ニ關スル建議案——紅露君

○紅露君 此ノ海部川改修ニ關スル建議案ノ趣旨ハ理由書ニ認メマシタ通りデアリマスノデ、詳細シイコトハ申述ベマセヌ、殊ニ數回本委員會ニ於テモ御可決ヲ願ツテ居リマスノデ、詳細シイコトハ先程申述ベマシタ如ク省略致シマスガ、此ノ際委員各位及ビ政府ニ一言申シテ置キタイト思ヒマスコトハ、此ノ海部川下流及ビ沿岸地方ハ毎年

高知縣ノ室戸岬方面カラ暴風ニ襲ハレル地帯ニナツテ居リマシテ、近年殊ニ其ノ被害ガ甚シイノデアリマス、内務省ニ於ケルマシテモ段々御調査下サツテハ居ラレルノデアリマスガ、マダ改修實現ニ達シテ居リマセヌノデ、出來得ルナラバ此ノ際政府ノ御意見ヲ伺フコトガ出來マスレバ結構ト思ヒマス

〔委員長退席、釘本委員長代理著席〕

○鶴見政府委員 御答申上ゲマス、只今御提案ニナリマシタ海部川ハ直轄河川デハゴザイマセヌガ、併シ洵ニ大切ナ中小河川トシテ農林省ニ於ケルマシテモ國庫財政ノ許シマス限リ縣ニ於テ改修工事ヲ施行スル場合ニハ助成ヲ致シマス方針デゴザイマス

○釘本委員長代理 採決致シマス、本案ハ可決スルニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○釘本委員長代理 可決スルコトニ決定シマシタ

○釘本委員長代理 次ハ日程第二五、日和佐川改修ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ説明ヲ求メマス——紅露君

○紅露君 本建議案提出ノ理由ハ理由書記載ノ通りデアリマスカラ一切省略致シマス、是モ只今御可決ヲ願ヒマシタ海部川ト同ジ德島縣海部郡ノ川デゴザイマスカラ、是モヤハリ數回本院デ御可決ニナツテ居ルノデアリマスガ、マダ改修ニ御着手ヲ願ツテ居リマセヌガ、此ノ際政府ノ御意見ヲ微サレマシテ御可決アラントラ御願スル次第デアリマス

○鶴見政府委員 此ノ日和佐川モ同ジヤウニ洶ニ大切ナ中小河川ト致シマシテ政府ニ於テモ改修ノ必要ヲ認メテ居ルノデゴザイマスカラ、縣ニ於テ改修ノ工事ヲ御決定ニナリマシタ場合ニハ國家財政ノ許ス限リ助成ヲ致シマス方針デアリマス

○釘本委員長代理 採決致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議ゴザイマセヌカ

○釘本委員長代理 可決スルコトニ決定シマシタ

○釘本委員長代理 次ハ日程第二六、勝浦川改修工事促進ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ説明ヲ求メマス

○紅露昭君 提出ノ理由ハ建議案理由書ニ認メマシタ通りデアリマシテ、一切是亦省略致シマス、本河川ハ既ニ内務省ノ方デモ御認メニナリマシテ著手致シテ居ルノデアリマスガ、何分工事方違キトシテ進ミマセヌノデ、此ノ際促進シテ戴キタイト云フノガ其ノ趣旨トナツテ居リマス、内務省ノ御意見ガ向ヘレバ結構ト存ジマス、殊ニ又是モ數回御可決ニ相成ツテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、滿場一致御可決アランコトヲ御願致シマス

○鶴見政府委員 本河川ニ付キマシテモ其ノ改修ノ必要ヲ十分認メテ居リマスカラ、財政ノ許ス範圍内ニ於テ繰上助成ヲ致シマス考テ居リマス

○釘本委員長代理 採決致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

○釘本委員長代理 可決スルニ決シマシタ

○釘本委員長代理 次ハ日程第二七、那賀川改修工事促進ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、紅露昭君

○紅露昭君 本河川改修ノ必要其ノ他一切建議案ノ理由書ニ認メマシタ通りデアリマスノデ、是亦一切説明ヲ省略シマス、殊ニ又那賀川ハ既ニ數年前カラ改修工事ニ御著手下サツテ居ルノデアリマス、唯度々内務省ヘモ縣民及ビ私共カラ陳情中上ゲマス通りニ、此ノ那賀川ノ中流ニガマン堰ト云フ所ガアルノデアリマス、其處マデ僅カモウ一丁足ラズデアリマスカラ、此ノガマン堰ノ堰切りガ出來マスマデ促進シテ戴キマスト往年被害ヲ蒙リマシタ方面ノ住民ガ安心ガ出來ルノデアリマスガ、ドウモ其處マデノ工事ガ未ダ捗取ツテ居リマセヌノデ、一日モ早ク縣民ノ不安ヲ除クト云フ意味ニ於テ御促進下サルコトヲ切ニ御願シタイトデアリマス、是亦内務省ノ御意見ヲ微サレマシテ御可決アランコトヲ御願致シマス

○鶴見政府委員 本川ノ改修工事ヲ促進スル必要ガアルト云フコトヲ政府ニ於テモ認メテ居リマスカラ、只今御趣旨ノ御辯明ノゴザイマシタヤウニ、財政ノ許ス範圍内ニ於キマシテ施行年度ヲ繰上ゲマシテ此ノ工事ヲ施行致シタイト考ヘテ居リマス

○釘本委員長代理 採決致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議ゴザイマセヌカ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 次ハ日程第一八、全國ノ湖沼水利開發ニ關スル建議案ヲ上程致シマス、提案者ノ説明ヲ求メマス

○野野 只今上程ニナリマシタ全國ノ湖沼水利開發ニ關スル建議案ニ付テ理由ヲ申述ベテ御同意ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、今日ノヤウニ石炭ガ不足ヲ致シテ生産擴充ニ支障ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトヲ打開スル方法トシテハ水力ニ依ルノ外ナイ、又水力ヲ大ニ利用シテ動力ヲ出スト云フコトガ一番急務中ノ急務デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ吾々ノ提案ノ趣旨ニハ單ニ湖沼アリマスケレドモ、是ハ全國ノ各河川ヲモ含シテモアルノデアリマス、從來ノ日本ノ電氣ノ計畫等ヲ見マスト自然ニ流レル水ヲケモノヲ利用シテ發電スルト云フ計畫ニ大體ナツテ居ル、最近ニ於テハ、ダムヲ拵ヘテ年中一定ノ量ヲ流シテ行クト云フヤウナ計畫ニ變リツツデアリマスケレドモ、マダ、ソレガ鈍イデアリマス、ソレデアリマスカラ昨年ノヤウナ早害ガ來マスト二百五十万、キロ、出ル所ノ電力ハ百萬、キロ、減ツテ來ル、ソコデ國內ノ産業上ニ非常ナ支障ヲ來スノデアリ、是ハモト、電氣業者ノ計畫ガ趣旨、日本ニハ他ノ國トハ違ツテ非常ナ雨量ガアルノデアリカラ、此ノ平生降ツタ水ヲ溜メテ置イテ、之ヲ年中一定ノ量ヲ流スト云フ計畫ニナラナケレバ私ハ企業ノ基礎ニナラヌト思フ、其ノ意味ニ於テ吾々ハ先ツ第一ニ日本ノ中央ノ一番産業ノ盛ナ所デアアル近江ノ湖水、即チ琵琶湖ヲ一ツ利用シテ其處ニ大キナ安定動力ヲ出シテ日本ノ産業ヲ盛ニ致シタイト、次ニ全國ノ各湖水ヲ悉ク利用スル、或ルモノハ堤防ヲ更ニ拵ヘテ澤山貯水スレバ宜シイ、或ハ其ノ値流シテモ宜シイ、又ソレバカリデハナイノデス、各河川ニ堤防ヲ拵ヘラレ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

モノヲ直チニ利用シテ發電シテ日本ノ工業ヲ盛ニセヌノデアアルカト私ハ思フノデアリマス、實ニ是ハ開運ツテ居ル、日本ノ實業家ハ眠ツテ居ルト私ハ考ヘル、特ニ近畿地方ノ實業家ト云フモノハ何ゾシテ居ツテカト思フ位デアアル、此ノ立派ナ水ガ溜ツテ居ルモノヲ利用セヌデ、昨年カラ此ノ春ニカケタヤウナ電力飢饉ガ參リマスト、之ヲ以テ全ク政府ガ惡イヤウニ仰シタル、自ラ進んで斯ウ云フ探ルベキ途ガアルノニ、ソレヲ採ラヌデ置イテ今日ノヤウナ哀レナコトデアルト云フコトハ實ニ吾々ハ情ケナイコトデアアル、是ハ政府モ實業家モ宜シク目ヲ覺マシテ大イニ一ツヤラナクチャイカスト思フ、而モソレヲ重點主義デヤラナケレバイカス、産業ノ一番盛ナ所ノ大キナモノヲ先ツ第一ニ利用シテ、段々利用價值ノ多イ所ニ進ムヤウナ方法ヲ以テヤラナクテハイカスト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ吾々ハ單ニ全國ノ湖沼バカリデハナイ、有ユル河川ニ、ダムヲ造ツテ、サウシテ以上述べタ所ノ目的ヲ達スルヤウニシタイト云フ意味デ、此ノ案ヲ提出致シマシタノデアリマスカラ、ドウカ之ニ對スル政府ノ御意見ヲ承リタイト同時ニ、諸君ハ滿場一致御可決アランコトヲ希望致シマス

○中山福藏君 只今長野代議士カラ極メテ綿密ナル提案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタノデ、私ガ今更之ニ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト思ヒマスガ、各位ノ御參考ノ爲ニ是程湖沼ノ問題ガ出テ居リマスカラ、一寸計數的ニ一言ダケ言ハセテ戴キマス、大體今長野代議士ガ仰シヤイマシタヤウニ、殆ド全國ノ湖沼ノ水利開發ト云フモノハ閉却サレテ居ルノデアリマシテ、何ガ故ニ斯様ニ閉却

サレテ居ルカト云ウテ、色々當局ニ付テ費シテ見マスト、是ハ全ク當局ノ方々ガ地方ノ事情其ノ他ノ色々ナコトニ拘泥サレテ、勇猛心ヲ起サレナイイカラ、斯ウ云フコトニナルノデハナイイカラ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ先般、只今京都府知事ヲ致シテ居リマスカラ、赤松前土木局長ニ何故琵琶湖ノ水利開發ヲセヌカト政府ノ方針ヲ質問シマスト、餘リ驚イデ呉レルナ、餘リ驚イデ呉レルト竹槍デ突殺サレル、斯ウ云フノデアリマシテ、是位ノ程度デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何故突殺サレテモ京阪神地方ノ重工業、舟楫ノ便、或ハ灌溉ノ利益ト云フモノヲ増スヤウニ肚ヲ決メテ、一日モ早ク電力事業ナンカト云フモノノ完成ヲ圖ラナイイカ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ今日御承知ノ通りニ電力飢饉ガ言ツテ大騒ギヲシテ居ル、何時デモ雨ガ降ツテカラ傘ヲ買ヒニ走ルト云フノガ、日本ノ所謂官吏ト云フヤララレルコトダ、私共遠慮ナク斯ウ申上ガタイ、何デモ彼デモ机ノ前ニ坐ツテ威張リ散ラヌノガ官吏ト考ヘテ居ラレル、官吏ノ本分ハ民衆ノ利益ヲ増進スル所ニ、官吏ノ面目ガ躍如タルモノガアルト私ハ考ヘテ居ル、時勢ノ變轉ト共ニ、官吏ノ氣分ト云フモノハ相當變ヘテ戴ク必要ガアルノデハナイイカ、是ハ私鶴見政府次官ガ居ラレマスカラ、殊ニ腹ヲ割ツテ遠慮ナク一ツ申上ゲテ、アナタノ透徹シタ頭カラ、ドウ云フ風ニ改メテ行クノダト云フコトヲハツキリ此ノ場合承ツテ置キタイト、而シテ琵琶湖ニハ一箇年ニ七十億立方メートルノ雨ガ降り注イデ居ルノデアリマシテ、貯水量ハ五十億立方

米、之ヲ幾ラ電力ニ利用シテ居ルカト云フアトノ十六億立方メートルニ倍シテ放流シテ地ツテ置イテ、知ラヌ類ノ半兵衛ヲ決メ込シテ居ル、是ガ實情デアリマス、而モ今日京阪神地方ノ川崎、何故近年大阪ノ工業ト云フモノガ凌駕サレル傾向ヲ示シタカト云フト、琵琶湖ノ水利利用シタイト云フコトガ一大原因ヲ成シテ居ル、水力ナクシテ重工業ノ發達ハアリ得ナイノデアリマス、而モ神戶地方ニ於ケル水道ノ水ノ飢饉ト云フモノガ數年前カラ色々叫バレテ居リマスカラ、是ハ御承知ノ通り三田ノ水源池ト云フモノガ非常ニ狹隘デアツテ、サウシテ神戶市民ヲ養フダケノ水ガ之ニ溜ルコトガ出來ナイト云フコトニ原因シテ居ル、此ノ琵琶湖ト三田ノ水源池ヲ比較シテ御考ニナツタナラバ、琵琶湖ノ水利開發スルトコトハ當然ララナケレバナラヌ問題ナノデアリマス、サウシテ今度デモ斯ウシテ電力飢饉ガ起リマスト、ソラ石炭買收ガ、ソラ補助金ダト云フツテ、開相場ヲ肯定シテ買ツテ居ル、獎勵金ナンカト云フモノハ開相場ニ、公定相場ニ依ツテ得ベカリシモノニ、政府ガ民衆ノ膏ヲ絞ツテ出ス所ノ是ハ明ニ開取引ノ一種デアリマス、開取引ノ衣ヲ着セテ法案ト云フモノガ議會ニ現ハレテハ堪ツタモノデハナイイカ、ソレガ、ドウカ一ツ斯ウ云フ風ナ立場カラ、單ニ只今述べマシタノ琵琶湖ノ一例デアリマスカラ、内務省ノ調査ニ依リマス所ノ現在水力電氣ノ起サレテ居ル所ノ表ヲ私ハ持ツテ居リマスカラ、委員ノ方々ガ御困リニナルカラ、全國ノ湖沼ニ付テ一々ノ説明ハ申上ゲマセヌガ、兎モ角モ實

ル所ハ深山アルノデアアルカラ、ソレ等ノモノヲ政府自ラヤルカ或ハ府縣ガ之ニ手ヲ著ケテドシ、此ノ堤防ヲ拵ヘテ行ク、サウシテ行キマスト今日ヨリハヨリ豐富ナ所ノ發電モ出來マスカラ、又昨年ノヤウナ早害ガ來タ場合ニ其ノ早害ヲモ防ギ得ルノデアアル、又私ノ言フ通りニヤリマスト、一ツ堤防ヲ拵ヘテ置キマスト大雨ガ降ツタ時ニハ其處デ貯水スルカラシテ、ソレ以下ノ水害ト云フモノハ防ギ得ルノデアアル、此ノ方法ヲ拵ヘナケレバ私ハ日本ノ發電能力ト云フモノヲ十分ニ發揮スルコトハ出來マセヌシ、又灌溉用水モ十分デアリタイト考ヘル、又今日ハ到ル處ニ工場ガ澤山出來ルノデアアルカラシテ、是等ノモノヲ到ル處ニ、ダムヲ拵ヘテヤリマスト工業用水モ尙ホ自由ニナツテ來ルノデアリマスカラ、此ノ一ツノ仕事デ電力モ餘計出ル、水害モ防ギ得ル、早害モ防ギ得ル、工業動力モ之ニ依ツテ潤澤ニ供セラレルト云フ即チ一石四鳥ノ效果ヲ現ハスモノト私ハ考ヘルノデアリマス、何故ニ政府並ニ實業家ハ斯ナ所ニ目ヲ著ケヌノデアラウカト私共ハ考ヘテ居ル、特ニ大阪ヲ中心トシタル所ノ實業家ハ何ゾ今日マデ眠ツテ居ツタノデアアルカト思フノデアリマス、アノ近江ノ湖水ハ周圍ガ七十里アル、ドレダケノ水ガ溜ツテ居リマスカラ、是ハ私ハ計算シテ居ラスカラ能ク分リマセヌケレドモ、大シク水ガ溜ツテ居ルノデアアル、外地ノ滿洲ニ行ツテ見レバ、最近ニ於テ吉林ニハ一ツノ堤防ヲ拵ヘテ其ノ水ヲ流シテ六十万、キロ、ノ動力ヲ出スヤウニナツテ居ル、アノ雨ノ降ラナイ所ヘテツテ行ツテ、ダムヲ拵ヘル、サウ云フ金ガアツタナラバ、何故今日近江ノ湖水ノ水ヲ溜ツテ居ル

昨年デシタカ、二十万圓内外ノ全國ノ水利資源ニ關スル調査費ガ計上サレタト記憶シテ居リマスカラ、或ハ數字ハ開運ツテ居ルカモ知ラヌモ、兎モ角ソレ位ナ程度デアラモ知ラヌハ御承知ノ通りニ曾テハ破水問題ヲ起シテ命懸ケノ大仕事ヤウナ博士ガアツタノデアリマシテ、而モ滋賀縣ノ人々ハ琵琶湖ガ空ニナツテ滋賀縣民ハ非常ナ窮狀態ヲ招來スル虞ガアルカラト云フテ非常ナ反對ヲサレタ、併シ疏水ガ通リマシタ結果ドウナツタカト云フト、是ハ説明ヲスル必要ハナイノデアリマス、琵琶湖ハ滋賀縣民ダケノ所有デハナイ、日本全體ノ幸福ヲ圖ルガ爲ニ神代ヨリ湛ヘラレタ寶ノ水デアリマス、ドウカ政府ニ於カレマシテハ、早急ニ斯ウ云フ寶ノ水ヲ利用スルコトヲ御考ヘ下サイ、サウシテ長野代議士ノ言ハレタ通りニ、内務省ノ方々ニ大體何時頃サウ云フ開發ヲナサル御決心ガアルカ、又全國ノ湖沼ニ對シテドウ云フ態度ヲ御執リニナルカ、是モ附加ヘテ御説明ヲ煩ハシタイトデアリマス

○鶴見政府委員 御答致シマス、只今長野委員並ニ中山議員カラ湖沼ノ利用ニ付テ洶ニ御熱心ナ趣旨御辯明ガアツタノデゴザイマスガ、私モ此ノ點ハ實ニ御同感デゴザイマシテ、三年前ニ濠洲ニ參リマシタ時ニ、濠洲ノ面積ハ日本ノ二十倍モゴザイマスカレドモ、人口ハ僅カニ日本ノ十分ノ一デ、東京一市位シカナイ、是ハドウ云フ譯デア

ルカラ、アチラコチラヲ調べモシ、其ノ中ヲ歩いて見マシテ發見シタノハ、是ハ簡單ニ濠洲ニ雨ガナイト云フコトデアルト云フコトヲ知リマシテ、日本ノ國ノ雨ト云フモノガ、非常ニ大切ナ天然資源デアルト云フ

○中山福藏君 只今長野代議士カラ極メテ綿密ナル提案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタノデ、私ガ今更之ニ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト思ヒマスガ、各位ノ御參考ノ爲ニ是程湖沼ノ問題ガ出テ居リマスカラ、一寸計數的ニ一言ダケ言ハセテ戴キマス、大體今長野代議士ガ仰シヤイマシタヤウニ、殆ド全國ノ湖沼ノ水利開發ト云フモノハ閉却サレテ居ルノデアリマシテ、何ガ故ニ斯様ニ閉却

サレテ居ルカト云ウテ、色々當局ニ付テ費シテ見マスト、是ハ全ク當局ノ方々ガ地方ノ事情其ノ他ノ色々ナコトニ拘泥サレテ、勇猛心ヲ起サレナイイカラ、斯ウ云フコトニナルノデハナイイカラ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ先般、只今京都府知事ヲ致シテ居リマスカラ、赤松前土木局長ニ何故琵琶湖ノ水利開發ヲセヌカト政府ノ方針ヲ質問シマスト、餘リ驚イデ呉レルナ、餘リ驚イデ呉レルト竹槍デ突殺サレル、斯ウ云フノデアリマシテ、是位ノ程度デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何故突殺サレテモ京阪神地方ノ重工業、舟楫ノ便、或ハ灌溉ノ利益ト云フモノヲ増スヤウニ肚ヲ決メテ、一日モ早ク電力事業ナンカト云フモノノ完成ヲ圖ラナイイカ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ今日御承知ノ通りニ電力飢饉ガ言ツテ大騒ギヲシテ居ル、何時デモ雨ガ降ツテカラ傘ヲ買ヒニ走ルト云フノガ、日本ノ所謂官吏ト云フヤララレルコトダ、私共遠慮ナク斯ウ申上ガタイ、何デモ彼デモ机ノ前ニ坐ツテ威張リ散ラヌノガ官吏ト考ヘテ居ラレル、官吏ノ本分ハ民衆ノ利益ヲ増進スル所ニ、官吏ノ面目ガ躍如タルモノガアルト私ハ考ヘテ居ル、時勢ノ變轉ト共ニ、官吏ノ氣分ト云フモノハ相當變ヘテ戴ク必要ガアルノデハナイイカ、是ハ私鶴見政府次官ガ居ラレマスカラ、殊ニ腹ヲ割ツテ遠慮ナク一ツ申上ゲテ、アナタノ透徹シタ頭カラ、ドウ云フ風ニ改メテ行クノダト云フコトヲハツキリ此ノ場合承ツテ置キタイト、而シテ琵琶湖ニハ一箇年ニ七十億立方メートルノ雨ガ降り注イデ居ルノデアリマシテ、貯水量ハ五十億立方

米、之ヲ幾ラ電力ニ利用シテ居ルカト云フアトノ十六億立方メートルニ倍シテ放流シテ地ツテ置イテ、知ラヌ類ノ半兵衛ヲ決メ込シテ居ル、是ガ實情デアリマス、而モ今日京阪神地方ノ川崎、何故近年大阪ノ工業ト云フモノガ凌駕サレル傾向ヲ示シタカト云フト、琵琶湖ノ水利利用シタイト云フコトガ一大原因ヲ成シテ居ル、水力ナクシテ重工業ノ發達ハアリ得ナイノデアリマス、而モ神戶地方ニ於ケル水道ノ水ノ飢饉ト云フモノガ數年前カラ色々叫バレテ居リマスカラ、是ハ御承知ノ通り三田ノ水源池ト云フモノガ非常ニ狹隘デアツテ、サウシテ神戶市民ヲ養フダケノ水ガ之ニ溜ルコトガ出來ナイト云フコトニ原因シテ居ル、此ノ琵琶湖ト三田ノ水源池ヲ比較シテ御考ニナツタナラバ、琵琶湖ノ水利開發スルトコトハ當然ララナケレバナラヌ問題ナノデアリマス、サウシテ今度デモ斯ウシテ電力飢饉ガ起リマスト、ソラ石炭買收ガ、ソラ補助金ダト云フツテ、開相場ヲ肯定シテ買ツテ居ル、獎勵金ナンカト云フモノハ開相場ニ、公定相場ニ依ツテ得ベカリシモノニ、政府ガ民衆ノ膏ヲ絞ツテ出ス所ノ是ハ明ニ開取引ノ一種デアリマス、開取引ノ衣ヲ着セテ法案ト云フモノガ議會ニ現ハレテハ堪ツタモノデハナイイカ、ソレガ、ドウカ一ツ斯ウ云フ風ナ立場カラ、單ニ只今述べマシタノ琵琶湖ノ一例デアリマスカラ、内務省ノ調査ニ依リマス所ノ現在水力電氣ノ起サレテ居ル所ノ表ヲ私ハ持ツテ居リマスカラ、委員ノ方々ガ御困リニナルカラ、全國ノ湖沼ニ付テ一々ノ説明ハ申上ゲマセヌガ、兎モ角モ實

ル所ハ深山アルノデアアルカラ、ソレ等ノモノヲ政府自ラヤルカ或ハ府縣ガ之ニ手ヲ著ケテドシ、此ノ堤防ヲ拵ヘテ行ク、サウシテ行キマスト今日ヨリハヨリ豐富ナ所ノ發電モ出來マスカラ、又昨年ノヤウナ早害ガ來タ場合ニ其ノ早害ヲモ防ギ得ルノデアアル、又私ノ言フ通りニヤリマスト、一ツ堤防ヲ拵ヘテ置キマスト大雨ガ降ツタ時ニハ其處デ貯水スルカラシテ、ソレ以下ノ水害ト云フモノハ防ギ得ルノデアアル、此ノ方法ヲ拵ヘナケレバ私ハ日本ノ發電能力ト云フモノヲ十分ニ發揮スルコトハ出來マセヌシ、又灌溉用水モ十分デアリタイト考ヘル、又今日ハ到ル處ニ工場ガ澤山出來ルノデアアルカラシテ、是等ノモノヲ到ル處ニ、ダムヲ拵ヘテヤリマスト工業用水モ尙ホ自由ニナツテ來ルノデアリマスカラ、此ノ一ツノ仕事デ電力モ餘計出ル、水害モ防ギ得ル、早害モ防ギ得ル、工業動力モ之ニ依ツテ潤澤ニ供セラレルト云フ即チ一石四鳥ノ效果ヲ現ハスモノト私ハ考ヘルノデアリマス、何故ニ政府並ニ實業家ハ斯ナ所ニ目ヲ著ケヌノデアラウカト私共ハ考ヘテ居ル、特ニ大阪ヲ中心トシタル所ノ實業家ハ何ゾ今日マデ眠ツテ居ツタノデアアルカト思フノデアリマス、アノ近江ノ湖水ハ周圍ガ七十里アル、ドレダケノ水ガ溜ツテ居リマスカラ、是ハ私ハ計算シテ居ラスカラ能ク分リマセヌケレドモ、大シク水ガ溜ツテ居ルノデアアル、外地ノ滿洲ニ行ツテ見レバ、最近ニ於テ吉林ニハ一ツノ堤防ヲ拵ヘテ其ノ水ヲ流シテ六十万、キロ、ノ動力ヲ出スヤウニナツテ居ル、アノ雨ノ降ラナイ所ヘテツテ行ツテ、ダムヲ拵ヘル、サウ云フ金ガアツタナラバ、何故今日近江ノ湖水ノ水ヲ溜ツテ居ル

昨年デシタカ、二十万圓内外ノ全國ノ水利資源ニ關スル調査費ガ計上サレタト記憶シテ居リマスカラ、或ハ數字ハ開運ツテ居ルカモ知ラヌモ、兎モ角ソレ位ナ程度デアラモ知ラヌハ御承知ノ通りニ曾テハ破水問題ヲ起シテ命懸ケノ大仕事ヤウナ博士ガアツタノデアリマシテ、而モ滋賀縣ノ人々ハ琵琶湖ガ空ニナツテ滋賀縣民ハ非常ナ窮狀態ヲ招來スル虞ガアルカラト云フテ非常ナ反對ヲサレタ、併シ疏水ガ通リマシタ結果ドウナツタカト云フト、是ハ説明ヲスル必要ハナイノデアリマス、琵琶湖ハ滋賀縣民ダケノ所有デハナイ、日本全體ノ幸福ヲ圖ルガ爲ニ神代ヨリ湛ヘラレタ寶ノ水デアリマス、ドウカ政府ニ於カレマシテハ、早急ニ斯ウ云フ寶ノ水ヲ利用スルコトヲ御考ヘ下サイ、サウシテ長野代議士ノ言ハレタ通りニ、内務省ノ方々ニ大體何時頃サウ云フ開發ヲナサル御決心ガアルカ、又全國ノ湖沼ニ對シテドウ云フ態度ヲ御執リニナルカ、是モ附加ヘテ御説明ヲ煩ハシタイトデアリマス

○鶴見政府委員 御答致シマス、只今長野委員並ニ中山議員カラ湖沼ノ利用ニ付テ洶ニ御熱心ナ趣旨御辯明ガアツタノデゴザイマスガ、私モ此ノ點ハ實ニ御同感デゴザイマシテ、三年前ニ濠洲ニ參リマシタ時ニ、濠洲ノ面積ハ日本ノ二十倍モゴザイマスカレドモ、人口ハ僅カニ日本ノ十分ノ一デ、東京一市位シカナイ、是ハドウ云フ譯デア

ルカラ、アチラコチラヲ調べモシ、其ノ中ヲ歩いて見マシテ發見シタノハ、是ハ簡單ニ濠洲ニ雨ガナイト云フコトデアルト云フコトヲ知リマシテ、日本ノ國ノ雨ト云フモノガ、非常ニ大切ナ天然資源デアルト云フ

○中山福藏君 只今長野代議士カラ極メテ綿密ナル提案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタノデ、私ガ今更之ニ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト思ヒマスガ、各位ノ御參考ノ爲ニ是程湖沼ノ問題ガ出テ居リマスカラ、一寸計數的ニ一言ダケ言ハセテ戴キマス、大體今長野代議士ガ仰シヤイマシタヤウニ、殆ド全國ノ湖沼ノ水利開發ト云フモノハ閉却サレテ居ルノデアリマシテ、何ガ故ニ斯様ニ閉却

サレテ居ルカト云ウテ、色々當局ニ付テ費シテ見マスト、是ハ全ク當局ノ方々ガ地方ノ事情其ノ他ノ色々ナコトニ拘泥サレテ、勇猛心ヲ起サレナイイカラ、斯ウ云フコトニナルノデハナイイカラ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ先般、只今京都府知事ヲ致シテ居リマスカラ、赤松前土木局長ニ何故琵琶湖ノ水利開發ヲセヌカト政府ノ方針ヲ質問シマスト、餘リ驚イデ呉レルナ、餘リ驚イデ呉レルト竹槍デ突殺サレル、斯ウ云フノデアリマシテ、是位ノ程度デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何故突殺サレテモ京阪神地方ノ重工業、舟楫ノ便、或ハ灌溉ノ利益ト云フモノヲ増スヤウニ肚ヲ決メテ、一日モ早ク電力事業ナンカト云フモノノ完成ヲ圖ラナイイカ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ今日御承知ノ通りニ電力飢饉ガ言ツテ大騒ギヲシテ居ル、何時デモ雨ガ降ツテカラ傘ヲ買ヒニ走ルト云フノガ、日本ノ所謂官吏ト云フヤララレルコトダ、私共遠慮ナク斯ウ申上ガタイ、何デモ彼デモ机ノ前ニ坐ツテ威張リ散ラヌノガ官吏ト考ヘテ居ラレル、官吏ノ本分ハ民衆ノ利益ヲ増進スル所ニ、官吏ノ面目ガ躍如タルモノガアルト私ハ考ヘテ居ル、時勢ノ變轉ト共ニ、官吏ノ氣分ト云フモノハ相當變ヘテ戴ク必要ガアルノデハナイイカ、是ハ私鶴見政府次官ガ居ラレマスカラ、殊ニ腹ヲ割ツテ遠慮ナク一ツ申上ゲテ、アナタノ透徹シタ頭カラ、ドウ云フ風ニ改メテ行クノダト云フコトヲハツキリ此ノ場合承ツテ置キタイト、而シテ琵琶湖ニハ一箇年ニ七十億立方メートルノ雨ガ降り注イデ居ルノデアリマシテ、貯水量ハ五十億立方

米、之ヲ幾ラ電力ニ利用シテ居ルカト云フアトノ十六億立方メートルニ倍シテ放流シテ地ツテ置イテ、知ラヌ類ノ半兵衛ヲ決メ込シテ居ル、是ガ實情デアリマス、而モ今日京阪神地方ノ川崎、何故近年大阪ノ工業ト云フモノガ凌駕サレル傾向ヲ示シタカト云フト、琵琶湖ノ水利利用シタイト云フコトガ一大原因ヲ成シテ居ル、水力ナクシテ重工業ノ發達ハアリ得ナイノデアリマス、而モ神戶地方ニ於ケル水道ノ水ノ飢饉ト云フモノガ數年前カラ色々叫バレテ居リマスカラ、是ハ御承知ノ通り三田ノ水源池ト云フモノガ非常ニ狹隘デアツテ、サウシテ神戶市民ヲ養フダケノ水ガ之ニ溜ルコトガ出來ナイト云フコトニ原因シテ居ル、此ノ琵琶湖ト三田ノ水源池ヲ比較シテ御考ニナツタナラバ、琵琶湖ノ水利開發スルトコトハ當然ララナケレバナラヌ問題ナノデアリマス、サウシテ今度デモ斯ウシテ電力飢饉ガ起リマスト、ソラ石炭買收ガ、ソラ補助金ダト云フツテ、開相場ヲ肯定シテ買ツテ居ル、獎勵金ナンカト云フモノハ開相場ニ、公定相場ニ依ツテ得ベカリシモノニ、政府ガ民衆ノ膏ヲ絞ツテ出ス所ノ是ハ明ニ開取引ノ一種デアリマス、開取引ノ衣ヲ着セテ法案ト云フモノガ議會ニ現ハレテハ堪ツタモノデハナイイカ、ソレガ、ドウカ一ツ斯ウ云フ風ナ立場カラ、單ニ只今述べマシタノ琵琶湖ノ一例デアリマスカラ、内務省ノ調査ニ依リマス所ノ現在水力電氣ノ起サレテ居ル所ノ表ヲ私ハ持ツテ居リマスカラ、委員ノ方々ガ御困リニナルカラ、全國ノ湖沼ニ付テ一々ノ説明ハ申上ゲマセヌガ、兎モ角モ實

ル所ハ深山アルノデアアルカラ、ソレ等ノモノヲ政府自ラヤルカ或ハ府縣ガ之ニ手ヲ著ケテドシ、此ノ堤防ヲ拵ヘテ行ク、サウシテ行キマスト今日ヨリハヨリ豐富ナ所ノ發電モ出來マスカラ、又昨年ノヤウナ早害ガ來タ場合ニ其ノ早害ヲモ防ギ得ルノデアアル、又私ノ言フ通りニヤリマスト、一ツ堤防ヲ拵ヘテ置キマスト大雨ガ降ツタ時ニハ其處デ貯水スルカラシテ、ソレ以下ノ水害ト云フモノハ防ギ得ルノデアアル、此ノ方法ヲ拵ヘナケレバ私ハ日本ノ發電能力ト云フモノヲ十分ニ發揮スルコトハ出來マセヌシ、又灌溉用水モ十分デアリタイト考ヘル、又今日ハ到ル處ニ工場ガ澤山出來ルノデアアルカラシテ、是等ノモノヲ到ル處ニ、ダムヲ拵ヘテヤリマスト工業用水モ尙ホ自由ニナツテ來ルノデアリマスカラ、此ノ一ツノ仕事デ電力モ餘計出ル、水害モ防ギ得ル、早害モ防ギ得ル、工業動力モ之ニ依ツテ潤澤ニ供セラレルト云フ即チ一石四鳥ノ效果ヲ現ハスモノト私ハ考ヘルノデアリマス、何故ニ政府並ニ實業家ハ斯ナ所ニ目ヲ著ケヌノデアラウカト私共ハ考ヘテ居ル、特ニ大阪ヲ中心トシタル所ノ實業家ハ何ゾ今日マデ眠ツテ居ツタノデアアルカト思フノデアリマス、アノ近江ノ湖水ハ周圍ガ七十里アル、ドレダケノ水ガ溜ツテ居リマスカラ、是ハ私ハ計算シテ居ラスカラ能ク分リマセヌケレドモ、大シク水ガ溜ツテ居ルノデアアル、外地ノ滿洲ニ行ツテ見レバ、最近ニ於テ吉林ニハ一ツノ堤防ヲ拵ヘテ其ノ水ヲ流シテ六十万、キロ、ノ動力ヲ出スヤウニナツテ居ル、アノ雨ノ降ラナイ所ヘテツテ行ツテ、ダムヲ拵ヘル、サウ云フ金ガアツタナラバ、何故今日近江ノ湖水ノ水ヲ溜ツテ居ル

○鶴見政府委員 此ノ日和佐川同シヤウニ洵ニ大切ナ中小河川ト致シマシテ政府ニ於テモ改修ノ必要ヲ認メテ居ルノデゴザイマスカラ、縣ニ於テ改修ノ工事ヲ御決定ニナリマシタ場合ニハ國家財政ノ許ス限リ助成ヲ致シマス方針アリマス

○釘本委員長代理 採探致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議ゴザイマセスカ
○釘本委員長代理 可決スルコトニ決定シマシタ
○釘本委員長代理 次ハ日程第二六、勝浦川改修工事促進ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、提出者ノ説明ヲ求メマス、紅露君

○釘本委員長代理 採探致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ
○釘本委員長代理 可決スルニ決シマシタ
○釘本委員長代理 次ハ日程第二七、那賀川改修工事促進ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、紅露君

○釘本委員長代理 本河川改修ノ必要其ノ他一切建議案ノ理由書ニ認メマシタ通りデアリマス、是亦一切説明ヲ省略シマス、殊ニ又那賀川ハ既ニ數年前カラ改修工事ニ御着手サツテ居ルデアリマス、唯度々内務省ヘモ縣民及ビ私共カラ陳情申上ゲマス通りニ、此ノ那賀川ノ中流ニガマン堰ト云フ所ガアルデアリマス、其處マデ僅カモウ一丁足ラズデアリマスカラ、此ノガマン堰ノ堰切りガ出來マスマデ促進シテ戴キマスト往年被害ヲ蒙リマシタ方面ノ住民ガ安心ガ出來ルノデアリマスガ、ドウモ其處マデノ工事ガ未ダ捗取ツテ居リマセヌノデ、一日モ早く縣民ノ不安ヲ除クト云フ意味ニ於テ御促進サレコトヲ切ニ御願シタイデアリマス、是亦内務省ノ御意見ヲ徵サレマシテ御可決アラント御願致シマス

○鶴見政府委員 本川ノ改修工事ヲ促進スル必要ガアルト云フコトヲ政府ニ於テモ認メテ居リマス、只今御趣旨ノ御辯明ノゴザイマシタヤウニ、財政ノ許ス範圍内ニ於キマシテ施行年度ヲ繰上ゲマシテ此ノ工事ヲ施行致シタイト考ヘテ居リマス
○釘本委員長代理 採探致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議ゴザイマセスカ
○釘本委員長代理 可決スルニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 次ハ日程第一八、全國ノ湖沼水利開發ニ關スル建議案ヲ上程致シマス、提案者ノ説明ヲ求メマス、長野君

○長野委員 只今上程ニナリマシタ全國ノ湖沼水利開發ニ關スル建議案ニ付テ理由ヲ申述ベテ御同意ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、今日ノヤウニ石炭ガ不足ヲ致シテ生産擴充ニ支障ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトヲ打開スル方法トシテハ水力ニ依ルノ外ナク、又水力ガ大ニ利用シテ動力ヲ出スト云フコトガ一番急務中ノ急務デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ吾々ノ提案ノ趣旨ニハ單ニ湖沼ヲリマスカレドモ、是ハ全國ノ各河川ヲモ含シテモノデアリデアリマス、從來ノ日本ノ電氣ノ計畫等ヲ見マス、自然ニ流レル水ダケノモノヲ利用シテ發電スルト云フ計畫ニ大體ナツテ居ル、最近ニ於テハダムヲ拵ヘテ年中一定ノ量ヲ流シテ行クト云フヤウナ計畫ニ變リツツデアリマスケレドモ、マダソレガ鈍イデアリマス、ソレデアリマスカラ昨年ノヤウナ早害ガ來マスト二百五十万、キロ、出ル所ノ電力ハ百萬、キロ、減ツテ來ル、ソコデ國內ノ産業上ニ非常ナ支障ヲ來スノデアリ、是ハモトハ電氣業者ノ計畫ガ惡イ、日本ニハ他ノ國トハ違フテ非常ナ雨量ガアルノデアリカ、此ノ平生降ツタ水ヲ溜メテ置イテ、之ヲ年中一定ノ量ヲ流スト云フ計畫ニナラナケレバ私ハ企業ノ基礎ニナラヌト思フ、其ノ意味ニ於テ吾々ハ先ツ第一ニ日本ノ中央ノ一番産業ノ盛ナ所デアアル近江ノ湖水、即チ琵琶湖ヲ一ツ利用シテ其處ニ大キナ動力ヲ出シテ日本ノ産業ヲ盛ニ致シタイ、次ニハ全國ノ各湖水ヲ悉ク利用スル、或ルモノハ堤防ヲ更ニ拵ヘテ澤山貯水スレバ宜シイ、或ハ其ノ能流シテモ宜シイ、又ソレバカリデハナク、各河川ニ鬼ノ角、ダムヲ拵ヘラレ

ル所ハ澤山アルノデアリカ、ソレ等ノモノヲ政府自ラヤルカ或ハ府縣ガ之ニ手ヲ著ケテドシ、此ノ堤防ヲ拵ヘテ行ク、サウシテ行キマス今日ヨリハヨリ豐富ナ所ノ發電モ出來マスカラ、又昨年ノヤウナ早害ガ來タ場合ニ其ノ早害ヲモ防ギ得ルノデアリ、又私ノ言フ通りニヤリマス、一ツ堤防ヲ拵ヘテ置キマスト大雨ガ降ツタ時ニハ其處デ貯水スルカラシテ、ソレ以下ノ水ヲ拵ヘテヤリマス工業用水モ尙ホ自由ニ拵テ來ルノデアリマスカラ、此ノ一ツノ仕事電力モ餘計出ル、水害モ防ギ得ル、早害モ防ギ得ル、工業動力モ之ニ依ツテ潤澤ニ供セラレルト云フ即チ一石四鳥ノ效果ヲ現ハスモノト私ハ考ヘルノデアリマス、何故ニ政府竝ニ實業家ハ斯クシテ目ヲ著ケテデアラウカト私共ハ考ヘテ居ル、特ニ大阪ヲ中心トシタル所ノ實業家ハ何ヲ今日マデ眠ツテ居ツタノデアリカト思フノデアリマス、アノ近江ノ湖水ハ周回ガ七十里アリ、ドレダケノ水ガ溜ツテ居リマスカ、是ハ私ハ計算ヲシテ居ラヌカラ能ク分リマセケレドモ、大シタ水ガ溜ツテ居ルノデアリ、外地ニハ一ツノ堤防ヲ拵ヘテ其ノ水ヲ流シテ六十万、キロノ動力ヲ出サヤウニナツテ居ル、アノ雨ノ降ラナイ所ヘ持ツテ行ツタダムヲ拵ヘル、サウ云フ金ガアツタナラバ、何故今日近江ノ湖水ノ水ヲ溜ツテ居ル

野君

昨年デシタカ、二十万圓内外ノ全國ノ水利資源ニ關スル調査費ガ計上サレタト記憶シテ居リマスガ、或ハ數字ハ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、免ニ角ソレ位ノ程度デアリ、琵琶湖ハ御承知ノ通りニ會テハ破水間題ヲ起シテ命懸ケノ大仕事ヲヤツタ博士ガアツタノデアリマシテ、而モ滋賀縣ノ人々ハ琵琶湖ガ空ニナツテ滋賀縣民ハ非常ナ窮乏状態ヲ招カスル處ガアルカラト言ツテ非常ナ反對ヲサレタ、併シ疏水ガ通リマシタ結果ドウナツタカト言フト、是ハ説明ヲスル必要ハナイノデアリマス、琵琶湖ハ滋賀縣民ガケノ所有デアリ、日本全體ノ幸福ヲ圖ルガ爲ニ神代ヨリ滋ヘラレタ實ノ水デアリマス、ドウカ政府ニ於カレマシテハ、早急ニ斯ウ云フ實ノ水ヲ利用スルコトヲ御考ヘ下サイ、サウシテ長野代議士ノ言ハレタ通りニ、内務省ノ方々ニ大體何時頃サウ云フ開發ヲナサレ御決心ガアルカ、又全國ノ湖沼ニ對シテドウ云フ態度ヲ御執リニナラカ、是モ附加ヘテ御説明ヲ煩ハシタイノデアリマス

○鶴見政府委員 御答致シマス、只今長野委員竝ニ中山議員カラ湖沼ノ利用ニ付テ洵ニ御熱心ナ趣旨御辯明ガアツタノデゴザイマスガ、私モ此ノ點ハ實ニ御同意デゴザイマシテ、三年前ニ濠洲ニ參リマシタ時ニ、濠洲ノ面積ハ日本ノ二十倍モゴザイマスカレドモ、人口ハ僅カニ日本ノ十分ノ一デ、東京一市位シカナイ、是ハドウ云フ譯デアリカ、アチラコチラヲ調ベモシ、其ノ中ヲ歩イテ見マシテ發見シタノハ、是ハ簡單ニ濠洲ニ雨ガナイト云フコトデアルト云フコトヲ知リマシテ、日本ノ國ノ雨ト云フモノガ、非常ニ大切ナ天然資源デアルト云フ

米、之ヲ幾ラ電力ニ利用シテ居ルカト言フト、三十四億立方メートル利用シテ居ナイ、アトノ十六億立方メートルハ唯其ノ僅放流シテ抛ツテ置イテ、知ラヌ額ノ半兵衛ヲ決メ込シテ居ル、是ガ實情デアリマス、而モ今日東京濱地方ノ川崎、何故近年大阪ノ工業ト云フモノガ發達サレル傾向ヲ示シタカト言フト、琵琶湖ノ水ヲ利用シナイト云フコトガ一大原因ヲ成シテ居ル、水力ナクシテ重工業ノ發達ハアリ得ナイノデアリマス、而モ神戶地方ニ於ケル水道ノ水ノ飢饉ト云フモノガ數年前カラ色々叫バレテ居リマスカ、是ハ御承知ノ通り三田ノ水源池ト云フモノガ非常ニ狹隘デアツテ、サウシテ神戶市民ヲ養フダケノ水ガ之ニ溜ルコトガ出來ナイト云フコトニ原因シテ居ル、此ノ琵琶湖ト三田ノ水源池ト比較シテ御考ニナツタナラバ、琵琶湖ノ水利ヲ開發スルコトハ當然ヤラナケレバナラヌ問題ナノデアリマス、サウシテ今度デモ斯ウシテ電力飢饉ガ起リマスト、ソラ石炭買收ダ、ソラ補助金ダト言ツテ、開相場ヲ肯定シテ買ツテ居ル、獎勵金ナシカト云フモノハ開相場ニ一公定相場ニ依ツテ得ベカリシモノニ、政府ガ民衆ノ膏ヲ絞ツテ出ス所ノ是ハ明ニ開取引ノ一種デアリマス、開取引ノ衣ヲ着セタ法案ト云フモノガ議會ニ現ハレテハ堪ツタモノデアリナイノデアリマス、ドウカ一ツ斯ウ云フ風ナ立場カラ、單ニ只今述ベマシタノハ琵琶湖ノ一例デアリマスガ、内務省ノ調査ニ依リマス所ノ現在水力電氣ノ起ルレテ居ル所ガ御困リニナルカラ、全國ノ湖沼ニ付テ一々ノ説明ハ申上ゲマセヌガ、鬼ノ角モ實ノ水ト云フモノハ全部放流サレテ居ル、一

モノヲ直チニ利用シテ發電シテ日本ノ工業ヲ盛ニセヌノデアリカト私ハ思フノデアリマス、實ニ是ハ間違ツテ居ル、日本ノ實業家ハ眠ツテ居ルト私ハ考ヘル、特ニ近畿地方ノ實業家ト云フモノハ何ヲシテ居ツタカト思フ位デアル、此ノ立派ナ水ガ溜ツテ居ルモノヲ利用セヌデ、昨年カラ此ノ春ニカケタヤウナ電力飢饉ガ參リマス、之ヲ以テ全ク政府ガ惡イヤウニ仰シタル、自ラ進んで斯ウ云フ採ルベキ途ガアルノニ、ソレヲ採ラヌデ置イテ今日ノヤウナ哀レナコトデアルト云フコトハ實ニ吾々ハ情ケナイコトデアル、是ハ政府モ實業家モ宜シク目ヲ覺マシテ大ニ一ツヤラナクチャイカスト思フ、而モソレヲ重點主義デヤラナケレバイカス、産業ノ一番盛ナ所ノ大キナモノヲ先ツ第一番ニ利用シテ、段々利用價值ノ多イ所ニ進ムヤウナ方法ヲ以テヤラナクテハイカスト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ吾々ハ單ニ全國ノ湖沼バカリデハナイ、有ニル河川ニ、ダムヲ造ツテ、サウシテ以上述べタ所ノ目的ヲ達スルヤウニシタイト云フ意味デ、此ノ案ヲ提出致シマシタノデアリマスカラ、ドウカ之ニ對スル政府ノ御意見ヲ承リタイト同時ニ、諸君ハ滿場一致御可決アラント希望致シマス

サレテ居ルカト言ウテ、色々當局ニ付テ實シテ見マス、是ハ全ク當局ノ方々ガ地方ノ事情其ノ他ノ色々ナコトニ拘泥サレテ、勇猛心ヲ起サレナイカラ、斯ウ云フコトニナルノデアリカト考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ先般、只今京都府知事ヲ致シテ居リマス所ノ赤松前土木局長ニ何故琵琶湖ノ水利開發ヲセスカト政府ノ方針ヲ質問シマス、餘リ騒イデ呉レルナ、餘リ騒イデ呉レルト竹槍ヲ突クサレル、斯ウ云フノデアリマシテ、是位ノ程度デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、何故突クサレテモ京阪神地方ノ重工業、舟楫ノ便、或ハ灌溉ノ利益ト云フモノヲ増サヤウニ肚ヲ決メテ、一日モ早く電力事業ナシカト云フモノノ完成ヲ圖ラナイカ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ今日御承知ノ通りニ電力飢饉ダト言ツテ大騒ギマシテ居ル、何時デモ雨ガ降ツテカラ傘ヲ買ヒニ走ルト云フノガ、日本ノ所謂官吏ト云ツタ、人民ニ對シテ麻ヲ拂ハセテ居ラレル方々、ヤラレルコトダ、私共遠慮ナク斯ウ申上ゲタイ、何デモ彼デモ机ノ前ニ坐ツテ威張り散ラヌノガ官吏ト考ヘテ居ラレル、官吏ノ本分ハ民衆ノ利益ヲ増進スル所ニ、官吏ノ面目ガ腫タルモノガアルト私ハ考ヘテ居ル、時勢ノ變轉ト共ニ、官吏ノ氣分ト云フモノハ相當變ヘテ載ク必要ガアルノデアリカ、是ハ私共見政府次官ガ居ラレマスカラ、殊ニ腹ヲ割ツテ遠慮ナク一ツ申上ゲテ、アナタノ透徹シタ頭カラ、ドウ云フ風ニ改メテ行クノダト云フコトヲハツキリ此ノ場合承ツテ置キタイ、而シテ琵琶湖ニハ一箇年ニ七十億立方メートル雨ガ降り注イデ居ルノデアリマシテ、貯水量ハ五十億立方

○中山議員 只今長野代議士カラ極メテ綿密ナル提案ノ理由ヲ御説明ニナリマシタノデ、私ガ今更ニ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイト思ヒマスガ、各位ノ御參考ノ爲ニ琵琶湖ノ問題ガ出テ居リマスカラ、一寸計數的ニ一言ダケ言ハセテ戴キマス、大體今長野代議士ガ仰シヤイマシタヤウニ、殆ド全國ノ湖沼ノ水利開發ト云フモノハ閉却サレテ居ルノデアリマシテ、何ガ故ニ斯様ニ閉却

○鶴見政府委員 御答致シマス、只今長野委員竝ニ中山議員カラ湖沼ノ利用ニ付テ洵ニ御熱心ナ趣旨御辯明ガアツタノデゴザイマスガ、私モ此ノ點ハ實ニ御同意デゴザイマシテ、三年前ニ濠洲ニ參リマシタ時ニ、濠洲ノ面積ハ日本ノ二十倍モゴザイマスカレドモ、人口ハ僅カニ日本ノ十分ノ一デ、東京一市位シカナイ、是ハドウ云フ譯デアリカ、アチラコチラヲ調ベモシ、其ノ中ヲ歩イテ見マシテ發見シタノハ、是ハ簡單ニ濠洲ニ雨ガナイト云フコトデアルト云フコトヲ知リマシテ、日本ノ國ノ雨ト云フモノガ、非常ニ大切ナ天然資源デアルト云フ

コトヲ痛切ニ感シタ一人デゴザイマス、隨テ此ノ兩方湖沼ニ流レテ落ちマスルノヲ此ノ儘利用セズニ置クト云フコトハ、洵ニ尊イ寶ヲ無駄ニ棄テルモノダト云フ點ニ付キマシテハ全然御同感デゴザイマシテ、全國ノ湖沼ヲ更ニ有効ニ利用シナケレバナラナイ、ト云フコトニ付テハ、全ク滿幅ノ御同感ヲ致スノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、内務省ニ於キマシテモ昭和十二年以來日本ノ六十四ノ河川ニ付テ河水統制調査ヲ始メマシテ、其ノ内十八河川ニ付テ只今既ニ調査ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ只今御話ニナリマシテは、湖沼ニ付キマシテハ、特ニ重要性ヲ認メマシテ、内務本省ニ於キマシテ直轄調査ヲ致シテ居リマス、殊ニ只今御指摘ニナリマシタマヒテハ、是ハ水運ノ上カラ考ヘマシテモ、或ハ灌溉乃至ハ水力電氣ニ之ヲ利用スル工業ノ上カラ考ヘマシテモ、洵ニ大切ナルコト云フコトハ御説ノ通りデアリマシテ、此ノ點ニ關シマシテハ、既ニ御承知ノヤウニ本省ニ於キマシテモ調査ノ事務ヲ數年前ヨリ開始致シテ居ルノデアリマスガ、只今モ御話ニナリマシタヤウニ、京阪神地方ノ工業上、水運上ニ必要ト同時ニ滋賀縣民ノ方々ニ取ツテハ洵ニ利害ノ密接ナル湖沼デゴザイマス、其ノ地方ノ影響ヲ考ヘ併セテ最モ理想的ナ案ヲ作ルコトノ必要ナル點カヲ致シマシテ、尙ホ十分調査ヲ進メナケレバナラスコト思フノデアリマシテ、是ハ漸次此ノ調査ヲ擴大致シマシテ、調査ヲ完了シ次第遂次財政上ノ許ス範圍内ニ於テ、御説ノ如クニ此ノ工事ヲ施行シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○釘本委員長代理 採決致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○釘本委員長代理 可決ニ決定致シマシタ

○釘本委員長代理 是デ内務省關係ノ議案ハ一應打切りマシテ、鐵道省關係ノ議案ニ移ルコトニ致シマス、尙ホ政府委員ノ都合モアリマスノデ、順序ヲ少シ變ヘマシテ、日程第九、即チ鳴門海峽鐵道敷設速成ニ關スル建議案ヲ上程致シマス、建議者ノ說明ヲ求メマス——紅露君

○紅露君 本建議案ノ趣旨ハ、建議案理由書ニ詳シク認メテ置キマシタカラ、煩ヲ避ケマシテ茲ニ之ヲ詳述スルコトヲ止メマスルガ、其ノ要旨ヲ一言ニシテ盡シマスレバ、我が徳島縣ヨリ鳴門海峽ノ海底ヲ橫斷、開鑿致シマシテ、鐵道敷設ニ依ツテ淡路島ニ出テ、路面鐵道ヲ以テ同島ヲ橫斷シ、更ニ海底鐵道ニ依リマシテ本土ニ達シ、神戸市或ハ大阪市、京都市、名古屋市等ノ諸大都市ニ達スル一大鐵道敷設ノ建設ニ政府ハ速ニ著手シテ戴キタイ、ト云フニアルノデアリマス、御承知ノ如ク我が國本土ト交通連絡ノ不便ナルコトハ、御旅行下サツタ方ハ何人モ認メル所デアリマシテ、専門家モ亦ハ何トカシナケレバナラスト云フテ居リマス、殊ニ鐵道省、内務省デモ、サウ云フ御意見ハアルト承ツテ居ルノデアリマスガ、マダ、實現ニ至ツテ居リマセヌ、從テ現在デハ神戸若クハ大阪、海路ヲ行クカ、或ハ山陽線ノ宇野、高松線ヲ利用スル以外ニハ方法ガナイノデアリマス、殊ニ今回ノ日支事變突發以來ト云フモノハ、

船腹ノ不足ニ依リマシテ、私共ノ郷里ナドカ、阪、神地方又ハ日滿支方面……所謂外地ニ物資ヲ輸送スル時ニハ、非常ナル不便苦痛ヲ忍ビ居ル狀態ナドデゴザイマス、若シ、現時ノ交通狀態ノ儘ニ放任致シテ置キマスナラバ、近イ將來ニ於テ交通、運輸上一大支障ヲ生ズルコトハ明白ナ事實ト思フノデアリマス、專門家モ亦之ヲ是認致シテ居リマス、申スマデモナク、今ヤ、我が日本ハ、東亞新秩序ノ建設ヲ目シテ、大陸經營ニ當ツテ居ル際デアリマス、將來日滿、支ト本邦トノ交通、運輸ノ益、頻繁ナラントスル點ヨリ觀マシテモ、此ノ鐵道敷設ノ必要ナルコトハ、説明ヲ要シナイト思フノデアリマス、殊ニ近時鐵道省ニ於カレマシテハ、四國ノ貨車ト云ハレテ居リマスル我が徳島縣ノ那賀郡、勝浦郡、海部郡ノ奥地山林、及ビ劍山ノ山麓一帶ニ路リマシテ、一大森林ノ開發、及ビ此ノ地方ノ諸山脈……殆ド全山全部ト云ハレテ居リマス中ニ、埋藏セラレ無盡蔵ト云言ハレテ居ル石灰石、其ノ他ノ諸礦物ハ實ニ豊富ナルモノガアルノデアリマス、此ノ軍需、民需ノ資源開發ヲ目的トスル所、森林鐵道ノ建設及諸願ガ、度々提出セラレマシテ、鐵道省ニ於カレマシテハ、此ノ森林鐵道——尤モ單ニ森林鐵道ト申シマシテモ委員各位ニハ御判リニナラナイカモ知レマセヌガ、之ハ我が徳島縣ヨリ、高知縣ノ大板ニ達スル路線ノコトデアリマシテ、此ノ鐵道ノ建設ニ關シマシテ、數年來、本省ニ於テハ、數回ニ互ツテ既ニ經濟調査ヲ了セラレマシテ、尙ホ、目下、各般ニ互リ御調査申デアルト、云フコトヲ同ツテ居ルノデアリマス、近キ將來ニ此ノ森林鐵道ガ實現致シマシタ曉ニ於

テ、只今ノヤウナ貧弱ナ海上運輸ノミデハ、到底是等ノ軍需、民需ノ物資ヲ本土方面及ビ大陸方面ニ輸送スルコトガ不可能デアルト云フコトハ、當然ノコトト思ヒマス、唯此ノ森林鐵道ニ關シマシテハ、二三ノ地方民方路線ノ爭奪ト申シマス、陳情ノ競争ヲ致シテ居ル事實アルノデアリマス、併シ、是ハ度々鐵道省對シ、私共ガ申上テテ居リマス如ク、又一部ノ縣民カラモ陳情致シテ居リマス如ク、全體カラ見テ、又四國全體カラ見テ、公平ニ適當ニ御決定ニ對シテ、決シテ不平、不滿ハ申サナイト云フコトヲ申シテ居ル地方モアリマスルシ、又目下私共モ折角努力中デアリマスルカラ、此ノ點ハ、鐵道省ニ御任セラシテ、鐵道省ノ公平、適當ナル御決定ガアレバ、之ニ對シテ全部ノ者ガ異議ヲ申サナイト云フ風ニ、一致サセ得ルコトヲ自信ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又縣民モ唯徒ニサウ云フヤウナ爭ヲスルコトヲ止メマシテ必ズヤ結局ノ目的達成ノ爲ニ、一致協力ノ上ヤツテ與レルヨウニナツテ來ルモノト、私共ハ、確信致シテ居ルノデアリマス、此ノ際此ノ點ヲ強ク進言致シテ置キタイト思フ次第デアリマス

〔釘本委員長代理退席、委員長著席〕

ソコデ趣旨辯明ガ、一寸森林鐵道ノ問題ニ飛ビマシテ、横道ニ外レマシタガ、更ニ本論ニ還ツテ、申上ゲマスガ、此ノ鳴門海峽鐵道敷設ノ必要ナルコトハ、國家ノ食糧政策ノ上カラモ斷言出來ルト思フノデアリマス、即チ御承知ノ如ク、本土ト九州、四國ニ付テ、見マスルニ、將來國家ガ太平洋ノ海面ヲドウシテモ利用シナケレバナラスト云フ

コトニ、ナツテ來レバ、四國ガ最モ重要ナ地位ヲ占メルト思ヒマス、ソレダノニ其ノ四國ガ、離レ島小ナ船舶ニ依ツテ、運輸、交通ガ行ハレテ居ルト云フコトハ、國家ノ食糧政策遂行ノ上カラ言ツテモ、非常ナ損失ヲ云フコトハ言ヒ得ルト思フノデアリマス、更ニ又日本ノ國是トシテ、南進政策ヲ將來ナルコトニナルカモ知レナイガ、其ノ場合ニハ、ドウシテモ四國ガ其ノ基地ニナルト云フコトハ、地理上カラモ、私ハ斷言シ得ルト思フノデアリマス、尙ホ軍事上カラ見マシテモ、將來若シ米國或ハ英國ト云フ方面ト、何等カ交渉關係デモ、持ツト云フヤウナコトニナレバ、是亦四國、九州ハ非常ニ重要ナ地點ト相成ルノデアリマス、幸ヒ本省ニ於カレマシテハ關門陸道鐵道ニ御著手ノコトデアリマス、此ノ軍事上ノ必要カラ見マシテモ、是非共、此ノ本土ト四國ヲ連絡スルコトヲ本件陸道鐵道ハ必要デアラウト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、更ニ進ンデ開鑿ニ要スル費用ノ點カラ色々研究致シテ見マシタガ、專門家ノ意見ヲ徵シマスルニ、大體二千萬圓内外デ出來上ルノデナナイカト云ハレテ居ルノデアリマス、次ニ海底ノ地質ノ點ヲ研究シテ見マシタガ、鳴門海峽ノ海底ハ岩磐ヲサウデアリマシテ、多少開鑿ニ時日ハ要スルカモ知レマセヌガ、工事中ニ崩壞スルト云フヤウナ憂ハ絶對ニナイサウデアリマス、却テ關門陸道ノ開鑿ヨリモ工事ノ進捗ガ早イノデナナイカ、ト云フコトモ承ツテ居ルノデアリマス、唯若ク干預難デハナイカトスル所ハ、鳴門、即チ淡路ト徳島縣トノ間ハ、割合ニ海底ガ淺イガ、淡路ト兵庫縣若クハ大阪府トノ間ガ、若干

深イカラ、ドウカト云フ點デアリマス、ガ、是モ目下進行中ノ關門陸道鐵道ノ建設工事ニ比較シテ安易デアルト云フコトモ同ツテ居ルノデアリマス、或ハ此ノ戰時下ニ於テ二千萬圓内外ト云フヤウナ巨費ヲ投スルコトヲ如何カト云フ應念モアルノデアリマスガ、申上ゲルマデモナク先年政府ハ、丹那鐵道ノ工事ニ御著手ニナリマシタ際ニ最初ノ御設計ハドウ云フ譯デアツタカ知リマセヌガ、途中、難工事ニ遭遇シマシテ、十數年ノ長年月ト三千數百萬圓ノ巨費ヲ投ジテ遂ニ完成セラレタデアリマス、私共ガ當時鐵道省部長カラ同ツタ所ニ依リマス、是ダケノ巨費ヲ投ジテモ、數年ナラズシテ、此ノ經費ハ回收ガ出來ル、價ヒ得ラレルノダト云フコトヲ同ツタデアリマス、斯ウ云フヤウナ事實ト、比較對照致シマシテモ、此ノ陸道鐵道ハ經費ノ點カラハ何等願慮スル必要ハナイ、斯様ニ私ハ素人ナガラ考ヘテ居ルノデアリマス、是非此ノ陸道鐵道當局ニ於カレマシテ十分御研究願ヒタインデアリマス、更ニ私ハ政府ニ對シテ警告ト申シマスカ注意ヲ喚起シテ置キタイト思ヒマス點ヲ一點申述ベ、又委員各位ノ御參考ニ供シタイト思フノデアリマス、ソレハ外デモゴザイマセヌガ、從來我が國ハ、政治上、經濟上、財政上ハ勿論、産業上、教育上、文化的設備等ニ關シテ國家ノ爲ス一切ノ諸施設ニ付テハ、常ニ冷遇サレテ居リマシテ、不公平ヲ取扱フ受ケテ居ルノデアリマス、茲ニ一例ヲ申上ゲマスナラバ、私八十年以來、吾ガ國ニ國立大學ガナイカラ、是非國立大學ヲ設置シテ戴キタイト云フコトヲ、叫ビ續ケテ參ツタデアリマス、ソシテ政府ニ於カレマシテモ、私ノ此ノ主

張ヲ御認ニナリマシテ、各地方ニ、國立大學ヲ設置シテ、其ノ地方ニ即シテ教育ヲ施サウト、云フコトヲ御決メニナツタデアリマス、ソレダノニ余、何處ニ設置スルカト云フコトニナリマス、人口僅カニ二十萬内外ニ過ギナイ、四國ノ都府タル徳島市ヨリモ、本市ノ名古屋市ニモ、大學ガ無イカラ、名古屋市ノ方ガ、先願位チヤナイカ、云フノデ、御承知ノ如ク昨年名古屋市ニ綜合大學ガ設置セラレマシタガ、十年モ前カラ私ガ叫ビ續ケテ來マシタ、四國ノ國立大學ハ遂ニ、オミットサレテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風デ、數ヘ來レバ、幾ラデモアルノデスガ、又例ヘバ、西日本ニ高等水産學校ガ無イカラ四國ニ是非設立シテ貴ヒタイト云フノデ私ハ十年以來主張シ續ケテ參リマシテ、本院ニ於テモ度々建議案ガ御可決ニナツテ居リマス、此ノ頃承ル所ニ依ルト文部省デハ、四國ヨリモ、九州ノ方先ニスルノガ順序チヤナイカ、ソシテ若シ九州ト云フコトニナレバ徳島市ヨリモ、長崎市ノ方先願位チヤナイカト云フノデ、是モドウモ難色ガアルラシイコトヲ聞クノデアリマス、尙ホ又鐵道ノ問題ニ致シマシテモ、サウデゴザイマス、即チ現在、一國文化ノ中心ヲ成ス所ノ路面鐵道ノ建設ニ付テモ、私ハ是迄再三再四、吾ガ四國ノ循環鐵道ヲ一日モ速ニ建設シテ貴ヒタイト云フコトヲ、鐵道省ニ要望シタノデス、恐ラク何十回タルカ知リマセヌ、所謂百度ヲ踏ンデ居ルノデアリマス、然ルニ鐵道當局ハ斯様ニ仰セラレルノデス、即チ、此ノ四國循環鐵道ハ既ニ徳島縣、南方マデ行ツテ居ルノダカラ、アトハ僅カニ三里カ五里ノ所ダガ、ドウモアスコノ工事ハ却テ難工事

デアルトカ、或ハ比較的ニ物資ガ少イトカ、所謂經濟線デナイト云フノデ、ドウモ難色ガアツタノデス、ソコヘ持ツテ來テ、今回ノ日支事變ノ物資ニ伴ヒマシテ鐵道ノ他ノ物資ガ不足シマシタ爲ニ、行儀シテ居ツタノデアリマス、幸ニ、數日前ノ本建議委員會ニ於キマシテ、鐵道當局カラ、牟岐線ノ日和佐及ビ牟岐間ハ目下工事進捗中デアラ、十五年度中ニハ、開通サセマスト云フカラ、海部郡ノ南方數箇町村ヲ經テ、高知縣ノ室戸ニ至ル所ノ線路ハ、建設路線ニ入ツテ居ルノデアルカラ、政府ノ財政ノ許ス限リ成ベク早ク著手スル考デアルト云フヤウナ、御言明ヲ得マシテ安心致シテ居リマス、四國殊ニ高知縣ノ南部及ビ吾ガ徳島縣ノ南部位、鐵道ニ惠マレテ居ナイ所ハ日本全國ニモアリマセヌ、北海道、樺太、臺灣以下デゴザイマス、政府ハ此ノ經濟路線デナイト云フヤウナコトヲ仰セラレマス、ソコニ斷定ハナカク、出來ナイモノデス、ソコニ建設局長モ御出デニナル故、御承知ノコトト思ヒマスガ、或ハ運輸局長デナイト直接御存ジハナイカモ知レマセヌガ、實ハ私ノ出身郡デアリマス、那賀郡ニ古庄驛ト云フノガアリマス、是モ數年前ニ、經濟路線デナイト云フノデ、貨物驛トシテ殘スコトニ非常ナ難色ガアツタノデアリマス、併シ、一タビ此ノ驛ヲ殘シテ見マシタ所、無論此項軍需景氣ニ依リ材木ノ運輸ト云フコト盛ンデハアリマス、鐵道當局ノ御見込ヨリ、多ク翌年ニハ五十倍ニ達シマシタ、今日デハ貨物ノ運賃ハ恐ラク御見込ノ百倍ニ達シテ居リマセウ、ダカラ鐵道省ガ四

國ヲ旅行スル所ノ、此ノ路線ヲ經濟線ナ
イト仰セラレマスケレドモ、此ノ古庄驛ノ
貨物運賃ノ結果カラ見マシテモ、鐵道省ノ
御見込モ運賃トモアルノデアリマス即チ
百倍ニモ達スル所ノ運賃及ビ貨物ノ集荷
ラウト云フヤウナコトハ一寸考ヘラレナイ
コトデアリマス、由來鐵道省ノ、經濟調査
ト大袈裟ニ申サレマスケレドモ、實ハ、其
ノ地方ノ町村役場トカ經濟團體ト云フヤウ
ナ所ノ調査ヲ御參考ニセラレテ決定サレタ
モノト思ヒマスルカラ、ドウカ、鳴門鐵道
鐵道建設ト相俟ツテ、四國ノ循環鐵道及森
林鐵道モ一日モ速ニ著手シテ戴キタイ、ト云
フコトヲ、切望スルノデアリマス、ソレカ
ラ尙ホ此ノ際モウ一點申述ベキコトハ、
御承知ノ如ク近年、政府ハ交通機關自動車
或ハ其ノ他ノ交通運輸ニ付テモ法案ハ總テ、
內務省、殊ニ土木局ト重大ナル關係ガアル
ノデ、共同提案ヲシテ居ラレドモ、デアリマ
スカラ、此ノ際本案ニ對スル鐵道及ビ內務
兩省ノ御意見方何ヘレバ、洵ニ結構ト思フ
ノデアリマス、サウシテ委員各位ニ於カレ
テハ此ノ惠マレザル四國、殊ニ徳島縣ノ物
資開發及ビ交通運輸ノ不便ヲ改善スルト云
フ意味ニ於キマシテ、滿場一致可決アラ
ンコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 此ノ場合一寸申上ゲマス、
段々議事モ延ビマシタカラドウゾ政府委員
モ簡明瞭ニ御答願ヒマス、又建議者諸君
モ簡明ニ趣旨ヲ御述べ下サルヤウニ御願致
シマス

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

道ガ多クデアリマスカラ、一タビ旅行シ
テ見マスレバ直チニ諒解セラレドモ、デアリ
マスガ、旅行者ハ汽車ノ煤煙ノ爲ニ非常ニ
惱マサレテ居ルノデアリマス、衛生的ニモ、
又旅行ノ愉快サト云フ點カテ考ヘテ見マシ
テモ、是非トモ此ノ地方ヲ電化スルト云フ
必要ガアルト思フノデアリマス、第四ハ東
北地方ニ於ケル電力ノ利用ハ將來ノ重大問
題デアリマシテ、産業ノ發達上或ハ工場ニ
於テ或ハ農村ニ於テ極メテ必要ナルデアリ
マス、其ノ地方ヲ開發スルニ於キマシテ
モ、交通ナドノ便ヲ極度ニ發達セシメナケ
レバナリマセヌ、斯様ナ觀點カラ見テ、東北
地方ノ電化ト云フ問題ハ獨リ鐵道ノミナラ
ズ、東北振興策ノ上カラモ最モ重大問題デ
アリマス、是等ノ點ニ關シマシテ極メテ簡
單ニ一言御説明申上ゲタイト存ジマス、
御承知ノ如ク東北地方ハ山岳地帯デアリマ
シテ、此ノ地方ヲ通ジテ居ル鐵道ハ險道ガ
多イバカリデナク、旅行者ニ對シマシテ
非常ノ不快ノ念ヲ起サセ、衛生的ニモ、惡
イノデアリマス、之ヲ電化シテ石炭ヲ使
用シナイト云フコトニ致シマスレバ、洵ニ喜バ
シイ現狀トナルノデアリマス、而モ東北地方ノ
鐵道ノ電化ト云フコトハ衛生上ノ問題バカ
リデナク、今日ノ如ク石炭ノ不足ヲ解決ス
ル有力ナル役割ヲ演ズルコトトナルノデア
リマス、更ニ鐵道ノ電化ニ依リマシテ此ノ
沿線地方ノ電化ヲ實現セシメマシテ、新興
産業ハ固ヨリ農村ノ電化ヲモ實現シ得ルノ
デアリマス、今日東北地方ハ其ノ振興ノ爲
ニ一生懸命努力ハ致シテ居ルノデアリマス
ルガ、御承知ノ如ク耕地面積約百万町歩、
此ノ耕地カラ極メテ優秀ナル米ヲ生産シテ
居ルノデアリマス、又四百五十万町歩ノ

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○大島政府委員 鳴門海峽鐵道ニ依ツテ、
本州ト四國ノ連絡ヲ結ビ付ケルト云フコト
ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ、
是マデハ考ヘタコトハナカウツノデアリマ
ス、

○服部英明君 鐵道敷設法別表ノ第六十一號ニ依ル熱海下田線ハ昭和十六年度マデニ敷設ヲ完成スル豫定デアリマシタガ、政府ハ財政上ノ都合ニ依リ、伊東下田ニ至ル敷設ヲ延期シテ未ダ其ノ工事ニ著手セザル次第デアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○大島政府委員 伊東下田間ハ豫定線デアリマシテ、五十六議會デ既ニ建設線ニ編入シタコトモアルデアリマス...

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○大島政府委員 伊東下田間ハ豫定線デアリマシテ、五十六議會デ既ニ建設線ニ編入シタコトモアルデアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○大島政府委員 伊東下田間ハ豫定線デアリマシテ、五十六議會デ既ニ建設線ニ編入シタコトモアルデアリマス...

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○服部英明君 鐵道敷設法別表ノ第六十一號ニ依ル熱海下田線ハ昭和十六年度マデニ敷設ヲ完成スル豫定デアリマシタガ、政府ハ財政上ノ都合ニ依リ、伊東下田ニ至ル敷設ヲ延期シテ未ダ其ノ工事ニ著手セザル次第デアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

○大島政府委員 伊東下田間ハ豫定線デアリマシテ、五十六議會デ既ニ建設線ニ編入シタコトモアルデアリマス...

○土田莊助君 東北ニハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ一ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ二ハ三ツノ鐵道線ガアリマス、其ノ三ハ三ツノ鐵道線ガアリマス...

○齋藤委員長 日程第七、東北地方ノ鐵道網特ニ橫濱線ノ整備促進ニ關スル建議案、第一〇四號——提出者土田莊助君

飯田ヨリ分岐致シマシテ三留野ニ至ル鐵道ノ一部ニ該當致シテ居ルノデアリマス、且ツ是等四ツノ鐵道ハ運輸系統カラ見マシテモ相當重要性ヲ有スル路線デアリコトハ只今提案者ノ御説明ノ通りデアリマス、併シ買収ニ關シマシテハ諸般ノ實情ニ付キマシテ、今後篤ト研究調査ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス

○中區委員 尙本國營移管ト云フコトヲ申シマシタノデアリマスガ、併シ身延鐵道ノ先例モアリマスノデ、鐵道省デ委任經營ヲシテ下サルト云フコトニナツテモ一向差支ナイノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ當局ノ御考慮キヲ願ヒタイト存スルノデアリマス

○齋藤委員長 本案ヲ可決スルニ御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一〇、土讚線土佐山田驛ヨリ徳島縣牟岐線ニ連絡スル鐵道敷設ニ關スル建議案——紅露君

○紅露君 極メテ簡單ニ趣旨辯明ヲ致シタイト存ジマス、大體理由書ニ認メマシタ通りデアリマス、唯政府委員ニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ、本建議案ハ數回御可決ニナツテ居ルノデアリマスガ、先程モ鳴門海峡鐵道敷設速成ノ時ニ一言申上ゲタヤウニ、此ノ路線ニ付キマシテハ私共徳島縣ニ於テ各地カラ其ノ起點ニ付テ鐵道省ノ方ヘ色々競争的ニ請願陳情致シテ居ルノデアリマス、最近縣民モ非常ニ目覺メマシテ、鐵道省ノ御裁定ニ御委セスルト云フコトニスツカリ纏ツテ居ルノデアリマスガ、唯小松島ヲ起點トスルモノト、橋

ヲ起點トスルモノト、日和佐町ヲ起點トスルモノト、ソレカラ古庄驛ヲ起點トスルモノト云フ風ニ分レテ居リマスガ、是ハ私共折角今努力中デアリマスルノデ、早晚全部ガ一致致シマシテ鐵道省ノ方ヘ御願ニ出ルコトト思ヒマスルカラ、ドウカ御懸念ナク十分御調査ノ上、鐵道省ノ公平ナル又適當ナル御判斷ニ依リマシテ、是非トモ近イ將來ニ御建設御完成下サランコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス、幸ヒ建設局長モ才居デノコトデアリマスカラ、此ノ際政府ノ御意見方何ハレバ結構ト思フノデアリマス、何卒前回同様滿場一致御可決アラシコトヲ切ニ御願致ス次第デアリマス

○大島政府委員 本案ノ中土佐山田、巖野ノ間ハ敷設法豫定線ニナツテ居リマスルコトハ提案者ノ御説明ノ通りデアリマス、殘リノ巖野カラ牟岐線ニ至リマスル連絡線ハ豫定線ニナツテ居ラヌノデアリマスガ、今後十分研究シテ、又比較調査モシテ見タイト思フノデアリマス

○紅露君 今ノ政府委員ノ御説明ハ一寸違ツテ居リマス、ソナレバ建議案デハゴザイマセカ、一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○齋藤委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サシ、本建議案ハ延期致シマス——次ハ日程第一三、國部後山間鐵道豫定線建設速進ニ關スル建議案——山川君

○山川君 此ノ鐵道ノ建議ハ國部後山間豫定線第七十八號デゴザイマスルガ、此ノ鐵道ハモウ古イ時代カラ色々ト運動モゴザイマシタシ、御調査モ測量モ六回程出来マシタ、斯ウ云フ鐵道ガ殆ド四十年間其ノ儘ニナツテ居テ未ダニ建設ヲ見ナイデ放ツ

デアリマス、是ハ地方ニ運動力ガナイカラデアツクノデアリマス、只今ハ此處ニ省營ノ自動車ガ運轉サレテ居ルノデアリマス、所ガ是ハ洵ニ回數モ少ク、時ニ依ルト乘客ノ半分位ヨリ乗セナイデ放ツテ行クト云フ狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス、本線ノ地理ハ御承知下サツテ居リマス通り、從川溪流ト、ソレカラ播州ノ加古川溪流ノ二ツノ線方兩方カラ分水嶺ニ寄ツテ來テ居ル所デアリマス、此ノ兩溪流ヲ此ノ線ヲ沿ウテ一ツノ鐵道方最後ニ殘ツテ居ル、僅ニ三三哩位ダラウト思ヒマス、ナゼコソ短イ鐵道アルカト申シマス、後山ヨリ後山町マデ後山輕便鐵道ガ出來テ居リマス、ソレカラ國部マデデゴザイマスカラ、十三哩カソコラデアラウト考ヘテ居リマス、是ハ素人考分リマセカ、ソレカラ此ノ鐵道線豫定シテ居リマスル所ハ、昔カラ京都ノ西門ト云フ所デゴザイマシテ、四道將軍丹波道主命ガ山陰ノ鎮撫スル爲ニ才越シニナツタノモ此ノ道デアリマシテ、丁度此ノ鐵道ノ沿線ニ道主命ノ立派ノ御墓ガアル譯デアリマス、ソレカラ後ニ足利尊氏モ大兵ヲ率キテ二回マデ此處ヲ往復シテ居リマス、又源義經ノ轡越モ此處ヲ通ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ近クハ西園寺公方維新ノ時ニ山陰鎮撫總督トシテ福住ニ駐兵サレテ、此處デ七ツノ大名ガ降伏致シテ、此處デ軍旅ヲ整ヘテ山陰鎮撫ノ大任ヲ遂ゲラレタト云フコトデアリマス、斯ウ云フヤウニ京都ノ西門トシテ緊要ナル所ノ自然ノ交通路デアツタノデアリマス、是ハ先程申シタ通り、淀川ト加古川トノ二ツノ溪流ガソコニ入ツテ居リマ

シテ、日本ノ脊梁山脈ノ中デ、山脈ガ東西ニ分レテ、ソコニ平野ガ續イテ居ルト云フ所ハ此處ヨリ外ニハナイノデアリマス、所謂關平野、後山平野ヲ經テ播州平野ニ至ツト連絡ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ僅カ十三哩サヘ繋イデ貫ツタラバ、京都ト後山トガ直通スル譯デアリマス、大阪神戶ニ廻リマス、弓ノヤウナモノデアアル、弓ニ對スル弦ノヤウナ線デアリマス、モウ僅カ十三哩デゴザイマスカラ、之ヲ繋イデ貫キマシタラバ、京都カラ山陰線ノ國部驛ニ出ル、其處カラ自動車線ヲ十三哩繋イデ貫ツタラバ、後山町驛ニ出、後山町驛ヨリ輕便鐵道ヲ後山驛ニ行クニハ東西ニ汽車ガ走ツテ居ル、福知山線ハ、南ヲ大阪ヨリ、北ノ舞鶴ニ達スル線デアアルニ拘ラズ、此ノ間ハ東ト西トニ向ツテ走ツテ居ル、其ノ西ノ端ノ谷川カラ播州鐵道ガアル、其ノ播州鐵道ガ加古川ニ續イテ居ル、其ノ加古川ニ通ジテ居ル野村驛、或ハ西驛驛ト云フ所カラ後山驛ニ達スル線ガ豫定線八十三號デアリマス、此ノ八十三號ノ線ト此ノ七十八號ノ二ツノ線ヲ建設シタラバ、京都驛路所謂京阪線ガ完成スル、是ガ出來ルト、昭和九年或ハ十三年ノ風水害ノ如キ災害ノ時ニ、六甲山系統ノ日本ニ二箇所シカナイ脆弱ナル三千尺ノ山ヲ持ツテ居ル兵庫縣、此ノ阪神間ノ交通ニハ常ニ水害ノ爲ニ非常ナル障害ヲ來シ、我國ノ中樞デアル交通機關ハ常ニ脅サレテ、全然用ヲ爲サヌト云フ期間ガ非常ニ長カツタノデアリマス、其ノ時ハ山陰線ヲ通ジテ福知山ニ廻ツテ、是ガ後山間ニ達シ、又和川

モ客ハ半分降リテシマフ、雙方ノ驛デ半分ニナツテシマフ、其ノ間ヲ繋グノハヤハリソレダケノ客ガアルト云フコトガ立派ニ示サレテ居ルコトダラウト思フノデアリマス、地方ト致シマシテハ、後山ニ驛隊ガアル位ナコトデアリマスルガ、是ハ確カニ山陽線ト東海道線ノ貨客ノ輻輳ヲ整理按配シ、又一朝災害ノ時ニハ回避線トシテ效用ヲナスノ重要ナル路線ガ僅カノ切斷テ棄テ置カレテ居ルト云フコトヲ非常ニ惜シト思ヒマスルノミナラズ、吾々其ノ沿線ニ住ンデ居リマスル者ハ、殆ド四十年ノ歴史ノ間、是ガ建設セラレシコトヲ希望致シマシテ今日マデ來タノデアリマス、只今ヨリ十年程前マデハ私モ年々議會中ニ此ノ運動ヲ鐵道省ニモ度々致シマシタ、是ニハ私モ財産ヲ傾ケル程一度ハ力ヲ入レタノデアリマスケレドモ、建設ガ延期サレマシテ以來力ヲ落シテシマツテ、運動モ何モセサウニナリマシタ、私ガ止メマシタ爲ニ他ノ者モ止メタヤウナコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ経緯ガアルト云フコトヲドウカ御認識下サイマシテ、一日モ早ク此ノ路線ヲ速成ヲ御願致シマスル次第デゴザイマス、ドウソ宜シク御願致シマス、ドウカ委員各位ニ於カレマシテモ、御當局ノ御説明ヲ承ツテ戴キマシテ、御賛成下サランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○大島政府委員 本區間ハ只今提案者ノ御説明ノ通りデアリマシテ、五十六議會ニハ建設豫定線ニ編入サレタノデアリマスガ、五十九議會ニ豫算ノ都合デ削除致シタ線デアリマス、此ノ沿線ニハ幾多ノ村落モアリマスシ、又碓石ナドノ産出或ハ林産物モ相當豐富アルコトハ能ク承知致シテ居ルノデ

山ニ至リ、和田山ヨリ姫路ニ達スル迂回線ヲ通ツテ山陽線ニ連絡ヲ付ケナケレバナラヌ有様ニナツテ居リマスコトハ、私共ガ申上ゲストモ専門家ノ皆様方ハ能ク御承知ノコトト思ヒマス、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ十三哩サヘ御建設下サルト、姫路ニ直通スル、コソナ安クテ完成スル所ガ切レタ儘放ツテアル、是ハ全然地方ニ運動力ガナイカラデアリマス、モウ一ツハ、此ノ事變ノ爲ニ、或ハ日露戰爭日清戰爭ノ時ニモ、大阪神戸ト云フ所ハ、非常ニ貨客ノ輻輳地デアリマス、此ノ輻輳地帯ニ對スル一ツノ安全線デアアル回避線トナル大變大キナ效用ヲ有シテ居ルモノデアアルト思フノデアリマス、鐵道ニ於ケル色々ノ御計畫ハ吾々ニハ分リマセカケレドモ、一朝事有ツタ時ニハ、是ガ非常ナル效用ヲ爲ス所ノ線ト思フノデゴザイマス、所ガ是ハ以前ニ一度豫算ヲ御計上下サツタ、ソレハ四百六万何千圓ト云フモノガ計上サレタノデアリマス、所ガ其ノ後我國ノ財政ガ行詰ツタ爲ニ、日本國中ノ鐵道ヲ外シタリ延バシタリシテ、打切ラレタガ爲ニ、ソレカラ後方精力今日ニ及ンデ居ル、此ノ沿線ハ今申ス通り、隨分必要ナル路線デアアルガ爲ニ、今貨客ヲ自動車ガ運ビ切レナイ、省營自動車ガ用ヲ爲サヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ドウカ之ヲ御建設願ヒマスト京都姫路間ヲ直通スルコトニナリマス、ソレカラ京都ヨリ國部マデハ別ニ「ガソリンカー」デ倍程走ツテ居ル、ソレカラ又大阪カラ福知山ニ達スル分三田マデハ列車ハ五割程餘計運轉シテ居ル、後山降リルオ客サンノ數ハ、半分以上六割マデ後山降リテシマフ、京都カラ國部ニ達スル分

モ客ハ半分降リテシマフ、雙方ノ驛デ半分ニナツテシマフ、其ノ間ヲ繋グノハヤハリソレダケノ客ガアルト云フコトガ立派ニ示サレテ居ルコトダラウト思フノデアリマス、地方ト致シマシテハ、後山ニ驛隊ガアル位ナコトデアリマスルガ、是ハ確カニ山陽線ト東海道線ノ貨客ノ輻輳ヲ整理按配シ、又一朝災害ノ時ニハ回避線トシテ效用ヲナスノ重要ナル路線ガ僅カノ切斷テ棄テ置カレテ居ルト云フコトヲ非常ニ惜シト思ヒマスルノミナラズ、吾々其ノ沿線ニ住ンデ居リマスル者ハ、殆ド四十年ノ歴史ノ間、是ガ建設セラレシコトヲ希望致シマシテ今日マデ來タノデアリマス、只今ヨリ十年程前マデハ私モ年々議會中ニ此ノ運動ヲ鐵道省ニモ度々致シマシタ、是ニハ私モ財産ヲ傾ケル程一度ハ力ヲ入レタノデアリマスケレドモ、建設ガ延期サレマシテ以來力ヲ落シテシマツテ、運動モ何モセサウニナリマシタ、私ガ止メマシタ爲ニ他ノ者モ止メタヤウナコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ経緯ガアルト云フコトヲドウカ御認識下サイマシテ、一日モ早ク此ノ路線ヲ速成ヲ御願致シマスル次第デゴザイマス、ドウソ宜シク御願致シマス、ドウカ委員各位ニ於カレマシテモ、御當局ノ御説明ヲ承ツテ戴キマシテ、御賛成下サランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○大島政府委員 本區間ハ只今提案者ノ御説明ノ通りデアリマシテ、五十六議會ニハ建設豫定線ニ編入サレタノデアリマスガ、五十九議會ニ豫算ノ都合デ削除致シタ線デアリマス、此ノ沿線ニハ幾多ノ村落モアリマスシ、又碓石ナドノ産出或ハ林産物モ相當豐富アルコトハ能ク承知致シテ居ルノデ

○齋藤委員長 次ハ日程第一二、徳島縣經治原、穴吹間鐵道敷設ニ關スル建議案——提出者三木武夫君

○三木武夫君 本建議案ノ要旨ハ、徳島縣經治原、穴吹間鐵道敷設ニ關スル建議案——池田線ノ間ニ穴吹驛マデ鐵道ヲ敷設サレタイト云フノデアリマス、此ノ經治原ト穴吹間ニハ阿波郡ト云フ郡ガ存在致シマシテ、其ノ阿波郡ハ産業的ニ見マシテモ、米、麥、斯ウ云フモノガ、相當收穫量ノアル徳島縣ニ於ケル産業地帯デアアルノデアリマス、所ガ未ダニ鐵道ノ便益ヲ受ケテ居リマセカカラ、斯ウ云フ物資ヲ運搬スルニ

シテモ、尙車或ハ「トラック」ノ如キモノニ依ツテ漸ク其ノ不便ヲ忍ビシテ居ル狀態デアリマス、而モ其ノ阿波郡ニハ幾ツモノ川ガアリマス爲ニ、少シ洪水デモアツタ場合ニハ他村落トノ連絡ヲ断タカユナ場合ガアリマスシ、又一方徳島、池田線ニ連絡ガアルト云ツテモ、吉野川ヲ隔テテ居リマシテ、此處ニハ完全ナ橋ガ架カツテ居ラナイデ假橋ガアルダケデアリマス、所ガ洪水ノ時ニハ其ノ假橋ハ直グ流サレテシマツテ、産業的ニモ或ハ日常ノ交通ニモ、阿波郡ノ人達ハ非常ニ交通上不便ヲ蒙ツテ居ル爲ニ、議會ノ度ニ建議案トシテ出テ居ルノデアリマスカラ、今日ノ時局ニ直チニ敷設ヲ致スト云フコトモ、資料ノ關係デ困難トハ思ヒマスルケレドモ、最モ重要ナル路線ノ一ツデアルト思ヒマスノデ、政府當局ノ之ニ對スル御意見ト、同時ニ委員諸君ノ御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○大島政府委員 本區間ハ敷設法ノ豫定線ニハナツテ居ラス線デアリマス、今後能ク考究シテ見タイト思フノデアリマス

○三木武夫君 是ハ昨年モ建議案トシテ可決ニナツテ居ルノデ、何カ御調査ガ出來テ居ルト思ヒマスガ、若シ出來テナケレバ至急御調査ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ドウモ調査ヲサレナイト、此ノ路線ニ對スル認識モ深マラスト思ヒマスノデ、一應ノ御調査ヲ速ニセラレシコトヲ要望致シマス

○大島政府委員 圖上デハ一應調査ヲ致シテ居リマスガ、マダ實際ニ當ツテ調査ヲ致シマセカ、適當ニ研究シテ見タイト思ヒマス

○齋藤委員長 本案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセカ

同ヒマシテ皆様ノ御賛成ヲ得タイト存ジマス
 ○梶原説明員 我國ノ御茶ガ重要ナ貿易品ト致シマシテ、殊ニ現在ノヤウナ時局下ニ於テ國際貨價ノ改善上、非常ナ貢獻ヲ致シテ居リマス同時ニ、國民ノ衛生方面ニモ多大ノ役割ヲ致シテ居リマスコトハ御説ノ通りニ存スルノデアリマス、當局ト致シマシテモ、輸出ノ振興、新販路ノ擴張等ニ付キマシテハ、種々方策ヲ講ジテ參ツテ居ル譯デアリマス、唯現在ノ農林省ニ於キマスル茶ニ關シマスル行政ノ機構竝ニ中央、地方ヲ通ジマス茶ニ關係致シマスル試驗場ノ施設ト云フモノハ、決シテ十分トハ言ヘナイ實情ニアリコトヲ承知致シテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ御説ノ通りニ新規ノ製品ヲ作り出す、優良ナ茶ヲ作り出すト云フ意味合カラ致シマシテ、財政ノ許ス限リ出來ルダケ是等ノ施設ヲ整備擴充致シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ府縣ナリ或ハ各團體ニ於キマスル技術員、指導員等ニ付キマシテハ、ドウシテモ優秀ナル技術員ガ指導ヲ擔當致シテヤラナケレバナラヌ譯デアリマスガ、之ニ對シマスル助成等ノ方法ガ現在講ゼラレテ居ラナイ譯デアリマス、今後トモ財政ノ許ス範圍ニ於キマシテ、茶業ノ技術員ノ指導等ニ付キマシテ考究致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○齋藤委員長 本案ニ御異議アリマセスカ
 ○齋藤委員長 可決致シマス
 ○齋藤委員長 次ハ商工省所管ニ移リマス、日程第四七、印刷用紙ノ増産配給ニ關スル建議案——提出者山田清君

○山田委員 本建議案提案ノ理由ヲ申上ゲマス、印刷工業ハ社會機構ノ樞軸ヲナス所ノ緊要工業デアリマスニ拘ラズ、現在此ノ工業ハ所謂一種ノ平和産業トシテ時局産業ノ外ニ置カレ、諸種ノ抑壓制限ヲ受ケツツアルノデアリマス、而モ事業ノ性質上自ラ他ノ平和産業ト異リマシテ、軍需、官需、或ハ報道機關トシテ、或ハ又諸教育知識ノ普及等、有ニル事業ノ先驅ヲ爲シ、時局ト密接ノ關係ヲ有スル重要事業デアリマスカラ、物動計畫ニ依ル産業地位ヲ改メラレタイト云フノガ其ノ第一點デアリマス

○齋藤委員長 本案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ
 ○齋藤委員長 御異議ナシト認メマス、可決致シマス
 ○齋藤委員長 日程第四五、鶏卵ノ適正價格制定ニ關スル建議案——提出者岡本實太郎君
 ○岡本實太郎君 近頃養鶏ノ飼料ガ非常ナ拂底ヲ致シマシテ、是ガ爲ニ人間ノ食料ノ粗トカ或ハ麥、更ニ進ンデハ玄米ナドヲ牛馬或ハ鶏ニハサウデアリマス、養鶏事業ノ飼料ハ糞ニ同僚立川君カラ建議モ出サレタヤウデアリマスガ、大體輸入ヲ主トシテ居ツタノデアリマス、ソレガ事變ニ依リマシテ大分減ジタノデアリマス、殊ニ苞米ヲ中心トシテ是ガ拂底ヲ致シタ、隨テ完全飼料、是ハ肥料デ申セバ配合肥料ト申シマスガ、飼料デハ各種ノ原料ヲ配合シテ飼料ニスルノヲ完全飼料ト言ヒマス、此ノ完全飼料ヲ作ル配合ニ非常ナ不便ガアリマス、隨テ各種ノ飼料ノ價格ト云フモノガ夥シク暴騰シタ、先ツ品拂底ノ結果ハ間取引或ハ賣惜ミ、買溜等デ大分偏在ガ出來マシタ、ソレデ遂ニ極ヤ玄米マデモ與ヘルト云フコトニナツタノデアリマシテ、斯ウナルト到底現在公定サレマシタ公定卵價デハ收支相償ヒマセス、其ノ結果養鶏事業ハ昨年ノ夏以來漸次衰微致シマシテ、現ニ産卵シツアルモノヲ淘汰シナケレバナラス、斯ウ云フ運命ニナリマシテ賣物ガ市場ニ澤山現ハレル、何分口ノツイテ居ルモノデアリマスルカラ始末ニ困リマス、隨テ價格モ非常ニ暴落致シマシテ、是ガ爲ニ今日デハ養鶏業ガ三四

○山田委員 本建議案提案ノ理由ヲ申上ゲマス、印刷工業ハ社會機構ノ樞軸ヲナス所ノ緊要工業デアリマスニ拘ラズ、現在此ノ工業ハ所謂一種ノ平和産業トシテ時局産業ノ外ニ置カレ、諸種ノ抑壓制限ヲ受ケツツアルノデアリマス、而モ事業ノ性質上自ラ他ノ平和産業ト異リマシテ、軍需、官需、或ハ報道機關トシテ、或ハ又諸教育知識ノ普及等、有ニル事業ノ先驅ヲ爲シ、時局ト密接ノ關係ヲ有スル重要事業デアリマスカラ、物動計畫ニ依ル産業地位ヲ改メラレタイト云フノガ其ノ第一點デアリマス

○齋藤委員長 本案ニ御異議アリマセスカ
 ○齋藤委員長 可決致シマス
 ○齋藤委員長 次ハ商工省所管ニ移リマス、日程第四七、印刷用紙ノ増産配給ニ關スル建議案——提出者山田清君

○山田委員 本建議案提案ノ理由ヲ申上ゲマス、印刷工業ハ社會機構ノ樞軸ヲナス所ノ緊要工業デアリマスニ拘ラズ、現在此ノ工業ハ所謂一種ノ平和産業トシテ時局産業ノ外ニ置カレ、諸種ノ抑壓制限ヲ受ケツツアルノデアリマス、而モ事業ノ性質上自ラ他ノ平和産業ト異リマシテ、軍需、官需、或ハ報道機關トシテ、或ハ又諸教育知識ノ普及等、有ニル事業ノ先驅ヲ爲シ、時局ト密接ノ關係ヲ有スル重要事業デアリマスカラ、物動計畫ニ依ル産業地位ヲ改メラレタイト云フノガ其ノ第一點デアリマス

○齋藤委員長 本案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ
 ○齋藤委員長 御異議ナシト認メマス、可決致シマス
 ○齋藤委員長 日程第四五、鶏卵ノ適正價格制定ニ關スル建議案——提出者岡本實太郎君
 ○岡本實太郎君 近頃養鶏ノ飼料ガ非常ナ拂底ヲ致シマシテ、是ガ爲ニ人間ノ食料ノ粗トカ或ハ麥、更ニ進ンデハ玄米ナドヲ牛馬或ハ鶏ニハサウデアリマス、養鶏事業ノ飼料ハ糞ニ同僚立川君カラ建議モ出サレタヤウデアリマスガ、大體輸入ヲ主トシテ居ツタノデアリマス、ソレガ事變ニ依リマシテ大分減ジタノデアリマス、殊ニ苞米ヲ中心トシテ是ガ拂底ヲ致シタ、隨テ完全飼料、是ハ肥料デ申セバ配合肥料ト申シマスガ、飼料デハ各種ノ原料ヲ配合シテ飼料ニスルノヲ完全飼料ト言ヒマス、此ノ完全飼料ヲ作ル配合ニ非常ナ不便ガアリマス、隨テ各種ノ飼料ノ價格ト云フモノガ夥シク暴騰シタ、先ツ品拂底ノ結果ハ間取引或ハ賣惜ミ、買溜等デ大分偏在ガ出來マシタ、ソレデ遂ニ極ヤ玄米マデモ與ヘルト云フコトニナツタノデアリマシテ、斯ウナルト到底現在公定サレマシタ公定卵價デハ收支相償ヒマセス、其ノ結果養鶏事業ハ昨年ノ夏以來漸次衰微致シマシテ、現ニ産卵シツアルモノヲ淘汰シナケレバナラス、斯ウ云フ運命ニナリマシテ賣物ガ市場ニ澤山現ハレル、何分口ノツイテ居ルモノデアリマスルカラ始末ニ困リマス、隨テ價格モ非常ニ暴落致シマシテ、是ガ爲ニ今日デハ養鶏業ガ三四

第七十五回帝國議會 院 建議委員會 議錄(速記) 第八回

(三〇五)

昭和十五年三月二十一日(木曜日)午前十時
十分開議
出席委員左ノ如シ

- 委員長 齋藤 直橋君
- 理事 釘本 衛雄君 理事 濱地 文平君
- 長野 高一君 田代 正治君
- 則元 卯太郎君 山田 清君
- 川崎 末五郎君 庄司 一郎君
- 大野 一造君 河合 義一君
- 長野 綱良君 中原 謙司君
- 中川 重春君 野方 次郎君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 內務政務次官 鶴見 祐輔君
- 內務參事官 青山 憲三君
- 北海道廳長官 戸塚 九一郎君
- 專賣局長官 花田 政春君
- 陸軍參事官 宮崎 一君
- 海軍參事官 小山 邦太郎君
- 文部政務次官 子爵 舟橋 清賢君
- 文部省實業學務局長 岩松 五良君
- 文部省宗教局長 松尾 長造君
- 農林書記官 梶原 茂嘉君
- 馬政局長官 村上 富士太郎君
- 商工參事官 喜多壯一郎君
- 商工省纖維局長 辻 謙吾君
- 商工省振興部長 妹川 武人君
- 燃料局長官 東 榮二君
- 厚生參事官 飯村 五郎君
- 厚生省衛生局長 林 信夫君
- 厚生省社會局長 新居 善太郎君
- 保險院總務局長 佐藤 基君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

- 議員原 玉重君 議員大石 大君
- 議員土田 莊助君 議員深澤 吉平君
- 議員原口 初太郎君 議員愛野 時一郎君
- 議員井上 良次君 議員川俣 清吾君
- 議員內藤 正剛君 議員世耕 弘一君
- 議員守屋 榮夫君 議員加藤 敏造君
- 議員服部 崎市君 議員高橋 壽太郎君
- 議員樋口 善右衛門君 議員川崎 巳之太郎君
- 議員林 平馬君 議員小笠原 八十美君
- 議員椎尾 辨匡君
- 本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ
- 內務省所管
 - 一 印章ノ製作保管販賣ニ關シ取締令制定ニ關スル建議案(原玉重君提出)(第四〇號)
 - 二 大分熊本兩縣道ノ國道編入ニ關スル建議案(綾部健太郎君外二名提出)(第五二號)
 - 三 地方自治體財政調整中央金庫設置ニ關スル建議案(大野伴睦君提出)(第五六號)
 - 四 樞原神社宮崇祀向上ニ關スル建議案(福井甚三君提出)(第一二二號)
 - 五 高知縣久万川改修ニ關スル建議案(大石大君提出)(第一二七號)
 - 六 國政委任事務增加ニ對スル國庫負擔金増額ニ關スル建議案(塚本重藏君提出)(第一三三號)
 - 七 中小河川改修ニ關スル建議案(三善

信房君外二名提出)(第一四〇號)

- 八 東北地方道路交通網整備ニ關スル建議案(土田莊助君外二名提出)(第一四一號)
- 九 北海道資源開發ニ關スル建議案(山本厚三君外十三名提出)(第一四八號)
- 一〇 官幣大社宗像神社境域復興ニ關スル建議案(原口初太郎君提出)(第一五四號)
- 一一 軍需品等輸送ノ爲澁川低水工事ヲ年度制繼續事業ト爲スノ建議案(川崎末五郎君提出)(第一五六號)
- 一二 九州炭移出港ニ關スル建議案(愛野時一郎君外二名提出)(第一五九號)
- 一三 九州國道網完成ノ爲二十五號線事業速成ニ關スル建議案(愛野時一郎君外二名提出)(第一六〇號)
- 厚生省所管
 - 一四 勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案(井上良次君提出)(第一七號)
 - 一五 勤勞者住宅建設計畫ノ擴充促進ニ關スル建議案(井上良次君提出)(第一八號)
 - 一六 鑛山従業員ニ厚生保險及年金制度創設ニ關スル建議案(川俣清吾君外一名提出)(第三〇號)
 - 一七 浴場法制定ニ關スル建議案(內藤正剛君外二名提出)(第九七號)
 - 一八 理容師營業取締ニ關スル建議案(世耕弘二君提出)(第一二〇號)
 - 一九 水上生活者アパルト建設ニ關スル

建議案(河野密君提出)(第二二五號)

- 二〇 治療師法制定ニ關スル建議案(守屋榮夫君外十二名提出)(第一三五號)
- 二一 脊椎骨調整醫師法規制定ニ關スル建議案(栗山博君外二名提出)(第一五〇號)
- 商工省所管
 - 二二 石炭ノ國家管理ニ關スル建議案(加藤敏造君外二名提出)(第三二號)
 - 二三 纖維配給機構改善ニ關スル建議案(倉元要二君提出)(第七五號)
 - 二四 タバコ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(村上紋四郎君外一名提出)(第九二號)
 - 二五 六大都市及主要都市ニ於ケル小賣白米檢査制度確立ニ關スル建議案(服部崎市君提出)(第九三號)
 - 二六 纖維配給機構改善ニ關スル建議案(服部英明君提出)(第一〇九號)
 - 二七 木炭公定價格改訂ニ關スル建議案(坂本宗太郎君外四名提出)(第一一一號)
 - 二八 纖維ノ迅速圓滑ナル需給方策樹立促進ニ關スル建議案(坂本宗太郎君外四名提出)(第一一二號)
 - 二九 有機質肥料ノ價格適正化ト其ノ公平ナル配給ニ關スル建議案(高田耘平君外二名提出)(第一五二號)
 - 三〇 亞炭利用ノ實驗研究ニ關スル建議案(高橋壽太郎君外二名提出)(第一五五號)

ニ數千萬圓ノ國費ヲ投ジテ居ルノデアリマ
スガ、東北ニハ北海道ト同様ナ地帯ニアリ
ナガラ全然此ノ政府ノ助成ガナイ爲ニ、今
日殆ド取殘サレタ形ト相成ツテ居ルノデア
リマス、而シテ東北ニハ幾多ノ資源ガ埋藏
サレテ居リマスケレドモ、此ノ開發ハ全ク
道路ニ依ラナケレバナラスノデア
リマスガ、鐵道關係カラ見マシテモ東北ノ
鐵道ハ殆ド其ノ全體ノ要求ヲ滿スヤウナ施
設ニ現在ナツテ居ラスノデアリマス、最近
東北振興計畫ガ樹立サレマシテ、著々電力
或ハ工場ノ誘致ト云フコトガ今實現ノ緒ニ
就イテ居ルノデアリマスガ、此ノ鐵道ノ
輸送力ノ不足、道路ノ不完備ノ爲ニ資材ヲ
運搬スルニ大ナル支障ヲ感ジテ居ルノデア
リマス、仍テ政府ニ於カレマシテモ十分御
調査ニ相成リマシテ、此ノ東北振興計畫ト
相俟ツテ道路計畫ノ樹立ハ最モ急務中ノ急
務デアルト云フコトヲ御認メ下サレタ結果
ト致シマシテ、先ツ以テ國道ノ大橋梁ハ
之ヲ一ツノ例ニ取ツテ見マスルト、國道五
號線ニ於キマシテハ數千萬圓ノ橋梁ハ大體
完成ノ域ニ達シテ居ルノデアリマス、殘サ
レタ問題ハ此ノ路面ノ改修ガ最モ重要ナル
コトト相成リマシテ、其ノ方ノ御調査モ略
結了サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ
斯ノ如ク戰時下ニ於テ財政ノ關係上之ヲ若
シ萬一ニモ中止サレルヤウナコトガアリマ
スルト、折角政府ガ今マデ色々計畫シ、又
東北振興ノ爲ニ工場誘致ヲシ、又電力會社
ヲ設置致シマシテモ、此ノ道路ノ不完備ノ
爲ニ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ結果
ト相成ルノデアリマスカラ、此ノ際他ノ方
面ハ差障リマシテモ、先ツ第一ニサウ云フ
地帯ニ對シマシテハ速ニ道路ノ效用ヲ十分

發揮セシムルヤウニ鋪裝或ハ橋梁ノ架替等
ニ對シマシテ十分御努力アラハシコトヲ私共
ハ建議致シマシテ政府ノ所信ヲ承リ、各員
ノ御審議ヲ願フテ御決定アラシコトヲ御願
ヒ致ス次第デアリマス
○鶴見政府委員 東北地方ノ道路ガ天候ナ
ドノ關係上他府縣ニ比シマシテ特ニ劣惡デ
アリマシテ、是ガ改良ハ東北地方振興上洵
ニ重大ナル要素デアリコトハ政府モ特ニ認メ
テ居ル所デアリマス、隨テ東北振興ノ趣
旨ニ則リマシテ、年々改良鋪裝工事ヲ致シ
テ居ルノデアリマシテ、明年度ノ豫算ニモ
約二百萬圓ヲ計上シテ居ル次第デアリマス、
併シナガラ是デハ尙ホ十分トハ考ヘテ居ラ
ナイノデアリマシテ、尙ホ將來財政ノ許ス限
リ其ノ進捗ヲ圖ルコトト致シタイト考ヘテ
居ルノデアリマス、例ヘバ秋田縣内町カ
ラ秋田市ニ通ジマスル五號國道ノ如キモ亦
昭和十二年度以降濱川橋、萬石橋ノ架替ヲ
致シ、秋田市内ノ鋪裝ヲ完成致シマシテ殘
餘ノ期間ニ付キマシテモ、將來財政ノ許ス
限リ成ベク速ニ全面的改良ヲ致シタイと思
フテ居リマス
○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ
御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 之ヲ可決致シマス
○齋藤委員長 次ハ日程第一、軍需品等
輸送ノ爲ニ濶川低水工事ヲ年度制繼續事業ト
爲スノ建議案、提出者川崎君ノ說明ヲ求メ
マス
○川崎委員 此ノ建議案ハ年々實ハ御願シ
テ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ内務當
局或ハ大藏當局デモ此ノ事業ノ性質自體ハ

能ク御承知願フテ居ルノデアリマス、隨ヒ
マシテ豫算ニ於キマシテモ、毎年單年度デ
豫算ハ組マレマシテ、本年モ若干増額ハ見
テ居ルノデアリマスガ、何分此ノ事業ハ、
地方ト致シマシテモ、從來、洪水豫防ノ點カ
ラ申シマシテモ、又京阪間ノ水運ノ便ヲ圖ル點
カラ申シマシテモ、極メテ重要ナルモノデ
アリマシテ、隨ヒマシテ此ノ事業促進完成
ノ一日モ速ナラシコトヲ地方トシテハ希望
致シテ居ルノデアリマス、ノミナラス此ノ
事業以來頗ニ京阪間ニ於キマスル運輸ノ關
係ニ於キマシテモ變化ヲ來シテ參リマシタ、
從來京阪ニ於キマシテハ、鐵道ハ勿論デア
リマスガ、ソレヲ補フ爲ニ「トラック」ニ依
テ運輸ガ頻リニ利用サレテ居リマシタガ、
是ガ「ガソリン」ノ消費額制ノ爲ニ非常ニ窮
屈ニナリマシテ、大量ノ高バツタモノヲ而
モ低廉ノ運費ヲ京阪ノ間ノ運輸ノ便ヲ圖ル
ト云フノニ殘サレタノハ、此ノ濶川ヲ利用
シテノ京阪ノ運輸、是ガ最モ必要デアリ、
是ガ殘サレタ唯一ノ交通運輸ノ便ニナツテ
居ルノデアリマス、ノミナラス宇治ノ火藥
庫、或ハ牧方ニ於キマスル火藥庫、或ハソ
レニ關聯致シマシテ陸軍ニ於テ所管致シテ
居リマスル軍需工廠ノ爲ニ益、石炭其ノ他大
量重運物ノ水運ニ依ル輸送ト云フコトガ重
要ナル地位ヲ占メテ參リマシタ、斯様ナ意味
カラ申シマシテモ、是非ハ早クヤツテ貫
ヒタイ、從來年々ヤツテ居リマスケレドモ、
是ハ單年度デアリマス爲ニ、今年ハ豫算ガ
アツテモ來年ドウナルカト云フ懸念ガアリ
マス爲ニ、地方民ハ勿論ノコト、此ノ仕事
ニ當ツテ居ル内務ノ土木當局者ニ於キマシ
テモ當ニ其ノ點ニ於テ事務上ノ支障ヲ感ス
ルヤウナ狀態デアリマス、私共ト致シマシ

テハ、此ノ事業ハ國家の見地カラ見マシテ、
又地方的ニ見マシテモ、今申シマシタヤウ
ナ理由デ重要ナル一ツノ事業デアリ、而モ是
ノ促進完成ヲ圖ルコト云フコトハ時局柄最モ
緊要ナルコトト思ヒマスノデ、是非ハ繼續
年度トシ、而モ年度制モ可及ニ短縮致シ
マシテ一ツ促進ヲ圖ツテ戴キタイ、斯ウ云
フ趣旨ナノデアリマス、一應内務當局ノ之
ニ對スル御見解ヲ伺ヒマシテ、御可決ノ程
ヲ御願致シマス
○鶴見政府委員 御答致シマス、濶川ノ低
水工事ガ最近ノ京阪間ノ工業上ノ發展ニ伴
ヒマシテ益、其ノ必要ヲ増シテ居ルコト云フコ
トハ、政府ニ於テモ痛感ヲ致シテ居ル次第
デアリマスノデ、昭和八年以來只今御話ノヤ
ウニ單年度豫算トシテ國ノ直轄ノ下ニ既ニ
七箇年間ニ工費百六十二萬六千圓ヲ支出シ
テ施行致シテ居リマス、又本工事ヲ繼續事
業トシテ施行スルノ必要デアリコトハ政府
モ認メテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル
計畫モアルノデアリマスケレドモ、之ヲ實
行致シマスコトハ、國庫財政ノ許ス場合デ
ナケレバ直チニ實行モ致シ難ナル譯デアリ
マスカラ、將來是ガ可能ニナリマシタ場合ハ
ハ、御趣旨ノ通りニ繼續事業トシテ施行シ
タイ、是ガ爲ニ十分ノ努力ヲ致シタイト考
ヘテ居ル次第デアリマス
○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ
御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 可決致シマス
○齋藤委員長 日程第一、官幣大社宗像
神社境域復興ニ關スル建議案——提出者原
口初太郎君

○原口初太郎君 官幣大社宗像神社境域復
興ニ關スル建議ノ趣旨ハ理由書ニ明ニ致シ
テ置キマシタガ、此ノ建議ハ大正十二年及
ビ昭和十二年ノ二回ニ互リ本院ニ於テ可決
セラレテ居ルノデアリマスガ、今日マデ復
興ニ著手セラレマセズ、而シテ荒廢益々
シクナリマシタノデ、茲ニ三たび建議ヲ致
シタ次第デアリマス、簡單ニ神社ノ現狀
ニ付キマシテ若干ノ說明ヲ致シマシテ御參
考ニ供シタイト存ジマス、最近國民ノ間ニ
宗像神社ニ對シ奉ツテ天孫奉助ノ御精神ノ
認識ガ高マリマシテ、神域内ニ於テ精神修
養會等ガ續々催サレマシテ、御神徳ヲ景仰
致シテ居リマス、而シテ天業實ヲ大精神
ニ生キントスル者ガ多クナリマシタコトハ
國家ノ爲ニ洵ニ心強ク感ゼラレル次第デア
リマス、然ルニ田島村ニ鎮座マシマス邊
津宮デサヘ御神殿初メ悉ク腐朽甚シク、洪
水ノ際ニハ神域内ニ浸水ガ甚シイ、斯ウ云
フヤウナ有様デアリマシテ、洵ニ恐懼ニ
堪ヘヌ次第デアリマス、中津宮ノ御神殿ノ
腐朽、雨漏リ、沖津宮ノ荒廢ハヒドクゴザ
イマシテ、千古ノ神祕的聖域ノ風致ハ、色
色ノ原因——是ハ一寸申上ガ兼ヘマスガ、
沖津島ニ色々ナコトガゴザイマシテ、種々
ノ原因ノ爲ニ著シク此ノ千古ノ神祕的風致
ガ損ゼラレテ居リマス、是モ洵ニ遺憾ノ極
デアリマス、今々皇紀二千六百年ヲ迎ヘ、
興亞ノ聖業完遂ニ邁進スル時デアリマス、
而シテ彼ノ日露戰爭ニ於ケル日本海會戰ノ
大勝ヲ玄海洋上ノ一小孤島ニ於テ御加護ヲ
賜ハリマシタ沖津宮ノ御神威ヲ回想致シマ
シテモ、政府ハ一日モ速ニ神域復興ヲ實行
セラレマシテ、御神慮ヲ慰メ奉ラルルコト
ヲ祈ル次第デアリマス、以上簡單ニ說明

ヲ附加致シマシテ、委員各位ノ御參考ニ供
シ、是非トモ御賛成可決ヲ賜リマシテ、尙
ホ政府ハ速ニ復興ニ御着手アラシコトヲ祈
ル次第デアリマス
○鶴見政府委員 御答致シマス、本社社殿
ノ大部分ノ建築ガ相當年代ガ古クナツテ居
リマス爲ニ、近年一部ノ社殿ハ修築セラレ
マシタケレドモ、尙ホ主要ナル建築物デア
ラマシテ、白蟻ノ被害、其ノ他ノ破損腐朽ノ個
所モ非常ニ多イコトハ政府モ承知致シテ居
ルノデアリマシテ、又境域モ只今御趣旨ノ
御說明ニゴザイマシタヤウニ可ナリ荒廢ヲ
致シテ居ル、旁、以テ此ノ兩社ヲ現狀ノ儘ニ
拾テ置キ難キモノト認メテ居ルノデアリマ
ス、隨テ之ヲ國費ヲ以テ修築整備致シマス
コトハ、甚々必要ト思ヒマスガ、一方ニ
於キマシテ財政ノ關係モアリマスノデ、此
ノ點モ十分考慮致シマシテ、適當ノ時期ニ
於テ成ベク速ニ之ヲ實施致シタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス
○原口初太郎君 只今政府當局ノ懇切ナ御
答辯ニ満足致シマスガ、實ハ此ノ宗像神社
附近ニハ深山ノ官幣社其ノ他ノ神社ガゴザ
イマシテ、サウシテ此ノ一番由緒尊イ宗像
神社ノ狀態ガ實ニ悲慘ナモノデアリマス、
此ノ事ヲ十分ニ政府モ一ツ御含ミ下サイマ
シテ、著手タケテモ宜シウゴザイマスカラ、
一日モ早ク御願致シマス
○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ
御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 可決致シマス
○齋藤委員長 ソレデハ日程第一、浴場
法制定ニ關スル建議案——提出者内藤君

○内藤正剛君 今般稅制改革ニ伴ヒマシテ
浴場營業ハ國稅ニ移管セラレタノデアリマ
ス、從來ハ地方稅デアリマシタ、幸ナ時デ
モアリマスカラ浴場法ヲ制定シテ戴キタ
イト思フノデアリマス、即チ浴場ノ營業ノ
取締ニ付キマシテハ各地方長官ノ權限ニ委
ネラレテ居リマス府縣令ヲ以テ、取締規定
ガ發布サレテ取締ハサレテ居リマスガ、大
體ノ標準ハ略、一致シテ居リマス、併シナガ
ラ府縣ニ依リマシテ方針ガ區々ニ互ツテ全
國的ニ統一ガアリマセズ、又從來ノ取締規
定ハ浴場營業者ガ対象トナツテ居リマ
ス爲ニ、浴場營業者以外ノ浴場、即チ共同
浴場、或ハ各種ノ接客業者ノ設置致シテ居
リマス浴場、サウ云フヤウナモノニ對シ何
等ノ取締ガアリマセズ、放任ノ狀態デアリ
マスカラ、衛生上ハ勿論、防火及ビ風紀ノ
上ニ於テモ重大ナル缺陷ヲ生ジテ、頗ル憂慮
スベキ傾向ニアルコトハ識者ノ夙ニ認メテ
居ル所デアリマス、即チ是等浴場ニ對シマ
シテモ相當ノ取締ヲ施スコトノ必要ヲ痛感
致ス次第デアリマスカラ、全國統一的ノ法
令ヲ制定シ、凡ソ浴場ト稱スベキモノニ對
シマシテハ、其ノ營業者タルト、公共ノ設
備、又ハ個人ノ私設ニ係ルモノタルトヲ問
ハズ、統制方針ヲ確立シ、以テ適當ノ取締
ヲ施スコトハ目下ノ急務デアリナイカト思ヒ
マスカラ、此ノ浴場法ノ制定ヲ建議致シタ
次第デアリマス、何卒御可決アラシコトヲ
切望致シマス
○鶴見政府委員 内務省トシテノ意見ヲ申
上ゲマス、浴場營業ノ經營如何ハ實ニ保健
衛生上ニ至大ノ影響ヲ及ボスバカリデハナ
ク、保安風紀上ニモ密接ナル關係ヲ持ツテ
居ルモノデアリマスコトハ建議ノ御趣旨ノ

通りデアリマス、隨テ地方廳令ヲ制定致シ
マシテ、浴場ノ構造、設備、營業ノ方法ナド
ニ關シマシテ各種ノ取締制限ヲ加ヘテ參
テ居ル次第デアリマス、又營業ニ供シナイ
浴場デアリマシテモ、只今御說明ノゴザイ
マシタヤウニ、衆人ヲ入浴セシムルモノデ
アリマス、營業浴場ト同様ノ弊害ヲ伴ヒ
マスカラ、概ネ營業浴場ニ準ジテ取締ヲ實
施シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ目下ノ
制定ニ關シマシテハ、別段考慮致シテ居ラ
ナイノデアリマスケレドモ、本案ノ御趣旨
ニ對シマシテハ、洵ニ御尤モデアルト存ジ
マスルカラ、今後十分研究ヲ重ネマシタ上
デ善處致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス
○齋藤委員長 ソレデハ本建議案ハ可決ス
ルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 御異議ナイモノト認メテ可
決致シマシタ
○齋藤委員長 ソレデハ政府委員ノ都合
デ、又内務省所管ニ戻リマシテ、日程第一
二、九州炭移出港ニ關スル建議案、提出者
愛野時一郎君ノ說明ヲ求メマス
○愛野時一郎君 九州炭移出港ニ關スル建
議案デアリマスガ、九州炭ト云ヒマシテモ、
筑豐方面ノ移出港ニ付テハ現在既ニ大體相
當ナル施設ガ行ハレテ居ルヤウデアリマス、
私ガ今日申上ゲタイノハ、特ニ佐賀炭田ノ
コトデアリマス、此ノ佐賀炭田ハ今マデサ
ウ重要視サレテ居ルカウツノデアリマスガ、
ココ數年來何十億ト云フ非常ニ大キナ埋
藏量ノアルコトガ發見サレマシテ、今續々

ト炭礦ガ新規又ハ古イモノデアツテモ擴張サレルト云ツクヤウナ意味合デ、盛ニ生産擴充ニ急イデ居ルヤウナ次第デアリマス、現在此ノ炭ハ大體唐津港ノミニ依ツテ移出致シテ居ルヤウナ始末デアリマス、ガ、京阪其ノ他ノ日本ノ主要工業地帯ニ海路ヲテ行ク場合ハ、大體唐津港ニ依ツテ居ツタデアリマス、私ガ今日主トシテ建議致シタイノハ、唐津港ノ擴大ト、同時ニ有明海内ニ住ノ江港ト云フノガアルノデアリマスガ、此ノ港灣ハ少シ位ノ經費ヲ相當ナ設備ヲヤツタト同ジヤウナ效果ヲ擧ゲ得ル良港ナラバデアリマシテ、之ニ相當ナ施設ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フノガ本建議案ノ趣旨デアリマス、此ノ住ノ江港ハ六角川ノ下流デアリマシテ、極メテ此ノ水深ハ深イノデアリマス、併シ有明海ノ性質上、干満ノ差ガ甚シイノデアリマシテ、潮ガ引イタ時ハ、割合ニ大キイ船ヲ入レルコトガ出来ナイトサレテ居ルノデアリマスガ、少シ位ノ經費ヲ相當大キナ船ヲ入ルコトガ出来ルヤウニ直グ爲シ得ルノデアリマス、其ノ證據ニハ三井物産ノ所有船ガケハ、有明海ガ、潮ガ引イタ時デモ、此ノ海底ガ極メテ粘土質ノ泥濘デアアル爲ニ船腹ヲ傷メナイモノデアリマスカラ、相當大キナ船ヲ現在デモ入レテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ云フ點カラ申シマシテモ、少シノ經費ヲ極メテ積載量ノ大キイ船ガ入ルコトガ出来ルダラウト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、而モ此ノ上流デアアル所ノ大町、ソレカラ現在計畫サレテ居リマス砥川ノ炭礦、更ニ北方ニ計畫サレテ居リマス炭礦、是等ノ炭礦ガ今年ノ半バ頃完成致シマスレバ、恐ラク此ノ住ノ江港カラ積出シテ、大阪或ハ東京

方面ニ持ツテ來得ル可能性ガ、約三百万噸位ノ巨額ニ上ルノデアリマシテ、極メテ國策上重要ナル意味合ヲ持ツモノデアリカト私ハ考ヘルノデアリマスカラ、特ニ建議致シタヤウナ次第デアリマス、其ノ點ニ付テ當局ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○勸見政府委員 最近時局ノ關係カラ致シマシテ、九州ガ産業上ニ重大性ヲ増シテ參ツタコトハ、政府トシテモ十分認メル所デアリマシテ、只今御趣旨ニモゴザイマシタヤウニ、九州ノ石炭ヲ生産擴充ノ爲ニ使フコトノ必要性ハ十分考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ九州炭ノ出炭港ト致シマシテ、唐津ト住ノ江ノ此ノ二ツノ港ヲ修築スルコトモ大切ナコトト十分考ヘルノデアリマス、仍テ將來國庫財政ノ許容スル限リ、適當ニ之ヲ考慮シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○愛野時一郎君 今政府委員ノ好意アル御答辯ヲ受ケタノデアリマスガ、出來ルダケ至急ニ實現スルヤウニ御取計ヒ願ヒマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一三、九州國道網完成ノ爲ニ二十五號線事業速成ニ關スル建議案 提出者愛野時一郎君

○愛野時一郎君 此ノ建議案モ大體先程申上ガマシタ佐賀炭ノ掘出ニモ影響スルノデアリマスガ、特ニ此ノ二十五號線ハ國策上極メテ重要ナ線デアリマス上ニ、佐賀縣ト致シマシテハ、全ク心臓部デアリマス、隨テ交通極メテ頻繁ナ所デアリマス、先程

モ申上ガマシタヤウニ、此ノ二十五號線ノ沿線ニハ幾多ノ炭礦ガアル、隨テ此ノ沿線ハ殆ド繁ガツタ市街地ト云ツテモ宜シイ程度ノモノデアリマス、トトラツクノ交通、バインノ交通、或ハ自轉車、徒歩者極メテ多サレマシテ、時局柄トハ言ヒナガラ極メテ遲タトシテ工事ガ少シモ拂ツテ居ナイノデアリマス、途中ニ於テ交通ヲ中斷セラレテ居ル爲ニ只今申上ガマシタヤウニ各方面カラ見マシテ、生産擴充ノ方面カラ見マシテモ、又徒歩者ノ迷惑其ノ他縣民ノ迷惑スルコトガ、其ノ範圍ガ廣イト大キイノト困ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、而モ此ノ二十五號線ノ一日モ早く完成スルコトハ、縣民一同ノ熱望スル所デアリマス、現在以上ニ豫算ヲ餘計取ラレテ急遽ニ一ツ完成ヲ御願シタイト云フノガ建議ノ趣旨デアリマス、現在ハ僅カク佐賀、武雄間ノ線ニ十萬圓程度出テ居ルヤウデアリマスガ、十萬圓程度ハ洵ニドウモ物價騰貴ノ折柄人件費モ騰貴致シテ居リマスシテ、拂ラナイハ尤モト思フノデアリマシテ、モツト豫算デモ澤山御取リニナツテ急遽ニ完成シテ載キタイ、斯ウ云フ御願デアリマス

○勸見政府委員 只今御建議ニ相成リマシタ佐賀市ヨリ武雄町ニ通ジマス延長二十六「キロ」八分ノ道路ニ關スル件ハ、既ニ御承知ノ如ク昭和十二年度カラ工費百五十萬圓ヲ以テ五箇年續續事業トシテ起工シタモノデアリマス、然ルニ其ノ後財政上ノ都合ノ爲ニ一部ノ線ヲ見マシタコトハ、提案者ト同様ニ政府トシテモ洵ニ遺憾ト致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ今後財政ノ許容スル限リハ速ニ實施シナケレバナラヌ道

路デアルト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、十分御趣旨ニ副ヒマスヤウニ是ガ完成ヲ期スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○愛野時一郎君 當局ノ誠意ナル御答辯ヲ承リマシテ、是ヨリ以上申スコトモアリマセスケレドモ、一日モ早くモツト急遽ニ完成致シヤウニ特ニ御願致シテ置キマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 然ラバ之ヲ可決致シマス

○守屋榮夫君 本建議案ノ趣旨ハ理由書ニ記載シマシタ通り、治療師ニ對スル免許制ト、治療師公會認制トニ關スル中央法規ヲ制定サレタイト云フノデアリマス、同様ノ建議案ガ昨年モ本建議委員會ノ審議ニ付サレマシテ、私ガ其趣旨ヲ説明致シマシタ、其ノ際津府政府委員カラ政府ノ意見ヲ述ベラレタノデアリマス、ソレニ依リマス、政府ニ於テモ御同様ノ趣旨ニ依ツテ、醫藥制度調査會ヲ設ケノデアアルカラ、療行爲ノ中效果アルモノニ付テハ、之ヲ保護スルト同時ニ弊害アルモノハ之ヲ取締ルト云フ考ニ於テ、醫藥制度調査會ニ於テ、取扱フ方針ト云フコトデアリマシタ、私ハ此ノ當局ノ説明ニ多大ノ信頼ヲ致シタノデアリマスガ、其ノ後ノ狀況ヲ見マシテ、治療師問題ハ、當局ニ於テ親切ニ調査サレタ模様ガナイノデアリマス、勿論醫藥制度調査會ニモ掛ケラレナカツタノデアリマス、然ルニ意外ニモ其ノ後頻々トシテ有

效ニシテ無害ナル療行爲ガ、衛生局長ノ療行爲ナリトスル通牒ニ依ツテ禁止サレテ居ルノデアリマス、其ノ實例ヲ此處ニ御示シ致シマスガ、例ヘバ現時問題トナツテ居リマス、カシセントウ健ニ炭素孤光燈ノ如キモノガソレデアリマス、之ニ對シテハ警視廳、福井縣、岐阜縣、樺太廳ノ何ニ對シマシテ、衛生局長ハ昭和十四年十二月十三日醫業行爲ト認ムト云フ通牒ヲ出シテ居ラレマス、此ノ通牒ハ是等ノ治療行爲ヲ醫業ト認メタノデアリマスカラ、當然醫師法違反トナル譯デアリマス、醫師法違反ニナリマスレバ、醫師法ノ規定ニ依リマシテ罰則ヲ適用シテ然ルベキ筈デアリマス、然ルニ罰則ヲ適用スルコトナクシテ、自發的ニ廢業ヲ強制シテ居ルト云フノガ實情デアリマス、何ガ故ニ醫業行爲ト認メル通牒ヲ爲シテ居ナガラ、斷乎トシテ醫師法ノ規定ヲ適用サレナイノデアアルカ、是非非常ニ疑問ガアルト思フノデアリマス、ナゼサウ云フコトヲシテ居ルカト申シマス、是ハ一體サウ云フ解釋ヲ衛生局長ガスルト云フコトガ妥當ヲ缺クノデハナイカト考ヘラレタデアリマス、元來醫師法ニ於テ認メラレタ醫業ト云フモノハ、決シテ絶對的ナモノデアリナイノデアリマス、其ノ後判決ナドヲ調ベテ見マシタガ、判決ナドニ依ツテ示サレタ所ヲ見マス、醫師試驗規則ニ於テ認メラレタル範圍ニ於ケル學科ヲ利用シテヤルモノガ醫業デアアル、試驗規則以外ノモノヲ用ヒテヤル行爲ニ付テハ醫業ト認メテ、サウシテ醫師法ノ罰則ヲ適用スベキ筈ノモノデアリナイト云フ判決ガ既ニアルノデアツテ、無闇ニ醫業ト認メテ罰則ヲ擴張シテ、總テモノヲ醫師法違反ニ間フト云フ精神デハナイヤ

ウニ思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ例ヲ申シマス、杉田氏ノ高周波「H.S」線療法ト云フノハ、是ハ内務省ニ於テ昭和十年九月醫業ノ體ヲ爲サナイト云フ衛生局長ノ通牒ガアルノデアリマス、然ルニ拘ラズ警視廳ニ於テハ衛生局長ノ通牒ニ依ツテ一昨年カラ之ヲヤハリ禁止シテ居ルノデアリマス、厚生省デハ醫業ノ體ヲ爲サナイト云フ衛生局長ノ通牒ガアルニ拘ラズ、衛生部長ハソレニ反シテ取扱フシテ居ルト云フナラバ、上級官廳ノ趣旨ト云フモノガ下級官廳ニ徹底シテ居ナイモノデ、斯ノ如キコトハ官紀紊亂ノ最モ甚ダシキモノト思フノデアリマス、私ハ、今日ハ支那事變處理ノ上カラ致シマシテ、國民ノ體力増進ガ強調サレテ居ル際デアリマスカラ、醫師以外ニ於キマシテモ、無害ニシテ有效ナ治療行爲ト云フモノハ之ヲ保護シテ行カレルト云フコトガ必要ダト思ヒマス、勿論弊害アルモノハ取締ツテ行カレルト云フコトガ當然デアラウト思フノデアリマスガ、兎ニ角十年ノ間サウ云フ行爲ヲシテ、治病ノ爲ニ貢獻シテ居ツテ害ガナカツタト云フヤウナモノヲ、此ノ際特ニ醫業行爲ト云フヤウナ通牒ヲ出シテ、サウシテ平地ニ波瀾ヲ起スト云フコトハ慎シムベキコトデアラウト思ヒマス、併シナガラ議論ヲ致シマシテモ、是ハ仕方ガナイコトデアリマスカラ、ドウカ此ノ際ニ於キマシテ、適當ニ調査機關ヲ設ケラレマシテ、本當ニ有害デアアルカ、有效デアアルカ、公平ナ判斷ヲ一ツ付ケナケレバナラヌ、其ノ公平ナ判斷ヲシテ戴イテ、御取締ニナルト云フコトナラバ結構デアリマスガ、調査ヲセズニ、片手落ちナコトヲシテ、唯ハ醫師行爲ト認メルト云フ一ツノ通牒ヲ以テ禁止スル

ル、何故一體堂々ト醫師法違反トシテ正式ナ處置ヲナサラスノカ、ソレヲ爲スコトヲセズシテ、強制的ニ警察官ヲ使ツテ之ヲ廢業サセルト云フヤウナコトハ實ニ私ハ不穩當ダト思フノデアリマス、サウ云フ意味カラ致シマシテ、ドウカ公平ナ調査機關ト云フモノヲ設置致サレマシテ、善イモノハ保護シ、惡イモノハ取締ルト云フ意味ニ於キマシテ、中央法規ヲ制定シテ戴キタイト云フノガ此ノ建議ノ趣意デアリマス、此ノ際政府カラ、私ノ申上ゲタコトニ付テ、ハツキリシタ言明ヲ得マシテ、此ノ案ヲ可決セラレルヤウニ御願致シマス

○林政府委員 只今ノ問題ニ付テ政府ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、療行爲ノ取締ト云フコトニ付テハ、既ニ種々ノ點ヨリ考究ヲ積ケテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今守屋サンヨリ御話ノアリマシタ是等業者ノ間ニ於テモ、是ガ取締ニ付テハ中々統一シタ法規ヲ制定スルコトガ困難デアルト云フコトヲ又能ク御存ジニナツテ居ルコトヲ存ズルノデアリマス、申上ゲマスレバ療行爲全體ヲ通ジマシテハ、實ニ種類ガ多イノデアリマシテ、例ヘバ手トカ足、所謂手ノ技術ヲ以テ療法ト致シテ居リマスモノモ百以上ヲ數ヘルノデアリマシテ、精神療法ト云フ方法ヲ以テ療行爲ト致シテ居ルモノ亦百以上ヲ數ヘテ居リマス、次ニ濕熱乃至刺戟ト云フヤウナ方面ノ療法ヲ以テヤツテ居リマスモノモ、是亦同様ノ數ヲ算ヘテ居ルヤウナ狀況デアリマス、更ニ電氣光線療法ト云フヤウナ方面カラ療行爲ヲヤツテ居ル者モ、相當ナ數ガアリ、其ノ他ノ者モアルノデアリマシテ、是等ノ方々ハ現在ニ於テハ御承知ノ如ク地方廳

ニ於テ届出ヲシテ地方廳ガ療行爲ノ取締上ノ便宜ヲ圖ツテ居リマスルガ、併シ此ノ内容ヲ含メタ一ツノ法令ヲ制定致スト云フコトハ實ニ困難ナ事業デアアルト思フノデアリマス、元來是等ニ從事スル方々ハ、各々修業スル所アルトハ言ヘ、實情ニ於キマシテハ何等資格ニ制限ガナイノデアリマスカラ、是等ノ療法ヲ以テ治療行爲ヲ爲ス場合ニ診斷乃至診察ノ行爲ト云フモノハ、現在許サレテ居ラナイノデアリマス、左様ナ状態ニ於テ各人各別ノ状態ニ應ジテ治療行爲ヲ行ハナケレバナラナイ場合ニ、其ノ被治療者ノ状態ニ對スル判斷ヲ爲スニ能力モナク、サウ云フコトヲヤルベキコトヲ許サレテモ居ナイ實情ニ於テ、ドウシテ治療ガ完全ニ行ヒ得ルカト云フ問題ヲ考ヘマス、是ハ實ニ難シイ問題ダト私ハ思フノデアリマス、併シナガラ何等カノ方法ニ於テ現在ノ届出制度ニ依ツテ居リマスモノヲ出來マスルナラバ、一ツノ免許事業ノヤウナ意味合ニシテ見タイト云フコトヲ私ノ方デ種々研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ基本的ニ申シマス、現在鍼灸術若シクハ按摩ノ如ク、各免許制度ニナツテ居ツテ、而モ或リ治療行爲ヲ致シテ居ルノガ實情デアリマスカラ、故ニ醫師ト云フ者ノ職分ヲハツキリ定メタ後、其ノ治療ノ中デ醫師デナクテモ治療ヲ爲シ得ル一ツノ分野ヲ他ニ決メルト云フ方針ノ下ニ一ツノ法制ヲ考ヘルコトガ正シイノデハナカラウカト云フ氣持カラ、現在醫師法ノ改正ニ當ツテ醫師ノ爲スベキ行爲ノ内容ヲ定メマシテ、其ノ中ノ或ル者ガ他ノ行爲者ニ依ツテ爲サレテモ宜イト云フ建前デ考ヘヨウト云フ筋道ヲ今進ンデ居ル譯デアリマス、適當ノ機會ニ適當ナ歸結

ヲ見タイト思フテ居ル次第アリマス、只今申サレマシタ電氣可視線燈ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ改メテ方針ニ依ツテ取締ヲテ居ルノデハナイノデアリマシテ、療術行爲ニ付キマシテハ、昭和九年以來伺出ニ對シマシテ、各決定ヲ與ヘテ、太陽燈ヲ使用シテ疾病ノ治療ヲ爲ス者、或ハ「コディア」タルミト、又ハ人工太陽燈ヲ使用シテ疾病ノ治療ヲ爲ス者、或ハ紫外線、赤外線等ヲ使用シテ治療ヲ爲ス者、サウ云フ例ニ付キマシテ、其ノ行爲ガ其ノ機械ヨリ生ズル危険性ノアル場合ヲ現在マデモ禁止シテ來テ居ルノデアリマス、此ノ度ノ問題モ此ノ範圍ヲ少シモ出テ居ナイノデアリマシテ、私共ノ方デ可視線燈ニ付キ是ガ器械ヨリ放射スル光線ニ付テ研究致シマシタ結果、相當量ノ紫外線ヲ放射サレルコトヲ確認致シマシタノデ、斯ノ如キ量ノ紫外線ヲ放射スルモノヲ醫師以外ノ者ガ治療ニ使ハマスル場合ニハ醫療上少ナカラザル危険ガアルコトヲ承知致シマシテ、ソコデ此ノ度醫師ニアラザレバ爲シ得ザル行爲デアルト云フコトニナツタノデアリマス、隨テ先般モ他ノ委員會ニ於テ御答ヲ致シタノデアリマスガ、現在ノ器具機械ガ改善サレテ、其ノ中カラ紫外線ヲ放射スルコトナキニ至レバ、根本的ノ問題ハ別トシテ其ノ治療行爲トシテ爲シテ行クコトガ出來ルト云フ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマス、而シテ可視線燈ヲ製作シ、之ヲ治療ニ使フヤウニナリマシタ當事者カラ申サレタルナラバ、紫外線ヲ放射スルコト云フコトハ、其ノ治療行爲上必要ノコトデアリマシマス、然ルニ紫外線ハ熱光線デアリマセヌノデ、其

ノ必要ヲ感ジテ居ナイノデアリマス、ダカラ私共ノ方カラ製作者ニモ注意ヲ致シマシテ、紫外線ヲ放射シナイヤウニ、十分ノ工夫ヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ屢々御話申上ゲテ居ル次第デアリマス、左様ナリト云フ度ノ可視線燈ニ關スル取締モ亦從前ノ取締方針ニ依ツテ爲シタノデアリマス、左様ナリト云フコトハ、別ニ今變ツタ方針ヲ執ツタト云フノデアリマシマス、唯全體ヲ通ジテ、ドウ云フ立場デ、ドウ程度ノ中央法令ヲ拵ヘテ之ヲ免許行爲トスルカト云フ問題ニナリマス、先程モ申上ゲマシタ通り、尙ホ多クノ種類ヲ抱容スルコトデアリマスカラ、是等ニ付テハ篤ト考究ノ機會ヲ持ツテ貰ハナケレバ結論ニ到達スルコトガ困難デアル、斯ウ云フ考デアリマス

○守屋榮夫君 只今衛生局長カラ御話ガアリマシタケレドモ、ドウモ衛生局長ノ御シヤツタコトヲ考ヘマス、此ノ治療行爲ニ付テ始メ調査シテ居ラナイト云フコトヲ此處デ御言明ニナツタヤウニ私ハ思フノデアリマス、尙ニ遺憾ニ思フノデアリマス、アナタノ御シヤツタ所ヲ見マス、療術行爲ト云フモノハ、非常ニ數ガ多イノデアル、數ガ多イカラ規定ガ出來ナイト云ハレマスガ、チヤント此處ニ私ハ書イタモノヲ持ツテ居リマス、警視廳ナドデハ此ノ治療行爲ト云フモノヲ分類シタモノガアル、電氣療法、磁器療法、光線療法、溫熱療法、治淋、生殖器療法、刺戟療法、紅療法、紅酸療法、蜜蜂療法云々ト云フヤウニゴザイマス、色々方法ハアリマスケレドモ、是ハ藥ト同ジコトデアス、藤局方ニ依ル藥ト云フモノハ日本ニ澤山アリマス、藥ガ多イカラ取締レナイカ、法規ガ制定サレナイト云フコトハ、皆分

類スレバ簡單ナラデス、效カカ効カナイカガ問題デス、治療行爲デモ效カカ効カナイカガ問題デ、效カナラバ許ス、數ガアラウトナカラウト——藥ハ數ガアルカラ宜イノデ、一ツツカ藥ガナカツタ困ルダラウト思フ、療術行爲デモ數ガアルカラ宜イ、アリト有ユル方法ヲ講ジテ病氣ヲ豫防シ治療シテ行ケルノデス、サウ云フコトニ付テハ體厚生省ハ本當ニ調ベラレテ居ルカ、調ベラレテ居ナイ、地方廳カラ、報告ヲ取ラレテ、斯ウ云フモノハ大變效タノダト云フコトヲ警察ノ方カラ回答ガ來テ居ルニ拘ラズ、其ノ報告ヲ無視シテ居ラレ、ソレカラ、免許營業ニシタイガ、ソレハ醫師ノ治療行爲ノ範圍ト云フモノヲハツキリシテカヤナルト云ハレマスガ、サウ云フコトハ私ハ意味ヲナサスと思フ、醫師ノ行爲ト云フモノハ今マデハツキリシテ居リマス、一體醫師ト云フモノハ何モカモ知ツテ居ルカト申サマス、知ツテ居ナイノデス、醫者ガ開業スル時ノ試験科目ハ決ツテ居リマス、ソレ以上ノコトヲ醫者ハ知ツテ居リマセ、試験規則ニアルモノトシ學問シタ學問ヨリ外ニハ應用スルコトハ出來ナイ、カシセントハドウシテ應用出來マスカ、或ハ電氣療法ハドウシテ應用出來マスカ、試験規則ニソレガ掲ゲテナイ、ナイモノヲドウシテ醫者ガ應用出來マスカ、醫者ト云フモノハサウ云フ治療行爲ハ學修シテ居ナイノデアリマス、サウ云フコトニ對シテマルデ事アリマス、即チ御答ヲ答ナサツテ居ラレトヨリ思ヘナイ、試験規則ニ於テ許サレタル科目ニ依ツテメ醫者ト云フモノハ診察シ、治療シテ居ルノデアリマス、ソレ以外ノコトニ付テモ醫者ハ出來ルト云フコトハ

私ハ御答辯ニハナラナイと思フノデアリマス、大學ナドデモ東京ノ帝國大學ダケハ内科ノ内物理療法ナドヲヤツテ居リマスケレドモ、他ノ大學デハ何處デモ物理療法ト云フモノハヤツテ居リマセヌ、隨テ東京帝國大學ノ醫者デモ物理療法ト云フモノニ付テ知識ヲ持ツテ居ル者ハ極メテ少イ、況ンヤ其ノ他ノ一般開業醫ニ於テハ云フ迄モナク非常ニ少イ、所ガソレヲ治療行爲ト稱シテ醫者ダケニ許シテシマツテ他ノ者ニハヤラセナイト云フコトニナレバ、結局我ガ國ニハサウ云フ治療ガナクナルト云フコトニナラ、所ガ今日醫者ハ戰地ニ行ツテ居ル、藥品モ足りナクナツテ居ル、サウシテ國民健康保持ト云フコトガ痛切ニ要求サレテ居ルノニ、今マデ無害有效トシテ多クノ人ニ貢獻シテ居ツタモノヲ、治療行爲ト云フコトヲ、衛生局長ガ一片ノ通牒ヲ出シテ任意的ナ廢業ヲヤラセル、任意的ト云フヨリ、警察力ヲ使ツテ強制的ニ廢業ヲヤラセルト云フコトハ、國家ノ爲ニ善イコトデアリマシマス、斷乎トシテオヤリト思フノデアリマス、斷乎トシテオヤリトナルナラバ、醫師法違反トシテチヤント刑罰ガアルノデアリマスカラ、ソレデオヤリケル者モ、刑罰ヲ受ケル理由ガナイカラト云フテ、司法機關ニ頼ンデ、治療行爲デアリカ治療行爲デアリカト云フコトニ付テ、ハツキリ判定ヲ付ケテ裁クコトガ出來ルダラウト思ヒマス、唯衛生局長ノ通牒デ以テ生殺シニサレシマツテ、警察官ノ強制的ナ廢止勸誘ト云フコトヲ受ケナケレバナラヌト云フコトナラバ、是ハ業者トシテモ非

常ニ困リマス、國家ノ爲ニモ善クナイト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テモウ一度衛生局長ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○林政府委員 段々御説ヲ拜聴致シマシタガ、唯併シ現在ノ醫療ノ建前ハ、醫師ト云フモノヲ治療機關トシテ政府ガ認め、其ノ醫師ヲシテ治療行爲ヲ爲サシムルト云フ建前カラ、モノヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、只今申サレマシタ通り、醫師ニ於テハ、治療行爲ヲ爲ス其ノ限界ニ於テハ必ズシモ限ラレテ居ラナイト私共ハ見テ居ルノデアリマス、科學ガ一般ニ認メルニ至リマシテ、ソレヲ治療行爲ニ使ヒマス場合ニ於テハ、醫師ニ於テハ之ヲ十分ニ爲シ得ルト云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマス、只今御話ガゴザイマシタケレドモ、診察、治療ト云フ行爲ヲ前提トシテ、ソコニ治療行爲ヲ行クコトヲ國家ノ治療行爲ニ對スル建前カラ申サマス、診察行爲等ヲ爲スコトヲ許サレテ居ナイ方ニ治療行爲爲其ノモノヲ認メルト云フコトハ、基本的ニ私ハ問題ダト思フテ居ルノデアリマス、唯併シナガラサウ云フ方法ヲヤツテモ、危険モナク支障モナイト云フ程度ニ於テ之ヲ認メテ行クコトヲ建前ヲ現在法制上執リ、又醫學ノ建前カラ申サマス、ソレガ當然ダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、政府ノ是ガ取締ニ關スル方針ハ、是デハツキリ致シテ居ルト思フノデアリマス、唯醫學行爲デアルト認定シタラ、直グソレヲ法ニ依ツテ處斷スルカ、或ハ又相當ノ期間ヲ置イテ是ガ歸結ヲ見ルト云フ方法ヲ執ルカト云フコトハ、理窟カラ申サマス、成程醫業ト云フコトニスレバ、直チニソレデ處罰法規ガ

發動シテ少シモ差支ナイコトトハ思ヒマスケレドモ、ソレヲ相當ノ期間ヲ置イテ之ヲ止メサセルト云フヤウナ方法カラ、罰則ヲ直チニ適用シナイト云フコトハ、行政上御許シテ願ツテモ差支ナイコトカト考ヘテ居リマス、併シ只今御話ガアツタコトデアスカラ、モウ一度處置方ニ付テハ十分考ヘテ參リタイト思ヒマス

○守屋榮夫君 警視廳方通牒ヲ用シタノハドウデセウカ、厚生省ノ通牒ト食違ツテ居ルノデアリマセヌカ

○林政府委員 警視廳ノ高周波ニ對スル問題ハ、是ハ療術行爲ノ中醫學行爲ニナラナイモノデモ、其ノヤリ方ノ中ニ甚シキ危険ヲ含ンデ居ルト云フ場合ニハ、是ハ速ツタ意味カラ、サウシタ治療行爲ノ危険性ト云フ側カラ、取締ガ出テ行ツテ少シモ差支ナイト私ハ思フノデアリマス、隨テ警視廳ガ取締リマシタ高周波、エキス、線禁止ノ問題ニ付キマシテハ、ソレガ直チニ醫業デナラトモ、甚シキ危険ヲ齎ス處ガアルト云フ點カラ、又警視廳當局ニ就イテ調ベテ見マシテモ、其ノ通りノ事情ヲハツキリ申シテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ場合當該者ヲ呼ンデ、其ノ器具ノ此ノ點ガ甚シク危険デアルト思フコトヲアラウカ、危険デナイナラ其ノ點ニ一ツ自身ヲ觸レテ見テ貰ヒタイト云フ話モシテ居ルヤウデアリマスガ、當事者ハ危険ダカラト云フノデ、ソレヲ拒否シテ居ル事實ガアルノデアリマス、隨テ警視廳ノ此ノ問題ハ危険性ト云フ點カラ主トシテヤツテ居ルノデアリマシテ、醫業行爲爲其ノモノト云フ判定カラ取締ツテ居ルヤウニハ見テ居ラナイノデアリマス

○守屋榮夫君 衛生局長ノ御シヤツテ居ルコトハ如何ニモ御尤モヤウニ考ヘマスケレドモ、危険デアルト云フコトノ認定ヲドウシテサレルカ、ソレニ付テ非常ニ問題ガアルト思フノデス、アノ療術ト云フモノハ實用新案ヲ受ケテ居ツテ、法律ニ於テ無害ナモノデアルト云フノデ許サレテ居ルノデアル、一面ニ於テハ特許法ニ於テ無害デアルト云フコトヲ認メラレ、法律ヲ以テ保護サレテ居ルモノガ、警視廳ノ役人カラ危険ダト云ツテ取締ラレルト云フヤウナコトニナツテ來マス、國民トシテハドチテヤ一ニ信用シテ宜イカ、實用新案ニサウ云フ危険ナモノヲ許ス譯ハナイ、今ノヤウナ説明ニハ私ハ信頼ガ出來ナイ、併シ私一人デ時間ヲ取ツテ居リマス、皆サン御迷惑デスカラ、他ノ機會ニヤリマス

○守屋榮夫君 衛生局長ハ醫者ノ醫業行爲ト云フモノハ制限ガナイト云ハレマシタ、此ノ事ニ付テハ衛生局長ハ將來御考ヘ直シナラナケレバナラヌ時ガ來ラデアラウト思フ、何故ナラバ、今日ノ法律ニ於テモ醫者ノヤツテ居ル行爲ト云フモノハ、醫師法ノ解釋ナイト思フノデアリマス、サウ云フ結論ハ出テ來ナイト思フノデス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘラレルカラ、醫師ト云フモノハ非常ニ亂暴ナコトヲシテ居ルノダ、醫師法ト云フ法律ノ保護ニ關シテ、何デモ彼デモヤラウトシテ居ルノダト云フ風ニ考ヘラレシマシテモ、私ハ決シテ宜クナイモノト思フノデス、併シ是等ノコトハ議論ニナリマモウ一度衛生局長ニ御答致シマス

○林政府委員 一寸誤解ヲ招イテハイケマセヌカラ、私カラ一言申上ゲテ置キマス、醫師ガ何デモ出來ルト云フノハ、國家ガ醫師ト云フ資格ヲ認メマシタ其ノ程度ノ方ニ於テハ、其ノ行爲上科學ガ許ス行爲ヲ爲スデアラウト云フ意味ニ於テ、醫師ノ治療上ノ行爲ノ上ニ制限ガナイ、斯ウ云フ意味合デアリマス

○守屋榮夫君 併シ今日ノ醫師ニ於テハ、醫師ヲ免許スル時ニ試験サレル科目ガアル、其ノ科目以外ノモノニ付テモ醫師ガ勝手ニ許サレルト云フコトハナイト思フ、科學ガ認メタカラト云ツテ、ドウシテソレヲ醫師ガヤレルノカ、後カラ治療行爲トシテ認メラレタモノニ付テ、既設ノ免許權ヲ持ツテ居ル醫師モ更ニ試験ヲ受ケルト云フナラバ宜イデセウ、今日ハサウ云フコトガナイ、後カラ科學ガ發達シテ、是ハ醫療ニ效果ガアルノダトシテ認メラレタカラト云ツテ、昔ノ制度ニ依ツテ免許ヲ受ケタ醫者ガ當然ソレヲヤレルト云フ理窟ハ立タスト思フ、サウ云フコトハ餘リニ醫師ト云フモノヲ保護サレル考ヘ方デハナイカト思フ、ソレカラ今日電氣療法トカ、可視線療法トカ云フモノニ付テハ、醫師ハ知識ヲ持ツテ居ナイ、診察ハ出來ルデセウケレドモ、器械ヲ使フ使フ知識ノナイ者ガ、ドウシテ治療スルコトガ出來マスカ、サウ云フヤリ方ハ却テ醫師ニ對スル民間ノ反感ヲ増スコトニナリハシナイカト思フ、醫師ハ知識ヲ持ツテ居ルコトヲデナクシテ、醫師ノ諸君ガ學問ヲシタラナイ有效ノ治療行爲ハ之ヲ認メテヤラシタラ宜イト思フ、診察ノコトニ付テハ治療師ガ醫師ト同ジヤウニ診察ヲヤルナドトハ誰モ考ヘテ居マセヌ、今日デモ治療師ハ診察

ナシカハヤツテ居ナイ、一度ハ醫者ヲ通ツテ來テ、醫者ガ判定シテ病氣ニ付テ治療シテ居ル、治療師ガ醫者ト違フヲ診斷シテヤツタリ、スルヤウナ者ハアリマセス、此ノ點ハ能ク實狀ヲ御調査ニナルト御分リニナリマシ、之ダケヲ申上ゲテ置キマス

○齋藤委員長 本建議案ヲ可決スルニ御異議ゴザイマセス

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一八理容師營業取締ニ關スル建議案 提出者世耕弘一君

○世耕弘一君 本建議ノ理由ヲ簡明ニ御説明申上ゲマス、趣旨ハ政府ハ現下我國ノ理容師營業者ノ實情ヲ察知シ、連ニ是ガ取締ニ關スル法律ヲ制定シテ之ヲ業ノ向上發展ヲ期セラレムコトヲ望ムト云フガ本旨デアリマス、理由ト致シマシテ簡單ニ申述ベ

ハ、古今東西ノ間ハズ、論ズルマデモナイコトデアリマス、由來科學ノ進歩ニ伴ヒマシテ世界的ニ此ノ理容法ガ發達ヲ致シマシテ、現ニ昭和十二年ノ國際美容大會ニハ日本カラ代表者ヲ出シテ居リマス實情デアリマス、歐米ノ現狀ヲ見マスルト既ニ大學ニハ理容專門ノ大學モアリ、視學官制度、或ハ督學官制度ヲ確立シテ、サウシテ斯業發展ノ爲ニ國家ガ力ヲ盡シテ居ルト云フ現狀デアリマス我國ニ於テモ同様理容術ハ日進月歩ニ發達ヲ遂ゲテ居ルノデアリマスガ、未ダ時代ニ適應スベキ法律ヲ制定ガナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、其ノ爲ニ各縣各府別々ノ取締方針ヲ下シ、一ハ寛大デアリ、一ハ深刻デアリ、一ハ放任ニアリト云フヤウナ形ヲ取ツテ居ルガカリデナク、其ノ理容ノ術ヲ施ス者モ資格檢定ノ方法スラ、今日尙ホ確立シテ居ラズト云フ現狀デアリマス、文化生活ノ吾々ニ缺タベカラザル所ノ理容技術ノ問題ニ對シテ、政府ハ今後ドウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルカドウカ、決サレタコトモアルノデアリマス、議員提出ノ法律案ハ免モ角トシテ、政府ハ此ノ際此ノ理容師法ヲ立案シテ以テ法律制定ノ意思ガアルカドウカ、或ハ此ノ點ニ付テドウ云フヤウナ御理解ヲ以テ御進ミニナルカ、此ノ際御説明ヲ承リタイト思フノデアリマス、何卒全會一致御可決アラントヲ希望致シマス

○林政府委員 本問題ニ付キマシテハ、只今申サレマシタヤウニ現在デハ地方廳令ヲ以テ各取締ヲテ居ルノデアリマス、先年來理容師法制定ノ趣旨ヲ以テ請願ガアリ、

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 日程第一四、勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案 提出者井上君

○井上君 勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案ノ理由ヲ説明致シマス、政府デハ最近事變ノ進行ニ伴ヒマシテ、各種ノ勞務對策ヲ立テラレ、且ツ勞務法規ヲ制定サレマシテ、所謂戰時下ノ生産力擴充ニ協力ナガラ此ノ事變ノ後ニ來リマス東亞新秩序ノ建設、更ニ又東亞新秩序建設ヲ取巻ク世

建議ガアリ、更ニ法律案ガ提出サレタヤウナ事情ガアリマシタノデ、私共ノ方デモ是ガ統制ニ付テ適當ナル中央法令ヲ制定スルノ要ガアルデアラウト云フノ各府縣ニ對シテ是ガ實情調査、或ハ其ノ意見ヲ求メタノデアリマス、其ノ結果三府四十三縣中數府縣ヲ除キマシテハ、各府縣デ同様ノ取締ヲ大體ニ於テシテ居ル、デアルカラ此ノ際中央法令ヲ作ツテ統一ヲ圖ルコトガ適當デアラウト云フ意見ガ多數デアリマス、ソコデ目下政府ニ於テ此ノ趣旨カラ中央法令ヲ制定シテ只今申サレマシタヤウニ、一府縣ノ免許ヲ受ケマシタ者ハ他府縣ニ參リマシタ場合ニ再ビ手續ヲ執ラナケレバナラズト云フ煩ラシキヤウニシタイト云フ考ヲ進ンデ居ルノデアリマス、併シ現在ノ所デハ直チニ法律ヲ以テシナケレバナラズト云フ考ハ持ツテ居リマセス、全國ノ統一ノ法令ガ出來レバ宜イノデハナカラウカト云フ状態デアリマス

○齋藤委員長 本案可決ニ御異議アリマセス

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 日程第一四、勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案 提出者井上君

○井上君 勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案ノ理由ヲ説明致シマス、政府デハ最近事變ノ進行ニ伴ヒマシテ、各種ノ勞務對策ヲ立テラレ、且ツ勞務法規ヲ制定サレマシテ、所謂戰時下ノ生産力擴充ニ協力ナガラ此ノ事變ノ後ニ來リマス東亞新秩序ノ建設、更ニ又東亞新秩序建設ヲ取巻ク世

界列強ノ動靜、斯ウ云フ見地カラ考ヘマスト、我國ノ生産力擴充ハ今後飛躍的ニ發展シ、其ノ量ニ於テ、技術ニ於テ更ニ一層高メナケレバナラズトデアリマス、生産力擴充ノ基本ノ要件ハ、資本ト勞働力ト資材ニ在ルト思ヒマス、所ガ資金ト資材ハ何トカシテ得ラレマスケレドモ、結局ハ優秀ナ技術ヲ持テ熟練勞働者ト云ヒマスガ、熟練技術者ガ絶對ニ必要デアラウト云フコトヲ吾々ハ痛感スルノデアリマス、今日マデノ勞働力ト云フモノガ、得テシテ利潤追求ノ對象物トナツテ居リマシテ、働イテ居ル勞働者自ガ一日モ速ニ勞働ノ苦痛カラ免レテ、安逸ナ生活ヲ致サウトスル傾向ガ資本主義ノ下ニ於テハ多イノデアリマス、斯ノ如キ不安ナ状態ニ勞働者ヲ置キマスコトハ、國家ノ生産力擴充ノ基本的ナ立場ヲ動搖セシムルダケデナシニ、更ニ諸外國ノ生産力擴充ノ見地カラ觀ミ合セマシテ、是デハナラズト吾々ハ考ヘルノデアリマス、ソコデドウシテモ今後我國ガ東亞新秩序ノ建設ヲ、ドウシテ世界列強ニ對抗シ得ル問題ハ、私ハ是ハ露骨ニ申上ゲマスガ、第一線ニ進撃スル兵隊或ハソレヲ指揮スル將校、斯ウ云フ軍ノ作戰行動ガ絕對的ナモノデハナイ、ソレヲ絕對的ナラシメルモノハ優レタル生産力ヲ持ツタ其ノ國ノ生産力ノ機構ガドウナツテ居ルカト云フコトト、同時ニ生産技術ガドレダケ發展シテ居ルカト云フ所ニ、私ハ今後ノ戰爭ノ勝敗ガ決ルト思フノデアリマス、サウ云フ觀點カラ考ヘマス、ドウシテモ現在ノ勞働力ト云フモノニ對シテ、國家ガ之ヲ保護助成シテ、ソレデ勞働力ヲ最大限ニ發揮セシムルヤウニ、工場法トカ職業法トカ、サウ云フ各種ノ勞働法規ヲ改正スル、

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 日程第一四、勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案 提出者井上君

○井上君 勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案ノ理由ヲ説明致シマス、政府デハ最近事變ノ進行ニ伴ヒマシテ、各種ノ勞務對策ヲ立テラレ、且ツ勞務法規ヲ制定サレマシテ、所謂戰時下ノ生産力擴充ニ協力ナガラ此ノ事變ノ後ニ來リマス東亞新秩序ノ建設、更ニ又東亞新秩序建設ヲ取巻ク世

進デ眞ニ自分ガ勞働ヲ通ジテ優レタル技術ヲ研究練習シテ國家目的ニ合致スルヤウニ働クコト云フ此ノ勞働尊敬ノ觀念ト勞働尊重ノ精神ヲ以テ勤勞者ノ必要トシマス觀點ニ於テ、ドウシテモ私ハ勞働者トシテ年金ト云フ制度ヲ設ケルコトガ絕對ニ必要デアルト云フコトヲ痛感スル者デアリマス、御存ジノ通り今日勞働者ハ決シテ老後ノ生活ヲ保障サレテ居リマセス、ソシテ又後カテ後ト青年ノ血氣旺ンテ勞働者ガ出テ來マス爲ニ、中年以後ノ勞働者ハドン／＼壓迫サレル形ニ置カレテ居リマス、ドウシテモ老後ノ安定ヲ圖リ且ツ勞働者十分ニ能率的ニ發揮セシムル見地カラ考ヘマシテモ、此ノ厚生年金ヲ速ニ制定スル必要ヲ私共ハ痛感スルノデアリマス、況ヤ時局産業方面ニ於テ非常ナ景氣ヲ呈シテ居ル今日ニ於キマシテハ、進シテ政府ノ時局産業方面ヲ先ツ對策ト致サレ、更ニ進シテ通信、運輸、交通、鑛山各種勞務者對象トスル厚生年金制度ヲ速ニ制定スル必要ガアルト考ヘマス、此ノ厚生年金ノ問題ニ付キマシテハ、本會ニ於テ厚生大臣ヨリ更ニ又決算委員會ニ於テ厚生省當局ヨリソレ／＼御説明ガアツタノデアリマスガ、大體政府ニ於キマシテハ、少クトモ明年度ノ帝國議會ニ本年金法ヲ提案スル所マデ決意ヲ持ツテ戴キタイト考ヘマスガ、此ノ機會ニ政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○佐藤政府委員 御話ノヤウナ年金制度ト云フモノハ、國民生活ノ安定上カテ申シマシテモ、或ハ又現在ニ於テ特ニ必要ナ生産力擴充ト云フヤウナ見地カラ考ヘテモ極メテ適切ナル制度デアルト思ハレノデ成ルベク速ニ之ヲ實現スル爲ニ目下慎重研究中

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一、勤勞者住宅建設計畫擴充ニ關スル建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセス

○齋藤委員長 可決致シマス

○井上君 勤勞者住宅建設計畫擴充ニ關スル建議案ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、御存ジノ通り戰時下ノ生産力擴充ハ急激ニ發展ヲ致シマシテ、特ニ股販産業ノ發展ハ自覺シイモノガアルノデアリマス、ソコデ大都市ノ中心ト致シマスル所ノ股販産業地帯ニ於テノ勞働者ノ住宅難ト云フモノハ、甚シイ現狀ニナツテ居ルノデアリマス、政府此ノ點ニ眼ヲ著ケマシテ、勞務者ノ住宅建設計畫ヲ實行中デゴザイマスケレドモ、其ノ計畫ガ至ツテ小サク豫算其ノ他ニ於テ十分ナル計畫ガ盛ラレテ居リマセス、且又地方自治體ニ於キマシテモ、殆ド場當リノ對策ヲ講ジテ居リマスケレドモ、殆ド場當リノ對策デアリマシテ、眞ニ繁盛ナ勞働ニ從事シテサウシテ翌日再ビ元氣ヲ出シテ働ク勞働者ノ慰安休養スル住宅トシテノ施設ガ現在不完全ナ状態ニ置カレテ居ルノデアリマス、最近都市ニ集ツテ來マス所ノ青少年ノ勞働者大衆、或ハソレヲ取巻ク所ノ勤勞大衆ノ都市集中ノ傾向ハ夥シイモノガアリマス、此ノ状態デ行キマスト、國民ノ體力ノ上ニ、且ツ生産力ノ上ニ、或ハ又國防ノ上ニ、重大ナル支障ヲ來スト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマス、少クトモ政府ハ今日積極的ナ方針ヲ以テ住宅

建設ヲ擴充シテ戴キタイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、特ニ股販産業方面ノ地帯ニ於キマシテハ、連ニ具體的ナ建設計畫ヲ實行サレラユウニ御願ヲシタイ、尙ホ進シテ住宅組合ノ再檢討或ハ住宅組合ニ依リテ勤勞者ノ住宅建設ト云フヤウナ方面ニマデ手ヲ著ケテ戴キマシテ、積極的ニ此ノ計畫ガ擴充サレラユウニ御願スル爲ニ、本案ヲ提出シタノデアリマス、此ノ機會ニ政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キマス

○新居政府委員 事變以來非常ニ住宅難ガ各方面ニ叫バレ、殊ニ股販産業地帯ニ於テ其ノ感ヲ最深タスルコトハ只今御話ノ通りデアリマス、吾々ガ調査致シマシテモ、從來ノ建築數ガ減少スルニ反シマシテ、ドンドン人口ハ殖ニテ參リマス、世帯數ハ殖ニテ參リマス、隨テ空室率ナドモ非常ニ減ツテ來ルノデアリマス、一般ノ住宅難ハ之ヲ事變進行ノ上カラ申シマシテモ、亦人口ノ對策カラ申シマシテモ、由々シイ問題デアルト云フ風ニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ御承知ノ通り物資、資金、勞力色々ナ關係カラ致シマシテ、全面的ニ直チニ著手スルコトモ不可能ナ状態デゴザイマスノデ、特ニ股販産業地方ニ對シマシテ、殊ニ勞務者ノ住宅ニ對シテ先ヅ重點ヲ置キマシテ、御承知ノ通り東京府外十五府縣ニ互リマシテ、世帯向住宅三万戸、單身者向ニ對シマシテハ共同住宅四万人分實行計畫ヲ致シマシテ、著手致シタノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ有ニル觀點カラ政府モ援助致シマシテ、既ニ現在ニ於キマシテハ、其ノ資材ノ配給モ完了致シマシテ、此ノ計畫ハ併セテ七万人分デゴザイマスガ、約九千人餘計ニ收容出來ル施設ガ現在實行中デゴザ

イマス、併シナガラ是デ勿論事足リルモノデゴザイマセスノデ、是以外ニ對シマシテモ既ニ外ニ實行計畫ヲ鋭意努力シテ居ルノデゴザイマスガ、何分ニモ資材ノ關係、ソレカラ資金ノ關係、勞働力ノ關係、色々ナ關係ガゴザイマスノデ、政府ト致シマシテモ尙ホ今後勞務動員計畫ト即應致シマシテ、是等ノ關係トモ密接ナ連絡ヲ取リマシテ、努力ヲ致シテ萬全ヲ期シタイト思ヒマス、尙ホ之ニ當リマス爲ニ從來特別ノ部局ト云フモノハゴザイマセスデシタガ、十四年度ノ豫備金ヲ支出致シマシテ、専心ニ當ル一課ヲ設ケマシテ、御期待ニ副フヤウニ努力致シテ居リマス

○河合委員 關聯致シマシテ一言申上ゲタイト思ヒマスガ、實ハ私ノ住シテ居リマス兵庫縣ノ地方ニ於キマシテハ、非常ニ澤山官營ノ工場モ出來マシテ、住宅ニ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、民營ノ工場デアリマシタナラバ、會社デ職工ノ住宅ヲ建設ルト云フヤウナコトガ行ハレラユウデアリマスガ、官營ノ工場ハソレガ出來ヌノデアリマス、合宿ナドヲ建設ル計畫ガアリマスガ、一戸一戸ノ住宅ハ法規ノ上デ出來ナイト云フコトデアリマシテ、民間ノ借家ヲ非常ニ慈惠サレテ來ルノ借家ヲ營業シテ居リマス者ヲ集メマシテ、何トカ家ヲ建テテ與レト云フヤウナコトヲ、頻リニ慈惠ヲ受ケルノデアリマスケレドモ、一番困ツテ居ルハ土地ノ問題デアリマス、只今局長カラ御話ガアリマシタ資金ナリ資材ノコトニ付キマシテハ、社會局ニ於テ御心配ヲ下サルノデアリマスガ、問題ハ家ヲ建テル土地ナノデアリマス、實ハ一年前ト現今トハ土地ノ價格ガ非常ナ

○新居政府委員 只今住宅ヲ作ル上ニ於テノ土地ノ獲得難ニ付テハ、御話ガアリマシテ、其ノ通り吾々モ實ハ憂フ同ウシテ居ルノデアリマス、是ハ根本的ニ申シマスレバ、勿論住宅ノ問題ハ工場立地ノ問題カラ考ヘ、ナケレバナラス、又工場立地ノ問題ハ大キクタイト思ヒマス

○新居政府委員 只今住宅ヲ作ル上ニ於テノ土地ノ獲得難ニ付テハ、御話ガアリマシテ、其ノ通り吾々モ實ハ憂フ同ウシテ居ルノデアリマス、是ハ根本的ニ申シマスレバ、勿論住宅ノ問題ハ工場立地ノ問題カラ考ヘ、ナケレバナラス、又工場立地ノ問題ハ大キクタイト思ヒマス

○河合委員 御話ニ申上テグタイト思フノデアリマスガ、實ハ私ノ方デハ河川改修ヲヤリマシテ、廣川敷ノ土地ガ相當アルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ公共團體ニ於テキマシテ手ニ入レマシタラバ、餘程都合ガ好イト思フノデアリマス、何トカ善イ方法ハアリマセスカ、一ツ御考慮ヲ願ヒタイ、モウ一ツハ縣デアリマシタラバ、サウ云

○新居政府委員 只今ノ點、勞務者ノ住宅計畫ヲ立テマス時ニ、政府部内ニ於テキマシテ、實行ノ中途テ連絡ガ惡イト云フヤウナコトガアツテハ、イカストモ思ヒマシテ、實ハ計畫ノ當初、關係者全部、厚生省ハ勿論、商工、農林、陸軍、海軍、大藏、内務、此ノ係ノ方々ニ集ツテ戴キマシテ、色々研究シタノデゴザイマス、ソレデ先程申上テマシタヤウニ、資金ニ付キマシテモ相當ノ便宜ヲ與ヘル、低利資金ヲ融通スル、ソレカラ此ノ住宅建築ノ主體ニ付キマシテモ、色々話ガアリマシタガ、是ハ原則トシテ其ノ勞務者ヲ使フ工場、會社ガヤルノガ原則デアアルカラ、成ベク之ニ進メテヤラセルト云フコトデ、例外ト致シマシテ、若シ何等カノ事情サウ云フコトガ出來ナ

○新居政府委員 只今ノ點、勞務者ノ住宅計畫ヲ立テマス時ニ、政府部内ニ於テキマシテ、實行ノ中途テ連絡ガ惡イト云フヤウナコトガアツテハ、イカストモ思ヒマシテ、實ハ計畫ノ當初、關係者全部、厚生省ハ勿論、商工、農林、陸軍、海軍、大藏、内務、此ノ係ノ方々ニ集ツテ戴キマシテ、色々研究シタノデゴザイマス、ソレデ先程申上テマシタヤウニ、資金ニ付キマシテモ相當ノ便宜ヲ與ヘル、低利資金ヲ融通スル、ソレカラ此ノ住宅建築ノ主體ニ付キマシテモ、色々話ガアリマシタガ、是ハ原則トシテ其ノ勞務者ヲ使フ工場、會社ガヤルノガ原則デアアルカラ、成ベク之ニ進メテヤラセルト云フコトデ、例外ト致シマシテ、若シ何等カノ事情サウ云フコトガ出來ナ

○新居政府委員 只今ノ點、勞務者ノ住宅計畫ヲ立テマス時ニ、政府部内ニ於テキマシテ、實行ノ中途テ連絡ガ惡イト云フヤウナコトガアツテハ、イカストモ思ヒマシテ、實ハ計畫ノ當初、關係者全部、厚生省ハ勿論、商工、農林、陸軍、海軍、大藏、内務、此ノ係ノ方々ニ集ツテ戴キマシテ、色々研究シタノデゴザイマス、ソレデ先程申上テマシタヤウニ、資金ニ付キマシテモ相當ノ便宜ヲ與ヘル、低利資金ヲ融通スル、ソレカラ此ノ住宅建築ノ主體ニ付キマシテモ、色々話ガアリマシタガ、是ハ原則トシテ其ノ勞務者ヲ使フ工場、會社ガヤルノガ原則デアアルカラ、成ベク之ニ進メテヤラセルト云フコトデ、例外ト致シマシテ、若シ何等カノ事情サウ云フコトガ出來ナ

石炭増産六百万噸及ビ重要礦物増産法ニ基クテ、銀、銅、鉛、他ノ礦物ノ増産ニ付テハ、熱練鑛夫ヲ必要ト致スノデアリマス、今日ノ鑛山及ビ炭山ニ於ケル災害ハ、熱練鑛夫ニ不足シテ居ル所カラ起ルコトガ多ク、又隊働率ノ低下或ハ勞働力ノ低下ト云フコトハ其ノ職場ニ永ク鑛夫ガ若クテ居ラナイコトカラ起ルシテ居ルノデアアル、如何ニ素人鑛夫ヲ募集シテ坑内ニ入レテモ、其ノ成績ガ劣ラナイコトハ明カデアリマス、然ラバ坑内ニ於テ或ハ坑外ニ於テ熱練鑛夫ヲ養成スルコトガ必要ナラナイデアリマス、隨テ其ノ職場ニ永ク足ラサセシムルコトガ必要ト考ヘルノデアリマス、殊ニ坑内勞働ハ屋外勞働ト違ツテ其ノ働キ方ニ依ツテ非常ニ速ク、連日百姓ガ鑛山ニ入ツテ仕事ヲシテモ、決シテ成績ハ劣ラナイ、御承知ノヤウニ坑内ニ於ケル空氣ノ模様ガ屋外トハ異ツテ居リマシテ、屋外デ働イテ居ル氣分デ坑内デ働クナラバ、直ク疾病ニ罹リ或ハ怪我ヲ致スノデアリマス、御承知ノヤウニ坑内ニ於ケル酸素量ハ缺損シテ居ル、殊ニ炭山ニ於テハ百分ノ一以上缺損シテ居ル、御承知ノヤウニ百分ノ一・六七ニナルト火ガ消エル程度マデ酸素量ハ缺損シテ居ルノデアアル、又働ク勞働時間カラ見テモ、斯ル不熱練ノ勞働者ヲ以テ坑内ノ作業ヲ續ケサセルトコトハ、前申上テ通り災害防止ノ上カラ、又保安ノ上カラ一日モ早ク熱練勞働者ヲ多數持タナケレバナラナイト思フノデアリマス、此ノ方法ニ依ル外増産対策ハ考ヘラナイノデアリマス、ソレデ一時的ノ資

所ガ最近農村ニ於ケル勞働者ノ募集困難ニ鑑ミ、業者ハ急激ニ初給賃銀ヲ増額シテ募集シテ居リマスガ、却テ初給賃銀ガ非常ニ暴騰シタ結果、採算上非常不利ヲ來スト同時ニ、水々働イテ居ル勞働者トハ賃銀ノ約合ガ取レナイ結果、熱練鑛夫ガ其ノ職場、其ノ山カラ逃出スト云フコトニナツテ居リマス、政府ノ「インフレ」對策カラ考ヘマシテ、賃銀ヲ是以上上テグタイトシテ鑛夫ヲ優遇スル途ハ、結局年金制度ヲ以テ「インフレ」ト賃銀昂騰ヲ防ギ、増産ニ向フヨリ外ハナイト考ヘマス、隨テ是ガ連ナル實施ヲ見ナケレバ、今政府ガ考ヘテ居ル石炭六百万噸増産、重要礦物ノ増産ニ致シマシテモ目的ヲ達スルコトハ困難デア

○林政府委員 鑛山勞働ニ對スル御話ノヤウナ年金制度ハ、一般的ニ國民生活ノ安定ト云フ見地カラ申シマシモ、極メテ必要デアルト思ヒマス、殊ニ鑛山勞働者ニ對シテ斯ノ如キ保護制度ヲ作ルト云フコトガ、重要礦物資源ノ開發ガ現在ノ急務デアルト云フ見地カラ、又鑛山勞働者ニ坑内勞働ガ非常ニ他ノ勞働ト違ツテ特殊性ガアリ、衛生ノ見地其ノ他カラ特ニ保護スル必要ガアルノミナラズ、熱練鑛夫ガ成ベク山ニ止メルト云フ點カラ考ヘテモ極メテ必要デアルト考ヘテ居リマス

○川俣清君 モウ一ツ御話ノヤウニ、相當考慮デアルト云フコトハ認メルノデアリマスガ、其ノ結果ヲ得ラレマデニ臨時的ニ何等カ考慮サレルコトガアルノデハナカ

○林政府委員 御話ノヤウナサウ云フ年金制度ヲ作ルマデノ暫定的ノ方法トシテ郵便年金制度ノ或種ノ強制ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方ニ於テモ十分研究ヲシタノデアリマス、郵便年金ニ付テハ前ノ改正後ニ於テ團體年金制度ヲ作ツテ、斯ウ云フ風ナ多數人ノ集ツテ居ル所ニ其ノ團體年金ニ入ツテ貰ヒ、相當ノ特典ヲ與ヘルト云フコトニ依ツテ此ノ制度ノ目的ヲ達シヨウト思フテ居ルノデアリマス、所ガ實際上ノ問題ト致シマス、多數人ガ集ツテ居ル所デモ所謂職員ト勞働者トニ分ケテ申シマシト、職員ハ大體ニ於テ會社工場ニ於テ働イテ居ル場合ニ於テ勤続年限ガ長ク安定性ガアルト云フコトガ言ヘルノデ、比較的任意的ナ團體年金制度ガ利用サレテ居ルノデアリマス、所ガ勞働者ノ方ニナリマス、鑛夫モ同ジデスガ、非常ニ移動ガ多クノデアリマス、勿論是等ノモノガ二年三年共處ニ安定スルト云フコトニナリマスレバ、其ノ後ニ於テハ比較的安定シテ居ルノデアリマス

○川俣清君 石炭ノ委員會ニ於キマシテモ、斯ウ云フ問題ガ出テ居ルノデス、今日勞働者ノ移動ガ非常ニ甚クテ安定ガ付カナイ、隨テ強制的ニ是ノ移動ヲ止シテハドウカ、斯ウ云フ議論ガ大分業者方面カラ出テ居ルノデアリマス、政府ノ方デモ此ノコトヲ考ヘテ見タイケレドモ、サウ云フ風ニ移動ノ強制阻止ヲ致シマス、遂ニ募集ガ出來ナクナラサウ云フ方法ハ困難ダ、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居リマスケレドモ、ソレハ私ハ適當ナ方法ヲヤナイト思フ、寧ロ年金ト云フコトノ方法ニ依リマシテ安

○付テノ政府ノ御考ヲ承リタイ
○舟橋政府委員 只今ノ御質問ノ趣旨ハ能ク了承シマシタ、是ハ内務省ノ社行政ニ關スル所管デゴザイマスノデ、内務省ノ政府當局ニドウカ御質問額ヒタイと思ヒマス、私ノ方デハ内務省ノ意見ニ從フコトニナツテ居リマス

○守屋慶夫君 只今御答辯デゴザイマスガ、オヤリニナルト云フコトデアレバ直グニナルト思ヒマス、ナゼカト云フハ神武天皇御遺ニ關スル調査委員會ガアリマスカラ此處ニ於テ此ノ御三代ノ御聖蹟調査ヲスルト云フコトニナレバ難カシイコトハナイト思ヒマス、要スルニ當局ニ熱心ガ有ルカ無イカト云フコトニ依ツテ此ノ問題ハ解決スルト思ヒマス、此ノ點如何デアリマスカ
○舟橋政府委員 熱心ガアルト云フ風ナコトニ付テハ此ノ御答辯シ兼ネマスガ、能ク御希望ノ御趣旨ハ了承シマシタ
○則元委員 攝原神宮ノ稱ヘ方ニ付キマシテハ、國定教科書ノ上ニモ擧ゲラレテ居ルヤウニ伺ヒマス、文部省トシテノ考ヘ方ハアルベキダト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○舟橋政府委員 其ノ方ノ専門ノ圖書局長カラ御答辯サセタイト思ヒマス、私カラ此ノ際御答辯スコトハ避ケタイト思ヒマスカラ、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス
○齋藤委員 ソレデハ日程第四一、日程第四二兩建議案ハ併合可決致スコトニ御異議ゴザイマセカ
○齋藤委員 可決致シマス
○齋藤委員 可決致シマス

○齋藤委員 可決致シマス
○齋藤委員 可決致シマス
○齋藤委員 可決致シマス

ノ爲學校總動員ニ關スル建議案——提案者 川崎君
○川崎君之太郎君 孝道振作ニ關スル學校總動員ノ建議案ニ付キマシテ、簡單ニ趣旨ヲ説明致シマス、今更古イ話デ、孝道ナント云フノハ古イチヤナイカト私共ノ友人カラ冷カサレタコトモアルデアリマス、ソコデ左様ナ有様デアアルカラ孝道ヲコソ此際大イニ振作セバナラヌト益々感スル次第デゴザイマス、ソコデ政府當局ハ代々孝道振作ニ關スル私共ノ請願ヲ最近三回程概イテ採用サレタノニ御賛成下サツテ居リマス、其ノ度毎ニ學校ニ於テハ申シ分ナク孝道ノコトヲ主ニサセテ居ルト云フ御答辯デアアルデアリマス、ケレドモ、其ノ經過カラ見ルト云フト、何等ノ孝道振作ニ付テモ如何ニモ一時ノ氣休メニ答辯スルト云フ次第デアリマス、恰度放逐局デ毎朝愛國行進曲ノ「レコード」ヲカケ今朝ハ甲ノ「アナン」ガ掛ケテ、ソレデ朝ノ役目ガオ終ヒタナラシメテ、代々ノ政府ガ選ツテ、政府ノ次官若クハ參事官ノ方々ガ愛國行進曲ノ「レコード」ヲカケテ居ラレタルノ見テ其ダ憤慨ニ堪ヘナイノデアリマス、此ノコトニ付テモウ少シ誠意ヲ持ツテ誠意キタイト云フノガ、此ノ建議ヲ提出シタ所以デゴザイマス、中スマデモナク今日日本ハ東亞ノ新秩序ノ建設ニ掛ツテ居リマス、ソコデ其ノ爲ニハ日滿支ガ經濟的ニモ政治的ニモ道德的ニモ皆提携一致シテ行クト云フコトヲ主トシテ居ルノデゴザイマスガ、滿洲ニ於テハ五族協和ヲ以テ主義トシテ居リ、北支ニ於テハ新民主主義ヲ以テ立ツテ居リマ

ス、王克敏ハ新民主會ノ會長ニナツテ居リ、昨年ノ十二月式ヲ舉ゲテ盛ニヤツテ居リマス、ソレカラ今度新シク出來ル汪兆銘ノ政府ハ國民黨ノ傳統ヲ受ケテ旗ヲ青天白日旗ニスルノミナラス、修正ハスルケレドモ、ヤハリ孫文以來ノ三民主義ヲ以テ國ノ基礎トスルコトヲ宣言シテ日本モソレヲ承認シテ、ソレト提携スルコトニナツテ居ルデアリマス、他ノ民族ガ左様ナ強イ主義ヲ以テ立ツテ居ル時、日本ハ何ヲ以テ之ニ對スルカト云フコトヲ考ヘナクテハナラス、ソレハ根本的ニ經濟問題、軍事問題ト色々澤山アリマセウケレドモ、德教ノ方カラ何ヲ以テ日本ハ彼等ヲ率キテ行クカ、或ハ教育シテ行クカト云フコトヲ考ヘナクテハナラス、サウスルノ新民主主義モ三民主義モ日本ニハ要ラナイ、昔カラアツタ所ノ貴重ナル特殊ノ團體ガアリマスカラ、是デ行キタイ、是ハ私ガ思フダケデアラウト思フ、私ハ少シ詳シク言ツテイデアラウト思フ、私ハ少シ詳シク言ツテ見タイト思フガ、ソレハドウデアアルカト云フト、皇室ヲ中心ニ仰キ奉ツテ、億兆國民ガ心ヲ一ニシテ一家族ヲ以テ固マツテ行クト云フコトデス、言葉ハ美シクアリマセウケレドモ、内容ヲ率直ニ申セバ、サウナリマス、其ノ觀念ヲ最モ明ニセラレタノハ今上天皇御即位ノ時ノ御勅語ニ左ノ如ク仰セラレテ居ルノガ一番宜イ言葉ダト思フ
デス「皇祖皇宗國ヲ建テ民ニ臨ムヤ國ヲ以テ家ト爲シ民ヲ視ルコト子ノ如シ列聖相承ケテ仁恕ノ化ニ洽ク兆民相率キテ敬忠ノ俗ニ奉シ上下感孚シ君民一體ヲ一ニスレ我カ國體ヲ精華ニシテ當ニ天地ト並ヒ存ス(キ所ナリ)其ノ天地ト共ニ存スル道ガ日

本ニアルノデゴザイマスカラ、向フガ新民主主義デアラウガ、三民主義デアラウガ、コナラハ是デ指導者ニナレルト確信スルノデアリマス、所ガ此ノ一家族制度ヲ組織シテ行クノハ、「ピラミッド」ヲ築クノニ下ノ礎石ヲ丈夫ニシナケレバナラヌト同様ニ、基礎ヲ築カナケレバナラヌ、基礎ハ如何カ、國家ヲ一ツノ一家族トスルナラバ、路々ノ人民ノ家庭ヲ、勤メ人ニ於テモ、農民ニ於テモ、商人ニ於テモ其ノ家庭ヲ堅固ニシナケレバナラヌ、其ノ家庭ヲ何ニ依ツテ堅實ニスルカト云フト、考ヲ以テ先祖ニ繫ガル、子孫ニ繫ガル、先祖モ、陛下ノ忠良ナル臣民、自分モ、陛下ノ忠良ナル臣民タルコトヲ期シ、子孫モ亦ソレヲ期スル、ソコデ結付クコトデハ一家族制度ガ出來ルノデゴザイマスカラ、忠ト云フコトモ、家族制度ガ衰ヘテハ決シテ完全ナモノニハナラヌト思フノデゴザイマス、此ノ事ヲ今ヨリ三十年餘リ前ニ、教育界ノ大先輩澤柳政太郎先生ガ大層憂ヘ、教育界ノ千頁近イ「孝道」ト云フ上下二冊著キ本ヲ書イテ居リマス、文部省ノ方々ハ疾ニ御存ジノコトデゴザイマスルガ、其ノ中ニ、忠孝一致ト云フケレドモ、孝ガ衰ヘテ忠ガ榮エテ行ク譯ハナイデハナイカ、ソコデ孝ガ衰ヘテ、隨テ家族制度ガ衰ヘルナラバ、由々シキ大事ダ、明治ニナツテカラ忠ト云フ觀念ハ益々盛ンデアリ、色々ト日清戰爭、日露戰爭ト云フ對外問題マアツテ、忠ノ觀念ハ益々盛ンナリ、小學校モ全力ヲ注イデ、其ノ方々吹スル、併シナガラ忠孝一致ナラバ、孝ノ方々片散ニ衰ヘサセテ、ソコデ忠孝兩道ガ全ク成ル管ガナイデハナイカト云フ嘆息ノ言葉ヲ「孝道」ノ中デ數箇所漏ラシテ居ラ

レマス、ソコデ齋ミマスレバ、日本ノ忠孝ノ道ハ、勿論舶來品デモナク、今ニ始メラレタモノデモナク、儒教、佛教ガ來テカラ始ツタモノデモナク、以前カラアルノデアリガ、特ニ明治ニナツテカラ、孝ノ方ガ以前ヨリ大分衰ヘテ居ルト思フ、是ハ澤柳先生モ左様ニ仰シヤツテ居ラレシ、勿體ナイ話デアリマスガ、明治天皇ノ御勅語其ノ他ニモ現ハレテ居ルノデゴザイマス、明治六年、其ノ時ノ皇后陛下、今カラ申上ガマスレバ、昭憲皇太后ガ侍臣ニ命ジテ、孝道録ト云フモノヲ編輯サセテ御配リニナツタコトガアリマス、孝道ノ衰ヘタコトヲ御心配ナサレテノコトデアナルト思ヒマス、明治十五年ニハ、明治天皇ハ東京ノ帝國大學ヘ行幸シ給ヒテ、其ノ時西洋ノ理科學ナドバカリニ耽ツテ、日本ノ忠孝ノ道ガ疎ニナツテ居ルノヲ御歎キニナツテ、侍臣元田永孚先生ニ命ジテ幼學綱要ヲ編マセラレタコトハ亦御承知ノ通りデアリマス、ソレカラ明治ノ間ニモ、孝道ノ衰ヘタコトヲ振ヒ興スコトヲ盛ニ謳ツテ居ラレマス、又明治十四年ニ小學教員心得ト云フモノヲ文部省ガ全國ヘ配付セラレ、其ノ十六箇條ノ心得ノ中ニモ、皇室ニ忠ニ、父母ニ孝ト云フコトヲ特筆シテ居ラレマス、ケレドモ、段々社會狀態ノ變遷ニ伴ツテ、孝ノ方ガ片散ニナツテ、忠ノ盛ナルニ及バナクナツテ來タコトヲ遺憾トスルノデアリ

マス、ソコデ十二年ノ教育大旨ノ方ヲ見ルト、仁義忠孝ヲ疎ニシテ、五倫ノ御教文ノ廣ク知識ヲ世界ニ求ムベシト云フコトニ走リ過ギテ、外國ノコトニバカリカブレテ居ルノデ、遂ニハ大義ヲ無視スルコトガ起ラヌトモ限ラヌデハナイカト、斯ウ云フ激シイ言葉ヲ用ヒラレテ居ルノデアリマスガ、果シテ、明治ノ末年ニハ幸徳ノ大逆事件ガ起ラエテ、大正及ヒ昭和ニ掛ケテハ、國體ノ變革ヲ企テル者ニ對シテノ法律ガ、日本デ初メテ單行法律トシテ定メラレ、更ニソレヲ改正スル必要ガ起ツテ居ル、大義ヲ無視スルコトノ心配ガアルト、上ツ方ガ明治十二年ニ數カレタコトガ事實ニナツテ現ハレタノデアリマス、ソコデウイ最近ノコトデアリマスガ、言語ニ絶スル殘虐ナコトガアツタ、日本大學生某ヲ親ヲ掛リテ殺シ、其ノ時手傳ツタ妹ノ榮子ガ監獄カラ出テ來ルト、或女學校ノ校長先生ノ所ニ世話ニナツテ居ルヤウデスガ、兄弟ヲ殺スコトノ手傳ヲシタ其ノ娘ニ結婚ノ申込ガ多クテ仕様ガナイト云フコトデス、ソレガ現實ノ社會ノ實情ナノデアリマス、其ノ新聞ハ文部當局モ御覽ニナツテ居ララウト思ヒマス、更ニ文部省カラ御書出シテ載キマシタ教育家ノ演說事件ノ表ガアリマス、之ヲ見ルト實ニ驚イタモノガアル、大抵ノコトハ小學校ノ先生ダカラト云フノデ、表沙汰ニハシナイノデ、ヨクノコトデアアル、演說トシテ裁判所ナリ、何ナリヲ經テ、サウ云フヤウニ言渡サレタ者ガ續ク出テ居ル、之ニ依リマスルノ極々重イ言語道斷ノモノダケヲ御算ヘニナツタノデセウガ、演說ニ掛ツタ者ガ兵庫縣ハ視學ガ十名、小學校員ガ十二名、其ノ

他一名デ合計二十三名、ソレカラ新潟縣デハ視學ガ演說ニ掛ツタ者ガ三名、小學校員ガ六十六名、其ノ他十四名デ合計八十三名、岡山縣デハ視學ガ演說ニ掛ツタ者ガ四名、小學校員ガ五十七名、其ノ他一名、合計六十二名、青森縣デハ視學一名、小學校員二十四名、其ノ他一名デ二十六名ニナツテ居ル、我ガ東京ニ於キマシテハ、小學校員ガ三十四名引掛ツテ居ツテ、其ノ他八名合計四十二名、尙ホ此ノ文部省カラ載イタガリ版ニ依リマス、青森縣ノ一名トアルノハ元縣ノ視學ガアツテ今社會教育ノ主事ヲシテ居ル、東京府ノ八名ト云フノハ元縣學デ今ハ東京市ノ吏員デアル、ソレガ一名デス、東京府ノ視學ニシテ東京府ノ吏員ニナツテ居ルノガ二名、東京府ノ吏員デアツテ東京市ノ吏員トナツテ居ル者ガ一名、元小學校教員ガ二名、東京市吏員ガ二名、ソレカラ新潟縣ノ十四名ト云フノハ、元縣ノ視學ガ現職視學ガ三名、中等學校ノ教員ガ三名、實業補習學校ノ教員ガ三名、是デハマルデ此ノ頃天然痘ガ流行シテ大騒ギデゴザイマスガ、天然痘ノ保菌者ガ方々出テ歩イテ、サウシテ病人ヤ何カラ世話シテ居ルノト同ジコトナダ、斯ウ云フコトハ何時ノ世ニモアルコトデゴザイマセウガ、斯様ナ毒ハ切レナイデ、外マデ吹出シタ腫物ガ出テ居ル、是ハ何カト云ヒマシト、小學校ノ教育ニ於テ文部省ノ當局ガ今一腰入レテ德教ノ方、就中孝道ノ方ニ念ヲ入レテ下サツタナラバ、斯様ナコトガナクテ済ンダラウト思フノデゴザイマス、如何ニモ残念デ堪リマセウ、躍進日本ガ東亞新秩序建設ノ途上ニアル時、先ヅ内輪カラ斯様ナコトヲ一掃シタイト考ヘルノデゴザ

イマス、是ガ建議ノ趣意デス、ソレデ民間デハ廢レテ居リマスケレドモ、皇室デハヤハリ御先祖ノ御祭ヲ何カ今デモ盛ニシテ居リマス、今日ノ春季皇祭祭ハ其ノ一ツダ、秋ニナツテ行ハレル秋季皇祭祭ハ其ノ二ツデアル、年ニ二度ハ特ニ皇祭ヲ天皇陛下ガ御祭リ遊バサレル、然ルニ民間ニ何モナイ、是ガナイノダカラ拵ヘテハ如何デアリマスカト云フコトヲ内閣ニ御相談スルト、其ノ國祭日ニ、天皇ノ御親祭ヲ仰グト云フコトニナルト私共ノ手ノ届カヌコトダカラ、考慮スルト云フコトデ、考慮ガ何年モ掛ツテ居リマス、文部省ニ何トカシテ拵ヘテ與レマセスカト云フコトヲ隣リノ部屋ノ請願委員會デ述べ、何遍モ通過シテ居リマスガ、佛教ヲ主トシテ行ハレテ居ル所ノ彼岸會、若クハ孟蘭盆會ニ代ルベキモノハ、今ノ文部當局ハヤラウト云フ熱心ガナイ、ソレデ皇室ニ於カセラレテハ春秋二季ニ皇祭ヲ祭ラレノニ、民間ニソレガ無イノハ相済マスカラ丁度忠ノ道ニ就テ紀元節、天皇節其他ニ於テ學校デハ、授業ヲ廢メテ其ノコトケケテ生徒ヲ招集ニナツテ、勅語ノ奉讀ヤ何カ爲サルヤウニ孝道振作ノ日ヲ春秋ノ皇祭祭ノヤウニデモシテ特ニ孝道ヲ説イテ下サル御熱心ハナカラウカ、ソレデナイト云フト、此ノ皇祭祭ト云フノハ、晝夜平分デ暑カラズ寒カラズノ好イ時デアリマスカラ、學生生徒ハ晝夜遊シマフ、若イ者ガ散步スルナリ、散步ナラバマダ宜イ、野球デモ觀テシマフ、野球ナラバマダフ所ヲブラ付イテシマツテ、顔ヲ眞赤ニシテ學生ガ怒鳴リ歩クト云フヤウナコトガ實際行ハレル、ソレヲ親孝行ヲスベキ日ダ、

先祖ノコトヲ考フベキ日ト云フコトヲ學
生ガ考ヘルヤウニ、春期、及ビ秋期ノ皇靈
祭ニ於テ、學校ヲ總動員シテ左様ナコトニ
一ツ御努力ヲ願ヒタイ、本氣ニナツテ戴カ
ナケレバ、又例ノ通り愛國行進曲ノ「レコー
ド」ヲ掛ケルヤウナ御答辯ヲ戴イタノデ
ハ洵ニ困ルノデス、是ハ冗談事デハゴザイ
マセスカラ、甚ダ憎マレロイテ相濟ミ
マセスガ、私ノ誠意ハ其處ニアルノデゴザ
イマス

尙ソレニ付キマシテ今度ハ教科書ヲ再檢
討スル必要ヲ御感ジニナラナイカト云フコ
ト、之ニ附加ヘテ置キタイノデゴザイマス、
教科書ハ専門ノ學者及ビ經驗家ガ澤山寄リ
集ツテ、御指ヘニナツタノデ、實ニ立派ナ
モノデアリマス、立派ナモノデアリマスガ、
此ノ孝道鼓吹ニ至ツテハ、私忙シイ折柄デ
ゴザイマスケレドモ、尋常小學校、高等小
學校ノ全國ニ行ハレル物、及ビ多少ソレニ
類スルヤウナ中等學校ノ教科書ノヤウナ物
マデ、修身、歴史、讀本ヲ殘ラズ見マシタ
ケレドモ、孝道ノ鼓吹ト云フコトニ付テハ
隨分足ラナイ、是ハ文部省バカリデナク世
間一般ニ少シ間違ツテ居ル所ガアルト思フ、
例ヘバ天祖ノ神勅トシテ此ノ豐原瑞穂國
ハ是レ吾ガ子孫ノ王タルベキ地ナリ云々ト
云フ御言葉ヲ賜ツテ居ル、是ガ天壤無窮ノ
有難イ御勅語デアアルト申上ゲルマデモ
ナイ、ソレハ徹底シテ居ル、ソレハ十分御
説キ明シニナルケレドモ、ソレト同時ニ神
鏡ヲ賜ウテ、之ヲ見ルコト我ヲ見ルガ如ク
セヨト宜ハツタ、其ノ方面ノ説明ハ甚シク
缺乏シテ居ル、是ハ勿論唯神主何方ガ話
スヤウニ、鏡ニ宿ル神様ヲ拜ムノダト云ツテ
シマヘバソレダケデアアルガ、此ノ御神鏡親授

ノ御意義ハソレダケデアナイト思フ、今ナラ
此ノ寫眞ヲ前ニヤルカラ之ヲ見テ能ク先
祖ノ顔ヲ思出セト云フコトガアルカモ知レナ
イガ、三千年ノ昔デゴザイマスカラ、父君、伯
父君、祖父君ノ顔ヲ寫ス物ハ鏡シカナイ、
其ノ孫、或ハ曾孫ニ孫孫デゴザイマスカラ、
自分ノ顔ヲ寫シテ見タ時ニハ、私ノ御先祖
モ若クハハコソナ顔ヲシテ居ラツシヤウ
タノダラウト感ズル所ノ深長ナ意味ガ含マ
レテ居ルト拜察致スノデゴザイマス、サウ
スレバ是ガ又天祖ノ神勅ニ於テ忠ト離レバ
カラザル孝道ト云フモノヲ大和民族ニ打込
マシタ一番初メノコトデアアルト思フ、之ヲ
御實行ナサツタノガ、神武天皇デ、都ヲ攝
原ニ定メサセ給ウテ、四年後ニ鳥見山ニ靈祠
ヲ建テ給ウテ皇祖皇宗ノ靈ヲ祀ツテ、日本書
紀ニ依レバ、大孝ヲ申ベ給フトアル、然ル
ニ此ノ教科書ニ出テ居ル所ニ依ルト、大孝ヲ
申ベ給フ是レ敬神ノ起源ナリト、フイト餘
所ノ方ニ飛ンデシマツテ居ル、ソレハ神武
天皇ガ鳥見山ノ御祭ヲスル頃ハエライ御年
寄テ居ラツシヤウナ、父君モ祖父君モ
無論居ラツシヤウナ、ソレデ眼ニ見エナ
イ御先祖ノ方々ノ靈ニ謝シタノデゴザイマ
スケレドモ、其ノ時ニ、我が父君ハ、我が
伯父君ハト云フ觀念ヲ持タレタニ違ナイ、
形ガ見エナイカラ、敬神ノ形ニナツタニハ
違アリマセスケレドモ、ソレハ實ハ孝行ノ
心ノ現ハレノ元デス、ソレヲ孝行ノ元ナン
ダト云フコトニ説カズシテ、世間一般ノ、
是レ唯敬神ノ道ノ初メデアアルト云フヤウニ、
餘所ニフツ飛ンデシマフ、一例ヲ舉ゲレバ
ソソナコトデアアル、女學校ノ教科書モ研究
シマシケレドモ、此處ニ一々申述ベテ他
ノ方々ニ迷惑ヲ掛ケテハ濟ミマセスカラ、

ソレハ述ベマセスガ、明治二十六年内務三十
万圓ノ制イテ製艦費ニ向ケサセ給フタ時ニ
スラ、明治天皇ハ尙且祭祀ト皇太后ニ對スル
供奉ハ少クシテ減ラサント仰セラレタコト等
ハ教科書中ニ見當リマセス、事如何ニモ重大
デ、孝道ノ消長ハ我國ノ興廢ニモ關スルコトデ
アリマスカラ、其ノ趣意ニ基イテ小學校ノ教科
書ヲ一應見直シ御用意ハナイカ、小サイ子供
ニ教ヘルノデアアルカラ非科學ノコトデア
ケナイト云フノデ、政府ハ前年養老ノ瀧ノ水
ガ瀧ニナツタ話ヲ御省キニナツタケレドモ、
今小學校ノ教科書ヲ見ルト、大江山ノ酒吞童
子ノ話ダノ、八岐大蛇ノ尾カラ劍ガ出タノ
ト云フ話ガ省イテアル、ソレニ代ル何モ
ノ瀧ノ話ダケ省イテアル、ソレニ代ル何モ
ナイ、ノミナラズ是ハ御意見ノアル所デゴ
ザイマセウカラ、是ハ御互ニ研究スベキコ
トデ、私ハ斷案ハ下セマセスガ、重大ナル
問題ハ只今ノ教科書デ、文部省ハ斯ウ云フ
コトヲ教ヘテゴザル...

ラ、此ノ邊一ツ再檢討ヲシテ戴キタイト
云フノガ此ノ建議ノ趣旨デゴザイマス
○舟橋政府委員 御答致シマス、御建議ノ
趣旨ニ付キマシテハ、只今川崎君カラ極メ
テ熱心ヲ御意見ヲ拜承致シマシテ、能ク諒
承致シマシタ、我國ノ教學ノ本旨ヨリ見マ
シテ、御建議ノ御趣旨ハ全然同感デゴザイ
マスガ、抑我國ハ萬古不易ノ國體ニ基キマ
シテ、一大家族國家ヲ成シ、萬民ハ心ヲ一
ニシテ聖旨ヲ奉體シテ克ク忠孝ノ美風ヲ發
揮致シテ參ツタノデアリマス、是ハ實ニ我
國道徳ノ大本デアリマシテ、我が國運ノ隆
昌ニ赴ク所モ亦是ニ基イテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ明治初年以來歐米ノ思想文化ノ
急激ナル輸入ニ伴ヒマシテ、西洋ノ個人主義
思想ノ流入ヲ見マシタ結果、動モスレバ忠孝
ノ大義ニ背馳致シ、我國古來ノ家族制度ニ
悖ルガ如キ弊ノ生ズルニ至リマシタコトハ、
甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、文
部省ニ於テハ此ノ弊ヲ大ニ憂慮致シマシテ、
教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉體致シマシ
テ、學校教育社會教育ヲ通ジ、忠孝ヲ本ト
スル我が國風ニ培ヒ其ノ良風美俗ノ維持發
揚ニ努メテ參ツタ次第デアリマスガ、特ニ
教科書ニ於キマシテハ、忠孝一本ニシテ不
離ナル皇國固有ノ教育ヲ強調シテ、青少年ノ
徳性涵養ニ力ヲ致シ、別ニ國體ノ本義及ビ
日本精神ニ關スル書冊ヲ編纂致シマシテ、
廣ク之ヲ頒布シテ、忠ノ道ト共ニ孝ノ道ノ
實踐ヲ勸奨シ、更ニ教員ニ對シマシテハ、
再教育及ビ大學高等專門學校ノ學生生徒ニ
對スル日本文化ノ講義ヲ實施致シマシテ、
孝道ノ振作ヲ圖リ、又春秋二季ノ皇靈祭ニ
當リマシテハ、天皇陛下ハ宮中皇靈殿ニ於
テ皇祖皇宗ヲ御親祭遊バシマシテ大孝ヲ申

ベサセラレ、孝道ノ範ヲ萬民ニ垂レサセ給
フ御事ヲ教科書ニ奉揚シテ之ヲ教ヘ、或ハ
訓諭セシメテ、皇宗ノ御孝教厚キヲ仰ギ奉
リ、肅敬ノ誠ヲ表セシメ、以テ孝道ノ獎勵
ニ遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス
尙將來實施致シマス國民學校ノ教育ニ
於キマシテモ、行事ヲ重視致シマシテ訓練
ノ徹底ヲ期シマシテ、行事中ニ孝道操作ノ
方法ヲ講ゼシメントスル方針デゴザイマス
ガ、尙ホ只今提案者カラ極メテ眞摯ニシテ
御熱心ナル御建議ノ趣旨ニ鑑ミ、十分ニ將
來善處致シタイト存ジマス
○齋藤委員 本建議案ハ之ヲ可決スルニ
御異議アリマセスカ
○異議ナシト呼フ者アリ

然ルニ此處ニ在學スル所ノ生徒ト云フ者ハ、
總テ是ガ學力ヲ必要トスルト云フヨリハ、
自己ノ社會人トシテノ義務上ノ資格ヲ求メ
テ居ル者デ、此ノ高等小學校卒業程度ト云
フ資格ヲ望ンデ、此ノ學校へ入ツテ居ルノ
デアリマス、是ガ段々ト町村ノ中デモ、向
テ學校ヘ併置スレバ、此方ノ學校ニモ併
置スルト云フヤウナコトデ、自然是ガ爲ニ
非常ニ不經濟ナル學級數モ出來、町村ノ教
育費ノ上ニモ多大ナル負擔トナリ、且又此
ノ教育ノ内容ヲ窺ツテ見ルト、洵ニ畫一形
式ノモノデアツテ、直チニ社會人トナル
所ノ是等ノ生徒ニハ、實際ニ於テ不適當デ
アルト云フコトカラ、心アル所デハ何レモ此
ノ高等小學校ノ代リニ晝間通年ノ實業補習
學校制度ニ依リマシテ、一町村一校ニスルト
云フコトニシテ參リマシタ、昭和十年ニ青年
學校制度ガ出來マシテ以來、一町村内ニ數
校アツタ高等小學校又實業補習學校ノヤ
ウナモノ、此ノ青年學校制度ニ依リマシテ、
一町村一校ニ集メマシテ、サウシテ以前ノ
併置シタル所ノ總テノ高等小學校等ヲ廢メ
テ、此處ニ集メテ、サウシテ此處ニ青年教育
ノ本科トシテ連絡ヲ能ク致シマシテ、一貫シタル
教育ヲ爲スト云フコトデアリマシタ、所ガ
今度國民高等學校ト云ヒマスガ、其ノ制度
ニ依ルト之ヲ廢止スルト云フコトガ、教育
審議會ノ内申ニナツテ居リマスガ、實際
青年教育ト云フコトヲ完成スルト云ヒマス
レバ、先ヅ只今云フコトニナリマセウガ、
年學校トスルト云フコトニナリマセウガ、
本科ノ通學率ヲ良クスルト云フコトハ、普
通科ト云フモノガアツテ、ソレカラ連絡ヲ
執ツテ行ケバ、非常ニ職業指導、補導ノ
上ニ於キマシテモ、同ジ學校同ジ先生、

サウシテ此ノ本科ト連絡ヲ執ツテ行タト云
フコトニ於テ、初メテ青年學校ノ義務制ノ
效果ガアルト云フコトニナルデアリマス
ガ、今日之ヲ國民學校案ニ依リマシテ、
元ノ小學校ニ戻スト云フコトニナルデア
リマスカラ、ソレハ何レモ青年教育ニ今ノ
普通科ト同ジヤウナ教育ヲスルカラ宜シイ
ト云フ御意見ト思ヒマスケレドモ、此ノ義
務制青年學校制度ヲ總ツテ、其ノ間ニ於ケ
ル地方ノ教育ニ關心ヲ持ツ先覺者ノ苦心ト
云フモノハ一方ナラズモデアリマス、ソ
レヲ再ビ元ノ小學校ニ還シテ以テ今ノ初等
科トハ、善惡ト云フコトハ是ハ實施シタ曉
デナケレバ分リマセスガ、其ノ善惡ハ別ト
致シマシテ、現ニ現存シ、殊ニ府縣ニ於テ
獎勵シテ、サウシテ獨立校舍ヲ造ラセテ、
ソレニ集メテ昨年義務制ニシタ青年學校
制度ヲ、昭和二十年カラ廢止スルト云フコ
トニナルト、地方教育ニ關係アル者ハ國家
ノ斯ウ云フ變動ヲ非常ニ頻繁ニセラレル爲
ニ、迷惑ヲスルコト一方ナラズノミナラズ、
之ヲ再ビ小學校ニ還スト云フヤウナコトヲ
致サセマスレバ、如何ニ國民學校制度ガ良
イト云ヒマシタ所ガ、其ノ實際ニ及ボス效
果ト云フモノハ、必ず以前ニ逆行致シマ
ス、是ハ今日獨立ヲ致シテ居リマス所ノ校
舎デアアル、サウシテ一ツノ青年學校ノ晝間
通年トシテアリマスモノハ、此ノ際是非
トモ存續サセルト云フコトニシテ戴イテ、
サウシテ國民學校ノ義務制、青年學校ノ義
務制、何レデモ此ノ青年教育ニ資スル所ガ
アレバ、其ノ目的ヲ達スルモノダト、斯ウ
思フノデアリマス、ソレ今日實際ヲ見マ
スルト、小學校ノ高等科、初等科ヲ併置ス

ルト云フコトヲ原則トスルト云フノガ國民
學校ノ案デアリマスケレドモ、一ハ六年ヲ
卒業致シマスレバ、女學校ナリ中學校ナリ
ニ通ツテ居ル、殘サレタル所ノ高等國民學
校、今ノ高等小學二年ト云フモノハ、是ハ
同ジ兒童ノ扱ヒヲ受ケテ居ル、サウシテ朝
禮ニシテモ、訓示ニシテモ、尋常一年ト同
ジヤウナ訓示ヲ受ケテ居ルバナラズ、一方
ハ中學校ニ行ツテ既ニ青年ノ教育ヲ受ケテ
居ル、然ルニコツチハ兒童ノ教育ヲシテ居
ルト云フヤウナコトカラ見マシテモ、又學
校ヲ獨立サセテ置キマスコトノ方ガ、氣分
ヲ緊張セシメル上カラ云ヒマシテモ、非常
ニ效果ナルコトハ吾々ガ實地ニ於テ既ニ
今日マデ幾多經驗ヲシテ明ナ事實デアアル
ト云フ、信ジテ疑ハスノデゴザイマス、斯様
ニシテ獨立校舍ヲ拵ヘテ一ツニ寄ル苦心
コトハ、此ノ苦心ト努力ニ對シテハ眞ニ遺
憾ニ堪ヘナイノミナラズ、青年教育ノ上ニ
於テ、私ハ慎重ナル御考慮ヲ願ヒタイト思
フノデアリマス、只今川崎君カラモ色々
御話ガアリマシタガ、青年教育ト云フコト
ガ非常ニ閑却セラレテ居リマスガ爲ニ、
今日監獄ニ繋ガレテ居ル囚人ニ付テ調べ
テ見マシテモ、二十五歳マデノ者ガ六
割ヲ占メテ居ルト云フコトノ事實ニ鑑ミ
テモ、如何ニ今日青年教育ト云フコトガ必
要デアアルカガ背ケルノデアリマス、然ルニ
文部省デハ青年學校ト稱スルモノガ、現在
ノ本科ヲヤウテ實業學校ト云フノデアリ
マスケレドモ、是ハ言フベクシテ行フコト
ノ出來ヌモノデアリマス、故ニ茲ニ本科ノ
實業學校トスルナラバ、普通科ナルモノ
ノガ基礎デアリマスカラ、此ノ基礎教育ヲ

完成セシメテ、初メテ本科トノ連絡ヲ取リ、青年學校ノ義務制ト云フコトノ目的ヲ達シ得ラレモ、アルト思フノデアリマス、色々ノ御都合アリマセウガ、ドウカ是非トモ今日マデノ努力ト苦心トニ心ヲ致サレマシテ、現在アル所ノモノダケハ、之ヲ存置スルヤウニシテ實ヒタイ、斯ウ云フノガ本建議ノ理由デアリマス、何卒宜シク御願政シマス

○舟橋政府委員 青年學校ノ普通科ニ當ル青年教育ガ極メテ重要デアルト云フコトハ、只今提案者ノ補口君カラ御述ニナツタ通りデアリマス、國民學校案ノ實施ニ依リマシテ、義務教育年限ガ二箇年延長致シマス結果、是等青年ニ對スル教育ハ、雙面通年制ノ青年學校普通科ニ於テ企圖サレマシタ目約十分ニ達シ得ルモノト相成ル見込デアリマス、隨テ制度ト致シマシテハ、青年學校普通科ハ之ヲ廢止シ、其ノ長所トスル所ハ之ヲ高等國民學校ノ内容ニ採アリマコトニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ只今御述ニナツタ通り、青年學校ノ普通科ガ廢止セラレト共ニ、國民學校ガ出來ルコトニ付キマシテ教育上ノ缺點ト申シマスガ、サウ云フ點ニ付テハ、十分ニ遺憾ノナイヤウニ、注意ヲ致ス積リデゴザイマス

○樋口善右衛門君 モウ少シク述べサシテ戴キマス、文部當局ノ御答辯ハ他ノ機會ニ於テモ屢々御伺シテ居ルデアリマス、勿論此ノ國民學校案ニ基キ青年學校ノ普通科、所謂普通年ノ普通科ノ仕事ハ、高等國民學校ヲ教ヘルカヲ宜イト云フコトヨリ外ナイデアリマス、青年學校ト云フモノハ一町村一校ノ獨立校合デア

リマシテ、サウシテ今日ヤツテ居ルモノト同ジモノヲ教ヘルト云フノガ、之ヲ併置スル原則ニ於テ小學校ニ戻サナケレバナラスコトニナツテ參リマス、折角何万圓ト云フ金ヲ掛ケテ獨立校合ヲ造リ、而モ府縣ノ獎勵ニ依ツテ之ヲ造ツタモノデアリマス、其ノ獨立校合ノモノヲ今度別々ニ致シマス、サウスルト元ノ學校ニ還スト云フコトニナルノデゴザイマス、私ハ唯恐ルルコトハ、教育審議會ノ方々ノ權威ハ認メマス、併シナガラ是等ハ小學校ノ如キ山間僻阪ニアル實情ヲ果シテ御存ジノ上デ斯ウ云フコトヲ御立テニナツタカト云フコトヲ案ズル、私ハサウ云フコトナラ從ヒマスガ、將來ノ實績ヲ此ノ現在ノ青年學校ノ實績ヲ照合シテ以テ、彼此非難ヲ申上ゲナケレバナラス機會ガ必ズ到來スル、是ハ火ヲ賭モ、過去ニ於テ勸メラレタコトヲヤツタ町村ノ立場ト云フモノニ付テ御同情下サレナケレバ、今後國民學校案ニ付テ又再ビ獨立校合ヲ作ルコト云フヤウナコトハ、地方ニ取ツテハ迷惑此ノ上モナイコトデアリマス、凡ソ今日ノ制度ハ中央ニ於テ役人ガ代リ、人ガ代レババツバト變ルケレドモ、代ラレタ度毎ニ、ソレヲ實施スル町村トシテハ、此ノ制度ヲ實施スルコトハ中々困難デアル、ソレヲ實施シタ頃ニ又弊履ヲ棄テルガ如ク斯ウ云フ風ニ變ヘラレテ居ルガ、其ノ努力及ビ苦心ノ何等顧慮セズシテ、是ガカラ斯ウスルノダト云フヤウナ單調ナ考デハナク、獨立校合ヲ建テ一町村一校ニシ、サウシテ今日マデ苦心致シマシタル實情ヲ十分御察察下サイマシテ、何卒慎重ナル御取廻

辯ガ商工大臣カラモアツタノデアリマス、私ハ今日此ノ問題ヲ眞劍ニ突詰メテ考ヘテ見マスル時ニ、目下政府ガ御提出ニナツタ居ル所ノ、單ナル今日ノ營利追求ノ經濟機構ニ僅カナル新制ヲ加ヘル程度ノ方法ヲ以テシテ、今日我國ガ要求シテ居ル増産ノ目的ヲ達スルコトハ絕對ニ出來ナイデアリマス、私ハ政府ガ唯アノ法案ヲ出シタ手前、今ノ所國家管理ニ付テ考ヘテ居ラナイト云フヤウナ才座ナリノ答辯ヲサレト云フコトハ、日本ノ將來ノ一途イ將來デハナク、モウ本年ノ石炭ノ需要期ヲ如何ニスルカト云フ問題ガ起ツテ來ルと思フ、私ハ本年ノ石炭ノ需要期ニ於テ當然此ノ石炭國家管理或ハ石炭ノ國營論ガ起ツテ參リ、政府當局ニ於キマシテモ、必ズヤソレニ付テ方策ヲ考ヘラレナケレバ、具體的ナ方法ヲ考ヘナケレバ、而シテ議會ニ對シテ其ノ方法ノ相談ヲ掛ケラレナケレバ、ナナイ時期ガ來ル私ハ信ズリマシタ法律案ハ、只今ノ政府ト致シマシテハ、力ノ及ビ限リノ最上ノ案デアリマセウ、併シナガラ近イ將來當然起ツテ來ル所ノ問題ニ付キマシテ、モツト深ク政府ハ考ヘテ御立テニナラナケレバ、ナナイと思フ、此ノ建議案ハ甚ダ私ハ憐愍ナル申シヤウデアリマス、ケレドモ、他ノ建議案ト違ヒマシテ、日本ノ國防經濟ノ根幹ヲ成ス所ノ石炭ノ供給ノ問題デアリマシテ、一步誤レバ日本ノ産業ト云フモノハ破壊サレ、隨テ東亞新秩序ノ建設ト云フ偉大ナル事業ニモ障礙入ル、斯ウ云フ問題デアリマスカラ、兎ニ角次ノ段階ニ於テ此ノ問題ヲ如何ニシナケレバ、ナラヌカト云フ用意ガアルカドウカト云フ點ヲ一應御伺致シマス

シヲ御願政シタイト存ズルノデアリマス ○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセウカ

○齋藤委員長 次ハ商工省所管ニ入りマス、日程第二、石炭ノ國家管理ニ關スル建議案、第三一號 提出者加藤健造君

○加藤健造君 石炭ノ國家管理ニ關スル建議案ノ提案理由ヲ說明致シマス、石炭ノ需要ハ滿洲事變ヲ契機ト致シマシテ、重工業、化學工業ノ勃興、輸出産業ノ發展ノ爲、年々著シク増加シ、殊ニ支那事變發生以來、其ノ異常ナル需要ニ激増ハ炭價ノ暴騰炭質及ビ其ノ深刻ナル供給不足ヲ來シ、遂ニ生産機關ノ一部ヲ停止セシメ、國防上、産業上重大ナル支障ト國民生活ノ不安トヲ惹起シタノデアリマス、東亞新秩序建設ノ基礎ハ國防經濟ノ確立ニアリマス、國防經濟ノ基礎産業タル石炭ノ増産ヲ圖ルコトハ、刻下ノ最大急務デアリマス、最近石炭増産計畫ノ遲延トシテ進マサル原因ハ多クアリマスガ、其ノ主たるモノハ、勞働力ノ不足、技術者ノ缺乏、資材ノ配給難等デアリマス、隨テ是等諸條件ノ徹底的ナル緩和ヲ圖リ、生産力ノ増進ト配給組織ノ根本的ニ是正ヲ行ハナケレバナリマセウ、石炭業者ノ一部ニハ、今日石炭増産ノ途ハ第一ニ價格ノ引上ニアリト稱シテ居リマスガ、基礎産業タル石炭價格ノ引上ハ、總テノ國內物價ノ引上トナルデアリマシテ、是ハ低物價政策ノ破綻デアリ、戰時經濟ノ破綻デアリマス、低物價政策ト石炭増産計畫進行ト間ニ横割ハル所ノ此ノ矛盾ヲ解決スル方法ハ、石炭ノ

○喜多政府委員 御答申上ゲマスガ、先程ハ現在政府ニ於テハ現實ノ場合ニ於テ國家管理ヲスルノ用意ハ致シテ居リマセウト申上ゲタノデアリマスガ、只今ノ御意見ニ依リマシテ、次ノ段階ニ於テドウ云フ用意ヲサレカト云フコトニ對シテハ、石炭ノ國家管理ニ對シテノ研究調査ハ十分スル覺悟ハ持ツテ居リマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセウカ

○齋藤委員長 可決致シマス

○服部崎君 只今上程ニ相成リマシタル建議案ニ付キマシテノ趣旨ヲ簡單ニ御説明申上ゲ、併セテ政府ノ所信ガアリマスル所ヲ御伺申上ゲタイト存ジマス

○喜多政府委員 次ハ日程第二五、六大都市及主要都市ニ於ケル小賣白米検査制度確立ニ關スル建議案 提出者服部君

○服部崎君 只今上程ニ相成リマシタル建議案ニ付キマシテノ趣旨ヲ簡單ニ御説明申上ゲ、併セテ政府ノ所信ガアリマスル所ヲ御伺申上ゲタイト存ジマス

國家管理ヲ斷行シテ、生産配給ノ合理化ヲ圖ル以外ニ途ハナイノデアリマス、利潤獲得ノミヲ目的トスル現經濟機構ニ多少ノ國家ノ統制力ヲ加ヘタト致シマシテモ、決シテ現下並ニ將來ノ國內需要ヲ充足ニ足ル所ノ石炭ノ生産ノ増大ト配給ノ圓滑ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、仍テ政府ハ連ニ炭礦ノ國家管理ヲ斷行シ勞働力、技術資材ノ優先的配給ト重點主義ニ依ツテ能率ノ増進ヲ圖リ、以テ生産擴充ヲ徹底セシメ、一元配給統制ノ確立ニ依ツテ炭價ノ引上並ニ配給ノ圓滑ヲ圖リ、國防經濟ノ確立セラレシコトヲ要望致ス次第デアリマス、此ノ際政府ノ御所見ヲ承リ、全會一致ヲ以テ本案ヲ御採擇アラシコトヲ希望致シマシテ、提案理由ヲ說明ノ終ル次第デアリマス

○喜多政府委員 御答申上ゲマス、石炭ノ増産ニ對シテ勞務、技術、資材ノ優先的配給又ハ配置ト云フ風ナ點カラ、石炭増産ヲ圖ルコトハ今日ノ日本ノ情勢カラ見マシテ御説ノ通りデアルト當局モ考ヘテ居リマスガ、其ノ生産増加ト同時ニ配給並ニ價格ノ適正ヲ期スル爲ニハ、寧ろ國防上、産業上、國民生活ノ安定上其ノ重點ヲ定メテ行カナケレバナリナイ重大問題デアリマス、商工當局ト致シマシテハ、過去ニ於キマシテハ、重要礦物増産法ヲ活用ヲ以テ其ノ實現ヲ圖ツテ居ルノデアリマシテ、又石炭販賣取極規則ヲ制定ト同時ニ配給並ニ消費ノ合理化ヲ圖ツテ參リマシタ、併シソレノミヲ以テシテハ、只今御說明ノアリマシタ通りニ、今日ノ日本ノ情勢ニハ對シテ切レナイト云フ見地カラ、提案者御自身ガ委員ノ一人デアアル石炭統制配給ト云フ風ナ法案ヲ中心トシテ増産計畫及ビ其ノ他ノ計

查機關ヲ確立シ、一般消費者ノ保障ト保護ト、米穀配給ノ圓滑等ニ資シナケレバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ今日米穀ノ供給逼迫ヲ見テ居リマス、折柄、市場ニ取扱ハレテ居ル白米ノ小賣ノ狀況カラ見マシテモ外米、持米、之ニ内地白米ヲ混合シテ販賣シナケレバナラヌ現狀ニアルノデアリマス、此ノ點ニ鑑ミテ見マシテモ、至急是ガ機關ヲ設定致スト云フコトノ必要ヲ痛感致スノデアリマス、尙ホ本制度確立ニ依リマシテハ、品價共ニ公正ナル白米ヲ提供スルコトガ出來ルコト、第二、政府ニ於テ七分搗又ハ雜穀ノ強制混入ヲ爲サントスル時ニ當リマシテモ本機關ノ利用ニ依ツテ徹底ヲ期スルコトガ出來ルノデアリマス、第三ニハ、米穀配給ニ對シマシテ、本機關ヲ活用致シマスレバ、消費者ノ買溜其他ヲ防止スルコトモ出來ヨウト存ジマス、第四ハ、將來米穀ノ專賣等ヲ爲サント致シマス時ニ、本機關ハ直チニ消費者ト結付ク直接機關トシテ動員スルコトガ出來ルノデアリマス、是等ノ點ヲ舉ゲテ考ヘテ見マシテモ、其ノ機關ノ如何ニ必要デアるかト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、以上ガ本建議案ヲ提案致シマシタル趣旨ノ一端デアリマス、尙ホ此ノ際政府ノ之ニ對スル御所見ヲ承リ、重ネテ御答申上ゲタイノデゴザイマス

○喜多政府委員 服部君ニ御答致シマス、六大都市其ノ他ノ主要都市ニ於キマシテ小賣白米ノ検査制度ヲ實施シマシテ、白米ノ量目、白米ノ品質ノ公正ナルコトヲ圖ルコトハ、米ノ價格ノ低物價政策ニ並行セシムルコトト同時ニ、又今日ノ戰時體制下ニ於

○加藤健造君 今一應政府ニ御伺シテ置キマスガ、勿論經濟機構ノ改革ト云フコトハ急激ニ變化ヲ伴フヤウナ方法ヲ以テ致スコトハ出來ナイコトハ私ハ承知致シテ居リマス、併シ支那事變以來ノ我國ニ於ケル石炭ノ需給狀況ヲ見マスル時ニ、吾々ハ此ノ際我國ニ於ケル所ノ石炭ノ相當急激な増産ヲ致サナケレバ、此ノ需要ニ應ジレナイ、隨テ先程申シマシタル國防産業ノ基礎ヲ確立スル、國防經濟ノ基礎ヲ確立スルト云フコトハ、私ハ不可能デアルト思フノデアリマス、只今政府委員カラ御答辯ニナリマシタヤウニ、今日マデ政府ハ色々ナ方法ヲ石炭ノ増産ヲ圖ツテ來ラレタノデアリマス、又今回石炭統制法ヲ御出シナリマシテ、吾々ハ目下審議シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案ニ付キマシテ、色々ナ質問ガアリマシタ、吾々モ亦此ノ法案ヲ實施スルコトニ依ツテ果シテ所期ノ増産ガ達セラレカドウカト云フ點ニ多クノ疑問ヲ持ツテ質問致シタノデアリマス、又商工當局ニ於キマシテモ、商工大臣ヲ初メトシテ、最初ハ此ノ法案ハ最上ノ法案デアルト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、段々此ノ法案ハ改善ノ策デアル、現在ノ所此ノ法案ガ宜イト思フ、將來ノコトハ又將來ノコトトシテト云フヤウナ御答

○加藤健造君 今一應政府ニ御伺シテ置キマスガ、勿論經濟機構ノ改革ト云フコトハ急激ニ變化ヲ伴フヤウナ方法ヲ以テ致スコトハ出來ナイコトハ私ハ承知致シテ居リマス、併シ支那事變以來ノ我國ニ於ケル石炭ノ需給狀況ヲ見マスル時ニ、吾々ハ此ノ際我國ニ於ケル所ノ石炭ノ相當急激な増産ヲ致サナケレバ、此ノ需要ニ應ジレナイ、隨テ先程申シマシタル國防産業ノ基礎ヲ確立スル、國防經濟ノ基礎ヲ確立スルト云フコトハ、私ハ不可能デアルト思フノデアリマス、只今政府委員カラ御答辯ニナリマシタヤウニ、今日マデ政府ハ色々ナ方法ヲ石炭ノ増産ヲ圖ツテ來ラレタノデアリマス、又今回石炭統制法ヲ御出シナリマシテ、吾々ハ目下審議シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案ニ付キマシテ、色々ナ質問ガアリマシタ、吾々モ亦此ノ法案ヲ實施スルコトニ依ツテ果シテ所期ノ増産ガ達セラレカドウカト云フ點ニ多クノ疑問ヲ持ツテ質問致シタノデアリマス、又商工當局ニ於キマシテモ、商工大臣ヲ初メトシテ、最初ハ此ノ法案ハ最上ノ法案デアルト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、段々此ノ法案ハ改善ノ策デアル、現在ノ所此ノ法案ガ宜イト思フ、將來ノコトハ又將來ノコトトシテト云フヤウナ御答

○加藤健造君 今一應政府ニ御伺シテ置キマスガ、勿論經濟機構ノ改革ト云フコトハ急激ニ變化ヲ伴フヤウナ方法ヲ以テ致スコトハ出來ナイコトハ私ハ承知致シテ居リマス、併シ支那事變以來ノ我國ニ於ケル石炭ノ需給狀況ヲ見マスル時ニ、吾々ハ此ノ際我國ニ於ケル所ノ石炭ノ相當急激な増産ヲ致サナケレバ、此ノ需要ニ應ジレナイ、隨テ先程申シマシタル國防産業ノ基礎ヲ確立スル、國防經濟ノ基礎ヲ確立スルト云フコトハ、私ハ不可能デアルト思フノデアリマス、只今政府委員カラ御答辯ニナリマシタヤウニ、今日マデ政府ハ色々ナ方法ヲ石炭ノ増産ヲ圖ツテ來ラレタノデアリマス、又今回石炭統制法ヲ御出シナリマシテ、吾々ハ目下審議シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案ニ付キマシテ、色々ナ質問ガアリマシタ、吾々モ亦此ノ法案ヲ實施スルコトニ依ツテ果シテ所期ノ増産ガ達セラレカドウカト云フ點ニ多クノ疑問ヲ持ツテ質問致シタノデアリマス、又商工當局ニ於キマシテモ、商工大臣ヲ初メトシテ、最初ハ此ノ法案ハ最上ノ法案デアルト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、段々此ノ法案ハ改善ノ策デアル、現在ノ所此ノ法案ガ宜イト思フ、將來ノコトハ又將來ノコトトシテト云フヤウナ御答

○加藤健造君 今一應政府ニ御伺シテ置キマスガ、勿論經濟機構ノ改革ト云フコトハ急激ニ變化ヲ伴フヤウナ方法ヲ以テ致スコトハ出來ナイコトハ私ハ承知致シテ居リマス、併シ支那事變以來ノ我國ニ於ケル石炭ノ需給狀況ヲ見マスル時ニ、吾々ハ此ノ際我國ニ於ケル所ノ石炭ノ相當急激な増産ヲ致サナケレバ、此ノ需要ニ應ジレナイ、隨テ先程申シマシタル國防産業ノ基礎ヲ確立スル、國防經濟ノ基礎ヲ確立スルト云フコトハ、私ハ不可能デアルト思フノデアリマス、只今政府委員カラ御答辯ニナリマシタヤウニ、今日マデ政府ハ色々ナ方法ヲ石炭ノ増産ヲ圖ツテ來ラレタノデアリマス、又今回石炭統制法ヲ御出シナリマシテ、吾々ハ目下審議シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案ニ付キマシテ、色々ナ質問ガアリマシタ、吾々モ亦此ノ法案ヲ實施スルコトニ依ツテ果シテ所期ノ増産ガ達セラレカドウカト云フ點ニ多クノ疑問ヲ持ツテ質問致シタノデアリマス、又商工當局ニ於キマシテモ、商工大臣ヲ初メトシテ、最初ハ此ノ法案ハ最上ノ法案デアルト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、段々此ノ法案ハ改善ノ策デアル、現在ノ所此ノ法案ガ宜イト思フ、將來ノコトハ又將來ノコトトシテト云フヤウナ御答

キマス國民必需品トシテノ點カラ見マシテモ、一般消費者ニ對シテ配給スル上ニ左様ナ制度ガ出來ルコトハ洵ニ結構トハ考ヘマス、併シ検査制度ヲ國營又ハ道府縣營ニ致シマスコトハ、經費其ノ他ノ點カラ見マシテ、早急ニ之ヲ實現スルコト云フコトハ政府當局トシテハ考ヘナケレバナラナイ點ガゴザイマスガ、併シ在來ノ商業組合ノ制度ノ下ニ自治機關中心ニシテ検査制度ヲ實施セシメテ、建議セラレタヤウナ趣旨ヲ結果ニ於テ現ハスコトノ方法モアルカト考ヘマス、是等ガ總テ米穀專賣制度ノ下ニ於キマス配給方法トシテ關聯シテ居ルコトハ、十分商工當局トシテハ認識シテ居リマス、本建議ノ御趣旨ハ吾々トシテモ尊重致シマスガ、併シ御承知ノ通り農林當局ト云フ關係ノ深い當局ノ意見モ微サナケレバナリマセマスガ、御趣旨ニハ副ヒタイト思ヒマス、私既略々ケラ申上ゲマシタガ、若シ詳シク政府ノ所見ヲ尋ネラレルナラバ、幸ヒ他ノ政府委員ガ居リマスカラ、ソレカラ答辯サセテモ宜シト考ヘマス

○服部時市君 只今政府委員ヨリ御答辯ニ依リマシテ本建議案ノ趣旨ニ對スル御意見ヲ伺フコトガ出來マシタコトヲ欣快ト致シマス、只今御意見モアリマシタ如ク、國營又ハ府縣營ニ依ツテ是ガ制度ノ實行ヲ爲スト云フコトハ、經費其ノ他ノ點ニ付テ多少ノ困難ガアルカラ直チニ之ヲ實行スルコトハ出來ナイト云フ御意見デアリマシタガ、只今尙ホ御意見ノ中ニモ、是等ノ問題ニ付テ業者ヲシテ自治的ニ行ハシメルト云フコトモ一ツノ方法デアルト云フ御意見モアツタト思ヒマスガ、私モ其ノ御意見ニハ全然同意デゴザイマス、御承知ノ如クニ今全國

米穀業者ニ依リマシテ法的機關デアリマスル全國米穀商業組合聯合會ノ組織モ出來マシタ、此ノ機關ヲ通ジテ小賣白米ノ検査ノ實行ヲ爲スト云フコトモ一ツノ方法デアラウト思ヒマス、殊ニ商工省當局ニ於テモ當組合ヲ指導監督セラレテ居ル立場ニモアリマスルノデ、其ノ機關ヲ通ジテ將來是ガ實行ヲスルト云フコトモ一ツノ方法カト考ヘルノデアリマスガ、此ノ際政府ノ御意見ノ程ヲ承ルコトガ出來レバ結構ト思ヒマス

○喜多政府委員 他ノ政府委員ヲ以テ答辯致サセマス

○妹川政府委員 只今服部サンカラ建議ニナリマシタ六大都市其ノ他大都市ノ白米ノ小賣ニ付キマシテ検査制度ヲ設ケタラバドウカト云フ問題ニ付テハ御意見ガゴザイマシタガ、ソレニ付キマシテハ喜多參事官カラ御答申上ゲマシタ通りデゴザイマス、重ネテ其ノ實行方法ニ付テドウカト云フヤウナ御尋ガゴザイマシタノデ御答申上ゲマシタガ、現在米穀ノ需給ガ相當ニ窮乏ニナツテ居リマシテ、内地米ニ外米ヲ混入スルトカ、或ハ進デハ難儀其ノ他ノモノモ加ヘナケレバナラナイト云フヤウナ事態ニナラナイトモ限ラナイヤウナ状態デゴザイマスノデ、サウナリマス、白米ノ品質或ハ量目ト云フヤウナモノヲ検査スルコトハ最モ緊急ヲ要シ最モ大切ナコトデゴザイマス、就キマシテハ、是ハ早急ニ實施スベキ必要ノアル制度デアリマスガ、若シ之ヲ國營或ハ府縣營ト云フヤウナ方法ニ依ルコトニ致シマスナラバ、相當經費ノ點モ考ヘテ、ソレニ要スル豫算等ノ計上モ必要ト致シマス、ソレデアリマスカラ、緊急ニ實施スル必要ガアルト云フコトニナレバ、現在アル法的

ノ商業組合制度ヲ利用シタラドウカ、幸ヒ全國的ナ全國米穀商業組合聯合會ト云フヤウナ組織モアルカラ、又府縣ニハ府縣ノ米穀商聯合會モアルカラ、サウ云フ制度ヲ使ツテヤウタラドウカト云フ御意見ニ付キマシテハ、政府モ全ク同意見デゴザイマスノデ、其ノ點出來得ベクンバ成ベク早急ニ實施シ得ルヤウニ一ツ研究シテ見タイト存ジテ居リマス

○齋藤委員 本建議案ハ、建議第七十一號、吉植君提出、都市ニ於ケル小賣白米検査制度確立ニ關スル建議案ト全ク同一デアリマス、既ニ此ノ建議第七十一號ガ可決サレタノデアリマスカラ、本建議案ハ不要議決ニ屬スルモノト思ヒマス、左様取扱ツテ差支アリマセマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員 左様ニ致シマス

○齋藤委員 次ハ日程第三〇、亞炭利用ノ實驗研究ニ關スル建議案——提出者高橋壽太郎君

○高橋壽太郎君 亞炭ハ家庭用ノ燃料トシテハ利用價值ガ餘リ大キクナイノデアリマスガ、併シ之ニ工作ヲ加ヘテ低溫乾燥等ノ手段ニ依ツテ「タール」油及「コーク」トシテ生産致シマス、相當利用價值ガアルト思ハレルノデアリマス、同ヒマス所亞炭ノ低溫乾燥ノ生産物ハ「タール」油ニ於テ石炭ノ半分位シカ得ラレナイサウデアリマスガ、併シ今日亞炭ノ利用ガ願ミラレナイ時ニ是ガケノ油ヲ生産スルコト云フコトモ、現在ノ時局下ニ於テハ相當有意義ナコトト存ジマス、尙ホ「コーク」ノ方ハ木炭代用トシテ相當利用ノ途ガアルト思ヒマス、今

日燃料問題ガ非常ニ紛糾致シマシテ、木炭ノ生産配給ト云フコトガヤカマシク論議ヲセラレテ居リマス、政府ハ木炭問題ニバカリ液頭シナイデ、須ク他ノ方面ノ代用燃料トシテ利用シ得ベキモノヲ生産スルコト云フコトニ方針ヲ定メラレタイト云フノガ本建議案ノ趣旨デアリマス、今亞炭利用ニ關スル現在ノ狀況及ヒ其ノ價值等ニ關シマシテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○喜多政府委員 高橋君ニ御答申上ゲマス、亞炭ノ利用ニ付テハ以前カラ問題ニナツテ居リマシテ、既ニ大正年間並ニ昭和五年頃亞炭ノ利用ニ關スル試驗ガ民間及ビ燃料研究所ニ於テ行ハレマシタガ未ダ、企業化スル程度ニナツテ居リマセ、今後ハ本問題ニ關シテ當局トシテハ十分研究致シタイト思ヒマスガ、尙ホ詳細ノ政府ノ所見ニ付テハ御原政府委員カラ答辯致サセマス

○柳原政府委員 亞炭ノ利用ニ付キマシテハ只今高橋サンノ御述ニナリマシタ通り、代用燃料ト致シマシテ利用スルコトニ付キマシテハ研究スベキ問題ト考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通り亞炭ハ灰分、水分等ガ石炭ニ比ベマスト非常ニ多量デアリマス、又固定炭素ハ少イヤウナ配置ノ下ニ之ヲ企業致シテ參リマス云フコトハ、石炭ニ比較スレバ非常ニ不利ナ立場ニアル炭ナノデアリマス、是モ亦低溫乾燥ト云フ具體的ノ問題ニナリマス、低溫乾燥ト云フ原理其ノモノハ今マデ石炭ヲ本ニシマシテ技術的ニ發達シタモノデアリマスカラ、ソレヲ只今申上ゲタヤウナ性質ノ亞炭ハ使フト云フコトハ、非常ニ不利ナ立場ニナリマス、隨テ亞炭ノ利用ニ付キマシテハ今參事官カ

ヒマシテ乾燥致シマシテ——是ハ油ヲ採ラナイノデス——乾燥シテ木炭ノヤウナモノニシ、代用燃料ニ使ツテ行カウト云フ點ニ付テ研究シテ居ルモノモゴザイマス、隨テ亞炭ハ乾燥ト乾燥スルノ二ツノ技術ニ付テモ研究シナケレバナラスト思ツテ居リマス、無論御承知ノ通り乾燥デアリマス、油ガ何程力出マスガ、乾燥ノ方ハ寧ロ木炭ニ近イモノヲ作ル譯デアリマス、又ソレ等ニ付テハ裝置ガ違ヒマスカラ、工業的ニドチラガ宜イカト云フコトハ、先程申上ゲマシタ通り、其ノ設備ニ依ツテサウ云フ企業ト云フモノニ對シテ亞炭ヲ持ツテ行クト云フコトニ付テ、十分研究シナケレバナラズ、斯ウ考ヘテ居リマス

○高橋壽太郎君 御懇切ナル御説明ヲ煩ジマシテ、洵ニ有難クゴザイマシタ、ドウカ亞炭ノ今申上ゲマシタヤウナ利用ノ方面ノ研究ヲ續ケラレト共ニ、又小規模デモサウ云フ亞炭ノ乾燥ナリ乾燥ナリヤツテ居リマスモノニ對シテ助成保護スル途ヲ講ゼラレルヤウニ、政府ノ御取計ヲ煩ジタイト存ジマス

○齋藤委員 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員 可決致シマシタ

○齋藤委員 次ハ陸軍省及ビ海軍省所管、日程第四九、戰傷者附添人ノ食費官給及鐵道無賃乘車ニ關スル建議案——提出者椎尾辨匠君

○椎尾辨匠君 今回ノ事變ニ際シマシテモ、從來以上ニ戰死者並ニ傷病兵ニ對シマシテ、十分ナル待遇設備ノ出來マシヤウニ、政府

ニ於テモ百般ノ考慮ヲ拂ハレマシテ、其ノ事ニ進デ居リマスコトハ、洵ニ喜バシキコトデアルト存ジマス、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、現ニ其ノ保護ヲ受ケテ療養其ノ他ニ當ツテ居ラレマス方ニモ、色々ノ不便ト苦痛ヲ懸ヘラレル者ガアルノデアリマシテ、私ハ悉クトハ申上ゲマセマスガ、全國並ニ戰地ノ方ノ多クノ病院等ヲ訪問シテ、色々接シマシタ場合ニモ、或ハソレニ加ツテ居リマス家族保護者ナドノ考ヘ方、又戰死者ニ對シマス遺族ノ心持ニ付キマシテ、幾多ノ尙ホ考慮ヲ煩ジタイト思フコトガアルノデアリマスガ、同時ニ其ノ事ニ付キマシテハ、又他ノ短所モアリ、缺點モアツテ、左様ニ行ツテ裁カナケレバナラスト思ツテモ、之ヲ行フコトニ依ツテ不便ヲ感スル點モアツテ、決シ兼ネルモノガ幾ラモアリマシテ、サウ云フ中カラ極メテ小サイ事ノヤウデアリマスガ、茲ニ二ツノコトヲ採リマシテ、特ニ政府ガ御考慮ヲ下サレ、實行サレタイト願フノデアリマス、其ノ一ツハ軍病院ニ現ニ療養ニ努メテ居リマス戰傷者ニ附添ガ必要デアツテ、家族ニシテ其ノ附添ヲ認メラレテ居リマス場合ニ、其ノ食費ハソレ等ノ人ノ自辨デアリマスガ、既ニ本人ガ身命ヲ捧ゲテ御奉公申上ゲ、其ノ療養ノ場合ニ、又家族ガ行ツテ附添居ルコトハ、情ニ於テハ甚ダ満足デアリマスガ、ソレ等ノ家庭ノ生計等カラ見マス、家族ニ對シテモモ少シ幾多ノ保護方法ヲ加ヘタイヤウニ思ハレル場合ニ、其ノ病院ニ於ケル食費ヲ附添ニナル家族自身ガ拂ヒマスコトハ、感情上物足りナイ心持ガアルノデアリマシテ、是ハ多額ノコトデハナイト存ジマスカラ、國家ガ之ニ支給セラレマスレバ、

ラ申上ゲマシタ通りニ色々研究ノ進デ居ル部分モアリマスケレドモ、色々代用燃料ガ叫ビレテ居リマス今日、燃料當局ト致シマシテモ此ノ亞炭ノ特性ト申シマスガ、石炭ニ比較シマシテ違フ點ガアルノデアリマスカラ、之ヲ有效ニ利用シテ行クト云フ點ニ著眼シテ、技術的ニ研究シテ行クト云フデナイカト思ツテ居リマス、隨テ此ノ木炭代用ニ致シマシテモ非常ニ灰ガ多イト云フ點ハ又不利ナ立場ニモアルノデアリマスカラ、此ノ亞炭ノ石炭ニ比較シマシテ持ツテ居ル其ノ性質ヲ有效ニ利用シテ代用燃料ヲ作ルヤウニ技術的ニ研究スベキ問題ト思ツテ居リマス、ソコガ今マデ發達シテ參ラナカツタ點デハナイカト考ヘテ居リマス、隨テサウ云フ方面ノ技術上ノ點ニ付キマシテ十分研究シテ見タイト思ツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋壽太郎君 承リマスト東北振興株式會社等デソレノ小規模ニ低溫乾燥ヲヤツテ居ルト云フコトデアリマス、採算必ズシモ不利デハナイ、斯ウ云フコトヲ聞クノデアリマスガ、實情ハドウデアリマスガ、御示シテ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ木炭ノ原木トシテ森林カラ木材ヲ伐リ出サナケレバナラズノデアリマスカラ、是ハ治山治水ノ關係カラ申シマシテモ、或ハ又木材ノ他ノ利用方面ヲ考ヘマシテモ、目下ノ焦眉ノ急ニ驅ラレテ居ルト云フコトモ相當考慮シナケレバナラズ問題ト思ヒマス、隨テ採算上多少ノ議論ガアツテモ國策の見地カラ考ヘテ見マス、是ハ一ツ國家トシテモ力ヲ入レテ亞炭利用ノ新方面ヲ開拓シナケレバナラズ、サウ云フコトガ考ヘラレルトデ

アリマスガ、是等ニ對スル政府ノ御所見ヲ併セテ伺フコトガ出來レバ洵ニ幸デアリマス

○柳原政府委員 亞炭ノ低溫乾燥ノ東北ニ於ケル小規模ノ企業ト云フ御話デアリマスガ、東北振興デハ相當大キナ計畫ハ持ツテ居ルコトヲ聞イテ居リマス、御承知ノ通り低溫乾燥ハ石炭ヲ十萬噸迄處理致シマスモニ付キマシテ、「タール」ガ出マシタ場合ニ助成致スコトニナツテ居リマス、是ハ人造石油ノ方面ニ屬スル話デアリマスガ、隨テ小規模ノモノニハ其ノ單位ヲ成サスモノノデスカラ、燃料政策ノ見地カラ申シマス、油ヲ餘計出スト云フコトガ要求セラレル點カラ成ベク大キナ規模ヲ燃料政策トシテハ要求セラレマス、隨テ小規模ノ點、私モ此ノ亞炭ノ利用ハ大キイ企業ニ致シマス、ソレダケケ石炭ヲ以テヤリマスル低溫乾燥ト同ジ資本ヲ投ジ同ジヤウナ裝置ニ致シマスナラバ、石炭ニ投ジタ方ガ宜イ、石炭ノ方が確ニ餘計油ガ出マスシ、石油燃料政策カラ申シマシテ其ノ方ガ有利デアリマス、隨テ先程申上ゲマシタ通り亞炭ノ利用ト云フコトニナリマシテ、果シテ大規模ガ宜イノカト云フ點ニナリマス、石炭ト比較致シマスト非常ニ遜色ガアルノデアリナイカト思ツテ居リマス、隨テ今高橋サンノ御説ノ通り或ハ小規模デ亞炭ノ特性ト申シマスカ之ヲ有效ニ利用スルナラバ可能デハナイカト云フ點モ考ヘラレハセスカト思ツテ居リマス、併シ今東北振興ガ小サイ裝置ニ依ツテ採算的ニ成立ツテ居ルト云フコトニ對シテハ一寸今承知シテ居リマセマス、如何ニ採算的ニナツテ居ルカドウカト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、大阪デハヤハリ亞炭ヲ使

ニ於テモ百般ノ考慮ヲ拂ハレマシテ、其ノ事ニ進デ居リマスコトハ、洵ニ喜バシキコトデアルト存ジマス、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、現ニ其ノ保護ヲ受ケテ療養其ノ他ニ當ツテ居ラレマス方ニモ、色々ノ不便ト苦痛ヲ懸ヘラレル者ガアルノデアリマシテ、私ハ悉クトハ申上ゲマセマスガ、全國並ニ戰地ノ方ノ多クノ病院等ヲ訪問シテ、色々接シマシタ場合ニモ、或ハソレニ加ツテ居リマス家族保護者ナドノ考ヘ方、又戰死者ニ對シマス遺族ノ心持ニ付キマシテ、幾多ノ尙ホ考慮ヲ煩ジタイト思フコトガアルノデアリマスガ、同時ニ其ノ事ニ付キマシテハ、又他ノ短所モアリ、缺點モアツテ、左様ニ行ツテ裁カナケレバナラスト思ツテモ、之ヲ行フコトニ依ツテ不便ヲ感スル點モアツテ、決シ兼ネルモノガ幾ラモアリマシテ、サウ云フ中カラ極メテ小サイ事ノヤウデアリマスガ、茲ニ二ツノコトヲ採リマシテ、特ニ政府ガ御考慮ヲ下サレ、實行サレタイト願フノデアリマス、其ノ一ツハ軍病院ニ現ニ療養ニ努メテ居リマス戰傷者ニ附添ガ必要デアツテ、家族ニシテ其ノ附添ヲ認メラレテ居リマス場合ニ、其ノ食費ハソレ等ノ人ノ自辨デアリマスガ、既ニ本人ガ身命ヲ捧ゲテ御奉公申上ゲ、其ノ療養ノ場合ニ、又家族ガ行ツテ附添居ルコトハ、情ニ於テハ甚ダ満足デアリマスガ、ソレ等ノ家庭ノ生計等カラ見マス、家族ニ對シテモモ少シ幾多ノ保護方法ヲ加ヘタイヤウニ思ハレル場合ニ、其ノ病院ニ於ケル食費ヲ附添ニナル家族自身ガ拂ヒマスコトハ、感情上物足りナイ心持ガアルノデアリマシテ、是ハ多額ノコトデハナイト存ジマスカラ、國家ガ之ニ支給セラレマスレバ、

○齋藤委員 可決致シマシタ

○齋藤委員 次ハ陸軍省及ビ海軍省所管、日程第四九、戰傷者附添人ノ食費官給及鐵道無賃乘車ニ關スル建議案——提出者椎尾辨匠君

○椎尾辨匠君 今回ノ事變ニ際シマシテモ、從來以上ニ戰死者並ニ傷病兵ニ對シマシテ、十分ナル待遇設備ノ出來マシヤウニ、政府

ニ於テモ百般ノ考慮ヲ拂ハレマシテ、其ノ事ニ進デ居リマスコトハ、洵ニ喜バシキコトデアルト存ジマス、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、現ニ其ノ保護ヲ受ケテ療養其ノ他ニ當ツテ居ラレマス方ニモ、色々ノ不便ト苦痛ヲ懸ヘラレル者ガアルノデアリマシテ、私ハ悉クトハ申上ゲマセマスガ、全國並ニ戰地ノ方ノ多クノ病院等ヲ訪問シテ、色々接シマシタ場合ニモ、或ハソレニ加ツテ居リマス家族保護者ナドノ考ヘ方、又戰死者ニ對シマス遺族ノ心持ニ付キマシテ、幾多ノ尙ホ考慮ヲ煩ジタイト思フコトガアルノデアリマスガ、同時ニ其ノ事ニ付キマシテハ、又他ノ短所モアリ、缺點モアツテ、左様ニ行ツテ裁カナケレバナラスト思ツテモ、之ヲ行フコトニ依ツテ不便ヲ感スル點モアツテ、決シ兼ネルモノガ幾ラモアリマシテ、サウ云フ中カラ極メテ小サイ事ノヤウデアリマスガ、茲ニ二ツノコトヲ採リマシテ、特ニ政府ガ御考慮ヲ下サレ、實行サレタイト願フノデアリマス、其ノ一ツハ軍病院ニ現ニ療養ニ努メテ居リマス戰傷者ニ附添ガ必要デアツテ、家族ニシテ其ノ附添ヲ認メラレテ居リマス場合ニ、其ノ食費ハソレ等ノ人ノ自辨デアリマスガ、既ニ本人ガ身命ヲ捧ゲテ御奉公申上ゲ、其ノ療養ノ場合ニ、又家族ガ行ツテ附添居ルコトハ、情ニ於テハ甚ダ満足デアリマスガ、ソレ等ノ家庭ノ生計等カラ見マス、家族ニ對シテモモ少シ幾多ノ保護方法ヲ加ヘタイヤウニ思ハレル場合ニ、其ノ病院ニ於ケル食費ヲ附添ニナル家族自身ガ拂ヒマスコトハ、感情上物足りナイ心持ガアルノデアリマシテ、是ハ多額ノコトデハナイト存ジマスカラ、國家ガ之ニ支給セラレマスレバ、

家族一層感謝ノ念ヲ持ツテ、心持好ク其ノ事ニ當ルコトト思ハレル點ガ多クアルノ...

建議ノ要點ハソレダケデアリマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒ、是非共可決セラレ...

又實情カラ親ノ方ヲ第一ニスル方ガ宜イ...

○宮崎政府委員 只今ノ戰傷病者添添人ノ...

ニ付キマシテ御答ヲ申上ゲテ置キマス...

○小山政府委員 海軍ノ方ト致シテ御答ヲ...

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ...

レデハ諸物價ノ暴騰ニ對スル均衡ガ取リ得...

ノデアリマス、今急遽ニ對策ヲ講ジナイト...

ニ協力シテ參リマシタノデ、隨テ値段ト云...

○宮崎政府委員 軍馬ノ購買價格ニ付キマ...

○齋藤委員長 提出者小笠原君

○小笠原八十美君 是ハ種牡馬ノ購買價格...

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ...

産ニ努力シナイノデアリマス、從來農林省
デハ種馬購買ニ當リマシテハ、十年或ハ
十五年前ハ最高三千圓或ハ五千圓種馬
ヲ購買サレ、最低ハ七百圓程度デアツタ
デアリマス、近年ニ至リマシテ、馬ノ質ハ
段々改良サレマシテ、優良ノ馬ガ生産サレ
テ居ルニモ拘ラズ、購買價格ハ、優良ノ馬
デアレバアル程低クシテ參ツタノデア
リマシテ、近年四五年前ニ於テハ、二千二百
圓ノ馬ヲ最高馬トシテ購入スルヤウニナツ
タノデアリマス、種馬生産ニ當ツテハ是
ハ特別高價ノ種馬ヲ購買シテ、之ニ依ラナ
ケレバナラスノデアリマシテ、配合、或
ハ受胎、育成等ニ對シテ、又特別ナ手當ヲ
要スルノデアリマス、相當費用ノ要スルコ
トハ既ニ農林省ニ於テモ國ノ牧場等ニ於ケ
ル實驗ニ鑑ミマシテ、能ク御承知ノコトデ
アルノデアリマス、殊ニ昨年ニ於キマシテ
モ、種馬ヲ生産スベキ種馬ヲ農林省デ
購入スルニ當リマシテモ、最低三千圓、最
高四千圓ヲ購入シテ居ルノデアリマス、私
モ其ノ購入シテ馬ヲ拜見致シマシタガ、中々
立派ナモノデアリマシテ、民間ノ所有ニモ
斯ノ如キ立派ノ馬ガアルカト思フ程ノ逸物
デアリマスガ、是等ハ値段ガ三千圓或ハ四
千圓デモマダ安イノデアリマス、併シナガ
ラ種馬ハ如何ナ優良ナル馬デモ一頭カラ一
頭シカ出ナイノデアリマス、種馬ニ於キ
マシテハ、一頭カラ種ハ年ニ三十頭乃至五
十頭ハ生産得ラレルノデアリマス、其ノ
種馬ノ配給ハ最モ大切ナルニ拘ラズ、
其ノ方ノ購買價格ハ飼料ノ最モ安イ時期ヨ
リ、今日ハ低下シテ居ルヤウナ狀況デアリ
マス、隨テ民間カラハ中々優良ノ種馬ヲ
生産ハ覺東ザル今日ノ狀態デアリマス、此

ノ種馬ノ生産ガ出來ズシテ配給不能ニ至
リマシタラバ、長期抗戰ニ依リ軍ノ要求
スル所ノ軍馬生産致ニ幾馬其ノ他馬ノ農
村ノ使役スル馬ノ生産ト云フモノハ、到底
覺東ナイノデアリマス、殊ニ滿洲ニ移植ス
ル資源馬生産ニ至リマシテモ、是亦不能ニ
陥ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、如何
ニシテモ種ト云フコトニ急ニ重點ヲ置イテ、
指導改革ヲシテ行カケレバナラスト云フ
今日ノ狀況デアリマス、他ノ機會ニ於キマ
シテ、農林大臣モ此ノ種馬ノ購買價格ニ
對シマシテハ、從來ノ購買價格ハ餘リ安イ
ノデ、遺憾ノ意ヲ表サレ、又何トカ之ニ對シ
テハ、對策ヲ講ジナケレバナラスト云フ御
言明モアリマシタノデ、是ハ目下ノ軍ノ要
求馬生産ニモ、亦馬政局トシテノ方針ニモ、
最モ重點ヲ置カザルベカラザル種馬デア
リマシタラバ、ドウカ此ノ點ニ對シマシテハ生
産ハ經濟的ニ採算ノ採ルヤウニ、適正ナ
價格ヲ定メマシテ、急激ナ諸物價ノ暴騰ト
照合セマシテ、釣上アラシク御願スル
次第デアリマス、此ノ際政府ノ御所見ヲ御
伺シテ、御可決アラシクコトヲ希望致シマス
○村上政府委員 種馬ハ昨年ノ種馬統制
法ニ依リマシテ、今後國ガ一手デアリ上ゲル
コトニナリマシタモノデアリマスガ、是
ガ買上價格ハ適正ナル價格ヲ以テ致サナケ
レバナラスコトハ、小笠原委員ノ御主張ノ
通りデアリマス、而シテ飼料等モ一方ニ於
テ昂騰シタ事實モアリマスノデ、今後ノ買
上價格ニ付テハ、ソレ等ノ點ヲ十分考慮シ
テ、種馬ノ生産者ガ經濟的ニ引合フヤウニ、
優良ノ種馬ノ生産ニ努ムルヤウニ致サナケ
レバナラスト考ヘテ居リマス

御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 可決致シマス
○齋藤委員長 松尾君ト深澤君ニ御諮リ致
シマス、鐵道省ノ政府委員ハ局長諸君モ御
見エニナラスノデスガ、政府委員ガ居ラレ
ヌデ宜イト云フコトナラ、兩君御提出ノ議
案ヲ議題ニ供シマスケレドモ、如何デアリ
マスカ
○深澤吉平君 本員ノ建議ニ對シマシテハ
意見ヲ述ベマシテ、皆サンノ御賛成ヲ得マ
シテ、政府ノ答辯シケハ留保シタイト思ヒ
マスガ、如何デゴザイマセウ、委員長ノ御
意見ヲ御伺致シマス
○松尾四郎君 昨ハハハ政府ノ答辯ヲ要
求シテ、承ツタ上デ尙ホ意見ヲ申上ゲタイ
ノデアリマスガ、政府委員ノ出席ヲ待チ
タイノデアリマスガ、併シソレハドウナル
ノデスカ、吾々ハ日程ヲ示サレテ其ノ時間
ニ出席シテ居ル、然ルニ政府委員ガ出ナイ
ト云フコトハ、如何ニモ議會ヲ無視シテ居
ルト思ヒマス、之ニ對シテドウ云フヤウナ
御考ヲ持ツテ居ラレマスガ、ソレヲ先ニ承
ツテ置カケレバ、吾々ガ眞劍ニ議會ニ臨
ンデ、國民ヲ代表シ、地方ヲ代表シ、政府
ニ疑トベキヲ聽キ、而シテ吾々ノ意見ハ意
見デ言ハナケレバナリマセヌノデ、斯ウ云
フ建議案ト云フ大切ナ議案ヲ取扱フ時ニ、
日程ヲ示サレテ居ルノニモ拘ラズ、一人モ出
ナイ、之ニ對シテハ何等カノ措置ヲ御執リ
ニナル考ヲ持ツテ居ラレカ、ソレヲ先ニ
承ツテカラシタイト思ヒマス(ヒヤ／＼)
○齋藤委員長 書記ヲ鐵道省政府委員ノ方
ニ向ケマシテ、再三出席ヲ求メテ居ルノデ

アリマスケレドモ、最早此ノ時間ニナリマ
シテ、政府委員ガ全部不在デアリマスガ、
只今ノ所一寸方法ガナイ、如何ナル理由ニ
依ツテ不在デアるか、調べ見ナイト分リ
マセヌ、是ハ御諮リ致シマスガ、次會ニ延
期致シマセウ
○松尾四郎君 次會ニ延期シテ貰ツテ、其
ノ時間ニ旨ク出ラレバ宜イノデスケレド
モ、相當幅員シテ居リマスガ出ラレナイ
カモ知レナイノデアリマスノデ、私ノハ
ヤハリ此ノ議會ノ機能デ之ヲ決議シテ載
キタイノデス、私ノ希望トシマシテ是非ト
モ之ヲ可決シテ載キタイノデスガ、此處ニ
意見ガケテ述ベサセテ貰ツテ、委員諸君ノ
御賛成ヲ得テ置キヤウニ御計リヲ一ツ御願
シテ、意見ヲ申上ゲテ置キ、サウ云フコト
ニシテ載キタイラドウデスカ
○齋藤委員長 ソレハ鐵道省ノ所管ニ入
リマス、日程第五四、近畿地方國有鐵道豫
定線整備ニ關スル建議案 提出者松尾四
郎君
○松尾四郎君 昨ハ國有鐵道豫定線ノ整
備ニ關シテ茲ニ御願ガアツテ建議ヲ致シタ
モノデゴザイマス、其ノ趣旨ハ建議書ニ相
當要領ヲケテ盡シテアルノデアリマシテ、
之ヲ讀ンデ載ケバ分ルカラ、成タケ重複ヲ
避ケルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、私設
鐵道方既ニ國有鐵道ノ豫定線ニ敷設サレマ
シテ開通ヲ見テ居ル其ノ開通ヲ見テ既ニ十
數年ノ今日ニナツテ居ル、然ルニマダ豫定
線ハ其ノ鐵道豫定線トシテ之ヲ現存シテ
居ル、實際ニ臨ミマシテハ、將來ハ豫定線
ノ通りニハ決シテヤラレルコトハナイト思
フノデス、私設鐵道ト重複シタ所ニ、サウ
云ウ莫大ナ資本ヲ投下スル必要ハナイノデ

スカラ、ソコデ必ズヤ是ハ變更セラレルモノ
ト考ヘルノデアリマスガ、然ラバ一日モ速ニ
其ノ變更ヲ決定シテ貰ハナケレバ、地方ハ
之ニ迷ハサレルノデス、ソコデドウカ此ノ
點ヲ特ニ私ノ關係致シテ居リマスル所ノ近
畿地方ニ斯ウ云フ問題ガアリマスノデ、特
ニ其ノ點ヲ政府ニ一日モ速ニ豫定線ヲ確定
シテ貰ヒタイト云フコトヲ御願致シテ置ク
ノデスガ、現ニ私ノ地方デ松阪カラ櫻井ニ
達スル間ニ是ガ鐵道豫定線、其ノ中ノ松阪
カラ津田ト云フ所マデハ既ニ建設ガ了ヘテ
居リマスガ、其ノ餘ノ津田カラ名張ヲ經テ櫻
井ニ至ル途中ハマダ出來テ居リマセヌ、其
ノ中名張櫻井間ト云フモノハ既ニ立派ナ高
速度ノ私設鐵道ガ開通シテ居リマシテ、モ
ウ其ノ間ニハ鐵道ノ敷設ハ全然必要ガアリ
マセヌノデ、是ハ必ズヤ變更セラレルト思
フノデス、其ノ變更ノ路線ハ、私ノ希望致
シマスノハ伊勢津カラ櫻井間ニ至ル直直
ノ路線、之ヲ奈良縣宇陀郡御杖村、宇生村、
宇賀志村、宇太町、松山町等ヲ經テ櫻井驛
ニ至ル路線ニ變更シテ貰フヤウニ、豫定線
路ヲ新シク設定シテ貰ヒタイト云フコトガ、
私ノ希望デゴザイマス、實ハ毎年此ノ點ヲ
建議ヲ致シテ居リマシテ、政府ニ於テハ成
ベク速ニ調査スルト云フコトノ言明ヲ得
テ居リマス、併シ今ニ至ツテ其ノ運ビガ付
キマセヌカラ、更ニ茲ニ本年ノ議會ニ此ノ
希望ヲ達成スル爲ニ建議ヲ致シタ次第デア
リマス、何卒私ノ意ノ在ル所ノ各委員ニ於
テ下サルヤウニ御願致シマス

會ニ政府委員ノ答辯ヲ聽イテ、サウシテ更ニ
御諮リ致スコトニシテ如何デアリマスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 ソレデハ左様ニ決シマス
○齋藤委員長 其ノ次ハ日程第五九北海道
資源開發鐵道敷設ニ關スル建議案 深澤
君
○深澤吉平君 本建議案ノ要旨ハ政府ハ速
ニ北海道ノ資源開發ノ爲鐵道網ノ完成、就中
下蘆別深川間鐵道ヲ敷設セラレムコトヲ望
ム、ト云フ趣旨デアリマス、其ノ理由ト致
シマシテ、事變下生産擴充ニ伴フ物資輸送
ノ困難ヲ期スル爲北海道鐵道網ノ完成、就中
下蘆別深川間鐵道敷設ハ最モ急務ナリト認
ム、即チ沿線ノ農産林産及礦産、殊ニ蘆
別地方ノ石炭ハ埋藏量十億萬噸ト稱セラ
レ、是ガ増産ト共ニ石炭ハ現ニ蘆南及ハ小
樽ヲ經由シテ輸送セラルルモ、本鐵道敷設
ノ曉ハ短距離ノ留萌港ヨリ直ニ海運ニ依リ
テ輸送セラルルコトヲ得ベク、交通運輸上
北海道鐵道網完成ハ刻下ノ急務ナリト認ム
ルノガ本案提出ノ理由デス、殊ニ此ノ下蘆
別深川間ノ鐵道沿線ハ本道ノ石炭産出地ト
致シマシテハ非常ニ豊富ノ埋藏炭ヲ有シマ
シテ、石炭産出ニ付テハ三井トカ三菱、住
友、北海道炭礦汽船、昭和肥料、北日本興業
蘆別炭礦、大谷等各會社ノ諸炭山ヨリ産出
スルモノハ、現在年産六十万噸デアリマス
ケレドモ、目下増産準備中デアリマスカラ、
明年、即チ十六年度カラハ漸次増産致シマ
シテ、其ノ量ハ幾層倍ニ達シヨウト云フノ
デアリマス、故ニ速ニ本鐵道ノ敷設ヲ建議
スルト同時ニ、沿線ノ農産、林産、礦産物
ノ開發ヲ要望シ是ガ輸送ノ完備ヲ期セント

スル趣旨デアリマス、政府委員ガ居リマセ
ヌカラ松尾君ト同様本案ニ對スル政府委員
ノ御意見ヲ得マシテ、可決アラシクコトヲ御
願スル次第デアリマス
○齋藤委員長 ソレデハ左様ニ決シマス
○齋藤委員長 次ハ農林省所管、日程第三
五農業團體統一ニ關スル建議案 提出者
樋口君
○樋口善右衛門君 農業團體ノ統一ニ關ス
ル建議案ノ理由ノ大綱ヲ申述ベマス、我國
ノ農業團體ハ極メテ多種多類デアリマシテ、
是ガ統一ヲ必要トスルコトハ多年唱ヘラレ
テ居ル所デアリマス、併シ此ノ幾多ノ團體
ハ今日マデ能クソレレノ活動ヲセラレテ、
我國ノ農業ノ今日ノ進歩發達ハ其ノ結果デ
アルト思フノデアリマス、併シナガ如何分
ニモ是等ノ各團體ト云フモノガ、其ノ時代
ノ必要ニ迫ラレテ、或ハ其ノ時ニ組織ヲセ
ラレテ居リマスノデ、此ノ農業團體トシテ
ノ連絡上全ク不利不便ガ少クナイノデアリ
マス、故ニドウシテモ此ノ統一強化ヲ圖ル
ト云フコトハ多年認メラレテ居ル所デア
リ、今日其ノ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリ
マス、併シ、是ハ言フベクシテ實行ハ非常
ニ困難デアリマス、其ノ困難ガ大ナルベ大
ナルタケ、其ノ結果ハ必ラス大ナルモノガ
アルト存ズルノデアリマス、今我我國ノ農
業諸般ノ事情ハ、一體トシテノ共同組織ヲ
成シテ、幾百萬ノ農家ヲ強化シ、農家ヲシ
テ全ク獨立自營ノ本質ニ引戻シテ、一大飛
躍ヲセシメナケレバナラナイ時デアルト信
ズルノデアリマス、故ニ速ニ各團體ヲ統一
強化セラルルコトガ、最モ緊要デアルト痛
感致シマスノデ、本案ヲ提出致シタノデア

リマス、何卒可決アラシクコトヲ希望致シマ
ス
○梶原政府委員 農業團體ニ付キマシテ
ハ、御話ノヤウニ現在隨分深山ノモノガア
ルノデアリマス、併シソレレノ目的ナリ、
機能ナリ、機構ヲ異ニ致シテ居リマシテ、
又發達ノ歴史ナリ、沿革等モ異ツテ居ル實
情デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ一ツニ統合
致シテ參リマスコトハ、相當ノ困難ガ伴フ
コトト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シナガ
ラ困難デハアリマスケレドモ、現在ノ時局
ノ推移ニ鑑ミマシテ、何トカシテ是等ノ團
體ノ整理統合強化ト云フコトヲ圖ラナケレ
バナラナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソ
コデ其ノ案ノ内容ナリ、或ハ實現ノ方法ナ
リ、時期等ガ宜シキヲ得マセスト、却テ整理
統合ヲ致シマスル趣旨ニ副ハナイ結果ニナ
ルコト云フ風ナモノヲ設ケマシテ、此ノ間
題ヲ取上ゲマシテ、色々ノ角度カラ現ニ檢
討ヲ致シテ居ル次第デアリマス、適當ノ時期
ニ、而モ早イ時期ニ、何トカ農業團體ノ整
備強化ノ實ノ舉リマスヤウナ成案ヲ得ルヤ
ウニ致シタイト、折角調査檢討ヲ致シテ居
ル次第デアリマス
○樋口善右衛門君 此ノ案ヲ出シマス理由
ハ、今簡單ニ申上ゲマシタガ、私共地方ニ
居リマシテ、一ツナラバ一回寄合ヘバ済ム
コトデモ、ヤレ畜産ダ、ヤレ養蠶ダ、ヤレ
産業組合ダト、幾ツモ役ヲ持タナケレバナ
ラス、サウナルト下級團體デハ活動ガ出來
ヌノデアリマス、政府ニ於テハ之ヲヤル勇

氣ト熱意ヲ以テ、現在ノ農民ノ實情カラ此ノ上下ノ關係ヲ改善スル必要ガアルト思フノデアリマス、今ヤ農村ニ於テハ事變ヨリ受ケル重壓ハ實際想像以上デアリマス、此ノ時ニ於テ農村自ラモ如何ニ自分等ノ團體力ノ強化ヲ望ムデ居ルカト云フコトハハツキリ分ルノデアリマス、私ノ見ル所デハ、相當其ノ時期ニ達シテ居ルト思フノデアリマス、上ノ帝國農會トカ、中央實業トカ、産業組合中央會トカ云フ親方株ニ於テハ、仕事ヲセズニ實際仕事ヲシテ居ルノハ下ノ方デアリマス、是ハ若シ政府ニ其ノ御考ガアルナラバ、斯ウ云フ上ノ方面デナク、五百万、六百万ノ農民ノ輿論ニ懸ヘテ此ノ解決ヲシナケレバナラス、今好機逸スベカラザル時デアリマスカラ、何卒此ノ際一段ト熱意ヲ持ツテ御研究下サイマシテ、斷行アラシメテ切ニ望ムデ置キマス

○河合委員 多少關聯シタコトデアリマス、カラ此ノ際申述ベテ置キタイト思ヒマス、私ハ兵庫縣ニ住ンデ居リマスガ、兵庫縣ノ縣農會ト各村ニ於ケル農會ノ會員トノ問題デ困ツテ居ル問題ガアリマス、毎年々々御初米ト云フ袋ヲ廻シマシテ、貧農カラモ比較的富ンダ地主カラモ一様ニ袋一杯ノ米ヲ徵發スル、之ヲ合算致シマス、縣下デ一万五千圓寄ルノデアリマス、其ノ半分ヲ手數料トシテ村農會ト郡農會ニ七千五百圓殘シ、七千五百圓ハ縣農會ニ持ツテ來マシテ、是ガ色々ノ運動ノ爲ニ使ハレテ居ルノデアリマス、ソコデ農會員ノ不平ト致ス所ハ、負擔スベキ費用ナラバ農會費ガアルデハナイカ、然ルニモ拘ラズ實ニ均衡ヲ失スル徵發ノ方法ヲ以テヤル、而モソレハ如何ニ使ハレテ居ルカモ分ラナイ、此

ノ不平ガ實ニアル、昨年縣當局ニ申シマス、一時之ヲ廢止スル様子モ見エタノデアリマスガ、サウ云フ請求ヲ受ケテ止メタト云フコトニナルト、自分達ノ面目ガ丸潰レニナル云フノデ、又ゾロ今年モヤウタノデアリマス、ソレカラ年々縣農會ニ於テハ議會開會中ニ各部ノ農會長ガ全部上京致シマシテ、或ハ幸樂デアルトカ、或ハ何處其處デアルトカ、縣下ノ代議士ヲ三回位ニ招待シマシテ、酒食ヲ共ニスル、事一ツデモ農村ノコトニハ及バヌノデアリマス、私ハ一度出席シマシテ驚イテ、ソレカラハ止メテシマヒマシタ、本年モ全部上京致シマシタガ、思フ所ガアツタト見エマシテ、其ノ招待會ヲケハ止シタヤウデアリマス、サウシテ近頃農會法ノ改正ニ付テ盡力ヲ頼ムト云フ電報方毎日澤山ウツテ來マス、或ハ三部制ノ廢止ト云フコトモ言ツテ來ル、ソレヲ口ニシテ居リマス農會長ハ、何ノコトヤラ分ラヌヤウナコトデアツテモ言ツテ來ル、ソレハ都合ノ好イコトデアリマスカラ、私ハ別ニ答メハ致シマセヌケレドモ、サウ云フ問題ニ付テハ私達ニ任シテ置イテ呉レバ適宜ニヤルノデアリマスガ、サウ云フ費用ニモ使フラシイ、繩張りヲ争ヒマシテ、町村デヤルコトヲ農會デヤル、或ハ産業組合デヤルコトヲ農會デヤルタイト云フヤウナ權力争ナシテアル、斯ウ云フ弊害ガアリマシテ、農會員ハ其ノ煩ニ堪ヘナイノデアリマス、只今樋口氏カラ御話ガアリマシタ、私尤モナ問題ダト思ヒマス、斯ウ云フ弊害ガアルモノハドシク解散シテシマヒタイ、茲ニ有力ナル實行組合ヲ作リマシテ、サウ云フモノヲ打壞シテシマウタラドウカト思フ位、私モ痛切ニ感ジテ居

ルノデアリマス、昨年ハアア云フ御初米ヲ集メ、他ニモ頰德米ト云フモノヲ集メタ、ソレハ縣農會ノ會長ノ銅像ヲ作ルト云フ目的デアツテ、銅像ヲ建設スルト云フコトデ、私ニ發起人ニナレト云フコトデシタガ、私ハキツバリト斷ツタ、所ガ手ヲ變ヘテ御初米ト同ジ時ニ頰德米ト云フモノヲ集メタ、是モ一万五千圓程寄ツタノデアリマセウ、斯ウ云フコトハ怪シカラヌコトデアアル、之ヲ監督サレル所ノ主務者ニ於テハドウ御考ニナリマセウカ、ソレハ審附金デアリマスカラ、ソレニ同意スル者ハ出セバ宜イノデステレドモ、下々デハサウ云フコトモ分ラヌ、農會モ同ジヤウニシテ出ス、費用ガ要ルナラバ農會費トシテ徵收スル方法ガ外ニアルノデスカラ、ソレデヤレバ宜イ、此ノ點ドウ御考ニナリマスカ、御意見ヲ伺ツテ置キマシテ、之ガ弊害ガアルト云フコトデアリマスナラバ、何カノ方法ヲ以テ斯ウ云フコトニ對シテ掣肘ヲ加ヘテ載キタイト思ヒマス

○櫻原政府委員 兵庫縣ノ縣農會デ御初米デアリマスカラ各會員カラ寄附ヲサセテ居ル、ソレニ關聯シテ農會ノ行動トシテ思ハシクナイ事柄ガ付隨シテアルト云フ御話デアリマスガ、私マダ其ノ實情ヲ能ク承知致シテ居リマセヌケレドモ、個々ノ會員ガ出シテ居リマセヌケレドモ、個々ノ會員ガ出シテ居リマセヌケレドモ、縣農會ニ出シテ來マシタ米ヲ農會ナリ、縣農會ニ出シテ參ルト云フコト、ソレ自體ハ必ズシモ咎メルベキコトデハナイヤウニモ考ヘマセケレドモ、少クトモソレヲ出シマスル各會員ノ心持ガ、本當ニ納得シテ出シテ、ソレガ農會ノ本來ノ職務ナリ、或ハ其ノ米ヲ出シマスル趣旨ニ副ウヤウニ使ハレマスナラバ、是亦一ツノ方法カト存ジマスルケレドモ、御

話ノ如ク出ス方デ十分納得シ兼ねルヤウナ方法ニ於テソレガ使ハレル、其ノ爲ニ多數ノ會員ガ農會ノ本來ノ使命ナリ、本來ノ活動ニ對シテノ信賴ヲ裏切ルト云フ風ナ結果ニ相成ルモノト致シマス、吾々ト致シマシテモ相當考ヘナケレバナラナイト存ジマス、尙ホ十分調査等ヲ致シマシテ、考フベキ點ハ考ヘテ行キタイト斯様ニ存ジテ居リマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○齋藤委員長 可決致シマス——議事ノ進行ニ關シテ一言致シマス、マダ本日ノ日程モ大分殘ツテ居リマス、會期モ御承知ノ通り切迫ヲ致シテ居リマスカラ、委員會ハ本日ハ夜ニ入ツテモ審議ヲ續ケタイ考デアリマシタガ、先程申シマシタヤウニ、政府委員ガ不在デアリマス、又提出者モ缺席者ガアリマス、仍テ審議ヲ續ケルコトハ不適當ト思ヒマスカラ、定刻ヨリ長時間審議ニ當ラレテ居リマス所ノ委員諸君ニハ洵ニ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス
午後五時五分散會

○櫻原政府委員 兵庫縣ノ縣農會デ御初米デアリマスカラ各會員カラ寄附ヲサセテ居ル、ソレニ關聯シテ農會ノ行動トシテ思ハシクナイ事柄ガ付隨シテアルト云フ御話デアリマスガ、私マダ其ノ實情ヲ能ク承知致シテ居リマセヌケレドモ、個々ノ會員ガ出シテ居リマセヌケレドモ、個々ノ會員ガ出シテ居リマセヌケレドモ、縣農會ニ出シテ來マシタ米ヲ農會ナリ、縣農會ニ出シテ參ルト云フコト、ソレ自體ハ必ズシモ咎メルベキコトデハナイヤウニモ考ヘマセケレドモ、少クトモソレヲ出シマスル各會員ノ心持ガ、本當ニ納得シテ出シテ、ソレガ農會ノ本來ノ職務ナリ、或ハ其ノ米ヲ出シマスル趣旨ニ副ウヤウニ使ハレマスナラバ、是亦一ツノ方法カト存ジマスルケレドモ、御

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 建議委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和十五年三月二十三日(土曜日)午前十時
二十九開議分

出席委員左ノ如シ

委員長 齋藤 直橋君
理事 釘本 衛雄君 理事 濱地 文平君
理事 小中 清一君

則元 卯太郎君 坪山 德彌君
川崎 末五郎君 沖島 鎌三君
長野 綱良君 安倍 寛君
中川 重春君 庄司 一郎君
山田 清君 肥田 琢司君
田代 正治君 野海 勝君
野方 大郎君 河合 義一君
中原 謙司君

出席政府委員左ノ如シ

內務省事務次官 鶴見 祐輔君
內務省警保局長 山崎 巖君
文部省參事 仲井 間宗一君
文部省圖書局長 近藤 壽治君
農林省臨時農 村對策部長 重政 誠之君
農林書記官 梶原 茂嘉君
商工省參事 喜多 壯一郎君
商工省纖維局長 辻 謙吾君
鐵道省事務次官 宮澤 裕君
鐵道省建設局長 堀越 清六君

主查ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員 紅露 昭君 議員 小見山 七十五郎君
議員 松尾 四郎君 議員 林 平馬君
議員 愛野 時一郎君 議員 吉植 庄亮君

第五類第一號 建議委員會會議錄 第九回

昭和十五年三月二十三日

議員 高田 耘平君 議員 木村 三郎君
議員 清水 德太郎君 議員 深澤 吉平君
議員 添田 敬一郎君 議員 川俣 清音君
議員 坂本 宗太郎君 議員 眞鍋 勝君
議員 福井 甚三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
鐵道省所管

- 一 土讚線土佐山田驛ヨリ德島縣牟岐線ニ連絡スル鐵道敷設ニ關スル建議案(紅露昭君提出)(第一一六號)
- 二 本州中央部鐵道網完成ニ關スル建議案(大野伴睦君提出)(第一二四號)
- 三 南九州鐵道網完成ニ關スル建議案(三善信房君提出)(第一三九號)
- 四 近畿地方國有鐵道豫定線整備ニ關スル建議案(松尾四郎君提出)(第一四二號)
- 五 關東東北鐵道網整備ニ關スル建議案(林平馬君提出)(第一四三號)
- 六 中央線鐵道網整備ニ關スル建議案(林平馬君提出)(第一四四號)
- 七 中央線鐵道網整備ニ關スル建議案(木槍三四郎君提出)(第一四五號)
- 八 鐵道物開發ノ爲鐵道敷設ニ關スル建議案(清水德太郎君外二名提出)(第一四九號)
- 九 北海道資源開發鐵道敷設ニ關スル建議案(深澤吉平君提出)(第一五一號)
- 一〇 鐵道敷設豫定線完成ニ關スル建議案(小畑虎之助君提出)(第一五七號)

農林省所管

- 一 靖國神社ニ祀ラレタル護國英靈ノ遺族優遇顯彰ニ關スル建議案(小泉純也君外十四名提出)(第一六三號)
- 二 日本古代文化研究所ノ設立ニ關スル建議案(添田敬一郎君外二名提出)(第一五三號)
- 三 校外保健看護事業規程制定ニ關スル建議案(矢野庄太郎君外四名提出)(第一九八號)
- 四 高田カルシウム溫泉ニ國立溫泉研究所設置ニ關スル建議案(愛野時一郎君外二名提出)(第一六二號)
- 五 學校ノ夏期休暇延長ニ關スル建議案(星一君提出)(第四三號)
- 六 學校教育ノ完成ニ關スル建議案(星一君提出)(第四四號)
- 七 農村記念日制定ニ關スル建議案(吉植庄亮君外四名提出)(第一一三號)
- 八 日本競馬會ト競走馬所有者者調教師騎手馬丁間ノ紛争解決ノ爲法律制定ニ關スル建議案(古島義英君提出)(第一四六號)
- 九 有機質肥料ノ價格適正化ト其ノ公平ナル配給ニ關スル建議案(高田耘平君外二名提出)(第一五二號)
- 一〇 農地委員會委員公選ニ關スル建議案(川俣清音君外二名提出)(第一五三號)

商工省所管

- 一一 纖維配給機構改善ニ關スル建議案(倉元一君提出)(第七五號)
- 一二 ダバオ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(村上紋四郎君外一名提出)(第九二號)
- 一三 纖維配給機構改善ニ關スル建議案(服部英明君提出)(第一〇九號)
- 一四 木炭公定價格改訂ニ關スル建議案(坂本宗太郎君外四名提出)(第一一一號)
- 一五 纖維ノ迅速圓滑ナル需給方策樹立促進ニ關スル建議案(坂本宗太郎君外四名提出)(第一一二號)
- 一六 國立陶器研究所設置ニ關スル建議案(愛野時一郎君外二名提出)(第一一五八號)
- 一七 耕作ノ爲地下足袋特別配給ニ關スル建議案(愛野時一郎君外二名提出)(第一六一號)
- 一八 度量衡法改正ニ關スル建議案(山道襄一君提出)(第一六四號)
- 一九 樞原神宮崇祀向上ニ關スル建議案(福井甚三君提出)(第一二二號)
- 二〇 中小河川改修ニ關スル建議案(三善信房君外二名提出)(第一四〇號)
- 二一 青年禁酒法制定ニ關スル建議案(杉山元治郎君提出)(第一三三號)
- 二二 青年禁酒法制定反對ニ關スル建議案(中野寅吉君提出)(第一〇號)
- 二三 青年禁酒法制定反對ニ關スル建議案(山川頼三郎君提出)(第三五號)

○齋藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、鐵道省所管日程第七、中央線鐵道網整備ニ關スル建議案、提出者木村君ノ説明ヲ求メマス

○木村三四郎君 第七ノ中央線鐵道網整備ニ關スル建議案アリマスガ、是ハ大正九年以來ノ問題デアリマシテ、大正九年原内閣時代、鐵道敷設法ニ上越線ノ澁川カラ分岐シテ長野原ニ通ズル線路ガ入レラレマシタ、是ハ二十六哩デアリマス、更ニ進ンデ信州上田ニ通ズル線路ノ計畫ナリデアリマス、所ガ上信國境ハ高低ガヒドイ爲ニ、測量ガ十分ニ行カス所カラ、先ヅ第一期ト云フヤウナ譯デ、原内閣ノ時ニ鐵道敷設法ニ澁川カラ長野原ト云フ所マデヲ計畫ニ入レテ貫ツクデアリマス、是ハ信越線輕井澤ノ輸送ガ不十分ナリデ、此ノ方ノ關係ヲ補フ爲ニ計畫シタノデアリマス、所ガ段々時代ガ過ギマシテ、今日ニナリマス、滿洲トノ關係ガ殊ニ密接ニナリマシテ、今日デハ新滿洲カラ滿洲新軍ニ參リマスル最近距離トシテ、此ノ方面ハ大變ニ緊要ニナツテ居リマシテ、今日ノ戰時體制ニアツテハ、殊更信越線ガ必要ナリデアリマスガ、輸送ガ不十分ノ爲ニ、或ハ高崎ニ貨物ガ停泊シ、或ハ信州方面ノ輕井澤若クハ長野方面ノ貨物ガ停泊シテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、之ヲ補フノニハ、ドウシテモ上田、澁川線、即チ澁川ヨリ、中之條、原町、長野原ヲ經テ上田ニ達スル線ヲ完成シナケレバナラス、昨今ニ至リマシテハ、所謂是ハ國防線トシテ、滿洲ヘノ最短距離トシテ之ヲドウシテモ完成シナケレバイカスト云フ聲ヲ、軍部方面カラモ聞イテ居リマス、所謂中央線ノ鐵道網ヲ完成スルニ於テ、此

ノ線ハドウシテモ補ヘテ貰ハナケレバ、輸送上且ツハ日滿ノ關係カラ申シテモ、是非トモ之ヲ速成シテ貰ヒタイ、是ガ長イ間ノ問題デアリマシタガ、今日ハ殊更戰時體制ニナツテ緊要ヲ感ジテ居リマシテ、茲ニ提案ヲ致シテ議デアリマス、政府當局ニ於テハ、此ノ事ハ長イ問題デアリマスガ、唯財政上ノ關係デ出来スト云フヤウナコトヲ伺ツテ居リマス、幸ニ政務次官ガ居ラツシヤイマスカラ、政府當局ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、國家ノ爲ニ此ノ今日ハ國防線トモ申スベキ線路ダケハ至急ニ著手スルヤウニ、御願ヲ致シタイト云フノガ建議ノ趣旨デアリマス、ドウゾ御可決ヲ御願致シマス

○宮澤政府委員 只今建議ノ御趣旨ヲ拜聴致シマシタガ、モウ政府モ別ニ説明ヲスルマデモアリマセス、澁川、上野間ノ鐵道ノ整備ニ對スル建議デアリマス、此ノ中ノ澁川、長野原間ハ鐵道敷設法ノ豫定線デアリマシテ、四十二軒バカリアルノデアリマスガ、長野原、上田間ハ豫定線ニナツテ居リマセス、是ガ鐵道輸送緩和ニ必要ナ線路デアリ、殊ニ沿線ニ林産、鑛産ガアツテ、又都會ト致シマシテモ中之條、原町、長野原等ノ都邑ガアリ、温泉、名勝等モアリ、浴客、遊覽客ノ近年増加致シマス事モ、鐵道當局ハ調ベテ能ク存ジテ居ルノデアリマス、唯工事ト致シマシテ、群馬ト長野ノ境ハ相當地形ガ峻峻デアリマス、鳥居峠ノ隘道ヲ中心トシテ、相當ノ墜道ガアリ、勾配ガ急勾配ニナルト云フ見込ノ可ナリ難工事デアリマス、前ノヤウナ事情モアリ、此ノ時勢ト共ニ其ノ必要モ痛感サレテ參ツテ居リマスラカ、今後地形其ノ他ノ事情ヲ能ク

考究致シマシテ、善處シタイと思ツテ居リマス、御答申上デマス

○木村三四郎君 只今政府ノ御説明ヲ聴イテ、尤モナコトト存ジテ居リマス、唯私共考ヘテモ、信越國境ガ全ク御言葉ノ通り峻険デアリマス、ソレデ大正九年當時原内閣ニ於テモ、其ノ方面ノ測量モ十分デアリマシテ、長野原切ツク澁川私共考ヘマス、今日ハ技術ガ大變進歩シテ居リマスカラ、大正九年當時カラ見レバ技術上容易チヤナイカト思ツテ居リマス、何レニシテモ上信國境ハ、信州ノ方ガ急勾配デ、上州ノ方ハダラ／＼ニナツテ居リマス、信州ノ方ハ工事カラ見テラ御困難ダラウト思フ、何レニシテモ只今政府委員ノ御説明ニモアル通りデアリマシラ、出来ルダケ此ノ方面ハ所謂國防線トシテ長イ懸案デアリマシテ、先ヅ第一歩トシテ、澁川、長野原マデノ敷設法ニ入ツテ居ルダケデモ、第一期線トシテ著手スル方針ヲ執ラルルヤウニ、政府當局ノ特ニ御心配ヲ願ヒタイと思ヒマス、此ノコトヲ加ヘテ御願申上デテ置キマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第二、本州中央部鐵道網完成ニ關スル建議案——大野仲陸君

○濱地委員 提出者ニ代リマシテ本案ノ説明ヲ申上デマス、本建議案ハ、政府ハ速ニ本州中央部鐵道網ヲ完成セラレシコトヲ望ムモノデアリマシテ、其ノ説明ハ理由書ニ記載シテアル通りデアリマスカラ、何卒御審議ノ上可決セラレシコトヲ望ミマス

○宮澤政府委員 本件ノ、岐阜美濃町ノ線ハ、敷設法ノ豫定線ニ掲サレテ居ラス線デアリマスガ、延長ハ二十九軒デアリマス、此ノ沿線ノ中ニハ高富ト云フ都邑ガアリマシテ、農産物資ノ外、高富附近ハ瓦デアリマシテ、能ク分ツテ居ルノデアリマス、地形ハ大體平坦デアリマシテ、既成線ト比較致シマシテ、十九軒程近クナル見込デアリマス、丁度此ノ附近ニ岐阜、關ノ間ノ競争線ト申シマスガ、比較線ト申シマスガ、斯ウ云フ線路ガアリマシテ、尙ホ名古屋鐵道トノ關係モアルノデアリマスカラ、是等ノ關係ヲ併セテ篤ト考究シテ見タイと思ツテ居リマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○林平馬君 本建議案ノ提出理由ヲ申上デマス、本建議ハ本年ハ名題ガ變ツテ居ルノデゴザイマスガ、昨年マデハ野岩羽鐵道連成ニ關スル建議ト云フコトニナツテ居ツクノデゴザイマス、野岩羽鐵道ト申シマスト、栃木縣、福島縣會津方面及ヒ山形縣、此ノ三縣ヲ貫通スル野岩羽鐵道ト稱シテ居ツクノデゴザイマス、本年ハ或ル都合デ斯ウ云フ名前ニ變ヘテ吳レト云フコトヲ變ヘ

タノデスガ、全ク新シイモノデハゴザイマセス、約三十年ノ間引續キ出テ居ル建議案、建議案ノ古イ長イ歴史ヲ持ツテ居ルコトハ恐ラク是以上ノモノハナイと思ヒマス、隨テ鐵道省ニ對シテモ委員各位ニ對シテモ、コマゴマト説明ヲ申上ゲル必要モナイ程御存ジダト思ヒマス、此ノ線ガ貫通サレマス、東北ニ對シテハ複線ノ作用ニナリマス、東北本線ト野岩羽鐵道トヲ以テ兩方複線ノヤウナ關係ヲナスノデゴザイマス、ノミナラズ一面ハ新潟ヘノ最短距離ノ鐵道トモナルノデゴザイマス、大陸關係ニモ影響スル所ガ大キイノデゴザイマス、サウシテ栃木縣方面ハ解決ガ其ノ一部分ハ付イテ居リ、著ト工事モ進行シテ居ルノデゴザイマス、殘ル所ハ茨城縣ノ古河ト鹿沼間ガマダ解決ノ曙光ヲ見ナイデ居ル、モウ一點ハ殊ニ熱望シテ居ル福島縣ニ入りマシテ、喜多方カラ日中マデハ先年建設ヲ願ツタノデゴザイマスガ、日中ト米澤間、里數ニシテ約十里足ラズ、鐵道ノ軒ニシマシタナラバ三十軒ソコ／＼デアラウト思ヒマスガ、其ノ點ガ未解決ニナツテ居リマス、ソレハ是非御願シタイト云フノデアリマス、此ノ路線ノ效能書ハ茲ニ續々申上ゲル必要ハナイと思ヒマス、ドウカ一日モ早ク日中米澤間ノ建設ニ著手セラレシコトヲ切望スル次第デアリマス、同時ニ鐵道當局ノ御方針ヲ御願致シタイ、年々承ルヤウナ御答辯デナク、何トカ希望ノ持テラヤウナ御答辯ヲ實ハ期待スル次第デアリマス

○宮澤政府委員 只今林君ノ建議ノ御趣旨ヲ拜聴致シマシタ、仰セノ通り是ハ度々衆議院ニモ建議ガ提出サレテ居リマシテ、鐵道當局モ能ク存ジテ居ル線デアリマス、就中米澤日中間延長三十三軒ハ敷設線ノ豫定線ニ入ツテ居ルノデアリマスガ、未ダ建設ノ運ビニナツテ居リマセス、併シ仰セノヤウナ事情モアリマス、將來地方ノ發展狀況、運輸ノ狀況ナドヲ能ク考察致シマシテ、成ベク速力ニ敷設スルヤウニシタイ見込デアリマス、尙ホ南端ノ古河、鹿沼間デアリマスガ、是ハヤハリ敷設線ノ豫定線デアリマス、只今ノ仰セノ通り東北鐵道ノ日光線ガ、延長四十七軒デアリマスガ、開業シテ居リマス、而シテ古河ノ南方カラ栗橋マデハ省線ニ連絡シテ居ル關係デゴザイマス、唯資材等ノ關係デ速急ニハ參ラヌニ致シマシテモ、十分研究致シマシテ、成ベク御期待ニ副フヤウニ努力シテ見タイと思ヒマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第六、中央線鐵道網整備ニ關スル建議案——提出者林平馬君

○林平馬君 本建議案ノ提出理由ヲ申上デマス、此ノ路線ニ付キマシテモ年々御可決ヲ願ツテ居リマス、又改メテ詳シク申上ゲストモ鐵道當局ニ委員各位ハ御承知デアリマス、理由書ニ付キ御覽願ヘバ分リマス、私共ノ狭イ見解カモ知レマセスガ、此ノ線ノヤウナ經濟線ハサウ澤山ハナイと思ヒマス、此ノ只見川ノ沿線ヲ縫ツテ、川口只見カラ、古町、館岩ヲ通ツテ田島ニ至リ栃木縣ニ出ル線デアリマスガ、此ノ沿線ト云フモノハ全ク古斧鐵道ヲ入レザル大森林地帯デゴザイマス、郡トシテハ僅ニ一郡位ノ所デゴザイマスガ、其ノ一郡ト申シマ

シテモ、香川縣ニ匹敵スル大郡デゴザイマス、森林ハ今申上ゲタヤウニ古斧鐵道ヲ入レザルモノガアルバカリデナク、此ノ地帯ハ銅、鐵、殊ニ珍シイ螢石ガ非常ニ多ク出ル所モゴザイマス、或ハ硫黃アルトカ、マシガンアルトカ云フモノモ澤山ニ埋藏シテ居リマス、殆ド山ト云フ山ハ鑛區ノ掛ラナイ所ガナイト云フ程ニ、鑛物地帯トデモ申シマセウカ、珍シイ地下埋藏物ノ多イ所デゴザイマス、地上ノ木材、地下ノ諸鑛物等ガ此ノ鐵道ニ依ツテ如何ニ開發サレルカト云フコトヲ思ヒマス、恐ラク斯様ナ經濟線ハ他ニナカラウト思フ、又工事等モ吾々ノヤウナ素人ガ見マシテモ、洵ニ業ニ行ケル所デゴザイマス、ソレデアリマスカラ、何トカ一ツ是ハ速ニ御調査ヲ願ヒタイ、人間ノ數ハ必ズシモ多イ譯デアリマセスカ、今申シタヤウニ物資ノ豐富ナ點ニ著眼致サレマシテ是非トモ熱意ヲ以テ御調査ヲ願ヒタイと思ヒマス、當局ノ御所見ヲ伺ヒマシテ、委員各位ノ御贊成ヲ切ニ御願致シマス

○宮澤政府委員 御答致シマス、此ノ建議モ仰セノ通り、貴族院衆議院ニ度々出テ居リマス、又請願ト致シマシテモ、貴族院等へモ屢々出テ採擇ニレツテ居ルヤウデゴザイマシテ、地方ノ要望ノ熱心ナルコトモ能ク分ツテ居ルノデゴザイマス、仰セノ通り川口只見間ハ二十七軒デゴザイマシテ、是ハ豫定線デゴザイマス、只見、古町間ハ三十四軒デゴザイマス、是モ豫定線ニナツテ居リマス、後ノ古町カラ田島デゴザイマスガ、是ハ四十九軒デアラヤウデアリマスガ、是ハマダ豫定線ニ入ツテ居リマセス、何レニシテモ、是ハ建議請願等ガ度々ア

リマシタ關係モアツテ、鐵道省當局モ既ニ調査ヲ致シテ居リマスガ、古町、瀧ノ原間ニ中山峠等モゴザイマシテ、地形ノ複雜ノ關係等モアリ致シマシテ、敷設ガ延ビテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、建議ノ趣旨ヲ能ク拜聴致シマシテ研究調査ヲ爲シ、順ヲ追ウテ實現致シタイト存ジテ居リマス

○林平馬君 附加ヘテ申上ゲタイと思ヒマス、是モ年々申上ゲルコトデスガ、福島縣ノ柳津カラ新潟縣ノ小出マデ行ク所ノ柳津、小出間ノ豫定線ノ中、川口只見間ハ未ダ建設ニデゴザイマスガ、川口只見間ハ未ダ建設ニ著手シテ居ナイノデアツテ、而モ只見カラ小出マデハ今建設線ニナツテ居ル譯デゴザイマス、即チ何時モ申上ゲルヤウニ、煙管ノ雁首ト吸口ガ今出来シテ居ル譯デアリマス、羅宇ハ何時スゲルカ、サウバリ見透シガ付カナイト云フノガ此ノ線ノ實情デゴザイマス、是デハ最初ニ鐵道ガ計畫ニナリマシタ柳津、小出線ノ意味ハ液却サレテシマフ譯デアリマス、ソコデドウシテモ此ノ間ノ羅宇ノ部分ヲ何トカシテ載カナケレバ、全體ノ利用價值ガ上ツテ来ナイ譯デアリマス、サウ云フ意味カラ、速ニ此ノ中間ノ羅宇ノ部分ニ當ル川口只見間ノ御著手ヲ願ハナケレバナラス譯デアリマス、又單ニサウ云フ羅宇ノ理窟バカリデハゴザイマセス、其ノ間ノ地帯ハ大森林ガ豐富デゴザイマス、地下ノ埋藏物モ非常ニ多イ、殊ニ有望ナル銅山ガ今經營サレテ居ルケレドモ、如何セン運搬不便ノ爲ニ思フヤウニ出テ居ラスヤウナ狀態デアリマスカラ、理窟ノ上カラモ實際ノ上カラモ、此ノ羅宇ノ部分ヲ特ニ御考究アランコトヲ御願シテ置

○宮澤政府委員 仰セノ通りデゴザイマス、是ハ兩方カラノ建設線ヲ逐次進行シテ居リマスカラ、此ノ進行ニ連レテ、羅宇モ早ク付ケテ、一貫作業ガ出來マシヤウニ努力シテ見タイト思ヒマス

○齋藤委員長 本件ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 デハ可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第四、近畿地方國有鐵道線整備ニ關スル建議案——松尾四郎君

○松尾四郎君 本建議ハ、建議委員會ニ於テ其ノ趣旨ヲ申上ゲテ置イタノ、デアリマスガ、當日ハ日程ニ上サレテ居ルニモ拘ラズ、鐵道省ノ政府委員ノ方ハ一人モ見エナカッタノデ、私ハ其ノ點洵ニ遺憾ニ思ヒマシタケレドモ、此ノ點ニ付テハ餘リ責任ヲ追究スル程ノ問題デモアリマセヌノデ蓋シテ置キマスガ、其ノ時ニ私ハ大體ヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、國有鐵道線整備ニ關スル以前ニ設定セラレテ居ルノデアリマスガ、其ノ後社會情勢ニ依ツテ之ヲ修正變革セラレルトハ當然ノコトデアルト思フ、私共ノ近畿地方ニ於キマシテモ、餘程以前ニ設定セラレテ居ル線ノ儘デ現存シテ居ル、而シテ其ノ線ノ半バハ既ニ出來テ居ルノデアリマスガ、後ノ半バハ民間ノ私設鐵道ナルモノガ出來テ、最早國有鐵道ヲ敷設スルノ必要ナキニ至ツテ居ル、然ルニ拘ラズ、其ノ儘ヤハリ線整備ニ關シテ現存シテアル、私ハ其ノ地方トモ相當關係ノアルコトデモアリマスノデ、政府ニ此

ノコトニ付テ決定線ヲ修正セラレマシテ、新シイ決定線ヲ設定セラレルトコトヲ常ニ懇願シテ居ルノデアリマスガ、今ニ其ノ御運ビガナイノデアリマス、測量或ハ調査ニハ屢、御出下サリ、毎年々々御決定ヲ見テ居ルノデアリマスガ、今ニ其ノ御運ビガアリマセカ、ソコデ私ハ地方ノ關係モアルコトデアリマスノト兼テマシテ、決定線ト云フモノハ、斯ウ云フ社會情勢ノ變革ガ起ツテ來タノデアリマスカラ、社會情勢ノ變化ニ應ジテ、一日モ速ニ最近ノ事情ニ即シタル決定線ニ變更セラレタイト考ヘルノデアリマスガ、其ノ御考ハナイノデアリマスカ、ソレト同時ニ私ノ建議致シテ居リマスル趣旨ハ、近畿地方ノ中ニ於キマシテモ、主トシテ松尾君、松尾君ノ提議ニ至ル線整備ニアリマス、其ノ中既ニ松尾君ノ提議ニ至ル津カ名張ヲ經テ櫻井ニ至ルノ線整備ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ中櫻井名張間ト云フモノハ既ニ立派ナ民間ノ鐵道ガ出來テ居ツテ決定線整備ノ必要ガナイ、ソコデ奧津カラ櫻井ヘハ一直ノ線ヲ設定シテ、其ノ地方ノ産業及ヒ史蹟ノ巡覽等々地方民ノ便益ニ資スルコト多クデアリマシテ、地方民ハ日々熱望ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日ハ資料不足デアリマスシ、時局ニ際シテ居リマスノデ、建設ヲ急イデ實ヒタイト言ヒマシテモ、是ハ相當無理ナ註文ト思ヒマスカラ、少クとも決定線ノ設定ノ豫備ノ行為ハ鐵道省ノ方ニ於テヤツテ戴タノハ最モ好イ機會ダト思ヒマスノデ、此ノ際急遽ニ御運ビ願ヒタイト云フノガ私ノ建議ノ趣旨デゴザイマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒタ

マスケレドモ、斯ウ云フ事柄ハ特ニ今年御取扱ニナツタ方ガ宜カラウト思フノデスガ、度々申上ゲテモ之ニ對シテ何か地方ノ者ガ、利権ノ問題デモ頼ミニ來テ居ルヤウナイイ加減ニ之ヲ扱ハレテ居ルコト云フコトハ遺憾ニ思ヒマスカラ、之ヲ特ニ建議シテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ノ建議書ノ中一字ガ違ツテ居リマスノデ、此ノ際訂正サシテ戴キタイ、ソレハ「失態」ト云フ字ヲ書イテ居リマスガ、餘リ文書ニ殘スノハ差障リガアルカラ之ヲ「失當」ト變ヘテ戴キタイ、此ノ事ダケヲ申上ゲテ置キマス

○宮澤政府委員 只今ノ壺坂驛ヲ廢上驛ニ變更スル件デアリマスガ、是ハ御尤モノ御意見デ、殊ニ松尾君ヨリハ度々熱心ナル陳情ガオアリニナリマシタノデ、鐵道當局モ洵ニ恐縮致シテ居リマス、私モ此ノ事ハ聞イテ居リマシテ、キツト此ノ問題ノ御質疑ガアルニ違ヒナイイガ、ドウカト云フコトヲ聽イタノデアリマスガ、尙ホ仰セノ上ニ決定シテ本日發表致シマシタ、御諒承願ヒマス

○齋藤委員長 本建議案ハ可決スルニ御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○宮澤政府委員 先ツ第一ニ一昨二十一日ノ此ノ建議委員會ニ政府委員ノ不在ニ對スル答辯デゴザイマス、オ叱リ御尤モ申上ルコトト存ジマス、丁度當日私ハ三時マデ出テ控ヘテ居リマシタガ、一寸サウ云フ知ラセモ私ノ耳ニ入りマセヌノデアリマス、モウ今日ハ何ニモ用事ハナイモノト思ツテツイ外ヘ出テマシマシテ、宅ヘ歸リマス際ニ二三路道シマシタ爲ニ、所在ガ不明ニナツテ御迷惑ヲ掛ケマシタ、御詫申上ゲマス、尙ホ決定線デゴザイマスガ、御承知ノ通り是ハ大正十一年ノ四月ニ公布致シマシテ、鐵道敷設法ノ決定線ト云フモノヲ設定シテ順次決定シタノデアリマスガ、仰セノ通り時代ノ變化ニ連レテ、産業狀態、人ノ移動關係、國防關係、色々ナ世ノ變遷、時代ノ推移ト共ニ情勢ガ變ツテ參ツテ居リマスカラ、一應ハ決定致シテ居リマス決定線ヲ、必ズシモ遵守シテ其ノ通りヤルベキモノデナイヤウニ今日ノ實情ガナツテ居リマス、隨ヒマシテ決定線以外ノ線デモ、必要ガアレバ緩急輕重ヲ辨ヘテ、設定セラレテ決定線ニ先行シテ建設シナケレバナラヌモノモ澤山アルノデゴザイマス、斯ウ云フ風ニ決定致シテ居リマス決定線ト云フモノガ、必ズシモ事情ニ適サナイヤウナ關係ニアリマスノデ、只今調査研究シテ、如何ニ整理シテ行クカト云フコトヲ研究致シテ居ルノデゴザイマス、御諒承願ヒマス、當面ノ建議ノ御趣旨ハ奧津カラ櫻井間ニ決定線ノ經過地ヲ變更セラレタシト云フ建議デゴザイマス、沿線ニハ宇太、松山ノ郡邑アリ、又林産物產モアルコトモ調査致シテ居リマス、先般現地ノ調査ヲ致シマシテ、是等ノ郡邑、鐵

産物ガアリ、林産物ガアリ、殊ニ櫻井與津間ニナリマス距離モ少シ短縮サレルトモ能ク分ツテ居リマス、唯途中ノ生村地帯ト多武峰村内ニ相當長イ隧道ガ二ツ三ツ出來ルヤウナ關係ガゴザイマス、斯ウ云フコトモ能ク研究シ、路線、地方ノ資源其ノ他ニ付テ考究シテ成ベク建議ノ御趣旨ニ副フヤウニ努力シタイト思ツテ居リマス

○松尾四郎君 只今ノ御答辯ヲ戴キマシテ諒解致シマシタ、尙ホ此ノ機會ニモウ一點伺ヒタイコトハ、驛名變更ヲ地方カラ希望シ、變更シテ戴ケルヤウニ聞イテ居リマスガ、未ダニ變更サレナイノデ、之ニ付テ伺ヒタイノデスガ、鐵道省ノ方デハ、ドウ云フ御都合デアリマスガ、其ノ運ビニ至ツテ居リマセカ、是ハ單ナル地方的ノ問題デハアリマセカ、其ノ點ヲ此ノ機會ニ明ニシテ置キタイト思ヒマス、ソレハ奈良縣ヨリ和歌山縣ニ行ツテ居ル和歌山線ノ壺坂驛デアリマスガ、此ノ鐵道省ノ壺坂驛ト名勝ノ壺坂寺トノ間ニ私設鐵道ノ壺坂口ト云フ驛ガ出來タ、ソコデ旅客ハ壺坂驛ノ切符ヲ買ツテ行ツテ下車スルト壺坂寺ヘ行クニハ二里モ歩イテ行カナケレバナラヌ、其ノ場ニ臨ンデ旅客ハ非常ニ困ツテ居ル、ソコデ之ヲ實際ニ即シタ名前ニ變ヘテ廢上トシテ戴キタイト云フノガ地方ノ人々ノ希望デアリマス、而モ廢上ト云フ名前ハ、神武天皇ノ御聖蹟ノ上ニ載ツテ居ル御足跡ノ及ンダ地名デアリマス、以前ハ廢上ト云フテ居リマシタモノヲ、鐵道省ガ營業上カラ壺坂ト云フ名前ヲ付ケテ廢上ト云フ立派ノ名前ヲ消サレテシマツタ、ソレヲ元ノ名前ニ直シテ實ヒタイト云フノガ地方ノ希望デアリマス、大阪鐵道局デモ本省ヘ申達シテ居ルト云フニ、相當ノ長イ

期間ヲ經テモ御決定ニナラナイ、ソコデ鐵道省ヘ行ツテ聽イテ見ルト、其ノ點ハ能ク分ツテ居ルト云ヒマス、分ツテ居ルノニヤラナイ、ソレデ私ハ先般モ御願シタノデスガ、本年ハ二六百年ノ御行事ガ行ハレマス、ソレニ付テ色々ノ調査ガ始マルノデアリマスガ、神武天皇御躬ヲ廢上ノ地ニ御登リニナツタ由緒アル地デアアルカラ、之ヲ印刷物ナドニ記載スルノニ壺坂驛ニ於テ下車スルト云フコトヲ書カズニ、廢上驛デ下車スルト云フコトヲ書キタイ、又神武天皇ノ御記録モ出サナケレバナラヌカラ、本年中ニ變ヘテ實ハナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲテ置イタノニ、ソレヲヤツテ下サラナイ、一體此ノ廢上ノ名前ハ何處カラ起ツテ居ルカト云フト、日本書紀ノ一節ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、「三十一有一年夏四月乙酉朔、皇興巡幸マシ、因リテ廢上驛間丘ニ登リマシテ、國狀ヲ觀望リテ曰ハク云々」ト仰セラレテ居リマス、廢上驛間丘ト云フ所ガアリマシテ、此ノ丘ノ上カラ國狀ヲ觀望セラレタト云フ地デアリマシテ、廢上驛ニ下車スルト、其ノ後ニ大キナ高イ山ガアルガ、ソレガ廢上驛デアリマス、是ハ二六百年ノ御聖蹟ニ色々ナ關係、又御聖蹟ヲ巡覽セシメテ青年ヤ學生等ヲ思想ノ上ニ指導スルニ於テ是非斯ウ云フ所ニハ登ラセタイト思フガ、案内記ニ壺坂ト書イテアルノト、廢上ト書イテアルノトデハ、非常ニ感ジガ違フ、感ジガ違フバカリデナク、來テカラ迷フ、此ノ事ヲ幾度カ申上ゲルノデスガ御理解ガ出來ナイデ、サウ云フコトハ外ニモアルノデ二十數件一遍ニ之ヲ處置シタイト云フノデアリマス、ソレハ外ニモ色々ナ關係ガアルト思ヒ

マスケレドモ、斯ウ云フ事柄ハ特ニ今年御取扱ニナツタ方ガ宜カラウト思フノデスガ、度々申上ゲテモ之ニ對シテ何か地方ノ者ガ、利権ノ問題デモ頼ミニ來テ居ルヤウナイイ加減ニ之ヲ扱ハレテ居ルコト云フコトハ遺憾ニ思ヒマスカラ、之ヲ特ニ建議シテ置キタイト思ヒマス、尙ホ私ノ建議書ノ中一字ガ違ツテ居リマスノデ、此ノ際訂正サシテ戴キタイ、ソレハ「失態」ト云フ字ヲ書イテ居リマスガ、餘リ文書ニ殘スノハ差障リガアルカラ之ヲ「失當」ト變ヘテ戴キタイ、此ノ事ダケヲ申上ゲテ置キマス

○宮澤政府委員 只今ノ壺坂驛ヲ廢上驛ニ變更スル件デアリマスガ、是ハ御尤モノ御意見デ、殊ニ松尾君ヨリハ度々熱心ナル陳情ガオアリニナリマシタノデ、鐵道當局モ洵ニ恐縮致シテ居リマス、私モ此ノ事ハ聞イテ居リマシテ、キツト此ノ問題ノ御質疑ガアルニ違ヒナイイガ、ドウカト云フコトヲ聽イタノデアリマスガ、尙ホ仰セノ上ニ決定シテ本日發表致シマシタ、御諒承願ヒマス

○齋藤委員長 本建議案ハ可決スルニ御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

體的ニ申シマス、九州ノ宮崎縣大分縣方面ノ東部海岸カラ西南部海岸ニ橫斷スル鐵道網ヲ完成シテ戴キタイト云フノデスガ、此ノ地圖ヲ御覽下サイマシテ、一見シテ何人モ分リマスヤウニ、九州ノ北部ハ勿論最南端ノ鹿兒島地方ニ於テハ今日マデ鐵道網ハ相當ニ發達致シテ居リマスガ、九州ノ中央部ヲ貫通スル鐵道網ハ現在ニ於テハ唯豐肥海岸ニ通ズル鐵道網ハ現在ニ於テハ唯豐肥線ガ貫通シテ居ルノミデアリマス、固ヨリ中央ニ山嶽ガアリマシテ、四圍ノ關係上今日マデ是ガ貫通ヲ見ナカッタト云フコトガ一ツノ理由デアルト思ヒマスガ、鐵道ノ建設ニ關スル技術モ非常ニ急速ノ進歩ヲ致シテ居リマス今日、且又天然資源ノ幾多開發スベキモノガ此ノ九州中央部ニアルト云フコトカラ考ヘマシテ、ドウシテモ是ハ九州ノ東部海岸カラ西南部ノ海岸ニ貫通スル鐵道網ヲ速ニ完成致スコトガ産業ノ開發カラ申シマシテモ軍事上カラ申シマシテモ焦眉ノ急デアルト確信致シテ居ルノデアリマス、就中最近非常ナ勃興ヲ致シテ居リマス、福岡市ト熊本縣ノ鹿兒島本線ノ宇土驛トヲ結ビ付ケマス所ノ國有鐵道ノ直通ヲ速ニ圖ルト云フコトハ、地方多年ノ願望デアリマシテ、既ニ此ノ線路ノ申延マス、此ノアト日ノ影、宇土間ノ完成ヲ見ルナラバ東部海岸ト西南部海岸ノ連絡直通ノ鐵道ガ完成致スコトデアリマス、此ノ外ニ延宇線カラ岐レテ高森ニ至ル線路、或ハ熊本縣ノ球磨郡ノ湯前、小林方面ニ至ル線等南九州鐵道ノ完成ニ付キマシテハ、幾多懸案ガ殘ツテ居ルノデアリマスガ、今日資料ノ關係ニ於キマシテモ急テ望ムコトガ出來

マセヌノデ、其ノ最モ焦眉ノ急デアルト思ハレルト所ノ所謂延宇線ヲ速ニ完成シテ戴キタイト云フノガ本建議ノ趣旨デアリマス、之ニ對シテ鐵道當局ハモウ既ニ研究調査ノ時代ニアラズシテ長イ間ノ懸案デアリマスルカラ、當局ニ於カセラレテハ、十分ナル御調査及ヒ計畫モアラウカト拜察致シマス、之ニ對スル鐵道當局ノ御用意御見解ヲ承ツテ置キタイ

○宮澤政府委員 仰セノ通り本區間ハ延長約百九十九キロガザイマシテ全部決定線ニナツテ居リマスノデ、殊ニ此ノ連絡ニ依リマシテ中部ノ東西ヲ極々短距離ニ連結スル重要ナル決定線デアリマスコトモ、圖面ノ上カラ明瞭デアリマス、沿線ニハ三田井、馬見原、濱町、砥用等ノ郡邑ガアリ、鑛産、林産等アルヤウデアリマシテ、見學遊覽ノ客モ殖エテ居リマスコトハ想像ガ出來マス、唯三田井、馬見原ノ地形ガ可ナリ複雑致シテ居リマシテ、色々ナ工事上ノ都合モアルヤウデゴザイマスカラ、向後地形其ノ他ニ付テ考究シテ善處シテ見タイト思ツテ居リマス、宇土、砥用間ハ御承知ノ通り昭和九年ノ六月カラ省營「バス」ヲ運行サシテ交通運輸ノ利便ヲ圖ツテ居ルコトモ、御承知ノ通りノ次第デアリマス、右御答致シマス

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次八日程第八、鑛產物開發ノ爲鐵道敷設ニ關スル建議案 提出者清水徳太郎君

○清水徳太郎君 鑛產物開發ノ爲鐵道敷設ニ關スル建議案ノ必要ナル所以ヲ申上ゲタ...

○齋藤委員長 次八日程第一、土讚線土佐山田驛ヨリ徳島縣牟岐線ニ連絡スル鐵道敷設ニ關スル建議案 提出者紅露君

○紅露君 本建議案ハ昨年ノ第七十四議會ニモ、本院ニ於キマシテ...

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

來鐵道省ノ方デ御懸念下サイマシタ建設路線ノ爭奪ト云フコトハ早晩解消スルコト...

○宮澤政府委員 御答申上ゲマス、仰セノ通り鶴岡、大島間ハ敷設法ノ豫定線デゴザ...

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

デアラウト思フノデアリマス、デアルカラ
 特ニ其ノ御積リデ一ツ御進行ノ願ヒタイ、
 ソレカラ經費ノ御話ガアリマシタガ、是ハ
 財政問題ヲ兎ヤ角言フ程ノ問題デアリマ
 セス、僅カニ年二十万圓カ三十万圓ノ金ヲ出
 スト云フコトデ私ハ出来ルコト思フノデ
 アリマス、大機關デ初メカラ何百万圓ト云
 フ程ノ大金ヲ要スルコトデハゴザイマセ
 ス、創立ノ際ニ於テハ或ハ建築等ニ付テシ
 シハ要スルカモ知レマセシガ、經營費トシ
 テハ先ヅ二十万圓内外事ガ足リル位ニ思
 ヲテ居リマス、併シソレ等ノ内容ハ一々私
 カラ申上ゲル必要モナイノデアリマス、政
 府トシテモ十分御研究ノ上デ一日モ速ニ此
 ノ問題ヲ進行スルヤウニ御留意置キテ願
 ヒタイト思フテ居ル次第デアリマス、

○濱地委員 關聯シテ—私モ實ハ此ノ問
 題ニ付テ常々考ヘテ居リマシタノデスガ、
 自分モ古代土器ヲ數百點持ツテ居ルノデア
 リマス、サウシテ數年前ニ宮崎縣ヘ行キマ
 シテ、古墳ノ研究モ單身ヤツタコトガアル
 ノデアリマスガ、政府ハ此ノ古代文化ニ對
 シテハ洵ニ冷淡デアリマシテ、例ヘバ宮崎
 縣ナシカノ古墳デアリマシタナラバ、畏ク
 モ皇室ノ神代時代ノ御先祖ノ住居セラレタ
 コトデアラウト思フノデアリマシケレドモ、
 此ノ古墳ニ對スル施設ナドト云フモノハ極
 メテ簡單デアツテ、寧ロ棄テアルノデア
 ナカラウカト思フ位ナコトガアルノデアリ
 マス、ソレカラ土器ナドヲ各地方デ發掘シマ
 シタ時ニ、是ハ警察ヘ届出ヨト云フモノ
 デスカラ警察ヘ届出マシタ、警察ヘ持ツ
 テ行ツタナリニ返事モナケレバ、又要ラス
 モノハ返スノデモナク、ソレカラ數年經ツ
 テ馳キニ行クト警察官ガ變ツテ居リマスル
 マス

シ、何處ヘ聽イテ宜イノカソナコトハ知
 ラスト云フヤウナ有様デ、全ク誰カ何時ノ
 間ニカ持ツテ行クト云フヤウナ有様ニナツ
 テ居ルノデアリマス、尤モ研究資料トナツ
 テ大切ナモノハ皇室博物館トカ或ハ大學ナ
 ドヘ持ツテ行カレラシイヤウデアリマス
 ガ、其ノ殘餘ノモノハドウシテアルノカサ
 ツバリ分ラヌ、是デハドウモサウ云フ方面
 ニ對スル認識ガナイモノト私ハ思フノデア
 リマスガ、此ノ點ニ付キマシテモウ一度政
 府當局ノ御意見ヲ聽イテ見タイト思ヒマス
 ○中井閣府委員 只今濱地君カラ古墳舊
 蹟等ニ對スル當局ノ取扱方ニ付テ色々御意
 見ガアリマシタガ、若シ御述ニナリマシタ
 ヤウナコトガアルトスルナラバ、極メテ遺
 憾ノコトデゴザイマシテ、ドウシテモサウ
 云フ方法ヲ改善シナケレバナラヌト存ジマ
 ス、殊ニ今日日本文化ノ昂揚ヲ圖ラナケレ
 バナラヌ時期ニ際シマシテ、特ニ御趣旨ニ
 副フヤウナ方法ヲ付テ行キタイト考ヘナ
 ケレバナラヌ次第デアリマス、能ク其ノ邊
 ハ一ツ聽イテ色々調査ヲシタイト考ヘマス
 ○濱地委員 モウ一ツ參考ニ申上ゲテ置キ
 タイノデスガ、古代土器ナドガ發掘セラレ
 タ場合ニ、警察ヘ御届ケスルノデアリマス
 ガ、届ケタモノハ警察ヘ持ツテ行ク、ソレ
 モ宜シイト思ヒマスガ、其ノ出テ後古墳ト
 覺シキモノガ出タケデアツテ、モウ掘ル
 コトモ出来ナイ、ソレデハ何トカ後デチヤ
 ントシテ置クノカト言フト、何モシナイ、
 半分掘ツタ儘デ其ノ後ハ掘ルコトハ相成ラ
 スト云フコトデ、後ノ施設ハ何モセズニ放
 ツタラカシテアル所ガ全國到ル所ニアルノ
 デアリマス、之ヲ參考ノ爲ニ申上ゲテ置キ
 マス

○齋藤委員長 本件ハ之ヲ可決スルニ御異
 議アリマセスカ
 (異議ナシト呼フ者アリ)

○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一四、高温「カル
 シウム」溫泉ニ國立溫泉研究所設置ニ關スル
 建議案 提出者愛野時一郎君

○愛野時一郎君 是ハ高温「カルシウム」温
 泉ニ溫泉研究所ヲ設置スルノ建議案デアリ
 マス、大體聞ク所ニ依リマス、日本ニハ
 溫泉デ「カルシウム」性ノ溫泉ト云フモノハ
 極メテ少イサウデアリマシテ、特ニ相當ナ
 温度ノアル「カルシウム」性ノ溫泉ハ僅ニ六
 ツカ七ツ位シカナイト云フコトデアリマス
 ガ、是ハ私ハ海軍ノ病院長カラ聞イタ話デ
 アリマスガ、而モ此ノ高温「カルシウム」
 溫泉ハ傷病兵等ノ外傷患者ニ對スル治療效
 果ガ極メテ宜シイノデアリマス、是ハ佐賀
 縣野津溫泉ニ海軍病院ガ設置サレマシテ、
 其ノ結果非常ニ驚異ノ成績ヲ擧ガテ居ルノ
 デアリマス、隨テ海軍ニ於テハ最初ノ豫定
 ヨリモ極メテ擴大ヲシテ、サウシテ顯著ナ
 ル治療效果ヲ擧ガタイト云フ風ニ圖ラレテ
 居ルヤウナ事實ガアルノデアリマス、私ハ
 此ノ際、別府ニ九州帝大ノ溫泉研究所ガア
 ルノデアリマスガ、野津ノ海軍病院長ナド
 ニ言ハセマス、高温「カルシウム」溫泉ニ、
 於テハ佐賀縣野津ニ於テ日本一デアラウ、
 此處ノ溫泉ヲ研究スルコトハ特ニ治療上良
 イ、斯ウ云フ風ナコトヲ申シテ居ツタノデ
 アリマス、同地ハ極メテ閑靜デアリ非常
 ニ風光モ好イノデアリマスガ、特ニ高温
 「カルシウム」溫泉デアアルノデアリマシテ、
 此ノ際文部省アタリデハ國立ノ研究所ヲ設

者ノ説明ガアリマシテ、政府ノ説明モアツ
 タノデアリマス、採決致シマスガ、之ヲ可
 決スルニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼フ者アリ)

○齋藤委員長 本案ハ之ヲ可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一六、學校教育
 ノ完成ニ關スル建議案、本案モ異ニ提出者
 ノ説明ガアリ、政府ノ所見モ御同致シタノ
 デアリマス、本案ハ之ヲ可決スルニ御異議
 アリマセスカ
 (異議ナシト呼フ者アリ)

○齋藤委員長 之ヲ可決致シマス

○齋藤委員長 次ニ日程第一三、校外保
 導保護事業規程制定ニ關スル建議案 提
 出者矢野庄太郎君、矢野君ガ不在デアリマス
 カラ後週シニ致シマス—ソレデハ是デ休
 憩致シマス、午後一時半カラ開會致シマス
 午後零時二十五分休憩

午後一時四十分開議

○齋藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、農
 林省所管日程第一七農村記念日制定ニ關ス
 ル建議案 提出者吉植君ノ説明ヲ求メマ
 ス

○吉植君 戦時下ニ於キマスル農村
 ハ、只今戰時食糧確保ノ責任ヲ負ウテ之ノ
 責ヲ全ウ致シテ居リマス、其ノ上ニ百万皇
 軍ノ土臺トナリ工業並ニ軍需工業、重工業
 股販工業並ニソレヲ工業ノ基ヲ成シテ居リ
 マス所ノ鐵、石炭ヲ初メ其ノ他諸礦山ノ勞
 働者、其ノ一切工業礦山ノ勞働力ノ源泉ト
 シテ、此ノ戰時産業ニ參畫シツツ今日ニ至
 ツテ居リマス、然ルニ政府ノ爲メ所ガ時ニ
 依ツテ過ツモノガアリマシテ、肥料デア
 ル

トカ、其ノ他ノ農産資材モ農村ニ來ルモノ
 ガ甚ダ乏シクアリマシテ、今日肥料ヲ與ヘ
 ヲ、地下足袋ヲ與ヘヨ、農産資材ヲ與ヘヨ
 ト云フ聲ガ農村ニ充テ滿チテ居リマス、其
 ノ上ニ勞力蓄力ハ比年潤滑シツツアリマス、
 而モ此ノ惡條件ノ下ニ於テ本年、米ガ七千
 万石、小麦ガ千三百万石產出ノ重責ヲ負ウ
 テ居ルノデアリマス、一面顧ミテ自然ノ循
 環理法ト云フヤウナコトヲ考ヘテ見マス
 ト、既ニ十二、十三、十四ト、昭和年度ニ
 入りマシテ此ノ三箇年間ニ米ノ大増收ヲ致
 シテ居リマスカラ、地力ノ減退ヲ來シテ居
 リマス、又過去二十箇年間ニ於テ、日本ニ
 三箇年間連續ノ豐作ノ場合ハ是レ以外一度
 モゴザイマセス、此ノ自然循環理法デ當然
 本年ハ凶作ノ循環數ニ相成ツテ居リマス上
 ニ、只今申シマシタ地力ノ減退ガ過去三箇
 年ノ増收ニ依ツテ結果セラレマス、而シテ
 他面只今申シマシタヤウニ、資材ハ不足デア
 リ、勞力ハ不足デアリ、畜力ハ不足デア
 リ、而シテ七千万石並ニ千三百万石ト云フ大
 増產ヲシヨウト云フノデアリマスカラ、是
 ハ中々容易ナコトデハアリマセス、ドウシ
 テモ我國全體ガ農村ト共ニ力ヲ協セテ打ツ
 テ一丸トナツテ邁進セネバ、此ノ目的ハ達
 成ハ難カシト存ジマス、然ルニ今日マデ
 ノ所、米麥ヲ初メ食糧ノ増產増殖ト云フヤ
 ウナコトハ、農村ノミノ負擔部ト相成ツ
 テ居ルノデアリマス、今日ノ戰争ノ舉國一
 體ノ戰爭デアリマシテ、單ニ軍部ノミノ戰
 争デナイト云フコトニ定説ガ相成ツテ居リ
 マスガ、少クモ食糧問題モサウデナケレ
 バナラナイト存ジマス、然ルニ事實ハ農村
 ノミガ此ノ場而ヲ負擔シテ居ルト云フ現狀
 デアリマス、是ニ於テ私共ハ斯様ナ條件ノ

惡イ下ニ於テ七千万石マデ増產ヲスルト
 云フヤウナコトヲ仕達ゲルニハ、現狀ト此ノ
 位置イタノデハ、此ノ目的達成ハ容易デナ
 イト考ヘルノデゴザイマス、ドウシテモ生
 産部ニ於キマシテハ、全農村ガ打ツテ一
 丸トナツテ事ニ當ル、又他ノ殘リノ半分ノ
 國民ガ此ノ生産部ニ活躍スル全農村ヲ支
 援シテ行ツテ、此ノ全農村ト他ノ殘リノ國
 民トガ打ツテ一丸トナルト云フ態勢ヲ執ラ
 ネバナラナイ、サウ云フヤウニナツテ初
 メテ此ノ目的達成ガ可能デアルト、斯ウ信
 ジテ居ルノデアリマス、然ルニ斯様ナ私共
 ノ理想ヲ實現シテ載ケル所ノ場面ハゴザイ
 マセス、陸軍ニハ陸軍記念日ガアリ、海軍
 ニハ海軍記念日ガアリマシテ、百億一心一
 體トナツテ天恩ヲ謝シ國難ニ備ヘルト云フ
 場面ガアルノデアリマスガ、不幸ニシテ農
 村ニハ左様ナ場面スラゴザイマセス、ソコ
 デドウシテモ私ハマダ名前何トモ考ガ付
 キマセスガ、農村記念日デモ或ハ農村感謝
 日デモ、然ルベキ適當ナル名前ヲ付ケテ、
 年一度全農村ガ打ツテ一丸トナツテ皇恩
 天恩ノ厚キヲ、感謝シ奉リ、天ニ祈リ、神
 ニ念ジテ穀物ノ増產、増殖ヲ圖ル一面、他
 ノ米、麥ヲ食ヘル所ノ國民ガ之ニ向ツテ感
 謝スル、時ヲ同ジウシテ左様ニスル、食
 糧生産部ニ於テモ一體トナル場
 面ヲ現出スル日ガドウシテモ必要デア
 ルノデアリマシテ、名前ハ只今申上ゲタ
 ヤウニ、ドウ云フ名前デモ結構デゴザイマ
 スガ、此ノ日ヲ定メテ載キタイノデアリマ
 ス、然ラバドウ云フ日ヲ選バカト云フコト
 ニナリマス、過般豫算總會デ申述ベマ
 シタ通り、私共農村ニ取リマシテハ忘ル
 コトノ出来ナイ尊キ日ガゴザイマス、其ノ

日ニ定メテ載キタイノデアリマス、ソレハ
 今上陛下ガ御即位後初メテ田ノ中ニ御入
 リ遊バシタ其ノ日、是ハ私共ノ口ニ掛ケテ
 申上ゲルモ畏キ極メデゴザイマスガ、一天
 萬乘ノ大君ガ御自ら田ニ御入りニナツテ田
 植ヲ遊バシタ、是程私共ニ取ツテ有難
 イ日ハナイノデアリマスカラ、此ノ日ヲ農
 村記念日ト定メマシテ、皇恩ノ厚キヲ
 謝シ奉リ、此ノ皇恩ヲ頭ニ戴イテ、全農村
 ガ打ツテ一丸トナツテ食糧ノ増產、増
 殖ニ努力スル、全國民ガ又天恩、皇恩ノ厚
 キヲ謝シ奉ルト共ニ、全農民ノ努力ニ
 向ツテ感謝スル、其ノ一日ノ中ノ或ル一
 瞬ヲ捉ヘマシテ、宮城ニ向ツテ遙拜致シ、
 其ノ瞬間ニ一體一心一體トナル、斯様ナ日
 ガ定メラレマスレバ、未ダ曾テ我國ノ總理
 大臣、或ハ農林大臣ニシマシテモ、地方
 長官ニ致シマシテモ、田ニ入ツテ全農民ヲ
 激勵シタト云フ例シハナイノデアリマスガ、
 左様ナコトモ自ラ行ハレ來ルコト存ジマ
 ス、右ガ建議ヲ致シマシタ趣旨デゴザイマ
 ス、當局ノ之ニ對スル率直ナル、又熱意ノ
 アル御答辯ヲ御願致シタクゴザイマス

○提原政府委員 御答申上ゲマス、時局下
 ニ於キマシテ重要ナル食糧ノ増產—米ニ付
 キマシテ七千万石、小麦ニ付キマシテ一
 千三百万石、其ノ他甘藷、馬鈴薯ガ數億方
 貫、其ノ他各種ノ必要ナル農産物ノ生産ノ重
 イ責任ヲ農村ニ課セラレテ居ル譯デアリマ
 ス、其ノ他戰地ニモ多數ノ將兵ヲ送り、工
 業ノ部門ニモ新鮮ナル勞力ヲ出シテ居ル譯
 デアリマス、時局下ニ於キマスル農民並ニ
 農村ノ國家ノ爲ニ持ツテ居リマス責任ト
 アリマス、サウ致シマシテ此ノ重責ヲ果シ

テ参リマスコトハ、中々容易ナラザル事柄
デアラウト吾々共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、
是ハドウシテモ御意ノ通りニ、農村、農
民ハ全力ヲ盡シマス同時ニ、農村並ニ農
民デハナイ國民ノ多數モ、力ヲ協セテ参ラ
ナケレバナラナイト存スル譯デアリマス
國民精神總動員ノ運動モ其ノ趣旨デアラウ
ト考ヘマス、又農業報國聯盟ノ仕事モ、獨
リ農村部門ダケデハナシニ、廣ク商工方面
ニ對シテモ農業報國ノ趣旨ヲ體得セシムル
ト云フコトガ、農業報國運動ノ一ツノ使命
ト考ヘテ來テ居ル譯デアリマス、併シナガ
ラ益々此ノ責任ヲ果シテ行キマス上ニ於テ、
御意官ノヤウナ施設ガ國トシテ出來マスコ
トハ洵ニ必要ナコトデアリ、結構ナコトデ
アル、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、御
承知ノヤウニ四五年前カラ官民合同新嘗
ノ御祭ノ日ヲトシマシテ、全國各地ニ於
テ——東京ニ於キマシテハ勿論、農業關係
體並ニ商工方面トモ連絡ヲ取リマシテ、新
穀感謝ノ祭ヲ行ツテ参ツテ居リマス、年々
重ネマシテ、毎年盛大ニ相成ツテ居リマス、
吾々ト致シマシテモ、新穀感謝祭ガ時局下
ニ於キマシテ益々盛大ニナツテ行クコトヲ念
願致シテ参ツテ居リマス、是ハ御承知
ノ通りニ新嘗祭ノ旨イ趣旨ヲ體得シマシテ、
其ノ日ニ皇恩ト天ノ恩ノ恵ミニ依ツテ獲レ
マシタ新穀ヲ神ニ捧ゲテ、サウシテ肇國ノ
精神ト、農ヲ本トシマス精神トヲ體得致
シテ、感謝ヲ致ス祭デアリマス、併シモ
マダ國全體ノ祭ト云フ所マデハ参ラナイノ
デアリマシテ、漸次日ヲ逐ウテ盛大ニナツ
テ行キツツアルト云フ現狀デアリマス、御
説ノ如ク國ト致シマシテ、何ト申シマスル
カ、適當ナ名稱ノ下ニ一日ヲ農業並ニ農民

ヲ基礎ニ致シマシテ、全國民ガ農業生産ノ
有難味ヲ體得シテ、感謝スルト云フ日ガ選
バレルト云フコトハ非常ニ結構ナコトト存
ズルノデアリマス、尙此ノ日ナリ、或ハ
名稱ナリニ付キマシテハ、篤ト考究ヲ致シ
マシテ、實現シ得ルヤウニ努メタイト存ジ
テ居リマス
○吉植庄亮君 只今ノ政府ノ御答辯ニ依リ
マシテ、政府ノ意ノ在ル所モ分リマシタ、
ドウカ此ノ上トモ一日モ早ク斯様ナ日ヲ御
制定アラントコトヲ願致シマス
最後ニモウ一點附加ヘマスガ、只今私ガ
申上ゲマシタ、今上陛下ガ初メテ御田ニ御
降り立チ遊バシタ此ノ日ニ付テ、農民デア
リマス私ハ、此ノ日ヲ記念日ト定メテ、宏
大無邊ノ皇恩ヲ頭ニ戴イテ、日本ノ全農民
ガ打ツテ一丸トナツテ食糧ノ増産ニ勵ミ、
一般國民モ亦宏大無邊ノ皇恩ヲ頭ニ戴タト
共ニ、農民ニ感謝シテ行ク、斯ウ云フ風ニ
シテ、形ノ上カラ言ツテモ、心ノ上カラ言
ツテモ、立派ナ一ツノ記念日ヲ定メテ戴ク
コトガ一番宜シト確信スルト云フコトヲ
申上ゲルノデアリマスガ、唯事ハ大君ノ御
事蹟ニ關シテ居ルコトデゴザイマスカラ、
其ノ意味ニ於テ別ニ其ノ日ニ付テハ此ノ上
ノ御答辯ハ載カナクトモ宜シウゴザイマス
ガ、私共ノ意ノアル所ヲ政府モ御酌取サ
イマシテ、全農民ノ心ニ副フヤウニ御取計
ヲ願ヒタイト思ヒマス、ドウカ満場一致本
案ヲ御採擇下サイイマスヤウ切ニ御願申上ゲ
マス
○齋藤委員長 本建議案ハ之ヲ可決スルニ
御異議アリマセスカ
○齋藤委員長 可決致シマス

○齋藤委員長 次ハ日程第一九、有機質肥
料ノ價格適正化ト其ノ公平ナル配給ニ關ス
ル建議案——提出者高田平君
○高田平君 是ハ私一寸質疑致シタイコ
トモアリマスカラ農務課長デハ困ルと思ヒ
マスガ……
○齋藤委員長 只今政府委員ヲ呼ビニ行ツ
テ居リマス——高田君ニ申上ゲマス、政府
委員ガ只今参リマセスカラ、アナタノハ後
題シニ致シタイト思ヒマスガ、如何デアリ
マスカ
○高田平君 結構デアリマス
○齋藤委員長 ソレデハ左様ニ致シマ
ス——次ハ商工省所管、日程第二四、木炭
ノ配給價格改訂ニ關スル建議案——提出者坂
本宗太郎君
○坂本宗太郎君 私共ハ戦時下ニ於キマシ
テ其ノ目的完達ノ爲ニハ何物ヲモ忍ビ得ル
考ニ於キマシテハ、決シテ人後ニ落ツル者
デハナイノデアリマスガ、物資ノ統制配給
ニ付キマシテ非常ニ跛行ノ傾向ガ顯著
ニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是
等ノ物資ノ配給價格等ニ付キマシテハ洵ニ
適正ヲ失シテ居ルモノガ多クデアリマス、
木炭ハ其ノ一ツデアリマシテ、殊ニ不適正
ノ價格ノ甚シイモノデアリマス、昨年ノ十
二月及本年一月、二月等ニ互リマシテ木
炭ノ配給ハ極メテ不調滑ノ情勢ニナツテ居
リ、其ノ後生産ハ益々減退ノ一路ヲ辿ツテ居
ルノデアリマス、地方ノ木炭ノ産地ニ參リ
マシテモ、山ニ炭窯ハ築イテデアリマシテモ
煙ノ出ル窯ハナイト云フ状態デアリマス、
現在原本ハ其ノ僅炭窯ニ詰メズ伐採サレテ
賣ラレルト云フ状態デアリマシテ、是ハド
ウ云フ譯デアアルカト申シマス、結局公定

價格ガ甚シク安イト云フコトニ原因ヲ致ス
ノデアリマス、目下ノ公定價格中ニハ隨分
不引合ノ價格ニ定メラレタモノモアルノデ
アリマスガ
○委員長退席 釘本委員長代理著席
其ノ申上ゲ木炭ノ如キハ甚シイ、何人ガ算
盤ヲ取ツテ採算致シマシテモ、原本ト其ノ
製品ノ木炭トノ價格ガ吊合ハナイト云フコ
トハ、議論ノ餘地ハナイノデゴザイマス、
殊ニ山村ハ出征兵ナドノ率モ多クデアリ
マシテ、今後ノ木炭ノ生産ニ付テ考ヘマス
ト、洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアルノデゴ
ザイマス、政府ハ今回木炭配給調節法案其
ノ他ノ法案ヲ提出セラレテ居リマスガ、如
何ナル方法ヲ御執リニナツテモ、此ノ公定
價格ヲ改訂セザル限りハ、増産ヲ見ルト云
フヤウナコトハ考ヘラレナイノデアリマス、
○委員長退席 釘本委員長代理著席
其ノ申上ゲ木炭ノ如キハ甚シイ、何人ガ算
盤ヲ取ツテ採算致シマシテモ、原本ト其ノ
製品ノ木炭トノ價格ガ吊合ハナイト云フコ
トハ、議論ノ餘地ハナイノデゴザイマス、
殊ニ山村ハ出征兵ナドノ率モ多クデアリ
マシテ、今後ノ木炭ノ生産ニ付テ考ヘマス
ト、洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアルノデゴ
ザイマス、政府ハ今回木炭配給調節法案其
ノ他ノ法案ヲ提出セラレテ居リマスガ、如
何ナル方法ヲ御執リニナツテモ、此ノ公定
價格ヲ改訂セザル限りハ、増産ヲ見ルト云
フヤウナコトハ考ヘラレナイノデアリマス、

テ居リマスガ一回トシテ置キマシテ、其ノ
他手間代、或ハ俵代、總代等一切ヲ見マシ
テ九十八錢、検査料トカ組合費等ヲ入レテ
五錢、山カラ賣出ルモノハ搬出スル費用
ガ十六錢、合計二回二十九錢ニナルノデア
リマスガ、之ヲ公定價格ノ一圓八十八錢ニ
賣ツテ居ルノデアリマス、是ハ埼玉縣ノ荒
上ノ並品デ、是ガ標準品デアリマスガ、差
引四十一錢ノ缺損ニナツテ居ル、斯ウ云フ
状態デアリマスガ、是ハ今日原本代其ノ他
ノ縣騰シテ居ルノ内輪ニ見積ツテ、二月
下旬ノ價格ニ依ツテノ生産費デアリマスカ
ラ、今日ハ尙ホ一層ノ缺損ニナツテ居ルコ
トト思ヒマス、左様ナ次第デアリマシテ、現
在間取引申スモノガ相當ニ行ハレテ居リ
マスケレドモ、縣當局或ハ、其ノ他經濟警察
等ノ取締側ニ於テモ、之ヲ殆ド黙認シテ居
ルノデアリマス、是ハ全ク已ムヲ得ナイコト
デアルト取締側ニ於テモ同情セラレテ居ル
ト云フコトガ事實ノ上ニ於テ歴然トシテ居
ル譯デアリマス、斯ウ云フコトハ洵ニ宜クナ
イコトト申スノデアリマシテ、間取引ヲ默
認スル、間取引ヲ黙認スルニハ、ソレダケ
ノ理由ガアルノダト云フコトデアリマスガ、
左様ナ次第デアツタナラバ、適正價格ヲ致
シ改メマシテ、公然ト賣買ノ出來ルヤウニ
シナケレバナラナイト思フノデアリマス、
今日有ユル物價ニ不適正ナルモノガ多ク
デアリマスガ、特ニ此ノ木炭ニ付テハ左様
ナ次第デアリマスカラ、ドウゾ政府當局ニ
於テハ此ノ點十分御含ミノ上御考慮戴キマ
シテ、適正價格ニ御改訂ヲ願ヒタイト存ジ
マス、尙ホ委員諸君ニ於キマシテモ、本件
ニ付テ御同情アラントコトヲ切望致シマス
○喜多政府委員 坂本君ニ御答致シマス、

今只ノ建議ノ木炭ノ公定價格引上ニ付キマ
シテハ、品物ノ不足及公定價格ガ生産原
價ト非常ナ開キヲ見テ居ルト云フ點カラト
承リマスガ、現行ノ木炭ノ公定價格ニ付テ
ハ、昨年ノ秋燃料物價專門委員會デ當時ノ
木炭ノ生産費、即チ今只御話ノ原本代、勞
銀、包装材料及山出運賃等ヲ考慮シテ、ソ
レニ地方的ナ事情ナドモ加ヘマシテ、審議
シタ結果決定セラレタモノデアリマスガ、
一方御話ノヤウニ生産原價ト公定價格トノ
間ニ段々ト距離ノ出タト云フヤウナコト
モ當局ハ認メテ居リマスガ、木炭ハ生活必
需品デアリマスシ、一方低物價政策堅持ト
云フ建前カラ今議ニ御話ノヤウニ引上ゲル
ト云フコトハ困難デアルト考ヘラレマス、
而モ是ハ増産ニ伴ツテ又價格モ變化スルモ
デゴザイマスガ、其ノ増産方面ノコトニ
關シテハ、御承知ノ通り農林當局ノ所管ニ
ナツテ居リマスノデ、又兩省ガ協議スル點
モアルト考ヘラレマス、併シ今後現行公定
價格ヲ木炭ニ關シテ變更シナケレバナラ
イ場合ニ於テハ、建議ノ御趣旨ヲ取入レテ
御期待ニ副ヒタイト思ヒマス
○釘本委員長代理 本案ヲ可決スルニ御異
議アリマセスカ
○釘本委員長代理 可決スルコトニ決定致
シマシタ
○釘本委員長代理 次ニ日程第二五、纖維
ノ迅速圓滑ナル配給方策樹立促進ニ關スル
建議案、第一二二號——提出者坂本君
○坂本宗太郎君 纖維ノ配給統制ガ實施サ
レマシテ以來、配給ガ洵ニ實際ニ即シテ居
リマセス、殊ニ人造絹絲ノ配給ノ如キニ付

キマシテハ、纖維需給調整協議會ト云フモ
ノガゴザイマシテ、是カラ絹絲ヲ除キマシ
タ以外ノ纖維ハ殆ド此ノ機構ニ依リマシテ
配給ヲ受テ居ルノデゴザイマスガ、是ガ
洵ニ以前ノ工聯カラ配給ヲ致サレマシタ當
時ノ方ガ寧ろ迅速ニ行ハレテ居ルヤウナ情
勢デアリマシテ、却テ此ノ機構ヲ經マシテ
今日配給セラレテ居リマス場合ニ於キマシ
テ、洵ニ此ノ配給ガ遅延スルノデアリマス、
又割當等ガ非常ニ誤算ガ多クデアリマス、
是ハ私共誤算ト云フコトハ最初存ジマセヌ
デ、斯ウ云フ風ナ割當デアリ、併シナガラ
非常ニ激減ヲシテ殆ド從來ノ實積ノ三分ノ
一、即チ三割位ノ程度シカ配給サレナイ、
何トモスルコトガ出來ナイト云フ風ニ考ヘ
マシテ、唯今少シク認メテ賈ヒタイト云フ
コトヲ陳情致シタヤウナ場合モゴザイマス、
所ガ段々調ベテ見マス、ソレハ誤算ダト
云フヤウナコトモ多クサツタデアリマス、
又或ル場合ニハ相當ナ實積ガアリナガラ、
少シモ配給ヲサレナカッタナドト云フ例モ
アル、配給ガ「ゼロ」デアツタト云フヤウナ例
モ事實ゴザイマシタ、左様ナ譯デ此ノ纖維
需給調整協議會ト云フモノヲ經由致シマシ
テ配給ヲサレマスコトガ、洵ニ不安ニ堪ヘ
ナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、
此ノ配給機構ヲ改善セヨト云フヤウナ御
意見モ他ノ委員カラアルヤウデアリマス
ガ、私ハ機構ノ改善ハシナクテモ宜シイト
思フノデアリマス、唯ソレニ携ツテ居リマ
スル事務員ニ非常ニ不慣レナ連中ヲ使ツテ
テノ更ニ頭腦ノナイ者ヲ使ツテ居ルト云フ
結果カラ誤算モ生ジテ參リマセウシ、又常
識ノ上ニ於テ非常ニ缺ケテ居ルヤウナ人ガ

多クデアリマス、殊ニ纖維業界ノコトヲ
殆ド知ラナイ人々ガソレニ携ツテ居ルト云
フ實例ガアルカラデアリマス、其ノ方面ノ
今日マデノ經驗ノアル人デゴザイマスレバ、
何處ノ會社ハドノ位實積ガ過去ニ於テアル
トカ、或ハ此ノ會社ナラバ是位デ宜イト云
フヤウナコトハ、ソレハ其ノ會社ノ名前ヲ
見タダケデモ其ノ仕事、生産高ト云フヤウ
ナコトハ凡ソ想像ガ付クノデアリマスカラ、
其ノ數字ヲ見マシタ時ニ、是ハ少イトカ是
ハ間違アルト云フヤウナコトガ直チニ發
見ヲサレルノデアリマスケレドモ、極メテ
不慣レナ人々ノ寄集リデアリマス、デアリ
マスカラサウ云フ人々ヲ變ヘレバ宜シイ、
要スルニ仕事ニ携ツテ居ル人ヲ變ヘマシテ、
實際ニ通ジテ居ル者ヲ用ユレバ宜イトデア
リマス、要スルニ不慣レノ人ノミヲ集メテ
居ル、極端ニ不慣レデアリ、而シテ非常ニ
年若イ連中、例ヘバ二十歳前後ノ人々ガ
相當ナ仕事ノ衝ニ當ツテ居ル、相當ナ地位
ニ居ルト云フヤウナコトガ、是等ノ甚ダシ
キ失態ヲ致シマスル原因トナツテ居ルコト
ト存ジマス、左様ナ意味カラ致シマシテ機
構其ノモノハ私ハ是デ宜イト思フ、デアリ
マスカラ、内ノ仕事ニ從ツテ居リマスル所
謂職員ヲ、之ヲ今少シク精選シマシテ、サ
ウシテ會テ其ノ道ニ居ツタ者ヲ成ベク雇
スルト云フコトニ致シマシタナラバ宜カラ
ウト思フノデアリマスガ、併シ何レニ致シ
マシテモ此ノ配給ガノロイト云フコトハ困
イノデアリマス、其ノ他工聯ニ於キマシモ、
相工聯ノ如キデモ左様デアリマシテ、先ヅ
本月ノ配給ヲ本月ノ半バアタリニナツテ決
メルナドト云フコトガ往々アルノデゴザイ

○釘本委員長代理 日程第二七號、耕作用ノ爲地下足袋特別配給ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 日程第二八號、度衡法改正ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 次八日日程第二六號、國立陶磁研究所設置ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 御異議ナシト認メ可決スルニ決シマシク

○釘本委員長代理 日程第二七號、耕作用ノ爲地下足袋特別配給ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 日程第二八號、度衡法改正ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 次八日日程第二六號、國立陶磁研究所設置ニ關スル建議案ヲ議...

○釘本委員長代理 御異議ナシト認メ可決スルニ決シマシク

仍テ政府ハ宜シク度量衡制度ヲ調査會各申
ノ通り尺貫法及ビ「メートル」法併用ノ制ニ
改メ、以テ眞ニ我國ノ實情ニ即應セシメ、
速ニ國民生活ノ混亂不安ヲ除去スルヲ必要
ト信ズルノデアリマスガ、之ニ對スル政府
ノ所信ヲ伺ヒタイ

其ノ次ハ尺貫法ハ伊勢皇大神宮ノ御造營
ヲ始メ奉リ、祭祀其ノ他國家的見地ヨリ致
シマシテ、特殊ノ由緒アリト認ムベキ各般
ノ用途ニ限リ、除外例トシテ、永久ニ是ガ
使用ヲ許容セラレタノデアリマスガ、斯ノ
如キ國家トシテ最重要ナル用途ニ供セラ
ルル度量衡ハ祭政一致ノ國體ノ下ニ於テ、
之ヲ法律ノ成文上ニ明確ニ規定スベキモノ
デアリトスルコトハ、國民ノ信念トスル所
デアリマシテ、僅カニ之ヲ施行令中ノ例外
規定トシテ取扱ハレタルハ、斷ジテ神祕祭
祀並ニ歴史ヲ尊重スル所以ニアラザルモノ
ト存ジマス、是レ現行度量衡法尺貫法及
ビ「メートル」法併用ノ制ニ改正スベキ特殊
重大ナル理由ト信ズルノデアリマスガ、之
ニ對スル政府ノ所信ヲ承リタイ、先ヅ商工
省ニ御願致シマス

○喜多政府委員 眞鍋君ニ御答申上ゲマス、
政府ノ意見ト致シマシテハ、度量衡制度ニ
關シマシテハ、既ニ度量衡制度調査會ノ答
申ノ趣旨ヲ尊重致シマシテ、昨年一月度量
衡法施行令、即チ勅令ニ依ツテ改正致シマ
シタガ、其ノ答申ノ説明ノ中ニハ次ノヤウ
ニ「其ノ實際ノ運用ニ當リテハ或ハ一種ノ度
量衡ニ統一シ、或ハ兩種度量衡ニ付選擇ノ
自由ヲ認ムル等政府ハ宜シク詳細ナル調査
研究ヲ遂ゲ我國ノ實情ニ適應スルヤウ遺憾
ナキヲ期スベシ」トアリマシタノデ、商工當
局ト致シマシテハ、度量衡法規改正調査委

員會ヲ設ケマシテ、詳細ニ調査研究ヲ遂ゲ
マシタ結果ガ、先程申シマシタ度量衡法施
行令ノ改正ニナツテ居リマスガ、其ノ結果
度量衡法第五條ノ二ノ規定ニ基キマシテ、
度量衡法施行令第一條ノ八ノ規定ニ於テ特
別由緒アル用途ニ供セラレ、其ノ他特別ノ
由緒アル建造物其ノ他ノ物件ニ關シテ
ハ、從前ノ慣例ニ從ヒ「メートル」法ト尺貫
法ノ兩方ヲ併用スルコトト致シタノデアリ
マス、隨テ今建議ノ趣旨ニアリマシタヤウ
ニ、度量衡法「メートル」法一元ニシテ行
クト云フコトハ、必ズシモ政府デハ一元デ
ハナイト考ヘテ居リマス、特別ナルモノニ
對シテハ尺貫法ヲ使用ヲ認メタノデアリマ
ス、隨テ其ノ結果國民生活、國民ノ傳統ヲ
無視シ、或ハ歴史ヲ覆スト云フ風ニモ當局
ハ考ヘテ居リマセス、只今ノ所デハ大體此
ノ程度デ實際問題ヲ解決シテ行キマシテ十
分カト考ヘテ居リマスノデ、度量衡法ヲ改
正致サナケレバ祭政一致ニ關ハナイト云フ
風ニハ考ヘテ居リマセス

○眞鍋勝君 ドウモ今ノ政府ノ御所見ハサ
ウデアリマセウケレドモ、私ハ田舎ニ居リ
マシテハ、是ハ文部省ノ關係デアリマスガ、
小學校ノ實情ヲ見ルト云フコト、ヤハリ今建
議案デ申上ゲマシタ如ク、法律ニ依ツテ併
用ノ規定シナケレバ其ノ意思ガ徹底シマセ
スカラシテ、政府ノ御所見デハアリマスガ
レドモ、ドウカ一ツ法律ヲ設ケマシテ、堂
堂ト併用ヲ宣シ、國民ヲシテ據ル所ヲ知ラ
シメナケレバ、今ノ所ハ國民ハ甚ダ其ノ選
擇ニ迷フヤウナ實情デアリマスカラ、是ハ
商工省ヨリモ寧ろ文部省ノ方ニ重大ナル關
係ガアリマスカラシテ、一應文部省ノ方ニ

御伺フ致シマス、文部省ニ御致シマスガ、
國風ヲ尊重シ、歴史ニ親シシ、社會及ビ家
庭生活ノ實際ニ適應セシムルハ普通教育ノ
要諦デアリマス、況ンヤ前ニ項ノ趣旨ニモ
鑑ミ政府ハ小學校ニ於テ、先ヅ尺貫法教育
ヲ施サウ速ニ教育ノ根本方針ヲ改正スル
コトガ緊要ナリト信ズルノデアリマスガ、
之ニ對スル政府ノ御所信ヲ伺ヒタイ、尙ホ
モウ一ツ支那ノ歐米依存ヲ排撃シ、並ニ日
本ヲ輻軸トスル東亞新秩序ノ建設ニ當リマ
シテハ、其ノ精神的紐帶ヲ是等諸民族ノ歷
史的所産タル文化ノ協同性ニ求メナケレバ
ナリマセヌコトハ多言ヲ要セザル所デアリ
マシテ、斯ル見地ヨリ致シマスレバ、東亞
共通ノ基本タル度量衡ハ數千年來慣用ノ尺
貫法ニ依ルベキコトハ當然ナリト信ズルノ
デアリマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ
問ヒマスガ、御答ニ先立ツテ尙一言シテ置
キタイノハ、過般貴族院ニ於テ圖書局長ハ、
「メートル」法ハ尺貫法ヨリモ容易デアアルカ
ラシテ、小學校ノ初年級ニ於テハ「メートル」
法ヲ教ヘルコトガ便利デアルト言ツタト
云フコトヲ仄聞シタノデアアル、併シ便不
易カラ難ニ入ルトコトニ氣ヲ配リ過キテ居ル、
昔カラ教育デハ易カラ難ニ入ルト云フコト
ハ能ク言フコトデアリマスガ、餘リニ易カ
ラ難ニ入ルト云フコトヲ考ヘ過キル結果、
教育ニ於テ一ツモ見ルベキモノガナイノハ、
モウ少シ考ヘナケレバナラヌコトデハナイ
カト私ハ思フノデアリマス、近頃ノ教育ヲ
見ルト、餘リニ便宜主義ニ因ハレテ、學校
ニ於キマシテモ種々教授法ハ御研究ニナツ
テ居ルカモ知レマセウケレドモ、實績ハ甚
ダ學ラナイ、女學校ニ「メートル」法ナドヲ

教ヘテ着物ナドハドンドンナ位ニヤルカ知リマ
セスガ、女學校ヲ卒業シテ着物ヲ縫ヘル者
ハ殆ドナク、浴衣サハ縫ヘナイ、飯サハ縫
ケナイ、掃除モ出來ナイ、何ヲ女學校デ
教ヘルノカ吾々ハ分ラナイガ、兎ニ角實用
ニハ一ツモ適セナイ、女學校バカリデハナ
イ、中學校ノ教育ニ於テモ教授法ハ進ンダ
カモ知レナイケレドモ、語學ノ如キモ吾々
ノ高等小學校二年時代ハ「ナショナル」ノ第
四「リダー」ヲヤツタ、今ノ中學ハ何ヲヤ
ツテ居ルカト云フコト「ナショナル」ノ五ノ程
度ダツテ確ニ讀メナイ、昔ノ小學校ヤツ
タコトヲ今ノ中學校ヤツテ居ル、教授法
ガ進ンデモ一向出來ナイ、吾々ノ小學校時
代ハ英語モソレダケヤツタガ、中學校アタ
リ「行クト」ハ「バーレー」ノ萬國史ノヤウナ西
洋歴史モ原書デヤルシ、博物ダツテ數學ダ
ツテ皆原書デヤツタ、ダカラ其ノ時分ノ卒
業生ハ今ノ大學卒業生ヨリモ餘程英語モ巧
カツタシ、又上手ナ者モアツタ、辭書ハア
ルカト云ヘバ「ウエブスター」ノ辭書ガ唯一
ノ辭書デアツタ、今ハ辭書ハ汗牛充棟モ管
ナラズ、漢字ノ辭書ノ如キハ吾々ノ時代ハ
劃引キデ引イタ、今ノ中學生デ玉篇ノ使
ル者ガ居リマスガ、便利ナ時代ニナツテ居
ルガ實力ハ進マナイ、漢文ノ試験ノ如キモ
丸暗記デアアル、理窟ヲ覺ヘナイデ暗記ダ
カラ碌ニ漢文モ讀メナイ、ソレデスカラ漢
文モ英語モ讀メナイ、何タル能デアアルカ、
實力ハ一ツモナイ、教ヘルノニ容易デアアル
トカ不便デアルトカ云フヤウナ問題デハナ
イノダ、一體日本デハ精神文化ト云フコト
ヲ言ヒマス、尤モ日本ノ精神文化ヲ取ツテ
シマツタラバ、甚ダ日本ノ文化ハ貧弱デ
アリマスガ、一體精神文化ト云フモノハ何

ヲ離レテ何處ニアルカ、尺貫ヲ捨テテ何モ
「メートル」法ニ一變ヘナケレバナラヌト
云フ理由ガ何處ニアルカ、併用シテ差支ナ
イ、吾々ノ小學時代ニハ所謂尺貫法ヲ本ニ
シテ、ソレヲ「メートル」法ニ換算シテ何モ不
自由ナクシテ行カレタノダ、今ハ社會ノ情
勢ガ進ンダカラト云ツテ、「メートル」法ヲ
採用スルト云フヤウナコトハ間違ツテ居ル
是ハ抑大正十年ニ「メートル」法ヲ通シタノ
ガ間違ツテ居ルノダ、圖書局長ノ言ハレタ
コトハ全般ヲ聽イテ居ラスカラ分ラヌガ、
貴族院ニ於ケル話ニ依リマス、今言ツタ
ヤウニヤサシイカラ先ヅヤルノダト云フヤ
ウナコトデハナカウツカト私ハ思フノデア
リマス、今デモサウ云フ御考ヲ持ツテ居ラ
レルカ知ラスガ、兎ニ角我國ノ國情ニ鑑ミ
マス、餘程考慮ヲシナケレバナラヌ、尤
モ五箇條ノ御誓文ニ「舊來ノ陋習ヲ破リ天地
ノ公道ニ基クヘシ」或ハ「智識ヲ世界ニ求メ大
ニ皇基ヲ振起スヘシ」ト云フコトガアリマス
ガ、舊來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基ク
云フコトハ、尺貫法、之ハ陋習ダカラ之ヲ打
破ツテ西洋新式ノ「メートル」法ニ變ヘヨウ
ト云フヤウナコトカラ行ハレタノカモ知レ
ナイ、又知識ヲ世界ニ求メテ大ニ皇基ヲ
振起スルト云フノダカラ、是ハ西洋ノ「メー
トル」法ヲ採入レテ大ニ皇基ヲ振起シ
ヨウト云フ圖書局長ノ御考カモ知レマセス、
ソレハ私知リマセウケレドモ、是ハ大キナ
誤リデアアル、一體舊來ノ陋習ト尺貫法ヲ混
同シテハ困ル、日本ニハ進ンダ所モアリマ
スケレドモ、科學的智識、其ノ所謂機械
工業ノ如キニ於キマシテハ、世界カラ幾十
年モ遅レテ居ル、サウ云フヤウナコトニ付
テハ大ニイナラナケレバナラヌ、併シヤラ

ナクテモ宜イ此ノ尺貫法ヲ捨テテ「メー
トル」法ニ改正スルト云フノハ抑間違ツテ居
ル、是ハ五箇條ノ御誓文ノ趣旨ヲ取違ヘテ
ヤツタ、ソノナコトハマサカアリマス、マ
ケレドモ、兎ニ角私ハ氣ガ付イタカラ此處
デ言ヒ出シタノデアリマスガ、舊來ノ陋習
トデモ思ツテ、サウシテ一ツ新智識ヲ入
レシガ爲ニサウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ル
トスルナラバ、是ハ由々シキ間違ヒデア
ルノデアリマシテ、本當ニ採入レナケレバ
ラヌコトハ西洋ニ學バナケレバナラヌコト
ガ澤山アルノデアリマス、ソレハ古今東西
ヲ通ジマシテ向フノ進ンダ居ル所ハ採入レ
ルシ、コチラノ進ンダ所ハ益助長シテ採長
短補テ行カナケレバナラヌ、採短長シテ採長
カス、我國ハ今日東亞ノ新秩序トカ或ハ東洋
ノ精神文化トカ云フコトヲ特色トシテハ言ヒ
ナガラ、治々トシテ個人主義ニ流レマシテ、
サウシテ「メートル」法尊重ト云フヤウナコ
トヲ寧ろ當局カラ叫バレテ居ルヤウナコト
デハ、私ハ實際日本ノ精神文化ノ有難味ト
云フモノハ分ツテ居ラヌト思フノデアリマ
ス、日本ノ建築ニシテモ、日常ノ生活ニシ
テモ、尺貫法ヲ離レテ何處ニアルカ、田舎
ヘ行ツテ御覽ナサイ、畑デモ山デモ此ノ算
定ハ皆坪デヤル、反デヤル、町デヤルデモ
ウ、一坪ハ六尺四方ダ、是ハ尺貫法離レテ
「メートル」法ハ出來マセス、家ノ建坪ニシ
テモ何坪デ、六尺四方、疊ニ枚數ダ、是等
ノコトハ尺貫法離レテ何處ニアルカ、山ノ
材木ヲ勘定スルノニモ何石デアルトカ、何
歳デヤツテ居ル、是ガ「メートル」法出來
マスガ、悉ク田舎ニ行ツタラ尺貫法ヲ離レ
テ算用ハ出來マセス、着物ヲ縫フノデモサウ

カト云フト、日本ノ古有ノモノハ神道ト云
フモノガアリマスガ、印度カラ佛教ガ來タ
リ、或ハ支那カラ儒教ガ來テ、神儒佛一體
ニナツテ是ニ渾然タル日本精神文化、東洋
文化ノ立派ナモノガ出來タノデアリマシテ、
ソレヲ解剖シテ御覽ナサイ、歴史ナクシテ
何處ニ精神文化ガアルカ、武士道ニ致シマ
シテモ、即チ花ハ櫻木人ハ武士ト言ヒマス
ガ、武士ハ死ニ就クコト歸スルガ如ク、君
國ノ爲ニ一旦緩急ノ場合ニ逢ツタラバ、
水火モ辭セズシテヤル、是等ノ精神ハ皆歷
史ニ則ツテ居ル、古ノ聖人君子、勇士ノ歷
史ヲ見テ發奮興起シテヤルノデアリマス、
其ノ所謂偉人ノ傳記、歴史等ヲ讀ムノニヤ
ハリ尺貫法ト云フモノト非常ニ關聯ガアル
ノデアリマス、日本ノ建築ニ致シマシテモ
サウデセウ、日本ノ建築ト外國ノ建築ハ違
フ、建物ニシテモ大自然ト如何ニシテ調和
スルカト云フコトガ、日本、東洋ノ建築デ
アリマス、外國ノ方ハ、如何ニシテ大自然
ト離レルカト云フコトガ外國ノ建築デ、「引キ
寄セテ結ベバ芝ノ庵ナリ解クレバモトノ野
原ナリケリ」ト云フノガ日本ノ建築ノ状態
デアアル、伊勢ノ大神宮ノ如キモ長多イ話デ
アリマスケレドモ、尺貫法ヲ離レテ何處ニ
伊勢大神宮ガアリマスガ、神社佛閣皆此ノ
通りデアアル、即チ先祖ヲ崇メ神ヲ敬フ敬神
崇祖、是皆ヤハリ尺貫法トノ關聯ト云フモ
ノガ澤山アルノデアリマスガ、近頃ハ餘リ
教育ガ個人主義ニ流レテ、女子ノ教育ニ致
シマシテモ、女子ハ昔ハ皆着物ダツテ自
分デ縫ツタガ、此ノ頃ハ今言ツタヤウニ一
向縫ヘナイ、「メートル」法ヲ教ヘテ天下國
家ガ平カニナリ、文化ガ進ムナラバ、ソレ
ハ誠ニ容易イコトト思フノデアアルガ、「メー

トル」法ヲ教ヘタカラト云フテ、天下國家
ガ平カニナリ、文化ガ進ムト云フモノデハ
ナイ、一體易カラ難ニ入ルトシテ苦シマズ
シテハ駄目デスソレデ教育ノ易ヨリ難ニ入
ルト云フコトハ、抑末デナイカト思フ近頃
ハ餘リ進ムニ易イ難カシト云フコトニ因
ハレ過ギル、又近頃ハ女子教育ノ方デモ、
或ハ頭腦明晰トカ或ハ才氣煥發トカ言フ
ガ、女ノ方ハ頭腦明晰ヨリ才氣煥發ト云フ
ノガ大切、才氣煥發ヨリ才氣溫和ト云フ
節操ガ堅固デナケレバナラヌ功名心ニ過ダ
ルヨリハ隱逸的デナケレバナラヌノデアリ
マスカラシテ日本デハ日本ノ婦人ラシイ所
ノ教育ヲシナケレバナラヌ、日本ノ良イ所
ノ、精神ヲ尊ブベキ所ノ精神文化ノコ
トヲ考ヘルト、色々ナ建築歴史、文學是等
ノコトヲヤツテ御覽ナサイ、尺貫法ヲ
離レテ何處ニソレガアルカ、澤山アル
所ノ書物ヲ一々「メートル」法ニ變ヘナケ
レバナラヌト云フコトニナリマスガ、家庭
ニ於テ見ルト、子供達ハ「メートル」法
デヤツテ居ル、オ祖父サンオ祖母サン、親
達ハソレヲ知ラナイモノデアリマスカラ、
ソレデ馬鹿ニスルト云フヤウナコトニナル、
馬鹿ニスルガ何方出來ルカト云フト、着物
モ縫ヘナイシ、掃除モ出來ナケレバ、御飯
モ炊ケナイ、コンナ教育ヲヤツテ居ル、文
部省ノ圖書局長ハ「メートル」法ハ易シイカ
ラヤルト云フ、ソノナヤウナ考ヲ以テヤツ
テ居ルノガ今日ノ教育ノ難點混濁ダト私ハ
思フノデアリマス、ヤサシイカラ「メー
トル」法ヲ教ヘタノダト云フソノナコトハ枝
葉末節デアアル、其ノヤウナコトデ果シテ天
下國家ガ平カラニナルト云フナラ、是位ヤ
サシイコトハナイ、日本ノ文化ハ一體歴史

ナクテモ宜イ此ノ尺貫法ヲ捨テテ「メー
トル」法ニ改正スルト云フノハ抑間違ツテ居
ル、是ハ五箇條ノ御誓文ノ趣旨ヲ取違ヘテ
ヤツタ、ソノナコトハマサカアリマス、マ
ケレドモ、兎ニ角私ハ氣ガ付イタカラ此處
デ言ヒ出シタノデアリマスガ、舊來ノ陋習
トデモ思ツテ、サウシテ一ツ新智識ヲ入
レシガ爲ニサウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ル
トスルナラバ、是ハ由々シキ間違ヒデア
ルノデアリマシテ、本當ニ採入レナケレバ
ラヌコトハ西洋ニ學バナケレバナラヌコト
ガ澤山アルノデアリマス、ソレハ古今東西
ヲ通ジマシテ向フノ進ンダ居ル所ハ採入レ
ルシ、コチラノ進ンダ所ハ益助長シテ採長
短補テ行カナケレバナラヌ、採短長シテ採長
カス、我國ハ今日東亞ノ新秩序トカ或ハ東洋
ノ精神文化トカ云フコトヲ特色トシテハ言ヒ
ナガラ、治々トシテ個人主義ニ流レマシテ、
サウシテ「メートル」法尊重ト云フヤウナコ
トヲ寧ろ當局カラ叫バレテ居ルヤウナコト
デハ、私ハ實際日本ノ精神文化ノ有難味ト
云フモノハ分ツテ居ラヌト思フノデアリマ
ス、日本ノ建築ニシテモ、日常ノ生活ニシ
テモ、尺貫法ヲ離レテ何處ニアルカ、田舎
ヘ行ツテ御覽ナサイ、畑デモ山デモ此ノ算
定ハ皆坪デヤル、反デヤル、町デヤルデモ
ウ、一坪ハ六尺四方ダ、是ハ尺貫法離レテ
「メートル」法ハ出來マセス、家ノ建坪ニシ
テモ何坪デ、六尺四方、疊ニ枚數ダ、是等
ノコトハ尺貫法離レテ何處ニアルカ、山ノ
材木ヲ勘定スルノニモ何石デアルトカ、何
歳デヤツテ居ル、是ガ「メートル」法出來
マスガ、悉ク田舎ニ行ツタラ尺貫法ヲ離レ
テ算用ハ出來マセス、着物ヲ縫フノデモサウ

ナクテモ宜イ此ノ尺貫法ヲ捨テテ「メー
トル」法ニ改正スルト云フノハ抑間違ツテ居
ル、是ハ五箇條ノ御誓文ノ趣旨ヲ取違ヘテ
ヤツタ、ソノナコトハマサカアリマス、マ
ケレドモ、兎ニ角私ハ氣ガ付イタカラ此處
デ言ヒ出シタノデアリマスガ、舊來ノ陋習
トデモ思ツテ、サウシテ一ツ新智識ヲ入
レシガ爲ニサウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ル
トスルナラバ、是ハ由々シキ間違ヒデア
ルノデアリマシテ、本當ニ採入レナケレバ
ラヌコトハ西洋ニ學バナケレバナラヌコト
ガ澤山アルノデアリマス、ソレハ古今東西
ヲ通ジマシテ向フノ進ンダ居ル所ハ採入レ
ルシ、コチラノ進ンダ所ハ益助長シテ採長
短補テ行カナケレバナラヌ、採短長シテ採長
カス、我國ハ今日東亞ノ新秩序トカ或ハ東洋
ノ精神文化トカ云フコトヲ特色トシテハ言ヒ
ナガラ、治々トシテ個人主義ニ流レマシテ、
サウシテ「メートル」法尊重ト云フヤウナコ
トヲ寧ろ當局カラ叫バレテ居ルヤウナコト
デハ、私ハ實際日本ノ精神文化ノ有難味ト
云フモノハ分ツテ居ラヌト思フノデアリマ
ス、日本ノ建築ニシテモ、日常ノ生活ニシ
テモ、尺貫法ヲ離レテ何處ニアルカ、田舎
ヘ行ツテ御覽ナサイ、畑デモ山デモ此ノ算
定ハ皆坪デヤル、反デヤル、町デヤルデモ
ウ、一坪ハ六尺四方ダ、是ハ尺貫法離レテ
「メートル」法ハ出來マセス、家ノ建坪ニシ
テモ何坪デ、六尺四方、疊ニ枚數ダ、是等
ノコトハ尺貫法離レテ何處ニアルカ、山ノ
材木ヲ勘定スルノニモ何石デアルトカ、何
歳デヤツテ居ル、是ガ「メートル」法出來
マスガ、悉ク田舎ニ行ツタラ尺貫法ヲ離レ
テ算用ハ出來マセス、着物ヲ縫フノデモサウ

トル 法ヲ教ヘル先生ダツテ其ノ實著物ヲ
碌ニ繼ヘナイ者ガアル、ソコロノ所謂文化婦
人ノ連中ヲ見テミルト、亭主ニハ垢デ汚レ
夕浦團ヲ著セテ、サウシテ床ノ間ニハ一寸
モ塵ガ溜ツテ居ル、玄關ハ埃デ一杯ダ、斯
ウ云フ連中ニ限ツテ亭主ハ汚レタ臭氣紛々
タル著物ヲ著テ居ル、細君ハ何處カニ行ツテ
講演デモシテ居ル、ダカラ文部省ノハイカラ
教育デヤツテ行クト斯ウ云フコトニハ、矢鱈
ニ學校ニバカリ行ツテモ何モ出來ハシナ
イ、手紙一本書ケハシナイ、字ヲ知ラナイ
コト夥シイ、一體文部省ノ御連中ニ文字ヲ
一ツモ間違ハズニ手紙ガ書ケル方ガ幾人ア
リマスカ、私ハ幸ヒ圖書局長ガ來テ居ラレ
ルカラ、モウ一遍此處デ伺ヒタイ、ヤハリ
「メートル」法ハ易シイカラ先ツ初年級ニ之
ヲ教ヘルト云フ御考デアルカドウカ、其ノ
點一ツ御所見ヲ伺ヒマス

○仲井閣政府委員 只今眞鍋君ヨリ「メー
トル」法、尺貫法ノ併用ノ必要ヲ強調セラ
レマシテ、隨テ「メートル」法、尺貫法ノ小
學校ニ於ケル教授ニ付テ文部省ノ意見ヲ御
聽キニナツダノデアリマスカ、
「メートル」法、尺貫法ノ併用ニ付キマシテハ、先
刻商工當局ヨリ答辯ガアリマシタガ、文部
省ト致シマシテモ同様ノ意見ヲ持ツテ居ル
ノデアリマスカ、其ノ併用ニ關シマシテ、小
學校ニ於ケル教育ノ問題ニ論及ナサレタノ
デアリマスカ、其ノ點ニ付キマシテ文部
當局トシテ御答辯ヲ申上ゲタイノデアリマ
スカ、併用ノ點ニ付キマシテハ全ク同感デゴ
ザイマス、ソレデ「メートル」法、尺貫法併
用教育ヲ採用致シマシテ、普通教育終了マ
デハ尺貫法ノ運用、計算等ニ十分習熟セ
シメ、日常生活ニ支障ノナイヤウナ方針ノ

下ニ教科書ヲ編纂致シテ居リマスカ、殊ニ昨
年度量衡法施行令ノ改正ニ鑑ミマシテ、昭
和十四年度並ニ昭和十五年度ヨリ使用ノ教
科書ニハ、從來ヨリモ尺貫法ニ關スル教材
ノ分量ヲ増加シテ、實際生活ニ適合スルヤ
ウ致シテ居ルノデアリマスカ、唯之ヲ教授ス
ル機關ニ付キマシテハ、色々先刻眞鍋君ヨ
リモ御議論ガアリマシタガ、低イ學年カラ
「メートル」法、尺貫法ヲ併行シテ教ヘルト
云フコトニ付テ少シク御議論ガアルヤウデ
ゴザイマス、文部省ト致シマシテハ、此ノ
「メートル」法ヲ先ニスルトカ、或ハ尺貫法
ヲ先ニスルトカ云フヤウナ問題ヨリモ、小
學校ノ兒童ニ對シテ如何ニスレバ兩制度ノ
教授ニ付テ完備ヲ期シ得ルカト云フ點ニ重
キヲ置イテ授業ヲヤツテ居ルノデアリマスカ
ガ、凡ソ物ノ量ニ付テ二ツノ基準ヲ同時ニ
考ヘテ、サウシテ其ノ量觀念ヲ二通りニ得
サセルト云フコトハ、幼イ兒童ニ對シテ相
當ニ無理ト云フヨリモ不可能デアルト云フ
ヤウナ專門家ノ話デゴザイマス、然ラバ何
レヲ先ニスルトカト申シマスカ、度量衡制度
ノ方カラ申シマシテモ、亦教育ノ難易カラ
申シマシテモ、其ノ教ヘル過程カラ申シマ
スルト「メートル」法ノ教育ヲ低年度カラシ
テ方ガ妥當デアラ、今マデノ研究デハ斯ウ
云フ結論ニ達シタノデアリマスカ、殊ニ五年
カラ尺貫法ヲ採入レルコトニ致シマシタノ
ハ、是マデニ於テ「メートル」法度量衡ノ重要
ノ單位ガ出揃ツテ量觀念モ確實ニナリ、量
ノ測定、計算ニモ習熟シテ來テ居リマスカ
ノ、且又五年、六年ノ二箇年間ニ互ツテ之
ヲ教授スルトニ依ツテ、國民教育トシテ
必要ナル尺貫法教育ガ十分行ヒ得ルト認メ

タカラデアリマスカ、ソレデアリマスカ、
只今眞鍋君ヨリ申サレマシタヤウナ歐米文
化ノ尊重デアルトカ、或ハ日本古來ノ
文化ノ尊重デアルトカ、或ハ日本古來ノ
揚ト云フヤウナ、斯ウ云フ根本的ナ問題ヲ
考ヘテ其ノ授業ノ割當ヲシタノデアリマスカ
テ、兒童ノ頭ノ難易ニ應ジテ教育ニ關スル
專門家ノ意見ニ依リマシテ、左様ナコトニ
制度ヲ設ケテ次第デアリマスカ、其ノ點ハ日
本精神ノ昂揚ト云フ問題ニ付テ文部省ガ如
何ニモ不熱心デアラ、國體明徴ニ付テ認識
ガ不徹底デアラカノ如ク御考ヘノヤウデア
リマスカ、其ノ點トハ全ク別ニ考ヘテ居ル
ノデアリマスカ、其ノ點御諒承願ヒマ
スカ

○眞鍋勝君 今參與官ノ御意見ヲ拜聽シマ
シタガ、丁度圖書局長ガ才居デニナリマスカ
カラ、ドウ云フ御意見デアラカ、一應拜聽
致シテカラ更ニ私ノ意見ヲ述ベタイと思ヒ
マス

○眞鍋勝君 ソレデカラ私ハ先ニ言ツテ置
イタノデス、先入主ト云フモノハヒドイモ
ノデアラ、
「メートル」法、尺貫法ト西洋語ヲ
先ニヤリ、日本語ヲ後ニヤルナコトニナ
ル、大體是ハ實ヲ言ヘバ以前ニ「メートル」
法ヲ通シタノガ惡イ、是ハ今日大ニ考ヘテ、
ケレバナラス、
「メートル」法ヲ後ニスル方ガ宜イ、アナタ方
ハソレガ難シイト思ツテ居ルカモ知レマセ
スガ、ソレ位ノコトガ分ラナイデ一體飯ガ
食ヘマスカ、昔「メートル」法ヲ知ラス時ハ
ドウデス、自然覺エテ居ルデハアリマセ
スカ、ドウモ今日年齢カラ言ヒマシテモ、四
十五六歳或ハ四十七八歳ノ境ニシテ思想ガ
除程進ツテ來テ居ル、是ハ學校ノ教育ガ進
ツテ居ル、徒ニ枝葉末節ニ捕ハレ、大學ニ
於テモ精神教育ガ出來テ居ラス、ダカラ外
交官ニシテモ、外國ニ行ツテ言葉ハ少シ位
出來ルケレドモ、日本ノ眞ノ精神ヲ吞込
シテ居ラナイカラ、腹ノアル人間ハ極メテ少
ナイ、上ハ内閣ヲ組織スル方々カラ、下ハ
田夫野人ニ至ルマデ今日ハ餘程進ツテ居ル、
要スルニ人物ガナイ、人間ト云フノハ唯喋
ツタリ、少シ位本ガ讀メル位デハ駄目ダ、
今日ノ人間ハドウモ人物ガ出來テ居ラス、
本當ノ教育ガ出來テ居ラス、ソレハナゼカ
ト云フト、今日ノ學校ニ於テハ眞ノ精神教
育ガ出來テ居ラスカラデアラ、其ノ點カラ
言ヒマスカ、人間ヲ養成スルニハ寺小屋ノ
方ガ却テ宜シイ、アノ若イ吉田松陰、三十
未滿ノ先生ガ八疊、十疊ノ狭イ部屋デ三年

バカリノ教育ニ依リ俊捷逸足雲ノ如ク現ハ
レ、明治維新ガ是ガ爲ニ成ツタ、又其ノ前
ニハ頼山陽先生ガ日本外史ヲ書イテ勤王思
想ヲ鼓吹シタ、ダカラ人間ヲ勤カス精神ト
云フモノハ、ソノナ薄ッベラナモノデハナ
イ、教授ノ難易ヨリ本當ニ日本精神ヲ打込
ムト云フコトガ大切デアラ、サウ云フ見地
カラ私ハ當局ノ御一考ヲ御願致シタイノデ
アリマス

研究ヲ願ヒタイ、私モ教科書ニドノ程度ニ
御挿入ニナツテ居ルカ、是等ノ點モ能ク調
査研究致シマシテ、重ねテ又次ノ機會ニ御
同致シタイト存ジマス

○眞鍋勝君 ソレデハ伺ヒマスカ、今參與
官ノ持ツテ居ツタノアアナタハ貴族院デ御
讀ミニナツタノデアリマスカ、ソレト同様
ノ答辯ヲサレタノデアリマスカ

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

○仲井閣政府委員 眞鍋君ハ極メテ御熱
心デアリマスカ、此ノ問題ヲ綜合致シマス
ト「メートル」尺貫法兩方ヲ併用スルト云フ
點ニ付キマシテハ政府トアナタノ御意見ハ
何等變リマセズ、何レヲ先ニ教ヘルト云
フ點ニ付テ意見ノ相違ガアルヤウニ考ヘラ
レマス、其ノ點ハ生徒ノ頭ニ打込ムノニ二
ツノモノヲ一緒ニ並行シテ教ヘルト云フコ
トガ技術的ニ、或ハ又生徒ノ能力ノ上カラ
イカスト云フ點ニ觸レテ居ルヤウニ考ヘマ
スカ、其ノ點ハ能ク研究ヲ致シマシテ、アナ
タモ研究シ、政府ノ方モ研究シテ、ドウ云
フ風ニ進メタ方ガ兩方ヲ併用スル場合ニ於
テ覺エ易ク、頭ニ能ク入り易イカト云フ技
術的ノ問題ニナツテ來ルノデハナイカト思
ヒマスカ、能ク一ツ研究致シマス

○眞鍋勝君 私人時間ガアリマセスカラ是
以上申上ゲマセガ、教育ノ方ハ一ツ御研
究ヲ願ヒタイ、唯難易ト云フ點バカリデナ
ク、日本ノ本來ノ精神文化ニ鑑ミマシテ、
能ク御研究ヲ御願致シマス、而シテ又教科
書ノ方ニ於テモ、併用御賛成ナラバ、ソレ
デ宜イノデアリマスカ、ソレ等ヲ併用スル
ニシテモ、今私ノ言ツタ何レヲ先ニスルカ、
後ニスルカニ依ツテ重大ナ結果ヲ招カスル
ノデアリマスカ、有ニル角度カラ一ツ御

○眞鍋勝君 今參與官ノ御意見ヲ拜聽シマ
シタガ、丁度圖書局長ガ才居デニナリマスカ
カラ、ドウ云フ御意見デアラカ、一應拜聽
致シテカラ更ニ私ノ意見ヲ述ベタイと思ヒ
マス

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

○眞鍋勝君 前段ニ付テ御答申上ゲマ
スカ、農地調整法ガ制定サレマシテ、其ノ施
行ノ日ハマダ御承知ノヤウニ淺イノデアリ
マスカ、農地調整法ノ本當ノ趣旨ヲ達成
致シマス上ニ於テ農地委員會ノ構成如何ガ
重大ナ關係アルコトハ御説ノ通りト存ジマ
スカ、隨テ當初農地委員會ノ構成ヲヤツテ行
キマス上ニ於テ、其ノ農地委員會ノ委員ガ
小作、自作、地主其ノ他公正ナ立場ニアル
人ト云フ風ニ、一ツノ方面ニ偏ラズニ、各
方面カラ、適正ニ選ンデ參ルト云フ一ツノ
方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ラマスカ、尙
ホ昨年總動員法ニ基キマスル小作統制令ガ
施行ニ相成リマシテ、小作統制令ノ適切ナ運
用モ是亦農地委員會ノ公正ナ活動ニ俟ツコ
トニ相成ツテ居ルデアリマスカ、隨ヒマシテ
小作統制令ノ公布施行ニ伴ヒマシテモ、更
ニ農地委員會ノ適正ヲ期シマスカ、地方
長官ニモ特別ノ考慮ヲ拂フヤウニ注意ヲ促
シマスト共ニ、道府縣農地委員會ニ更ニ從
來ヨリ以上ノ適當ナル人ヲ入レマシテ、其ノ
適當ナル人ハ廣ク縣下カラ求メテ其ノ農地
委員會ノ臨時委員トシテ、裁判所ノ關係ノ
司法官モ參加願ヒ、サウシテ其ノ村ニアリ
マス農地委員會ヲ指導シテ參ルト云フ主義ニ
致シテ居ラマスカ、併シナガラ何分ニモ
農地委員會ノ數ガ全國ニ互リマシテ約八千
程度ニ相成ツテ居ルノデ、出來上リマシテ
カラ極メテ日ガ淺イ譯デアリマスカ、今後ト
モソレ等ノ農地委員會ノ委員ガ本當ニ適正
ナル委員ヲ選任スルヤウニ、篤ク注意ヲ拂
ヒタイト考ヘマス、尙ホ之ニ關聯致シマシ
テ、公選ノ制度ヲ採ツテ其ノ公選サレタ者

第七十五回帝國議會 院

建議委員第一分科(內閣、陸軍省、海軍省、司法省)會議錄(速記)第一回

會議 昭和十五年二月二十四日(土曜日)午前十時 四十分開會

出席委員左ノ如シ

主査 濱地 文平君

村瀬 武男君 渡邊 健君

野方 次郎君 津倉 龜作君

河合 義一君 金澤 正雄君

中原 謹司君

兼務 中野 寅吉君 青木 作雄君

二月十三日本分科所屬員村上元吉君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月十四日行吉角治君當選シ本分科所屬ト爲リタリ 出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 星島 二郎君 逓信政務次官 武知 勇記君

鐵道參事官 大島 寅吉君 鐵道建設局長 堀越 清六君

軍事保護院院長 數藤 鐵臣君 主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員林 平馬君 議員庄司 一郎君 議員 木幡 武夫君

本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ

內閣所管

一 岩戸時間制定ニ關スル建議案(松方 幸次郎君提出)(第二四號)

陸軍省及海軍省所管

二 在郷軍人會愛國婦人會國防婦人會等 統制及幹部優遇ニ關スル 建議案(林平馬君提出)(第二三號)

司法省所管

三 司法保護上ノ根本義ニ關スル建議案 (庄司一郎君提出)(第二五號)

四 少年審判所増設ニ關スル建議案(庄司一郎君提出)(第一六號)

逓信省所管

五 傷病軍人内地療養者ニ對シ書狀葉書ニ限リ無料郵便取扱規定制定ニ關スル建議案(馬岡次郎君提出)(第六號)

六 琵琶湖ノ湖水ヲ利用スル大發電所建設ニ關スル建議案(井上良次君外二名提出)(第二九號)

鐵道省所管

七 樽見金澤間鐵道敷設ニ關スル建議案 (著本太吉君外一名提出)(第七號)

八 東北本線複線化促進ニ關スル建議案 (庄司一郎君提出)(第一四號)

○濱地主査 是ヨリ分科會ヲ開會致シマス、內閣所管日第一、陸軍省及海軍省所管日第二、提出者ガ居ラレマセスカラ、司法省所管日第三、司法保護上ノ根本義ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者庄司一郎君ノ説明ヲ求メマス

○庄司一郎君 司法保護上ノ根本義ニ關スル建議案ニ付キマシテ是カラ其ノ趣旨ヲ辯明サシテ觀キタイト思ヒマス、畏クモ天皇陛下ニ於カセラレマシテハ、神武建國二千六百年奉祝ノ佳節ニ當リ御仁澤ヲ洽ク國民ニ頒タセ給フ御聖旨ノ上カラ今般恩教ノ大詔ヲ頒發アラセラレマシテ、茲ニ復權令

竝ニ減刑令ノ勅令公布ヲ見ルニ至リマシタコトハ、洵ニ吾々國民トシテ感激ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、刑務所内ニ呻吟シテ居ル所ノ四万三千有餘人ノ人々ノ上ニ減刑ノ聖澤ガ下リマシテ、更ニ會テ過去ニ於テ刑ヲ受ケシ人々或ハ罰金刑ニ處セラレシ人々中、適格者ヲ選バレマシテ十八萬餘名ノ一身上ニ付キ復權ノ明ルイ希望ヲ授セラレマシタコトハ、獨リ固圍鐵窓ノ同胞ニ或ハ刑餘者達ノ感激ノ涙バカリデハナイト思ヒマス、齊シク吾々一億國民ガ深ク心ニ銘記シテ以テ皇室ノ至高至大ナル御恩澤ニ感銘セザルヲ得ナイ次第デアルト思フノデアリマス、特ニ御詔書中ニ「國運ノ益、盛ナルヲ懽ビ特ニ有司ニ命ジテ恩惠ノコトヲ行ハシムベク衆庶其レ克ク朕ガ意ヲ體セヨ」と仰セラレテ居リマス、又其ノ月司法大臣ノ訓令或ハ講話中ニモ「改過遷善ノ心ヲ誘發シ又必要ニ應ジテ保護ノ途ヲ講ジ再ビ法禁ヲ冒シ刑罰ニ觸レ社會ノ落伍者トナルコトナク永久忠良ナル民トナリテ義勇奉公以テ無邊ノ皇恩ニ酬ヒ奉ラムコトヲ期セシムベシ」とアリマス、洵ニ感銘ニ堪ヘナイ次第デアリマシテ、斯ノ如キ無限ノ御聖恩ノ御趣旨ヲ能ク吾々ハ國民ノ間ニ徹底サセナケレバナラズト考ヘマス、ソレデ私ノ建議ノ趣旨ハ實ニ此ノ司法保護ノ根本的ナル要件デゴザイマス、現在我ガ日本ノ司法制度ハ決シテ諸外國ト比ベマシテ、遜色アルモノデハナイト固ク信ジテ居リマス、即チ檢察ノ上ニ於テ、或ハ裁判ノ上ニ於テ、或ハ

行刑ノ點ニ於テ、或ハ行刑後ニ於ケル釋放ノ司法保護制度ノ完成ニ於テ、或ハ刑法上ノ精神ニ於テ、或ハ刑事政策上ノ點ニ於テ、警察關係ニ於テハ微罪不檢舉或ハ起訴猶豫等ノ恩典ガ行ハレタノデゴザイマス、裁判ノ上ニ於テハ御承知ノ如ク執行猶豫ノ制度ガ布カレテ居リマス、刑務所内ニ於テハ行刑上ニ於テ行刑累進處遇制度ト云フモノガ昭和八年カラデゴザイマス、又刑務所内ノ者ニ居ルヤウデゴザイマス、又刑務所内ノ者ニ假釋放ト云フ恩典ガ實施サレテ居ル、又釋放後ニ於テ特別復權ト云フ制度ガ行ハレテ居リマス、或ハ少年審判所ノ開設、矯正院ノ實施、或ハ思想犯人ニ對スル所ノ思想保護觀望所ノ設置、斯様ナコトヲ考ヘマス、ト、洵ニ我國ノ司法制度ト云フモノハ殆ト完備ニ近イ程度ノモノデアルト云フコトヲ誇リタイ氣分ガシテナリマセス、又昨年ハ司法保護法ナル法律ガ制定サレマシテ、全國ニ一萬五千人ノ司法保護委員ト云フモノヲ任命サレマシテ、刑餘者ヲ保護誘掖、指導サレテ居ルト云フヤウナコトハ、從來ノ應報刑本位時代ト比ベマシテ、感化主義ニ立脚セラレテ居ル所ノ教育刑的主潮ヲ十分ニ加味サレテ現今ニ於ケル司法制度デアルト云フコトニ於テ、非常ナル進歩改正ヲ示サレテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘマス、場合ニ於テ、此ノ司法保護ヲ眞ニ根本的ニ徹底サセル爲ニハ、モット再檢討ヲシテ行カナケレバナラズデハナイカト云フコトヲ私ハ痛感シテ居ル一人デゴザイマス、此ノ

司法保護精神ヲ更ニ深ク之ヲ切下
ゲテ參リマシテ、根本的ナ解決ガ急務
ナル、ソレハ罪ヲ犯シ或ハ誤テ刑罰者
トナリ、釋放サレテ所謂科者ガ一生涯前
科者ト呼バレル所ノ運命ヨリ救済シテヤル
所ノ新シイ單行法律ヲ制定シテヤルコトガ、
根本的ナ要件デハナイカト考ヘテ居ルノデ
アリマス、又刑法或ハ刑事訴訟法ノ現行法
ヲ改正サレル場合ニ於テ、又何等カ今中上
ゲタ所ノ釋放者ヲ救済シテヤル所ノ方法ガ
含マレテ居ル次第デゴザイマスガ、假
ニ茲ニ一人ノ釋放者ガゴザイマス、假
ク改過遷善ノ生活ニ更生致シマシテ、精進
目ニ正シイ生活ヲ送リ、或ハ國民トシテノ
義務ヲ完了シナガラ、會テノ失敗或ハ過
ヲ眞ニ心ノ底ヨリ悔イ改メテ、善良ナル所
ノ町村ノ住民トナツテ居ル、或ハ公民トナ
ツテ居ル、併シナガラ現行制度ノ下ニ於テ
ハ、ドシナニ彼ガ立派ナ人間ニ生レ替ツテ、
精神的ニ更生シテ參リマシテモ、彼ハ一生
涯過去ノ罪ノ記録ハ市町村役場ノ戸籍ノ基
本ヲ成シテ居ル身分上ノ事帳カラハ消エナ
イノデアリマス、或ハ検事局、或ハ警察ニ
於ケル前科者ノ名簿カラハ無論ノコト、若
シ其ノ釋放者ガ必要ナコトガゴザイマシテ、
市町村役場等ニ自分ノ身元證明書ヲ求ムル
場合ハ、相變ラズ、何十年經テマシタ後ニ
於テモ、彼ノ頂戴スル所ノ證明書ハ彼ノ過
去ニ於テ爲シタル罪惡記録ノ證明書デゴザ
イマス、斯ノ如クニシテ其ノ證明書ハ彼ノ
就職ヲ拒絕サシテ居リマス、或ハ外國、支
那、滿洲、或ハ南洋、ブラジル、等ニ渡航スル
場合ニ於テ、彼ノ罪惡ノ記録デアル所ノ前

科證明書ナルモノハ彼ノ渡航ヲ許シマセ
ス、此ノ前科、此ノ古垢ガ禍ヲナシテ、官
公吏ハ無論ノコト、司法省系統ノ司法保護
委員或ハ陪審員、家事調停委員、農地小作
關係ノ委員、或ハ借地借家關係ノ調停委員
臨時債務調停委員等、其ノ他各種ノ公ナル
委員等ニハ、是ガ資格條件トナリマシテ
ナレナイノデアリマス、故ニ彼ノ心理狀
態ハ常ニ憂鬱デアリマス、決シテ明朗ニハ
ナレマセズ、是ニ於テ或ハ自暴自棄ヲ起シ
テ或ハ再犯或ハ暴行、三犯五犯ト所謂深ミ
ニ陥ツテ行ク、釋放者ガ絕對ニ無イト云フ
コトヲ誰ガ保證スルコトガ出來得マセウカ、
ソレハ豈彼一人ノ罪デハアリマセズ、我國
ハ家族制度デゴザイマス、カレガ故ニ其ノ
同一家族中ノ子弟ガ官公立ノ學校等ニ入學
セントスル場合ニ、陸海軍ノ士官學校デア
ルトカ、幼年學校デアルトカ、海軍兵學校
デアルトカ云フヤウナ學校ノ場合ハ勿論ノ
コト、同一家族内ニ於テ其ノ父或ハ祖父
ガ過去ニ於テ前科者デアラガ故ニ、憲兵隊
ノ調査、或ハ警察ノ調査ノ結果、頭毛良
テ身體モ丈夫ナ其ノ子ガ、其ノ孫ガ官公立
ノ學校、陸海軍ノ學校ニ入ルコトガ實際ニ
於テ行ハレテ居ルノデアリマセウカ、學力
ガ優レテ居リマシテモ、體格ガ良クテモ、
其ノ同一家族内ノ或ハ父、祖父ト云フヤウ
ナ家長ノ人々ノ前科ガ禍ヲナシテ、其ノ
子、其ノ孫ガ絕對ニ學校ニ入ルコトガ出來
ナイヤウナ現實ノ政治ガ行ハレテ居ル次第
デアリマス、私ハ昨年マデ地方ノ公立職業
紹介所長ヲ勤メテ居リマシタ、現在ニ於テ
モ町村長ノ役ヲ勤メテ居リマスガ、斯様ナ
悲シムベキ實例ノ餘リニ多ク知ツテ居ルコ
トヲ常ニ私ハ慨歎シテ居ル者デアリマス、

封建時代ノ法律或ハ行刑ハ能ク知リマセ
ケレドモ、罪九族ニ及ブト云フノガアツタ
サウデアリマス、彼ノ木内宗吾、刺ニ於ケ
ル所ノ佐倉宗吾郎ノ最後ノ場面ニ於テ、何
等罪咎ノナイ其ノ妻、其ノ子マデ重ク刑セ
ラレテ居ルコトヲ見テ、吾々ハ憐憫ノ情ヲ
禁ジ得ナイノデアリマスガ、ソレハ決シテ
封建徳川時代ノコトデアリマセズ、只今
昭和聖代ノ現代ニ於テマデ罪ノ大小深淺ノ
差コソアレ、只今申上ゲタヤウニ、刑餘
者、前科者ノ同一家族中ニ於テ就學、就
職、結婚等ノ場合ニ於テ多クノ悲劇ガ行ハ
レテ居ルコトヲ事實ハ、吾々ガ憐憫ノ情ヲ
以テ同情セザルヲ得ナイノデアリマス、
仍テ私ノ建議ノ趣旨ハ釋放者ノ所謂前科者
ガ一定ノ年後ニ於テ、或ハ滿十年後デモ
結構デアリマスガ、一定年後ニ於テ而
シテ此ノ前科者中適格者ヲ選擇下サ
イマシテ、根本的ニ其ノ前科ト云フモノ
ヲ抹消シテ下サル所ノ新シイ單行法律ヲ
司法省ニ於テ御立案ヲ願ヒタイト云フコト
ヲ御願申上ゲルコトガ此ノ建議ノ根本精神
デゴザイマス、而シテ上皇室ノ有難味ト云
フモノヲ刑餘者ノ上ニ今同ノ恩赦令ヲ御發
布ト同様ナ精神ヲ普遍化スルコトガ、
此ノ釋放者、刑餘者ヲシテ心ノ底ヨリ改化
遷善ニ導ク基本のナ根本的ナ要件デアハアル
マイカト云フコトヲ私ハ考ヘルノデゴザイ
マス、即チ現行法中ニモ刑ノ時効ト云フ
ガゴザイマス、時効ニハ公訴ノ時効ト刑ノ
時効ト二ツゴザイマス、公訴ノ時効トハ御
承知ノ如ク犯罪後一定期間ノ經過ガアル場
合ニ於テハ、檢察官ソレヲ公訴シ得ナイコ
トデアリマス、檢察官誤テ公訴ヲ提起シ
タ場合ニ於テハ、豫審ニ於テ免訴ノ判決ガ

爲サレルト云フノガ此制度デノゴザイマス、
是ハ御承知ノ通り刑事訴訟法ノ第二百八十
一條以下ニ規定サレテ居ルノデゴザイマス、
之ニ對シテ刑ノ時効トハ、刑ノ言渡ガアリ
マシタ後ニ於テモ、一定ノ期間ノ經過ニ依
ツテ其ノ刑ガ執行セラレナイト云フ制度デア
リマス、刑法第三十一條以下ニ規定セラ
レテ居ルノガソレデアリマス、其ノ期間ハ
死刑ニ於テハ三十年、無期徒刑ニ於テハ二十
年、十年以上ノ有期徒刑ニ於テハ十五年、
三年以上十年以下ノ懲役或ハ禁錮
ニ於テハ五年、罰金刑ハ三箇年、拘留及ビ
科料ハ一箇年ト相成ツテ居リマス
以上ノ如ク既ニ或ル犯罪ノアル者ニ對シ
テモ公訴ノ時効、刑ノ時効ト云フモノガ成
文化シ制度化シテ、新刑法實施以來既ニ三
十有餘年ニ於テ實行セラレテ居ル、然ルニ罪
ガ過去ニ於テアリシト雖モ既ニ十年或ハ二
十年前ニ於テ法ノ裁キヲ受ケテ處刑ヲ受ケ、
罪ノ贖ヒヲ爲シテ居ル所謂前科者、刑餘
者、其ノ罪ハ既ニ裁判或ハ行刑ヲ通シテ制
裁ヲ受ケテ居ル此ノ刑餘者ガ、十年經ツテ
モ二十年經ツテモ相變ラズ前科者トシテ社
會的ニ冷タク見ラレル、色々ナ資格條件ノ
爲ニ、ドシナニ改過遷善サレ立派ナ生活ニ
入りマシテモ、今申上ゲタヤウナ各種ノ名
譽職、公職ニ就カレナイト云フコトハ、司
法保護ノ精神カラ洵ニ情ケナイコトデア
ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ釋放者
刑餘者ニ心ノ底カラ感謝ト感激ヲ與ヘ、愛
ノ手ヲ以テ彼ヲ指導シ誘導スルト云フコト
ガ、只今ノ司法保護委員ノ制度ノヤウデア
リマスガ、此ノ反面保護ヲ受ケル所ノ刑餘者
ニ心ノ底ヨリ感謝ト感激ヲ與ヘ、アト五年
經テバ自分ノ前科ハ消エル、抹消サレルノ

デアルト云フ明ルイ希望ト光明ヲ前途ニ持
タシメルコトガ本當デアル、百万人ノ司法
保護委員ヲ設置スルヨリモ私ハ效果のデハ
ナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル一人デアリ
マス、「罪アラバワレテ各メヨ天ツ神民ハワ
ガ身ノ生ミシ子ナレバ」是レ御承知ノ如ク
今ハ神去リ給ヒシ 明治天皇ノ御製デアリ
マス、既ニ罪ヲ悔悟シ社會的適格性ヲ保持
シテ社會國家ニ復歸セル善良ニシテ且ツ忠
誠ナル統後國民トナツテ居ル全國幾十萬ノ
人、罰金刑ヲ加ヘマス約二百六十何萬カ
アルト云フ噂ヲ聞イテ居リマスガ、左様
ナ諸君ノ前科ヲ取消シテヤルト云フ、惟神、
皇道精神ノ慈愛ニ滿チタ新シイ司法制度ノ
確立ニ依ツテ、サウ云フ方々ノ身ヲ淨メテ
ヤル、社會國家ガ法律ノ上カラ本當ニ彼ヲ
許シテヤル、彼ノ過去ノ罪ヲ許シテヤル、
私ノ申上ゲルノハ兇惡ナル犯罪者、或ハ五
犯十犯モ常習的ニ惡イコトヲヤツテ居ル
ト云フ連中ヲ意味シテ居ルノデアリマセ
ズ、青少年時代ニ一回カニ回犯シテ、其ノ
後十年モ二十年モ決シテ惡道ニ入ラナイ、
邪道ニ陥ツテ居ナイ、正シイ精進ニ味
生活ニ入ツテ、彼ノ過去ノ名譽ヲ恢復シ
ガラ奮闘シテ居ル所ノ人々ノ上ニ均霑スル
爲、此ノ前科抹消ノ新シイ單行法律ヲ司法
省ガ御立案下サツテ、之ヲ議會ニ提案サレ
ル御意思ガアルカナイカ、願クハ左様ニシテ
欲シイト云フコトヲ私ノ信念ノ上カラ此ノ建
議ヲ通シテ御願申上ゲマス、而シテ世界先
進文明國ノ如何ナル國々ニモ率先シテ我國
ノ司法制度ニ一大新紀元ヲ劃スル意味カラ
云ヒマシテモ、此ノ建議ノ趣旨ヲ酌マレテ
可決セラレンコトヲ私ハ要望シテ已マナイ
ノデアリマス、私ハ「法憲實話」徒ク人殺ク

人」ト云フ本ヲ數日前ニ購ツテ讀ミマシタ、
是ハ沖良彦ト云フ新聞記者ノ著書デアリマ
スガ、此ノ中ニ十ノ短篇實錄ガアリマス、
此ノ中一人ハ豫備ノ少尉デアツテ前科ガア
リ、其ノ前科ヲ隠シテ勤メテ居ツタ、所ガ
前科ガバレタ爲ニ彼ハ工場長ヨリ職ヲサレ
タ、ソレガ勤職ニナツテヤケテ起シテ再ビ
罪ヲ犯シタケレドモ、血アリ涙アル檢察局
ハ鐵窓ヨリ彼ヲ出征軍人トシテ出シテヤツ
タト云フノガ、今一ツハ前科ガアツテ
ソレヲ隠サンガ爲ニ知ラズ職ヲ犯罪ニ陥
ツタ、斯ウ云フ事實ガ此ノ沖君ノ著書ノ中
ニゴザイマス、此ノ著書ニハ司法大臣鹽野
サンノ初メ大森民事局長デアルトカ、松阪
刑事局長デアルトカ、司法保護ノ森山博士
デアルトカ云フヤウナ方々ガ序文ヲ書カレ
テ居ル、此ノ書物ハ單ナル創作小説ニアラ
ズシテ「法憲實話」ト云フ名前ニ相應シイ内
容ヲ持ツテ居ル著書デアリマス、是ハ大キナ
社會問題デアリ、人道問題デアリト思フノ
デアリマス、大變長タナリマシテ先聲同僚
各位ニモ御迷惑ヲ掛ケマシタガ、是ハ全ク
由々シキ社會問題デアリ、司法保護上ノ根
本的問題デゴザイマスガ故ニ、ドウカ此ノ
建議案ノ趣旨ヲ御酌取リ下サイマシテ、滿
場一致ノ御賛成ヲ頂戴致シ可決ニナルコト
ハ無論ノコト、此ノ際政府委員ノ此ノ建議
案ニ對スル御感想ヲ御意見ヤラフ拜聴ス
ルコトガ出來マスナラバ、洵ニ建議者ノ幸
甚トスル所デアリマス

○星島政府委員 提案者庄司君ハ豫テ司法
保護事業ニ非常ノ御熱心ナ方デアリマス、
平素ヨリ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ、
殊ニ提案ノ御趣旨ニ對シマシテハ全然同感
御尤モト考ヘル次第デアリマス、先般司法
省ニ於キマシテモ刑法註釋ニ監獄法ノ改正調
査委員會ノ總會デ丁度御趣旨ニ副フヤウナ
決議ガアツタノデアリマス、刑ノ消滅ニ關
スル條章ノ中ニ既ニ決議サレタノデアリ
マス、マダ全部ノ調査ガ了ラシマセヌカ
ラ御協力ヲ仰グ所マデ行ツテ居リマセヌケ
レドモ、御意見ノ如ク一旦處罰セラレマ
シタ者ニ對スル不利益ヲ除去シテ、是等ノ
者ヲシテ自暴自棄ニ陥ラシムルコトガナイ
ヤウニ、忠良ナル臣民トシテ更生セシメル
コトヲ期スルノ處置ニ出タモノデアリマス、
當局ト致シマシテモ、建議ノ御趣旨ノ如ク
釋放者保護ノ政策ヲ確立スル必要ヲ痛感シ
テ、且下鋭意研究ヲ續ケテ居ル次第デアリ
マシテ、成案ヲ得マシタナラバ、何レ御協
力ヲ御願致シタイトモ存ジテ居ル次第デア
リマス

尙モ現在身分證明ノ如キハ官廳カラノ指
示ガナケレバ、是ハ發表シナイコトニナツ
テ居ルノデアリマスケレドモ、永イ習慣デ、
鬼モ致シマスレバ、地方ノ戶籍吏等ニ於テ、
ソレヲソレヲ漏ラスヤウナコトガアルコトハ、
甚ダ遺憾デアリマス、既ニ昭和三年ニ、司
法次官通牒或ハ内務省地方局長通牒ニ於
キマシテ、サウ云フコトハ儘ニ戒メテアル
ノデアリマスガ、只今提案者ノ御希望ノヤ
ウナ法律ガ出來マセヌ前ニ於キマシテモ、
今後サウ云フ點ニ付テ、十分ノ留意ヲ致シ
テ、提案者ノ御趣旨ニ副ヒタイト考ヘテ居
ル次第デアリマス

○中野委員 本建議案ハ、只今提案者庄司
君ノ説明サレタ通り、非常ニ大事ナ問題
デアリマス、久ニ向上心ガナクナツタナラ
バオモヒデアリマス、教ヘズンバ禽獸ニ
等シデアリマシテ、人間ト獸ト鳥トナドハ皆

テ、軍人保護ニ關スル問題ヲ中心トシテシマシテ、愛國婦人會ト國防婦人會トノ統合ノ問題ニ付テ一應考ヘテ居リマス所ヲ申上テ置キタイ思ヒマス、是ハ陸海軍省ト厚生省色々各々ニ關係ヲ致シテ居リマスノデ、各省ノ間デ協議ヲ致シテ居ル問題デアリマス、只今ノ所愛國婦人會ト國防婦人會トノ統合ト云フコトハ差當リハ困難デハナイカト存スルノデアリマス、提案者ノ御趣旨アリマス點ハ色々御尤モナ點モアルト思フノデアリマスガ、此ノ兩團體ハ此ノ事變下ニ於キマシテ、軍人保護ニ關シマシテハ其ノ活動ハ一應同ジヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通りニ詳細ニ其ノ設立ノ趣旨目的等ヲ検討致シテ見マス、兩者ノ間ニハ色々相違ガアリマス、バカリデナク、其ノ創立ノ沿革ナリ或ハ發達ノ過程ナリ、又其ノ實際ノ事業等ヲ考ヘマス、之ヲ統合スルコトニ付キマシテハ色々困難ガアルノデアリマス、併シナガラ現在ニ於キマシテハ軍人保護ニ關シマスル限リハ此ノ兩團體ノ活動ヲ、相互ニ重複矛盾等ガナイヤウニ、色々指導致シテ居リマス、此ノ兩者ノ關係ハ漸次良好ニ向ヒツツアルト考ヘマス、又實際ニ於キマシテ兩團體ガ提携致シマシテ、統一アル活動ヲ爲シ、漸次サウ云フ方向ニ向ヒツツアルヤウニ考ヘルノデアリマス、又サウ云フ風ニ政府ト致シマシテモ指導ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙又御承知ノヤウニ全國市町村ニ統後奉公會ト云フモノガ設置セラレマシテ、市町村ニ於ケル統後援ノコトニ付キマシテハ、統後奉公會ガ中心トナツテ活動致ス建前ニ致シテ居リマスノデ、愛國婦人會ト國防婦人會トハ市町村ニ於キマシテハ、此ノ

統後奉公會ヲ中心トシテオ五ニ其ノ分擔ヲ定メ、サウシテ圓滑ナル活動ヲ致スト云フコトニ一致シテ居リマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテモ以前ト違ヒマシテ、餘程此ノ活動ガ統制セラレテ來タヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナコトニ付キマシテ御趣旨ノ點ハ、餘程弊害ハ避ケ得ルノデアリカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ統合ノ問題ニ付キマシテハ、今後此ノ問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、十分ニ考究致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○河合委員 只今提案者ノ説明ト當局ノ御説明ヲ聽イタノデアリマスガ、私提案者側ニ對シテ御趣旨ノ點ハ、此ノ愛國婦人會、國防婦人會ナルモノハ兩立シテ居リマシテ、之ヲ統合整備セヨト云フ聲ハ各方面ガ私達ハ聞イテ居ルヲデアリマス、併シナガラ是ハ官制ヲ以テ出來タ會デハナイヤウニモ心得テ居リマスノデ、提案者ハ之ヲ統合整備スルコトニ一ツ當局ニ於テ仲人役ヲセヨト云フ御趣旨アルノカ、又當局ノ御説明ハサウ云フヤウナ意味デ周旋シテ居ルト云フ御説明デアツタノカ、其ノ邊トウモ私ハ分リマセヌノデ、提案者ト當局ノ兩方面ニ此ノ事ヲ御詳シタイノデアリマス

○林平馬君 ソレハ即チ政府當局ニ於ケルマシテ、成ベク複雑ナモノヲ單一化シ、重複セナイヤウニシ、其ノ結果トシテ國民ニ餘計ナ負擔ヲ掛ケナイヤウニ、而モ有效効切ナ働キノ出來ルヤウニ指導誘掖シテ戴カ、ソレトモ新ニ法的ニ單純化スルコトニシテ戴イテモ宜シイノデ、別ニドウシナケレバナラヌト云フヤウナコトデハナイノデアリマス

○救護政府委員 私人先程申上ゲタ意味ハ兩團體ノ合併ト申シマスカ、サウ云フ團體自體ノ統合ト云フ問題ニハ未ダ著手致シテ居ラナイノデアリマス、兩團體ノ活動ヲ調整スルト云フ方面ニ從來色々骨ヲ折ツテ參ツタノデアリマス、時局柄軍人保護ノ事ガ非常ニ重要デアリマシテ、色々是等ノ婦人團體ノ活動ニ俟ツベキモノガ多イト思フノデアリマス、隨ヒマシテ軍人保護ノ色々活動ノ上ニ、兩團體ガオ五ニ提携致シマシテ、其ノ間ノ重複ヲ避ケ、又矛盾ヲ避ケテ、統制アル活動ガ出來マスルヤウニ、其ノ活動ヲ調整スルヤウニ指導致シテ參ツタコト云フ意味デアリマス、團體自體ノ統合ト云フ問題ニ付キマシテハマダ研究中ニ屬スルノデアリマシテ、之ニ著手ハ致シテ居ラナイノデアリマス、併シナガラ御提案ノ御趣旨ニモ御尤モナ點ガアリマスルノデアリマス、是ハ提案者ニ御同致シタイノデアリマスガ、在郷軍人會、愛國婦人會、國防婦人會ヲ打ツテ一丸トスルト云フ御趣意ナノデアリマセウカ、愛國婦人會ト國防婦人會トノ統合整備スルコトハ、色々ノ事情カラシテ困難デハナイカト思ヒマス、愛國婦人會ト國防婦人會ヲ統合整備スルコトハ結構ト思ヒマスガ、ソレヲ在郷軍人會モ一ツニスルト云フコトハドウカト思ヒマスガ、提案者ノ御趣旨ハ如何デゴザイマセウカ

○林平馬君 洵ニ御承知トモ思ヒマス、先程申シタヤウニドウモ書キ方ガ不十分デアツタノデハツキリ私ノ心持ガ現ハレテ居ナカツタノデアリマスガ、御不審アリマシタヤウニ在郷軍人會ト國防婦人會ト一ツニスルコトハ洵ニ不自然ナコトデアリマスノデ、實ハ在郷軍人會ハ在郷軍人會トシテハ勿論切難スベキモノトモ思ヒマス、併シ愛國婦人會、國防婦人會、是ハ何等カノ形ニ依ツテ殆ド同ジ仕事ヲヤツテ居ルノデスカラ、統合整理スルコトガ不可能ナ問題デハナイ、寧ロ可能性ガ多量ニアラウト思フ、成程政府當局ニ於ケレマシテハ、仕事ハ大體同ジダガ、併シナガラ仔細ニ検討シテ見マス目ノナリ成立ナリ歴史ナリガ違ツテ居ルカラ、容易ニ一ツニスルコトハ困難ト云フ御話デゴザイマスケレドモ、私ハサウ云フヤウナ見方ヲ當局ガ持ツテ居ラレト云フコトハ甚ダ惜シイコトトモ思フノデアリマス、凡ソ革新ヲシヨウトスル時ニハ從來ノ色々ノ慣習デアルトカ、成立チトカ、行掛リト云フヤウナモノヲ一新スルト云フコトデナケレバ、ソレハ到底出來ナイノデアリマシテ、年々歳々新シイ團體ガ無數ニ限リナク數多ク殖エル一方デゴザイマスカラ、一面ニ又之ヲ整理統一スルト云フコトモ當然行ハナケレバナラナイト云フデアリマス、數多ク色々ナ團體ガ生レテ來レバ來ル程、最下級ノ國民大眾ノ肩ガ重クナツテ來ル譯デスカラ、ドウシテモ之ヲ單純化スル、統一スルト云フコトガ必要デゴザイマス、隨テ其ノ時ニハ色々ノ團體ノ歴史成立チト云フモノヲ斷乎トシテ整理スルト云フ勇氣ヲ御持チテナカツタナラバ、何

時マデ經ツテモ革新ハ行ハレナイ、革新ハ新ト云フ聲ガ能クアリマスケレドモ、私ハ先ツ以テ革新ノ「メス」ヲ何處ニ揮フベキカト云フナラバ、統後ノ——統後ト申シマセウカ、農村ニアル所ノ數多イ諸團體ヲ統一單一化スルト云フコトガ革新ノ根本デアラウト思フ、ドウカ政府ニ於ケレマシテハ此ノ二ツノ團體バカリデハアリマセス、其ノ他種々ナル團體ノ統一整理ヲ圖ツテ、サウシテ統後國民ノ力ヲ散漫サセナイヤウニ工夫シテ戴キタイト切ニ思ツテ、此ノ案ヲ提出シタ次第デゴザイマス

○濱地主查 一寸御諮リ致シマスガ、本案ハ表面ノ修正ノコトモアリマスシ、ソレカラ陸軍省關係ノ政府委員ノ方モ居リマセスヤウデゴザイマスカラ、是ハ二十九日ノ總會ノ席決定スルコトニ致シマシテ、本案ハソレマデ此ノ程度デ止メテ置キタイト思ヒマスガ御異議ハアリマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○濱地主查 ソレデハサウ致シマス

○河合委員 本日一番最初ニ松方幸次郎氏ノ御提案ニナツテ居リマス岩戸時間制定ニ關スル建議案ガ審議サレル管ニナツテ居タノデアリマスガ、提案者モ見エテ居リマセヌ、岩戸時間ヲ制定スルト云フヤウナ案ニ對シマシテ、提案者モ出テ來ナケレバ、又開會ノ時間モ岩戸時間ノ趣意ニ甚ダ反スルヤウナ状態デアルノハ、甚ダ遺憾ト思フノデスカラ、是ハドウ云フ理由デ提案者ガ來ナイノデアリマセウカ、又是ガ審議ガ延期サレルノデアリマセウカ

○濱地主查 提案者ガドウ云フ理由デ缺席セラレタカ、一寸分リマセウカ、只今ノ河

合君ノ御趣旨御尤モデアルト思ヒマス、隨テ提案者ニ後デ會ヒマシテ、能ク御意見ヲ傳ヘルト同時ニ提案者ノ意見モ能ク聽イテ置カウト思ヒマス

○濱地主查 鐵道省所管、口程第八、東北本線複線化迅速ニ關スル建議案——提出者庄司一郎君ノ説明ヲ求メマス

○庄司一郎君 本建議案ノ趣旨ハ極メテ簡單デゴザイマス、只今鐵道省ノ東北本線ハ上野カラ宇都宮マデノ間ハ複線ニナツテ居リマスガ、其ノ以北青森ニ至ル間ハ單線デゴザイマス、ソレカラ海岸線ノ方モ上野カラ水戸邊リマデハ複線デゴザイマスガ、以北ハ單線ニナツテ居リマス、私共ノ建議ノ趣意ハ、現在ノ宇都宮マデ複線ニ相成ツテ居ルニ過ギマセス東北本線ヲ、東北ノ最近ニ於ケル國防産業等ノ勃興ニ依リ、東北振興ノ建前カラ非常ニ天然資源ガ開發サレ、或ハ原始産業ガ工業化シテ參リ、商品化シテ參リマシテ、米ニ於テハ木炭ニ於テ、瀋ニ於テ、建築用材其ノ他各種ノ東北ノ物産ガ京濱地方或ハ關西方面マデ只今移出サレテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、特ニ北海道拓殖計畫ト相俟ツテ、是非宇都宮以北青森マデノ東北本線ヲ速ニ複線化シテ戴キタイト云フノガ、此ノ建議ノ趣旨デゴザイマス、鐵道省ニ於キマシテハ興亞交通政策確立ノ爲ニ、十年計畫ヲ以テ新シク東京ヨリ下關ニ至ル新幹線鐵道ヲ七八億万円ノ經費ヲ以テ御計畫デアリマセウカ、間イテ居リマス、又東海道線ノ大津京間、山陽線ノ吳海田市間、北陸線ノ富山田原屋間等ノ路線増設或ハ改良ヲセラレ、貨車操ノ圓滑ヲ期サレテ居リマス、ソレカラ

ラ稻澤、廣島等ノ兩操車場ヲ擴張サレルトカ、是等ハ生産擴充、重要物資タル石炭ノ輸送上ノ關係モゴザイマセウ、北海道ニ於テハ線路ノ増設或ハ改良竝ニ小橋、室蘭港ノ船積設備、一方九州ニ於テハ筑豊炭ノ操車能力ヲ擴大スル爲ニ東海岸則田ノ石炭船積設備等、各種ノ計畫ガ近ク完成ノ豫定ヲ以テ開始サレテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、東北振興ガ國策トシテ叫バレテ居リマス今日、獨リ東北ダケガ未ダニ單線デアアル、東海道線ハ現在複線ニナツテ居ツテ、更ニ是デハ輸送能力ガ足りナイ、七八億万円ノ經費ヲ掛ケテ新シイ大幹線、興亞政策ニ順應スル所ノ新鐵道ヲ建設シナケレバナラヌト云フヤウナ御計畫、是ハ洵ニ結構デアリマスガ、東北ダケガ取殘サレテ未ダニ單線ヲ以テ、木炭ノ供給ニ或ハ米ノ運搬ニ貨物ガ各驛ニ停滯シテ居ルト云フヤウナ状態ハ、洵ニ國防、産業ノ兩觀點カラ見マシテモ遺憾ナコトデアルト思フノデアリマス、ドウカ鐵道當局ニ於ケレマシテハ、速ニ東北ノ單線ヲ複線化シテ戴キヤウニ御願申上ゲマス、兎角鐵道省方面ニ於テハ東北ト云フモノガ、非常ニ差別的ノ待遇ヲ受ケテ居リマス、一例ヲ申上ゲマスト、東北及北海道ニハ一等車アリマセヌ、一等車ガ欲シト云フコトハ決シテ私ハ願ヒマセス、現在ノ二等車デ結構デス、ケレドモ一等車ガナイト云フコトニ依ツテ差別待遇ヲ受ケ、不公平ガ行ハレテ居ル、吾々帝國議會ノ議員、或ハ勸選議員ニ於テ旅費ハ二等シカ支給サレナイ、同ジ代議士デアリナガラ、關西四國、九州方面カラ來ル代議士ハ、一等車ガ付イテ居ルカラ一等車ニ乗ル、サウシテ一等旅費ヲ支給サ

レテ居ル、同ジ代議士デアリナガラ吾々ハ二等デアアル、此ノ差別ハ如何、私ハ露骨ニ手取り早ク御分り下サルヤウニ此ノ例ヲ申上ゲタノデアリマスガ、差別待遇ガ行ハレテ居ルノデアリマス、決シテ私ハ一等ノ客車ヲ増結シテ貰ツテ、一等ノ旅費ヲ頂戴シタイト云フサモシイ考ハ持つテ居リマセス、ケレドモ、現實斯ノ如キ差別待遇ガ行ハレテ居ルコトヲハツキリ御認識願ヒタイ、大變理窟ガマシイコトヲ申上ゲマシテ恐縮デゴザイマスガ、斯様ナ状態デアリマス、セメテハ東北本線ト云フ大幹線デアリマスカラ、之ヲ速ニ複線化シテ戴キタイト云フノガ、此ノ建議ノ趣旨デゴザイマス、何卒御贊成ヲ御願申上ゲマス、尙ホ鐵道省御當局ノ此ノ問題ニ關スル御意見ヲ承リタウゴザイマス

○大島政府委員 東北本線ヲ將來複線ニシナケレバナラヌト云フコトハ、只今提案者ノ御話ノ通りデアリマス、近ク實現ヲ期サナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ之ニ付テハ相當ノ資材及ビ經費ヲ要シマスガ故ニ、貨客ノ最モ輻湊セル區間カラ漸次改良竝ニ増設ヲ行ツテ行キタイト目下研究中デアリマス、モウ一步之ヲ具體的ニ申上ゲマスレバ、宇都宮カラ福島ニ至ル線、或ハ又仙臺カラ小牛田ニ至ル區間ヲ先ツ第一期ニ複線ニスル、更ニ進ンデ又福島、仙臺間、或ハ小牛田、青森間ト云フヤウナ所ヲ漸次ヤリタイト云フ考ヲ持つテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ提案者ノ趣旨ノ如ク近キ將來ニ於テ複線ニシナケレバナラヌト云フ考ヲ持つテ居ル次第デアリマス

○中野委員 此ノ建議ハ至極理由ノアルコトト存ジマスカラ、ドウゾ可決アラント

ヲ希望致シマス

○濱地主査 中野君ノ動議ニ御異議アリマ
セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○濱地主査 御異議ナシト認メテ可決致シ
マス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午前十一時五十四分散會

昭和十五年二月二十四日印刷

昭和十五年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

會議

昭和十五年三月二日(土曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 濱地 文平君

村瀨 武男君

津倉 龜作君

野方 次郎君

兼務

釘本 衛雄君

大野 一造君

中川 重春君

中野 寅吉君

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 樋貝 詮三君

興亞院部長 日高信六郎君

主席ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員伊藤東一郎君 議員松方幸次郎君

本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ

內閣所管

一 國民生活改善ニ關スル建議案(伊藤東一郎君提出)(第三七號)

二 輔道確立ニ關スル建議案(會和義式君提出)(第四八號)

三 官廳ノ出退廳時間繰上ニ關スル建議案(堤康次郎君提出)(第五〇號)

四 日支蠶絲業統制ニ關スル建議案(野溝勝君外一名提出)(第二〇號)

五 岩戸時間制定ニ關スル建議案(松方幸次郎君提出)(第二四號)

陸軍省及海軍省所管
六 軍用犬ノ保護並増殖獎勵ニ關スル建議案(伊藤東一郎君提出)(第三八號)
七 空軍大細間船車連絡施設ニ關スル建議案(手代木隆吉君外三名提出)(第三九號)
八 樽見金澤間鐵道敷設ニ關スル建議案(著本太吉君外一名提出)(第七號)
九 濱地主査 是ヨリ分科會ヲ開キマス、內閣所管日程第一、國民生活改善ニ關スル建議案伊藤東一郎君提出第三七號提出者ノ說明ヲ求メマス——伊藤君

第五類第二號 建議委員會第一分科會議錄 第二回 昭和十五年三月二日

大事變ニ際會シテ居リマシテモ敵ノ飛行機ノ爆音アルトカ、或ハ敵ノ彈ノ一發モ聞カナイ戰勝國ノ有難サニ馴レマシテ近時動トモ致シマスルヲ難ガ地ニ、殊ニ軍需景氣物興ハ國民生活ヲシテ廻レ右サセテ華美虛飾ニ情セシメ、國民生活改善ノ前途ニ一大暗翳ヲ投ズルニ至ツタノデハナイカノ感ガアルノデアリマス、申スマデモナク百万ノ總額ハ今尙ホ外東亞ノ新秩序建設ノ途上ニ勇往邁進ヲ致シテ居リマス、而シテ此ノ聖戰目的ノ貫徹ヲ致シマスルノニハ、戰線統後相共ニ相當今後長期ニ互リマシテ幾多ノ艱難ヲ突破セバナリマセヌ、隨ヒマシテ内ニアリマシテハ戰時體制ハ一層強化ヲサレ其ノ重壓ハ今後日ニ月ニ加重サレテ、我ガ國民生活ニ齟ラスベキ影響ノ那邊ニマデ及ベキカハ今速ニ端促スベカラザルモノガアリマス如キ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、政府ハ宜シク時艱ニ鑑ミ國民生活ノ安定ニ資スル爲更ニ改メテ茲ニ國民生活ノ改善合理化ニ關スル有效適切ナル指導方針ヲ講ズルニ萬遺憾ナキヲ期セラレタイト云フノガ本案提出ノ所以デアリマス、何卒皆様ノ御質問ヲ御願申上ゲマスルト同時ニ、此ノ機會ニ於テ政府ノ御所見ヲ承レバ幸甚ノ至デアリマス

○樋貝政府委員 只今本建議案ニ關スル御說明ヲ承リマシテ政府ハ全ク同感申上ゲル次第デアリマス、何分ニモ今同ノ事變ハ只今モ御述ガアリマシタヤウニ非常ニ深刻ナ性質ヲ持ツテ居リマス、又過去ニ於ケル所ノ

日清日露ノ兩戰役ニ於ケルコトハ違ヒマシテ餘程慢性的ナ、而シテ恐ルベキコトハ從來ノ二ツノ戰役以上ノモノガアルノデアリマスルガ、其ノ慢性的ナ性質カラ致シマシテ、國民ガ動モスレバ其ノ危險性ヲ痛感シナイト云フヤウナ傾向ニナリ勝チニナツテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於キマシテ從來各種ノ方面デ之ニ對スル認識ヲ與ヘ、而シテ國民精神ノ緊張ト云フコトヲ心掛ケテ居リマシタヤウナ次第デアリマスケレドモ、尙ホ今日ニ於キマシテ未ダ及バナイ所ガ相當アルカト考ヘテ居リマス、只今御述ノヤウナ御趣旨ニ基キマシテ、更ニ一層各方面ニ付テ適切ナル方策ヲ執ルト云フコトニ付キマシテ全ク同感申上ゲル次第デアリマス

○村瀨委員 只今ノ國民生活改善ニ關スル建議案ノ内容ニ付キマシテハ、提案者ヨリ委細説明ガアリマシタ、更ニソレニ對シマシテハ政府委員ノ方ニ於カレマシテモ、十分此ノ點ニ對シテ尙ホ改善ノ餘地ガアルト云フコトヲ認メテ、銳意此ノ提案ノ趣旨ニ向ツテ進ミタイト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、私共モ常ニ此ノ問題ニ付キマシテハ提案者ト同様ニ憂慮致シテ居リマス、ドウカ速ニ適當ノ處置ヲ政府ニ於テ講ゼラレマスルヤウニ、更ニ此ノ建議案ハ滿場一致ヲ以テ御可決アランコトヲ切望致シマシテ、此ノ案ニ賛成ヲ致シタイト思ヒマス

○濱地主査 村瀨君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

九

○濱地主査 御異議ガナケレバ可決シマス
○濱地主査 ソレデハ次ハ内閣所管日程第一、第三、第四ハ後廻シニ致シマシテ、日

○松方幸次郎君 是ハモウ非常ニ簡單ナモノデゴザイマシテ、私ガ説明スル程ノコト

モ、才嬢サンモ、少年ノ方モ一生懸命ノヲ實施シテ居ラレ、ソレハ大體四月カラ十

○中委員 只今ノ御説明ガ簡單過ギマス

意味ハ時間其ノモノヲ變更スルト云フコト

○松方幸次郎君 勿論之ヲ御採用願ヒマス

カラ統一シテ譯デアリマスカラ、此ノ際又

知ノ如ク蠶絲業ハ日本ノ農家ノ約一千万人

十二時間カラ越エテ一時ト云フヤウナコト

○松方幸次郎君 是ハモウ議論ハナイコトデアリマス

○濱地主査 次ハ内閣所管日程第四、日支

○野澤委員 只今上程ニナリマシタ日支蠶

吾々モ一生懸命ニナツテ蠶絲業ノ安定化ヲ期シテ居ル大ニアルカラ安心シテ一層軍務ニ精勵シマス申上ダタノデアリマス、ソコデ現在ノ蠶絲業ガ最近ハ生絲ノ暴落ニ依リマシテ少シク不安定化シテ居リマス、レドモ、兎ニモ角ニモ蠶絲業ガ比較的ニ安定ニナツテ來タト云フコトハ、私ハ戰爭終止ト云フ一ツノ思想的ナモノニ依ツテノミ操作サレテ居ルコト云フコトダケニハ解シタクナイノデアリマス、戰爭ハ足掛第四年デアリマスガ、足掛第四年ニ入ル前カラ日支蠶絲業ハ或ル程度安定ノ軌道ニ上ツタ事實ヲ私ハ認メルノデアリマス、ソノ理由ハ、日支蠶絲業ノ調整デアリマス、此處ニ同僚中原君モ居ラレマスガ、同君モ私ト協力シテ、日支蠶絲業ノ調整ニ付キマシテハ前々議會以來相當奮闘シテ來タ積リデアリマス、ナゼカナラバ若シモ日支蠶絲業ノ調整ガ出來ナカウツ以前ノ状態ヲ檢討スレバ直グ判ル、支那ニ於キマシテハ御承知ノ如ク工賃モ安い、原料ナドモ安いノデアリマス、原料ガ安い、勞賃ガ安い、所謂「コスト」ノ低い場所ニハ、事業家ト云フモノハ得テシテ其ノ方面ニ進出シタガルモノデアリマス、ソコデ此ノ蠶絲業調整ノ機關ガ出來ル以前ニ於ケル支那ノ蠶絲業ハ英米第三國ノ背景トスル製絲家ト片食、那是、鐘紡ト云フヤウナ、大製絲家ガ彼ノ地ニ行キマシテ、自由自在ナル力ヲ奮ヒ相當營業ノ成績ヲ收メテ居ツタノデアリマス、若シ其ノ儘無政府的ノ營業状態ヲ續ケタトスルナラバ將來ハドウナルカ、内地ノ如ク工賃ノ高い内地ト、「コスト」ノ低い支那トニ於テ競争ヲシテモ太刀打ガ出來ナイ、此ノ點ヲ案ジタガ故ニ、何トカシテハ調整ヲシナケレバイカス、

若シ此ノ儘ニシテ置タ時ハ、資本家ガ有ル力ヲ投ジマシテ、彼ノ地ニ於テ自己ニ有利ナ即チ營利追求ノ改良計畫ヲ立テテ進スルコトトナル、斯ウナルト往々ハ内地方ノ蠶絲業ト云フモノハ衰亡ニ歸スルノデアリマス、是ハ重大問題デアルト云フ譯テ、私達ハ前々カラ此ノ調整ノ運動ヲ起シテ來タノデアリマス、然ルニ幸ヒ日支蠶絲業ノ機關ガ生レマシタ、此ノ機關ガ生レタコトニ依リマシテ、大體日支ノ蠶絲業調整ノ辨ガ開カレタヤウニ思フタノデアリマス、其ノ内容ト致シマシテハ、御承知ノ如ク、先ヅ内地ニ於キマシテハ優良品種ヲ中心ト致シマシテ、大體「A」格ノ十四中ト云フモノヲ標準ニ採擇セルコトニシテ次第デアリマス、支那ニ於キマシテハ二十一中ヲ大體標準トシテ採擇セルコトニシテ譯デアリマス、斯様ニ調整ノ辨ガ開カレテ、ヤレハ一安心シタノデアリマス、其ノ後政府ニ於キマシテハ、特ニ現地ニ於ケル政府機關デアリマス、支那ニ於ケル蠶絲業調整ノ準備充實シタ機關ニシヨウト云フ御意思ノ下ニ、支那ニ於ケル所ノ關係業者、ソレカラ日本ニ於ケル蠶絲關係業者ガ協力シテ、是等ヲ統合致シマシテ、華中蠶絲會社ナルモノヲ作ラシタノデアリマス、私達ハ綜合的ナ蠶絲機關確立ノ第一歩トシテ洵ニ結構ナコトデアルト感ジテ居リマシタ、所ガ昨年支那ヘ行ツテ、其ノ後ニ於ケル華中蠶絲ノ状態ヲ私達ハ見聞シタノデアリマス、然ルニ彼ノ地ニ於テ折角指導ヲ致シマシテ作ラセマシテ華中蠶絲ノ生ミノ親トモ言フベキ與亞院ノ首腦部ガ、私達ガ參ツテ華中蠶絲ノ状態ヲ訊キマシタ所ガ、私達ノ期待ト違ツタ御

云フヤウナコトヲ責任ノ地位ニアル首腦部カラ言ハレルト、獨リ支那蠶絲業ハカリデナク、日本ニ於ケル蠶絲業ニ及ボス影響力ガ大きいノデアリマス、デアリマス、ソレハ此ノ際特ニ私ハ建議案ノ精神ニ對シテ御聽キシテ置キタイ點ハ、現地經濟ノ指導的力ヲ持ツテ居ル與亞院ガ、特ニ華中蠶絲ノ生ミノ親デアアル與亞院ガ、國策會社ノ一翼トシテ今日有ツテ居ル華中蠶絲ニ對シテ、苟モ責任ノ地位ニアルモノガ輕舉妄動の言説ヲ吐クコトハ日支蠶絲業ニ及ボス影響大ナリト信ズ、依ツテ中央ト現地トノ連絡ヲ緊密ニサレ無責任ノ放言ヲセザルヤウサレタイ、併シ爲ニナラスト云フ點ガアツタナラバ、科學的檢討調査ノ上ニ立ツテ具體的ニ、國策會社デアル以上ハ之ニ對シテ警告ヲ發シ誤リナキヲ期スルコトガ軍官民共同ノ責任デアル東亞協同體ノ建設ヲ叫ビ以上ハ、其ノ線ニ缺陷ヲ補正シテ沿ハシムルヤウニシナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレヲ苟モ外部ニ發表スルガ如キコトヲスレバ、支那事變ハ益々遷延スルバカリデアル、指導監督ノ機關デアル以上國策會社ヲ呼付ケテ、斯ウ云フ具體的ノ事實ガアツテ困ルデハナイカ、斯ウ云フ具體的ノ事實ガアルスノ如キハ國策會社ノ方針ニ反スルデナナイカト云フコトヲハツキリ言ウテ、ソレヲ改革セシムルコトガ私ハ與亞院始メ監督官廳トシテノ責任デハナイカト感スル者デアリマス、先ヅ此ノ一點ヲ私ハ御聽キシテ置キタイノデアリマス

獲得ノ爲ニ大イニナツテ居ルコトハ分ルノデアリマスガ、其ノ輸出關係ニ於テ、日本トノ輸出數量、輸出價格ヲ觀ミ合セテヤウテイカスト、マバ輸出出サレルコトニナリマス、亞米利加始メ外國市場ニ於テ混亂ヲ來スヤウナコトニナル、ソレカラ特ニ「ブロック」ノ關係、或ハ日滿支一體トカ言ハレテ居リマシテモ、分裂的輸出方針ヲ執ラレルト云フコトニナリマス、日支不調整ノ吐ラ見透サレルヤウナコトニナリハセスカト思フノデアリマス、デアリマス、此ノ輸出統制ノ問題ニ對シマシテ、特ニ數量、價格ノ調整ヲ強化スルコト云フコトガ緊要デアルト思ヒマス、此ノ點ニ關シ當局ノ御所見ヲ御伺シタイノガ第一點、ソレカラ第三點ハ最近頻リ第三國ノ背景ニ依ル小製絲工場ガ華中蠶絲ノ諒解ヲ得シテドント出來テ居ルコト云フコトデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマシテ、政府特ニ與亞院ハ、此ノ華中蠶絲ノ成立當初、特ニ昭和十三年ノ七月調整ノ方針ト致シマシテ、日支衝突ヲ避ケル爲ニ第一品種別銘柄ヲ別ニスルコト、第二品種別銘柄ヲ別ニスルコト、第三品種別銘柄ヲ別ニスルコト、第三品種別銘柄ハ華中蠶絲ガ之ニ當ルコト云フコトヲ決メ決メテデアリマス、ソレハ維新政府トノ間ニシテハ此ノ決メタコトガ踏躰サレマシテ、ドンノト小製絲工場ガ出來テ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フコトニナリマス、輸出ノ調整モ出來ナケレバ、又價格ノ調整モ出來ナイコトハ勿論デアリマス、是ハ第三國ガ背景ニナツテヤウデアリマス、又抗日政權ハ之ヲ利用致シマシテヤウデアリマス、恐ラク混亂ヲスルコトハ當

意見ノ表示ガアツタノデアリマス、其ノ内容ハ具體的ニハ申上ダマセケレドモ、一部ダケ申上ゲルト、ドウモ華中蠶絲ハ宜シクナイト云フコトデアリマシタ、私達ハ何モ華中蠶絲ノ部員デモ又華中蠶絲萬能ニ固著シテ居ル者デアリマセヌ、ケレドモ、日支ノ蠶絲業者ノ調整ノ建前カラ必要ナ機關トシテ感ジテ居ツタダケニ其ノ期待ガ見事ニ裏切ラレタノデアリマス、私ハ如何ナル譯テ一體華中蠶絲ハ宜シクナイト言ハレノデスカト訊イタ所ガ、大體ニ於テ滿ヲ安ク買フコト云フコトガ、ソレカラ第二ハ買收工場ニ對スル叩キ買フスル、第三ガ内地カラ蠶種ヲ安ク買フテ來テ支那ヘ高ク賣付ケルノデ甚ダ宜働工作上困ルトノ話ヲサレタノデアリマス、是ハ中々重大ナ問題デアリマシテ、若シ斯ノ如キコトガ實際ニヤラレテ居ルトスルナラバ、ソレハ許スベカラザルコトデアル、私達ハ日支ノ蠶絲業ノ調整、圓滑ノ發展ヲ圖ツテ居ルノデアツテ、何モ支那ノ蠶絲業ヲ叩キノメシテマデモ日本ノ蠶絲業ダケガ發展スレバ宜イノダト云フ過激ナ考ヘヲ持ツテ居ルモノデハナイ、斯ノ如キコトガ事實アリトスレバ問題デアリマスガ、ソレデハ第一點ノ滿ヲ叩キ買フスルコト云フガ、ソレカラ第二點ノ建値ヲ一體何處ニ置キマスカト訊イタノデアリマス、滿ノ叩キ買フシテ宜シクナイコトニハ大イニ贊成デアルガ、建値ト云フモノノ決メ方何處ニ置クカハツキリ言ツテ貴ハナケレバ吾々ハ分ラスト言ツタ所ガ、イヤサウ云フコトハ係官デナクテハ分ラスト、ソレカラ蠶種ヲ安ク買フテ來テ高ク賣ルト云フガ、ドウ云フ蠶種ヲドウ云フ風ニシテ居ルカ、其ノ事實ヲ知ラシテ貴ヒタイ、又

方ニ御熱心ナ精シイ方デアリマスカラ、餘リ私ノ方カラ細カク申上ゲルコトモナイト思ヒマスガ、今ハツキリシタ點ニ付テ御質問ガアリマシタノ御答致シタイト思ヒマス、其ノ前ニ大體ノ氣持ヲ申上ゲテ置イタ方ガ宜イト思ヒマス、只今出テ居リマス建議案ノ御趣旨ニ付キマシテハ、政府トシマシテモ斯ウ云フ風ナ氣持ニ依ツテ蠶絲業ノ統制ヲ進メテ行キタイ、斯ウ云フ氣持デアリマス、此ノ建議案ノ御趣旨ニハ全然同感デアリマス、華中蠶絲、今御話ニナリマシタヤウニ日支間ノ蠶絲業ノ利害ヲ調整シテ行ク、サウシテ又ソレハ日本バカリノ利益デナクテ、支那ノ方ノ共存共榮ト云フコトデヤツテ行ケルノダト云フコトガ支那側ニモ能ク徹底シテ行キ、サウシナガラ進シテ行クト云フコトガ、一番穩カデアリ、且ツ永續性ノアル方デアアル、斯ウ云フ所カラ此ノ華中蠶絲ト云フ會社ガ出來マシテ、今ヤツテ居ル譯ダト思フデアリマス、又此ノ建議案ニアリマス統制委員會ト云フヤウナ御考モサウ云フ意味デアルト思フデアリマス、斯ウ云フコトハ將來モ考ヘナケレバナラスト思ツテ居ルデアリマス、最初ノ第一點デアリマスガ、野溝サンモ現地ニオ出デニナリマシテ能ク御承知ダト思フデアリマス、何シロ激シイ戰ガアリマシタ地方デアリマス、事變前ニハ、野溝サンノ仰ツシヤイマシタヤウニ、日本側デ蠶絲業ノ仕事ニ付テ向フニ手ヲ出シ掛ケテ居タ人、又出シテ居タ人モアルデアリマス、事變前ニ於キマシテハ段々排日ガ酷クナリマシテ、日本ノ事業ヲ向フデ吸收シ、サウシテ日本ト對抗シテヤツテ行カウト云フ氣持ガ非常ニ強クナリマシタ、其ノ中心

デアリマスノガヤハリ蠶絲業ノ中心地デアリマス、無錫ナドハ事變前ハ排日ノ根據地ト云フヤウナ所デアリマシテ、業者ノ方ヤ關係ノ方ガ觀察ニ行カレルノスラ多少危險ヲ感ジテ遠慮シテ居ラレタ位ノ所デアリマス、ソレデ第一ノ點ニ付キマシテ興亞院ノ方デ折角出來テ居ル華中蠶絲ト云フモノヲ育テ行カズニヤツツケテバカリ居ルト云フヤウナ今御話デアリマシタガ、此ノ點ハ、儲カ昨年ノ夏ダツタト思フデアリマスガ、蠶ヲ安ク買ツタ、ソレカラ又工場ヲ安ク踏倒シタ、又内地カラ安ク持ツテ來タモノヲ高ク賣ツタ、斯ウ云フヤウナ話ガ各方面ニアツタコトハ是ハ事實デアリマス、ドウ云フ風ナ話ガアツタノカ私能ク知リマセスケレドモ、興亞院ノ現地ノ連絡部トシマシテモ、サウ云フ話ヲ聞キマス、所謂捨テテハ置ケナイト云フ氣持デ、當時サウ云フ話モアルカラ、十分會社ノ方ヲ督勵シ、又調査ヲシテ居ルト云フ時期デアツタノダト思フデアリマス、蠶ノ値段ノ話ハ先刻仰シヤイマシタ通りデアリマス、唯一昨年ハマダ混亂状態デアリマシタノデ、蠶ノ値段ナド支那ノ政府ノ方ト相談シテ、支那ノ政府ガ決メルト云フ所ニハナツテ居ナカッタト思フデアリマス、デアリマスガ、昨年ノ儲カ春以來デアツタト思ヒマスガ、實業部ノ商品點檢所ノ蠶絲點檢所デ公定相場ヲ決メテ、ソレニ依ツテ買フト云フコトニナツテ居リマス、値段モズツト前ニ比ベマスト高クナツテ居ルト思フデアリマス、儲カ十三年ノ春ガ百斤デ百十弗カデアツタモノガ、秋ニハ百七十五弗、十四年ノ春ハ三百十三圓、秋ハ六百十九圓トカ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、デアリマスカラ、此ノ點ハ豫算總會デ御質問ノアリマシタ時ニモ私御答致シマシタ通り、興亞院ノ方デモ十分注意シテ御見マシタ所ガ、非常ニ安ク買ツテ居ルト云フコトハナイト思ツテ居リマス、唯是ハ混亂シテ居リマス状態デ、マダ治安ガ確カニナツテ居ナイ所デアリマスカラ、事實上農民ノ手取ガドレダケデアリマスカ、又其ノ時ノ買方ノ賣手ニ與ヘテ感ジヤ印象ガドウ云フ氣持デアツタカト云フコトハ、其ノ間ニ立ツテ居ル人間ノ人物、又サウ云フ人ガ支那ノ農民ニ直接接シマスル態度、サウ云フモノガ相當影響ガアルデアツテ、會社ガ拂ヒマシタ蠶ノ値段ト云フモノバカリデハ論ジラレナイ所ガアルデアリマスカ、ハナカト思フデアリマス、サウ云フ點ガ實ハ今一番大事ナ所ダト思ヒマス、興亞院トシマシテハ、出先デモ本院デモ注意シテ居ル所デアリマス、租界ノ中ニ工場ヲ造ツテ其所デ仕事ヲスルノト違ヒマシテ、支那ノ農民ト直接接觸ヲ致シテ、サウシテ支那ノ蠶絲業者ガ納得ヲ致シテ行ク必要モアリマス、田舎ノ第一線デ仕事ヲシテ居ル所デアリマス、殊ニ其ノ近所デハ激シイ戰ガ行ハレテ、大勢ノ支那人ガ眼ノ前デ戰フ爲ニ死シタト云フヤウナ所デアリマスカラ、皆モ怯ヘテ居リマスノデ、其ノ爲ニハサウ云フ心理ノコトモ相當考ヘル必要ガアルト思ツテ、其ノ點ハ特ニ注意ヲシテ居ル次第デアリマス。

テ居リマス、是ハ日本ノ事情ト全ク違ヒマシテ、蠶ヲ買ヒマシタ後デ法幣ガ安クナツタリ、所謂勞セズシテ獨リ手ニ儲カツタト云フ所モアルデアリマス、ソレカラ又蠶ノ値段ノ上リマシタ點ナドデアリマス、是ハドツチカト申シマス、華中蠶絲トシテハ、遠慮シテ居リマシテモ、日本ノ力ニ依リマス生絲市場ノ色々ナ動キニ便乗シテ行ツタ、積極的デナクテ獨リ手ニ便乗シテ居リマス、只今マデノ所ハ、マダ此ノ支那ノ絲ノ進出ト云フコトガ、マダ直接ノ脅威ト云フ所ニハナツテ居ナイデアラウト思フテ居リマス、唯只今ノ御話ノヤウナ數量價格ヲ配ミ合セテヤルコトガ必要ダト云フ點ニ付キマシテハ、全然同感デアリマス、サウ云フ氣持デ活動致シテ居リマス。

ソレカラモウ一ツハ第三國ノ背景ヲ持ツタ小サナ工場ガ澤山出來テ困ルチヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマス、是モ事實デアリマス、是ハ極ク率直ニ申上ゲタ方ガ宜イト思フデアリマス、此ノ統制ト云フコトハ、北支那デモムヅカシイ所デアリマス、中支那デハ中々ムヅカシイ所ガアリマス、デアリマスカラ私共ノ考ヘテ居リマス、ノハ、形式上統制ヲヤツテ實際上所謂開相場的ニ扱道バカリアツテ「コントロール」出來ナイ所ヘ行クヨリモ、一歩々々實際上ノ統制ノ方ニ進メテ行クコトガ必要デアリナイカ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ルデアリマス、デアリマスカラ實情ヲ申シマス、結局租界アリマスノアルノガ痛デス、併シナガラ現狀ト致シマシテ物ヲ考ヘマス、租界ガ存在シテ居ルト云フコトハ之ヲ眼中ニ置イテ考ヘサルヲ得ナイ、デアリマスカラ只

今仰シヤイマシタ小サナ製絲工場ノ租界ノ内ニアリマスモノハ、租界ノ外ニアリマスモノヨリモ尙ホ厄介デアリマス、ソコデ租界ノ外デ非常ナ脅威ヲ與ヘマス、租界ノ内ニ逃込ム、力ヲ以テ租界ノ内カラ追出スノモノツノ方法デアリマスガ、租界ノ外デモ立行ト云フコトヲ示シテ租界ノ外ニ誘出スルコトノ方ガ現在ノ實情ニ於キマシテハ寧ろ宜イノデハナカラウカ、武力ヲ以テ租界カラ工場ヲ追出スト云フコトハムヅカシイ、デアリマスカラドテラモ餘リ理想デヤアリマセスガ、租界ノ外ニ小サナ工場ノアルノガ宜イカ、租界ノ内ニ小サナ工場ガアルノガ宜イカト云フ問題ニナリマスト、差當リノ所租界ノ内ニアルモノガ租界外ニ出テ來ル方ガ一步宜イデハナイカト云フ風ニモ思ツテ居リマス、又實際上是モ御存ジカト思ヒマス、租界ノ内ニアリマスモノナドヲ華中蠶絲會社ノ傘下ニ收メルト云フコトニ付テモ多少手盡シテ居リマス、二三ノ工場ハサウ云フコトニナリマシタ、デアリマスカラ先ツ斯ウ云フ一番コチヲ力ノ及ビニタイ所ニアルモノヲ、力ノ及ブ所ニ段々出シテ行クト云フコトモ一ツノヤリ方デハナイカト思ツテ居リマス、勿論是ハ理想カラ遠イコトデアリマス。

ソレカラ華中蠶絲ト支那側トノ連絡ニ缺ケテ居ル點ガアルノデハナイカ、會社ノ中ノコトニ付テモ考ヘルベキコトガアルノデハナイカト云フ此ノ點ハ全然御同感デアリマス、先程カラ率直ニ申上ゲマシタ通り、華中蠶絲ト云フモノハ日本側デハハツキリシタ氣持ガアリマシテ、ソレヲ實現スル爲ニ、日本ノ蠶絲業ノ人々ガ一丸トナツテ、所謂國策會社トシテ日支蠶絲業ノ統制ヲヤ

ツテ行クト云フコトデ、日本トシテノ氣持ヤ態度ハハツキリシテアルデアリマスカラ、先程カラ申シマシタ通り、支那側ノ實際製絲業ニ從事シテ居リマス者ガマダ其處ニ十分入ツテ來テ居ナイデアリマス、デアリマスカラ率直ニ所ヲ申上ゲマスト、日支合辦ノ支那人デハアリマスガ、其ノ中ノ支那側ノ現物出資モ本當ノ支那ノ持主ガ納得シテ出シテ居ルト云フ時期ニハリマス重役ナリ従業員ノ中デモ、實際上今マデ仕事ヲシテ居ルモノヲ全部網羅シテ居ルト云フ譯デアリマセス、デアリマスカラサウ云フ點ニ付キマシテハ、會社ノ營業ト云フコトニ付テ十分氣ヲ配ツテ所謂營利本位デナクヤリナガラ、サウ云フ支那側ノ眞面目ナ蠶絲業者ヲ此ノ中ニ包容シテ行クヤウニ著々トシテ進メテ行ク必要ガアルト思フデアリマシテ、其ノ點ガ會社ノ先ノ爲、日支蠶絲業ノ統制ノ爲ニモ非常ニ必要デハナイカト云フ風ニモ思ツテ居ルデアリマスカラ、會社ニ依ツテ統制ヲヤツテ行クト云フ趣旨方針ハ變ツタノカト云フ御質問デアリマシタガ、ソレハ方針ハ變ツテ居リマセス、唯力ヲ以テ一舉ニ之ヲ行フト云フコトハ、現在ニ於テハ事實非常ニ難カシイデアリマス、又ソレト同時ニソレガ斯ウ云フ會社ノ形ヲ以テ日支蠶絲業ノ統制ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ以テ進シテ行クテ居ルデアリマス、所謂現實ニシテソレヲ行ク方ニ向ケテ行ク、斯ウ云フ風ナ氣持デアリマス、其ノ點ハ第四ノ最後ノコトニナリマスガ、華中蠶絲ト云フ統制ヲシテ行ク、斯ウ云フ動キハ捨テタノカ、斯ウ云フコトニ關聯スルデア

大體ニ於テ持主ガ納得シテコチラデ買收シタト云フ譯デアリナイデアリマス、唯其ノ値段ヲ決メマスニ付キマシテハ、儲カ會社ノ方デモ維新政府ト十分連絡ヲシテ評價シタト思フデアリマス、其ノ評價ノ手段方ハ極メテ正當デアツタト思ツテ居リマス、唯サウ云フ風デ不在持主ガアルノデアリマス、サウ云フ點カラ色々ナ話モ出テ來テ居リ、又實際ノ事情ヲ知ラズニ心配ヲシテサウ云フ風ニ言ツテ居ル連中ガアルノデハナイカト云フ風ニ思ツテ居ルデアリマス、斯ウ云フ點ハ、何トシテモ今マデノサウ云フ蠶絲業者ヲ包容シテ、サウシテ其ノ連中ガ轉向シテ一緒ニヤツテ行クコトガ必要ダト思ツテ居リマス、先程御話ニアリマシタヤウナコトヲ申上ゲタトシマスナラバ、サウ云フ風ナ點カラ支那側若クハ現地ノ治安維持ニ任ジテ居リマス部隊、ソレカラ一般ノ評判ト云フヤウナモノニ付テ十分注意ヲシテ、會社ヲ監督シテ居ルト云フ丁度其ノ時ノ話デアラウト思フデアリマス、其ノ後現地ノ連絡部カラモ報告ヲ徵シマシテ、會社カラモ聽イテ見マシタ結果ハ只今申上ゲマシタ通りデアリマス。

ソレカラ次ニ蠶絲業ノ調整ト云フコトハ結局輸出面デアルト云フ御話ハ全然同感デアリマス、支那カラ日本ニ輸入シテ來ルノ蠶絲ノ一番ノ要點デアラウト思ツテ居リマス、デアリマスカラ、只今ノ御話ノヤウニ日本側ノ輸出ノ數量價格ト配ミ合セテ行クコトガ一番大事ダト思ツテ居リマス、デアリマシテ、只今ノ所事實會社ハ相當利益ヲ舉ゲ

ヲ取ルカ、又其ノ誠意ヲ持ツカ、日本ガサ
ウ云フコトニ努力ヲスルカト云フ點ガ根本
デアラウト思フノデアリマス、其ノ根本ガ
ハツキリシマシテ、日支間ノ經濟提携ヲヤ
ルト云フコトハ、固ク日本側デ堅持シテ居
ルコトデアリマスカラ、其ノ趣旨ヲ吞込
テ新シイ政權ガ出來マシタ場合ニハ、今日
ト大シク變リハナイト思ヒマス、唯無理ハ
出來ナイト云フコトハ今日ト同ジコトデ、
私共仕事ヲシテ居リマス者ニ於キマシテ
ハ、無理ノナイコトナラバ、日支經濟上ノ
共存共榮ト云フコトハ事實支那人ノ爲ニモ
損ニハナラナイノデアリマス、カヲ以テ何
處デモ押廻ルト云フコトハ、是ハ何時マデ
モ長クハ出來ナイト云フコトモ分リマス、
殊ニ斯ウ云フ風ナ、兩方デ利益ヲ共ニシテ
行クト云フコトガ出來ルヤウナ仕事、國策
會社ノヤツテ居ルコトハ大體サウ云フ仕事
デアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ、
所謂中央政府ガ出來マシテモ變リハナイト
云フ心構デ行ツテ差支ナイト云フ風ニ考
テ居リマス

○野澤委員 御親切ナ御答辯デ政府ノ御意
見ノ點ハ能ク分リマシタガ、最後ニ一點私
ハ希望デアリマスガ申上テ置キタイコト
ハ、蠶絲業ハ生産者タル養蠶家、製絲家、
問屋輸出業者等職業的ニハ同ジヤウデアリ
マシテモ、實際ノ利害關係ト云フモノハ實
ニ複雑怪奇ヲ極メテ居リマシテ、實際面側
ナ問題デアツテ、私モ今日高サンカラ蠶絲
業ノ専門家ノ如ク言ハレマシタケレドモ、
私共デスラ實ハ外郭シカ分ラナイ、斯ノ如
キ面倒ナ複雑怪奇ナ産業ニ對シテ是ハ斯ウ
デアルトカ、是ハアデアルトカ云フヤウ
ナコトヲ直ク輕々ニ意見ヲ吐クコトダケハ
今後止メテ戴キタイ、ソレカラ今一ツノ希
望ノ點ハ華中蠶絲業ニシテモ他國策會社、
ドレデモ同ジデアリマスガ、私ハ國策會社
必ズシモ良イコトバカリハナイト思フ、若
シ具體的惡イ事實ガアツタナラバ其ノ事實
ヲ檢討調査ノ結果デナクバ放送スルト云フ
ヤウナコトハ止メテ貰ヒタイ、一旦放送シ
タ以上ハ日支ノ上ニ及ボス影響ト云フモノ
ハ大キイノデス普通ノ人ガ放送スルノト違
ツテ、荷モ責任者ガ發言シタト云フコトニ
對シテハ、其ノ言葉ニ對シテ逆用サレルコ
トニナルカラ其ノ影響力ガ大キイノデアリ
此ノ點ハ十分氣ヲ付ケテ、若シ國策會社デ
モ惡イ點開達ツタ事ガアツタナラバ、斯ウ
云フ具體的事實ガアツテ惡イチヤナイカ、
斯ウ云フ點ハ改メナケレバナラス、改メナ
ケレバ政府ハ斯ウスルノダト云フコトデ、
外部ニ發表スル以前ニ警告ナリ又ハ改廢ナ
リシテ貰フヤウニ、一ツ是非政府、特ニ私
ハ興亞院ノ方面ガ其ノ監督官廳ニナツテ居
ルノデアリマスカラ、十分此ノ點責任ヲ以
テ私ノ希望ヲ解決スルヤウニシテ戴キタイ
ト思ヒマス

○村瀨委員 本案ハ提案者ノ御説明ナリ政
府ノ方ノ御意見ナリ、總テ異議ガナイ事デ
アリマス、速ニ可決サレンコトヲ望ミマス
○濱地主查 御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○濱地主查 御異議ナイト認メマス、可決
致シマシタ

○濱地主查 次ハ陸軍省及ビ海軍省所管、
日程六、軍用犬ノ保護並増殖獎勵ニ關スル
建議案、伊藤東一郎君提出第三八號ハ提出
者ノ都合ニ依リ延期致シマス——次ニ鐵道省
所管日程七、室蘭大畑間船車連絡施設ニ關
スル建議案、手代木隆吉君外三名提出第三
九號ハ同ジク提出者ノ都合ニ依リマシテ延
期致シマス——本日ハ是ニテ散會致シマス
午後零時十三分散會

昭和十五年三月二日印刷

昭和十五年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

局ノ一部、小學校、女子商業、銀行、會社、新聞社或ハ劇場、旅館、其ノ大部分ガ此ノ災厄ニ罹ラセテゴザイマス、而モ商店ノ有力ナルモノハ殆ド其ノ中心部ニ集ルシテ居リマシタカラ、此ノ商店街ト云フモノハ大部分灰燼ニ歸シタト云フテモ差支ナイノデゴザイマス、其ノ損害ヲ算算致シマスレバ、約一億圓ニ垂ントシテ居ルノデゴザイマス、隨テ是ガ復興ハ蓋シ容易ナ業デハゴザイマス、併シナガラ二十万市民ハ各地ヨリ寄セラレル所ノ其ノ御同情、義捐ニ對シマシテ、ソレニ御報イニスル爲ニ全ク湯身ノ意氣ヲ以テ、ドウシテモ起シラセバナラナイト云フ、其ノ復興ニ一路邁進ヲシテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ自力デハ到底復興再建ハ出来マセズ、ソコデ何トシテモ國家ノ力、並ニ皆様方ノ御協賛ノ力ニ依ラナカッタナラバ、到底再建ノ見込ガ立チマセズ、隨ツテ我ガ靜岡市ノ財政状態ヲ考ヘテ見マスルト云フト、最近十年間々歳々三十万圓以上ノ市債ヲ起シテ居ルノデゴザイマス、而モ我ガ靜岡市ノ財政ノ大動脈デゴザイマス、而モ電氣部收入カラ致シマシテ、年々歳々六十万圓乃至七十万圓ノ會計ニ繰入レマシテ、收支ノ經理ヲシテ居リマス、隨ツテ此ノ度ノ災害ノ爲ニ蒙ラセテ其ノ損害、ソレニ對スル所ノ關係ヲ考慮シテ見マスルト云フト、中々今日我ガ靜岡市ノ財政状態ト致シマシテハ、是ガ復興ニ對シマシテ、相當ニ苦難ガアルノデアリマス、斯様ナ關係ニ於キマシテ、今日デハ我ガ靜岡市ハ一千万圓ノ借金ヲシテ居ル、又制限外ノ課稅ヲ致シテ居ル、而モ中心地ガ潰滅致シマシタ爲ニ、電氣部ノ收入ト云フモノハ、激減致シマシタ、又稅收入ノ見込ガ立チマセズ、全ク市ノ財政ハ危機ニ瀕シテ居ルト云ウテモ致ヘテ過言デハナカラウカト存ズルノデアリマス

隨ツテ此ノ度ノ小學校ノ復興、是ハドウシテモ致サナケレバナラナイ、又歳入ノ缺陷、其ノ他爲サレバナラヌ復興事業、一切合セマスルト、六百八十八万圓、此ノ程度ニ相成ルノデアリマス、其ノ六百八十八万圓ニ相成リマスル所ノ事業ニ對シマシテハ、勿論國庫ノ補助ヲ致シテ戴カナケレバナラナイ、又起債歳入補填、利子補給ニ付キマシテハ、ドウシテモ此ノ際困難ノ例ヲ倣ヒ、或ハ兵庫縣ノ例ニ倣ツテ、サウシテ追加豫算ニ計上シテ戴キ、而モ此ノ度ノ此ノ追加豫算ニ計上シテ戴キト云フコトガ、我ガ靜岡市ノ復興ニ對スル所ノ政府ノ本當ノ助力デアルヤウニ考ヘラルルノデゴザイマス、私共ハ勿論此ノ度ノ稅制ノ全面的ノ改革ニ對シマシテ、ソレハ幾分政府ノ方針ニ對シマシテ考フル所ガアリマセウケレドモ、此ノ臨時ノ災厄ニ對シマシテハ、ヤハリ早急ニ是ガ復興ヲサセテ戴キト云フコトガ、一番我ガ靜岡市民ト致シマシテ、浮バレルコトニ相成ルノデハナイカト想像致シテ居ルノデゴザイマス、勿論戰時體制ニ於キマシテ、資材並ニ勞力其ノ他ノ物價ノ騰貴ニ依ツテ政府ノ御苦心ノアル所ハ御察シ申シマスルケレドモ、此ノ度ノ靜岡市ノ大火災ニ對シマシテハ、ドウカ一日モ早ク靜岡市民ヲ安心サシテ戴キタイト云フコトヲ切ニ私ハ御願ヲ致シマシテ、此ノ建議案ノ理由ト致ス次第デゴザイマス、此處ニ居リマスル所ノ内務並ニ大藏、商工當局ノ之ニ對スル御所信ヲ御伺スルコトガ出来マスレバ洵ニ

幸トスル所デゴザイマス

○見政府委員 御答ヲ申上ゲマス、靜岡市ニ於ケル今回ノ大火災ニ鑑ミマシテ、斯様ナ災害ヲ未然ニ防止致シマスコトハ、極メテ緊要ナコトト認メラレマス、同市ノ復興ニ關シマシテハ、是等ノ點ヲ十分考慮致シマシテ、將來ノ火災ヲ防止スル共ニ、都市防空ノ完整ヲ期シタイト存ジマス、復興事業ハ靜岡市長ヲシテ直チニ實施サセル豫定デアリマスガ、同市ノ財政状態ト本事業ノ重要性ナドニ鑑ミマシテ、國庫ニ於キマシテモ相當助成スル方針デ復興事業ノ助成ニ對スル預金部資金ノ融通、借入金ノ利子補給ナドニ付キマシテハ目下關係當局ト協議致シテ居リマス、尙ホ資材ノ配給ニ關シマシテハ、關係當局ト協議致シマシテ、其ノ間滞り期シタイト存ジテ居リマス

○松田政府委員 大藏省ト致シマシテハ、靜岡ハ東海道本線ニ沿ウテ居ル重要都市ト致シマシテ、今回ノ大火災ノアツタコトニ依ツテ、復興復活其ノ他ニ付テハ、ソレノ法規ガアリマス、ソレデ特ニ考慮モ致シタイ考デアリマス、尙ホ之ヲ具體的ニ申シマスレバ、災害復興ノ事業費ニ付テノ起債、或ハ靜岡ノ歳入補填ニ必要ナル起債、斯ウ云フモノハ成ベク速ニ許可ヲ與ヘタイト云フ方針ヲ持ツテ居リマス、尙ホ前ニ内務省ノ方カラ御話ガアリマシタ預金部資金ノ貸出デアリマスガ、是等ニ付キマシテモ公共營造物ノ復興復活並ニ土地區劃ノ整理、一般罹災者ガ寮ツラ住宅ノ復興、災害ニ依ツテ得タル補填並ニ中小商店ノ店舗及ビ工場等ノ復活ニ關シマシテハ、ソレノ各省カラ申出ヲ受ケ、又連絡交渉ヲ致シテ成ベク

ク速ニ出来得ルケケノ資金ヲ融通シタイト云フ考ヲ持ツテ臨ンデ居ルト云フコトガ、御承知置キテ願ヒタイト思ヒマス

○野方委員 靜岡ノ大火災ニ付キマシテハ私モ見テ來タ一人デアリマスガ、丁度關東ノ大震災火災ヲ思ヒヤラレマシタ所ノ狀況デアリマシテ、洵ニ御同情ニ堪ヘマセズ、政府當局ニ於キマシテハ是非トモ一日モ速ニ之ニ復興ノ助成金ヲ與ヘ、追加豫算トシテ計上セラレント御願致シマス、是ハ山田君ノ述べタル通り、全ク御同情ニ堪ヘマセズ、一言申上ゲマス

○齋藤委員 利子補給ニ付キマシテハ、非常ニ御同情ヲ申上ゲマス、共ニ、靜岡市民方目下非常ナ熱意ヲ以テ復興ニ努力サレテ居ルト云フコトニ對シマシテハ敬意ヲ表スル次第デアリマス、先程提案者ノ御説明ガアリマシタガ、補助或ハ利子ノ補給其ノ他救済助成ニ付テ政府委員ノ御答ヲ承ツタノデアリマス、ソレ等ノ補助、利子ノ補給ト云ツタヤウナモノヲ當期ノ議會ニ追加豫算トシテ御提出ニナル御考デアリマスガ、只今ノ御説明デハ成ベク速ニ之ヲヤル、斯ウ云フ御話ニ承ツタノデアリマスガ、此ノ議會ニ御提出ニナルト云フコトニ考ヘテ宜シウゴザイマスガ、其ノ點ヲ一ツニ成ベクサウシテ戴キタイト云フ希望デアリマスケレドモ、其ノ點ヲ尙ホ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○見政府委員 追加豫算ノ問題デアリマスガ、事業ノ助成ノ方ハ今議會ニ追加豫算トシテ出セルト思ヒマスガ、利子補給ノ方ハ只今折角研究中デゴザイマス、成ベク速ニト斯ウ申シテ居リマス譯デアリマシテ、只今ハツキリト申上ゲル譯ニハ參リ

マセズ

○齋藤委員 利子補給ニ付キマシテモ、ドウノ當期議會デ御解決ヲ下サルヤウニ特ニ御願致シマス

○濱地主査代理 本案可決ニ御異議アリマセズガ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○濱地主査代理 御異議ナケレバ可決致シマス

○濱地主査代理 次ハ内務省所管日程第三、青年禁酒法制定ニ關スル建議案、杉山元治郎君提出第二三號——提出者ノ御説明ヲ求メマス

○杉山元治郎君 青年禁酒法制定ニ關スル建議案ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、御説明申上ゲマス、本案ニ反對シテ居ル諸君ノ中デ多少誤解シテ居ル點モアリマス、先ヅ其ノ點カラ申上ゲテ見タイト思ヒマス、本案ハ決シテ直グニ年輪ヲ二十五歳ニ一週ニ擴大シヨウト云フ案デハナイノデアリマス、今行ハレテ居リマス所ノ未成年、即チ二十歳マデノ所謂禁酒状態ニアル人達ヲ、一年々々ツツ繰上ガテ行ツテ、サウシテ二十五歳マデニ至ラシメルト云フ法案デアリマシテ、決シテ直グニ二十五歳ニシヨウト云フ案デハナイノデアリマス、能ク反對サレマス時ニ、今兵役ニ居ル人達ニ酒ヲ飲マサナイチヤナイカト云フコトヲ言フ人モゴザイマスケレドモ、サウ云フヤウニ今酒ヲ飲ンデ居ル成年以上ノ人ヲ止メサスト云フノデナイ現ニ酒ノ害ニ染ツテ居ラナイ未成年ノ諸君ヲ、一年々々ツツ繰ビテ行ツテ、二十五歳ニ至ルト云フ案デアリマスコトヲ銘記シテ戴キタイト思フノデア

リマス、サウシテ色々此ノ案ニ對シテ反對シテ居リマス人ノ御意見ヲ承ツテ見ルト、昨年ノ請願委員會ニモ色々ノ意見ヲ伺ヒマシタガ、例ヘバ少量デアレバ害ガナイ、大量デアラナラバ御飯デモ害ヲ起スノダ、斯ウ云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、併シ少量ノ「アルコール」分ガ血液ノ中ニ入ツテ居ル時ニ、ソレガ色々ナ障害ヲ起シマスコトハ、醫學上明カナ事實デゴザイマシテ、交通事業ノ如キ、或ハ微妙ナ仕事ヲ致シマス人達ノ間ニ於キマシテハ、少量ノ「アルコール」デモ血液ノ中ニアルコトヲ非常ニ忌ミ嫌ツテ居リマス、故ニ歐米ニ於キマシテハ自動車運轉手ノ如キ、或ハ交通事業ニ從事致シマス所ノ人達ニ對シマシテ、酒ヲ用ユルコトヲ嚴禁致シテ居ル事實モ既ニ明カナ通りデアリマス、少量ナラバ差支ナイト斯ウ申シマスケレドモ、私共ハ小サナ火カラ大キナ火事ヲ起スコトヲ考ヘマスナラバ、小サナ権力ナカドモ是ハ止メテ置クコトガ當然必要デアルト存ジテ居ル次第デアリマス、或ハ天然ニ賦與サレタ嗜好品デア、嗜好品トシテ廣マツテ居ル立場カラ申シマスナラバ、寧ロ煙草ノ方ハ御承知ノヤウニ嗜好品トシテ廣ク行渡ツテ居ルト思フノデアリマス、是ハ御承知デモアリマセウ、渡ツテ參リマシタ年數カラ申シマシテモ極ク最近ノコトデアリマス、酒モ天賦ノ嗜好ダト申シテ居ルケレドモ、恐ラクソレハ酒ヲ飲ム習慣ニ染ツテ居ル人達ノ考ヘ方デアルト思フノデアリマス、又冠婚葬祭ニドウシテモ必要ダト言フ人モアリマスケレドモ、現ニ是ハ能ク御分リノヤウニ、神前ニ供ヘタ白酒、御酒ハ今日ノ清酒デハナイ、今日ノ

清酒ト云フモノハ既ニ酒ヲ御造リニナツテ居ル人達ハ能ク御承知ノヤウニ、最近ノモノデアルト云フコトハ明カナ事實デアリマス、白酒神酒ハ今日ノ所謂甘酒ニ等シイモノデアルト考ヘマス、私ハ清酒ガナケレバ所謂神ノ御祭ハ出来ナイト云フ言ハナイト信ジテ居ルノデアリマス、或ハ此ノ意味ニ於キマシテ今日ハ無酒結婚ガ行ハレ、而モソレガ嚴肅ニ行ハレテ參ツテ居リマス事實ヲ見テモ、亦此ノ點ハ明カデアリマス、特ニ葬式ノ如キニ至ツテハ、一方デ家庭ニ泣キ梅ンデ居リマス時ニ、酒ヲ飲ンデサウシテ色々見ルニ堪ヘナイヤウナ事實モ出来テ居リマス、事ヲ考ヘマスナラバ、葬式ノ如キニ於テハ特ニ禁酒スベキモノデアルト、私ハ今日ノヤウナ非常時代ニ於テ特ニ左様信ジテ居ルノデアリマス、或ハ生活上ノ慰安ニナリ、是ガ能率ヲ高メルト云フヤウナ御話モゴザイマシタケレドモ、私ハ寧ロソレハ反對デア、斯ウ云フ事實ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、今御承知ノヤウニ石炭問題ガ喧シクナツテ居リマスガ、其ノ石炭坑夫ガドウ云フヤウナ状態ニ置カレテ居ルカ、酒ヲ飲ム坑夫ト酒ヲ飲ム坑夫ノ能率状態ヲ調ベタノデアリマス、是ハ福岡縣ノ三井ノ田川炭坑ノ調査デアリマス、禁酒ヲ致シテ居リマス所ノ炭坑夫ノ方ガ、六箇月間ニ採炭ニ出テ行ツテ居リマス日數ガ、二四〇〇四日デアリマス時、禁酒ヲセナイ即チ酒ヲ飲ンデ居ル方ノ出マス日ヲ見マスルト一〇三六日デアリマス、デスカラ酒ヲ飲ンデ居ル方ガ六箇月間ニ二十日餘出ル日ガ少イノデアリマス、ソレダケデモ相當所出率率ニ影響ガアルト存ジマスガ、事故ノ缺勤ヲ見マスルト、酒ヲ飲ンデ

居ル坑夫ガ四割一分八厘アルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、大阪ノ或ル造船所ノ状態ヲ小南博士ガ調査シタモノニ依リマス、酒ヲ常ニ飲ンデ居ル人百五十三人ニ付テ調ベマシタ所ガ、傷害件數ガ九百二十二件、負傷率ハ四五%ニナルノデアリマス、酒ヲ飲ンデ居ラナイ者二百六十五人ニ付テ調査シタモノニ依リマス、四百九十八件ノ傷害デアリマシテ、負傷率ハ一四%ニナツテ居ルノデアリマス、住友ノ忠實鑛山デノ調査ニ依リマス、禁酒ヲ致シテ居ル者千三百三十二人ニ付テ調査致シマシタ所ガ、傷病數ガ二百六十、一日平均千人當リ傷病數ハ六人三分デアリマス、所ガ酒ヲ飲ンデ居ル人七百九十九人ニ付テ調ベテ見マス、傷病數ハ四百五十三人、一日千人當リ傷病數ハ十八人三分ト云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ事實ハマダ澤山調査ヲ待ツテ居リマスガ、サウ云フ實例ヲ見マス、アノ炭坑夫ノヤウニ陽ノ目ヲ見ナイデ、而カモ苦シイ坑内デ働イテ居ル人達ガ酒ヲ飲ム者ト飲マナイ者トガ、傷病率ニ於テモ能率ニ於テモ、非常ニ遠ツテ居ルト云フ状態ヲ見マス時ニ、酒ガ慰安ト能率ノ爲ニ宜イト云フ考方ハドウシテモ私ハ贊成スルコトガ出来ナイノデアリマス、又法律制定スベキデハナク、教育デヤレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御説モアルノデアリマス、併シ教育ノ必要モ吾々ハ認メルノデアリマスガ、尙ホ法律ヲ以テスレバ色々ノ點ニ於テ利益ノ點ガ多イト云フ信念ヲ持ツテ居リマス、ドウシテモ法律ヲ制定シテ戴キタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、特ニ今日ノヤウニ人的資源ノ必要デアル時、又米ナドノ食糧資源ガ必要デアリ、既ニ政府ガ

ノ時ノ經驗ニ依リマシテモ法ハ行ハレテ居
ナイノデアリマス、行ハレザルノミナラズ、
種々ノ弊害ガ伴ツテ如何トモ致シ方ガナイ
ガ、十年ノ經驗ト申シマスガ、實ハ三年ノ
經驗ヲ以テシマツタノデアリマス、後ノ
七年間ハ一旦作ツテ法律デアラカラ致シ方
ナシニ繼續シタノデアル、其ノ場合ニ禁酒法
ヲ廢スルコト云フコトハ誰ガソレニ反對シタ
カト云ツタラ、ソレハ即チ亞米利加ノ密造
酒屋デアツタノデアリマス、又酒ヲ密賣スル
所ノ「バー」デアツタノデアリマス、ソナコト
ヲシテ禁酒法ヲ廢止サレタラ、吾々ガ數年
間得テ居ル所ノ暴利ハ之ヲ食ルコトガ出來ナ
イヤウニナルト云フコト、殆ド亞米利加ノ
事實權ヲモテ居ルヤウナ勢デ、大金ヲ
亞米利加内ニ撒布シテ、サウシテ禁酒法
維持サレシコトヲ後七年ノ間繼續シタモノ
デアリマス、此ノ事實ニ徴シテモ是ガ行ハ
レナイコトハ明カデアリマス、又亞米利加
ノ「カリフォルニア」州ダケノ古イ統計デア
リマスルガ、普通ノ犯罪數ハ五万人ニ滿タ
ナイノ酒ヲ飲ンダ爲ニ指摘サレテ居ル犯
罪人ハ五万人以上ノモノデアリマス、此ノ
五万人以上ノ犯罪數ハドウ云フ人ガ犯罪者
デアラカト言ヘバ、酒ヲ密造シテ飲ムコト
ヲ金
ダケシカナイデアリマス、若シ密造酒ヲ
飲ムト云フ金ノ外ニ、酒ヲ密造シテ飲ム所ノ場
所ニ行クノ一塊リノ賄賂ヲ使フ所ノ金ガ
餘計ニアツタナラバ、犯罪者ニハナツテ居
ナイ、所謂金ノナイ人ダケガ犯罪者ニナツ
タノデアリマス、其ノ數ハ實ニ夥シイ、普
通ノ犯罪人ノ同數以上デアツタト云フコト
デアリマス、我國モ斯ノ如キ原因ガ作ラレ
ル所ノ心配ガアルノデアリマス、帝政露西
亞ノ問題デアリマスガ、露西亞革命前ノ露

西亞ガ禁酒法ヲ行ツタ、アレモ亞米利加ノ
禁酒法ト同ジコトデアツテ、絶對其ノ一割
モ一分モ行ハレナカッタノデアリマス、而モ
法律ト云フモノヲ蔑視スル、法ヲ侮ル所ノ
精神ガ國內ニ瀰漫シテ、ソレガ昂ジクシ
テ帝政露西亞ハ遂ニ亡ビ、革命ノ原因ヲナ
シタ、其ノ思想ノ根柢ハ之ニ起ツテ居ルト云
ウテ論ジテ居ルノデアリマス、行ハレザル
所ノ法ヲ、知りナガラ作ルト云フコトハ非
常ニ恐シイ結果ヲ招クモノデアリマス、國
家ノ將來ニ對シテ斯ル輕率ナコトハウツカ
リ出來ナイノデアリマス、ノミナラズ先程
禁酒法制定者ノ杉山君カラ、本案ニ對シテ
吾々ノ誤解ガアルト云フコトヲ言ハレマシ
タガ、ソレハ現在ノ二十五歳ヲ言フコトハ
ナイ、是カラノ進進的二十五歳ヲ言フコト
アルト云フ意味デ、吾々ハ誤解シテ居ルト
云フコトノ御注意ガアリマシタ、私モ此處
デ禁酒論者ニ伺ツテ誤解ガアルト云フコト
ノ一ツノコトヲ申上ゲタイノデアリマス、
ソレハ外デモアリマセウ、今日酒ノ害ガア
ルト唱ヘラレテ居リマスモノハ酒ノ害ヲ唱
ヘラレルノデハナクシテ、藥酒或ハ大酒、
餘計飲ム所ノ酒ノ害ガアルノヲ持ツテ來テ
直チニ酒ガ害ガアルト、斯ウ云ツテ居ルノ
デアリマス、總テノ引例ハ、皆大酒家或ハ
經濟力以上ノ酒ヲ求メルモノノ害ヲ唱ヘテ
居ルノデアリマス、吾々ハ決シテ豪飲家ヲ
賞讃シヨウトモ大酒家ヲ獎勵シヨウトモ言
ウテ居ルノデハアリマセウ、酒ヲ廢シタイ
團體ガ成績ガ宜ケレバ共ニ吾々モソレヲ喜
ブ者デアリマス、唯茲ニ誤ツテ居ルト云フ
コトハ、今日酒ヲ飲ムベシト云フ法律ヲ作ラ
ウカ飲ムベカラズト云フ法律ヲ作ラウカト
云フ二ツノ分岐點ニ立ツテ居ルモノト、サ

ウ云フ意味ニ誤解シテ居リマス、一般ノ者
モサウ云フ風ニ見テ居リマス、是ガ大變ナ
誤リデアリマス、如何ニ酒ノ嫌ヒナ者デモ
如何ナル場合デモ冠婚葬祭其ノ他ノ場合ニ
必ズ酒ヲ用ヒナケレバナラズト云フ法律ヲ
今作ラウト云ウ場合ハ、其ノ法律ハ因
ル、或ハ止メテ與レ、斯ウ云フ請求ガアツ
テ然レベキモノダ、現在ハ酒ヲ飲ムベシト
云フ法律ハマダ日本ニハ布イテ居ナイ、禁
酒ハ御自由デアリマス、茲ニ發見點ニ大變ナ
誤リガアルト云フコトヲ論理ノ上カラ能ク
考ヘテ貫ハナケレバナラズ、酒ガ惡イト思
フ者ハ自ラ止メルガ宜シイ、酒ヲ飲ンデ經
濟ニ害ガアルト思ウタラ自ラ慎シムベキデ
アリマス、然レニ酒ハ惡イノデナイ、餘計
飲ンダノガ惡イ、量ヲ過シタ所ノ暴飲大飲、
アリマス、其ノ量ヲ過シタ所ノ暴飲大飲、
是等ノ弊害ヲ以テ直チニ酒ニ害ガアルナ
ト即斷シテシマツテ、論理ノ法則ヲソツチ
退ケニシテ言フコトデアリマス、酒ヲ飲ムベ
カラズト云フ法律ヲ請求スル人ハ酒ヲ飲マ
ザル人デアリマス、飲マザル人ハ自ラ飲マ
ザルハ御自由デアリマス、是ハ人ノ區域ヲ
取締ラントスル所ノ壓制ヲ考テ持ツテ居ル
ノデアリマス、是位間違ツタコトハナイト
思フノデアリマス、何處カラ考ヘテ見マシ
テモ、人ノ區域ニ入ツテ止メト云フコト
アリマス、爰ニ禁酒論者モ共ニ酒ヲ必ズ飲
マナケレバナラズト云フコトヲナラバ、茲ニ初
メテ法律ヲ以テ之ヲ止メナケレバナラズ、
法律ノ力ニ依ラザルト雖モ、各自ラノ自由
デアアルノデアリマス、其ノ自由ノ區域ヲ自
分ガ放ツテ置イテ、又人ノ分マデヤカマシ
ク言フコトハ大變ナ間違デアラウト
思フノデアリマス

尙ホ先程杉山君カラ御話ニナリマシタ點
ニ付キマシテ少シ申上ゲテ見タイト思フ
ノデアリマス、酒ハ毒デアルト云フコトヲ
仰セラレマシタガ、是ハ餘計飲ムカラ毒ナ
ノデアツテ、適度ノ飲酒ハ毒ドコロデハナ
イ、是位結構ナ飲料品ハナイノデアリマス、
ソレハ人ノ體質ニ依ツテ違フカモ分リマセ
ウ、若シ酒ノ嫌ヒナ人ガ酒ヲ爲ニ自分ノ身
體ヲブチ壞シテシマツテ、如何ニモ致ヘラ
レタ通り禁酒ヲシテカラ達者ニナツタト云
フ方ハ、其ノ人ノ身體ガ酒ヲ求メナイ所ノ
體質ナノデアアル、吾々ノヤウニ晩酌一杯飲
マナケレバナラズト云フ者ガ若シ止メタナ
ラバ、ドウシテ此ノ氣力ガ養ヘマセウカ、
日々ノ此ノ時間通りキツチリ四ツモ五ツモ
ノ委員會ニ出席シテ、何レノ場所ニ於テモ
話ヲスルコトガ出來マセウカ、是ハ全ク酒
ノ才蔭ナシト云フ、ソレハ身體ニ依ルノデア
ル、人様ノ身體ガドウデアラウガ、サウ云
フコトハ構ハズニ、直チニサウ云フ説ヲ爲
スト云フコトハ大變間違ツテ居ルノデアリ
マス、又酒ト云フモノハ「アルコール」ガ惡
イト言ハレマスガ、ソレ程酒ガ嫌ヒナラ、
皆サン方ドウシテ酒ニナル原料ノ米ヲオ上
リニナルノデアリマス、ソレガ分ラズ、
米ト云フモノヲ食ベタラ、ソレガ腹ノ中
入ツテ酵母ト云フモノニナルノデアリマス、
乳酸ガ出來テ、乳酸菌ガ腹ノ中デアラ
デアリマス、ソコデア腹ノ中デアリマス、
「アルコール」ノヤウナモノデアハナイケレ
ドモ、殆ド同一ノ性質ヲ持ツテ居ル所ノ榮
養ガ出來ル、此ノ腹ノ力ニ依ツテ段々ト長イ
腸ヲ下ツテ行ク間ニ必要ナモノガ吸收サレ
テ、ソレガ人間ノ血トナリ熱トナルノデア
リマス、私共カラ若シ熱ヲ取ツタラドウナ

リマスガ、死スノデアリマス「エネルギー」
ノ不足モ酒ニ依ツテ氣候ノ關係デ之ヲ求メ
ルコトガアリマス、今嶺山ノ生活者ノ御話
ガアリマシタガ、暗ガリテ働イテ居ル嶺山
坑夫ノ如キハ太陽ノ熱ニ接スルコトガ少イ、
デアリマス、サウ云フコトヲ言ツタ
全部無視シテシマツテ、唯「アルコール」ガ
人體ニハ害ガアル、サウ云フコトヲ言ツタ
ナラバ、皆サン方酒ヲ造ル原料デアアル米ヲ
食ツテ自分ハ知ラズデ居ルケレドモ、腹ノ
中デア酒ト同ジヤウナ成分ダケノモノヲ造ツ
テ身體ヲ養ウテ居ルト云フコトニナツタラ
ドウデアリマセウ、決シテ世ノ中ト云フモ
ノハ精神界ヲ無視シ身體即唯物論、理化學
ナドノ總テノ試驗等ニ依ツテソナコトガ
決セラレベキモノデアハナイノデアリマス、
又精神ト云フモノヲ除ケテ、決シテ酒ヲ論
ズルコトハ出來ナイ、酒ガドレ程人間ノ精
神ヲ養ウテ居ルカ、是ハ人間ノ健康ノ一ツ
ノ本デアアルノデアリマス、私共モ少シハ酒
ヲヤル方デアリマスガ、少シノ酒デモ飲ン
デ居リマセウケレバ、モウ疾ニ死ンデシマ
ウテ居ルト思フノデアリマス、此ノ健康ハ
全ク酒ノ爲ニ得テ居ルト思フテ非常ニ、私
ハ禮讚シテ居ル一人デアリマス、但シ豪酒、
大酒ノ惡イコトハ勿論ノコトデアリマス、カ
ラ、豪酒ヲセイ、大酒ヲセイト云フ法律ヲ

作ラウト云フコトハナイノデアリマス、唯
禁酒法ガ必要ガナイト云フコトデアツテ、害
ノ伴フ飲酒ハ御自由ニ御止メニナツテ宜イ
ノデアリマス、人ノ領域ニ入ルナント云フ
コトハ甚ダ不都合ナルノミナラズ、斯
ル法律ト云フモノハ一ツノ壓制デアリマス
次ニ交通ニ從事シテ居ル人ガ酒ヲ飲ン
ラ危險ガ多イ、自動車ノ運轉手ガ酒ヲ飲
ダラ惡イニ決ツテ居リマセウ、自動車ノ運
轉手ニ酒ヲ飲ムベシト云フ法律ヲ作レト云
フコトヲ言ツテハ居ラズノデアリマス、誤
解ノナイヤウニ願ヒマス、自動車運轉手ハ
酒ヲ止メルガ宜シイ、其ノ他酒ヲ止メルト
云フコトハ、教育ノ力、其ノ他ノ方法ニ於
テ御止メナサルガ宜シイ、ソレマデ敢テ飲
マナケレバナラズト云フコトハ違フ、唯禁
酒法ヲ制定スル必要ガナイト言フノデアリ
マス、ソレカラ御神酒ノコトニ付テ仰シヤ
イマシタガ、禁酒法ヲ變ヘルナント云フコ
トヲ言ハレテ居リマシタケレドモ、是ハ大
變ナ問題デアリマス、禁酒ニハ御神酒ト云
フモノガナクテハナラズノデアリマス、人
類抑、始マリカラ、酒ヲドレ位尊シクモ
デアリマセウカ、藥以上ニ尊シクモデア
リマス、ソレデ酒ヲ以テ今日マデ御神酒
ガ即チ御供物ノ中心デアリマス、ソレカラ
婚嫁ヤ葬式ナドノ酒ヲ御止メニナル方ハ、
御止メニナツタラ宜シイガ、婚嫁ノヤウナ
目出タイ席ニ酒ノナイト云フコトハ、洵ニ
無味乾燥デアアル、人間ト云フモノハ神様デ
モナケレバ石瓦デモナイノデアリマス、又御
葬式ノ時ニハソレヲ御止メニナルカドウ
カ、是ハ各ノ習慣ニ依ツテ御自由ニナツ

タラ宜シイ、葬式ノ時必ズ酔バラツテ居
カレバナラズト云フ、ソナナ法律ヲ作レ
ト云フコトヲ要求シテ居リマセウ、ドウゾ
誤解ノナイヤウニ願ヒタイノデアリマス、
ソレカラモウ一ツ申上ゲマスガ、兵隊サン
ノ戰地カラ御歸リニナツタ方ノ話デアリマ
スガ、禁酒論者ノ新聞ナドヲ拜見シテ居
マスノニ、支那ニ行ツテ居ル兵隊サンハ、
朝カラ晩マデ酒ヲ飲ンデ、イザ戰ニ行クト云
フ時ニハ、飯ヲ腹ニパイ食ウテ、酒ヲ思ヒ
切り飲ンデ、酔ヒニ紛レテ戰ヲヤツテ居ル、
斯ウ云フ風ナ書キ方ヲシテ居ラレバ、是
ハ大變ナ誤リデ怪シカラシヤ言ヒ方デアアル、
皆サンノ中ニハ支那ニ視察ニ行ツタ方モア
リマセウ、私共モ前線マデ參ツテ來マシタ
ガ、酒ノ穿鑿ドコロデハナイ、米ノ穿鑿ド
コロデハナイ、ソナコトドコロデハナイ、
瓜ヲ取ツテ食ヒ、芋ノ葉ヲ露ヲ口ニシテ、
食物モ何モ食ハズニ戰争ヲ進メテ居ルノデ
アリマス、ソナナ幅氣ナコトデアハナイ、兵
部ノアル所カ、又ハ後方ニハ或ハサウ云フ
モノガアルカモ知レマセウガ、前線ニ行ツ
タナラバ、今自分ノ生命ヲ續ケルコトガ出
來ナイカ戰ガ辛イカ、餓ジイガ辛イカ、ド
チラガ辛イカ、彈丸ニ中ルノガ辛イカ、此
ノ餓ジイ體ヲ抱ヘテ居ルノガ辛イカト云フ
境目マデ戰ツテ居ルノデアリマス、ソレ等
ヲ考ヘマシタナラバ幾ラデモ酒ヲ飲ンデ戰
ヲシテ居ル、飛行機ニ乗ルニモ酒ヲ飲マシ、
大砲ヲ射ツニモ酒ヲ飲マセウケレバ、ソレハ長
云フ様ナ事ハ一ツモアリマセウ、ソレハ長
イ間飲食物ニ缺乏シテ居タガ、戰爭ガ濟ン
デ歸ツテ來テ、慰安ノ爲ニ酒ヲ飲マシテ賞
ウテ喜ンデ居ルト云フ位ナコトニ止ツテ居
ルノデアリマス、支那ニ居ル所ノ兵隊

ガ害ヲ受ケル程酒ハ飲ンデ居ナイ、害ニナ
ル程酒ヲ飲ンデ居ルト云フコトハ大變ナ判
定違ヒデアリマス、私ハ必要ナル所ノ酒、
慰安ノ酒ヲ適度ニ飲マサナケレバナラズト
思フノデアリマス
ソレカラ石炭坑夫ノコトデアリマス、石
炭坑夫ノ能率ノ問題ヲ話サレマシテ、酒ヲ
飲ム嶺山ト酒ヲ飲ム嶺山、酒ヲ飲ム坑夫
ト飲ム坑夫トノ比例ガアリマシタガ、
一時ニハ效果ハ分ラズデアリマセウ、此ノ
「エネルギー」ノ補助機關デアアル酒ヲ廢シテ、
暗ガリノ中デア長イ間働キヲ續ケテ居ツタ
ナラバ、其ノ身體ハ何時ノ間ニカ惡クナ
ル、一時的ノ試驗ニ使ハレタナラバ是ハ
別問題デアリマス、ソナナ統計ハ取ルニ足
ラス、向フハ向フデ有力ナ統計ヲ作ラレ
ル、コチラハコチラデ有力ナ統計ヲ作ルノ
デアリマス、是ハ衛生ノ關係デモ精神上ノ
關係デモ總テノ上ニ應用ノ出來ル言葉デア
アリマス、ソレカラ米ノ節約ノ話デアリマ
ス、是ハ大變意見ノアル所デアリマス、
米ヲ節約センガ爲ニ酒ヲ止メルト云フ問題
ハ非常ナ誤リデアリマス、四割八分酒ヲ止
メタラ米ガ二百万石節約出來ルト斯ウ思
フノハマルキリ素人ノ話デアリマス、米ハ
隣ト云フモノヲ取ルノデアリマス、其ノ隣
ガ大切ナモノデアリマス、其ノ隣ヲ少クシ
タガ爲ニ今日日本國中ノ畜産家、養鶏家、養
豚家等總テ人間ノ食物ヲ飼養スル所ノ此ノ
事業ハドウ云フコトニナツテ居ルカ、大變
ナコトニナツテ居ルノデアリマス、百姓ハ
食ベセザルモノガナイカラ、牛モ豚モ一週
ニ投資リシテシマフ、斯ウ云フコトニナツタ
ノデアリマス、サウシテ糖ガ非常ニ高イカ
ラ糖ヲ食ハスヨリモ自分ノ家ニアル所ノ屑

米ヲ食ハス、人間ガ食ハウト思フテ貯ヘテ居ツタ所ノ貯米ヲ糠ノ代リニ食ハシテ牛ダケ養ウテ居ル、豚鶏ハ止メマシタト云フ手紙ガ來テ居リマス、是ハ實際農家ノ聲デアリマス、斯ウ云フコトガ續イタラバ、東京デハ卵モ尾ヲヌウニナリマセウ、肉モ足ラヌヤウニナリマセウ、サウ云フモノガ足ラヌヤウニナツタナラバ結局米ヲ食フコトニナルノデアリマス、ソレカラ糠ノ油ガ大切デアリマス、油ヲ採ツタ其ノ粕ヲ家畜ノ飼料ニスルノデアリマス、ソレカラ又酒造米ニ致シマス所ノ糠ハ粗糠、中糠、上糠トアリマス、粗糠ハ今申シマシタヤウナ方面ニ使フ、中糠ハ菓子ニ使フ、ビスケット、ヤ何カハ全部是デアリマス、ソレカラ上糠ト云フノハドウ云フモノニ使フカト云ヒマシタナラバ、是ハ輸出ノ粗布或ハ綿布ノ糊ニスルノデアリマス、若シ此ノ酒造米ノ方ノ上糠ヲ使ヘスコトニナレバ、シヤムカ何處カノ米ヲ輸入シテ、碎イテ使ハナケレバナラスコトニナルノデアリマス、サウ云フ風ニ糠ト云フモノハ非常ニ各方面ニ應用サレテ居ル、マダソレノ種類ヲ言ヘバ何十種類モ應用サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ又酒ノ粕デアリマスガ、粕ト云フモノハ御承知ノ通り焼酎ヲ造ル所ノ原料ニモシマス、焼酎ヲ採ツタ粕ハ肥料ニモナリ、又飼料ニモナリマス、ソレカラ粕ハ御承知ノ通り、或ハ鮮魚ヲ漬ケテ輸出スルトカ、或ハ奈良漬ニスル、醬油ノ原料ニモナル、皆之ヲ計算シ上ゲタナラバ二百萬石ノ米ノ節約ドコロデハナイ、ソレ位ノモノハ差引「ゼロ」ニナツテシマフ、是ハ梅ノ香ヲ嗅ガズニ花ヲ見ルノト同ジデアル、香ヲ嗅イダカラト云ツテ花ハ減リハシマセス、

梅ノ香ヲ嗅イデ花モ見ル、酒ヲ飲ンデ後有用ノ飼料ニスル、酒ヲ造シテシマツテ飼料ダケ別ノ物ヲ求メタナラバ大變ナ損ニナル、香ヲ嗅イダカラト云ツテ決シテ實價ハ減ツテハ居マセヌ、總テガ巡廻シテクル、廻ツテ食料ニ遣ツテ來ルノデアリマス、二百萬石減石出來タト思フテ居ルノハ本當ニ近目デアリマス、紙一枚向フガ見エナイ算盤デアリマス、斯ノ如キ節米ハ害ガアツテ何ニモナラナイ、又其ノ外ニ晩酌ヲ止メタラ飯ヲ餘計食フト云フコトガアル、モウ一ツ大切ナ事ト云フノハ、ソレハ二百萬石ニ對シテ一億四千萬圓ノ税金ヲ捨テテ居ル、人ヲ喜バシ、樂マセテ、人間ノ榮養ニナル香リヲ取ルカ取ラヌカ、取レバ一億四千萬圓ノ國家ノ收入ガ殖エル、私ハ所得稅改正ノ委員モ致シテ居リマスガ、一年ニ五百萬圓カ三百万圓カノ改正ノコトデハ花ヲ散ラシテ開ツテ居ル、ソレカラ考ヘルト一億四千萬圓モ取ツテ置イテモ宜シク、ト云ツテ帳面消シヨシタナラバ、ドレ位樂ナ世帯ガ持テルカモ知レナイノニ、大キナコトニ目ガ付カズニ、細カイ重箱ノ隅ヲ揚子デツツ突クヤウナコトハ甚ダ上手デアル、コンナ不得策ナ計算ヲスルコトハ大變ナ間違ヒデアリマス、モツト生キタ算盤ノ出來ル人ガ寄ツテ、酒造ノ減石ト云フヤウナコトヲ決定シナケレバ、非常ニ危險ナコトデアルト私ハ思フノデアリマス、是ハ節約ト云フコトニ付テ御話ヲ申シテ置クノデアリマス、其ノ序ニ飯米ノ節約、七分搗ノコトデスガ、是モ脚氣病ハ宜イカモ知レマセヌケレドモ、牛ニ食ハスモノヲ人間ガ米ト一緒ニ腹ニ詰メ込シテ便所ニ放ツテシマフノデアリマスカラ、是ハ節約ニモ何ニモナツテ居ラ

斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス、私ガ此ノ議會ニ禁酒法ヲ出スノニ反對シテ居ルト云フノデ、青年ノ方ガ來ラレマシタ、三人カ五人來ラレテ、大變往生シテ、先生ハナド禁酒ニ反對カ、理由ヲ聽カセト云ハレテ往生シタ、ソレカラ其ノ人ノ顔ヲ見ルレ皆若イ顔ヲシテ居ル、若サメタ顔デアレ、ソレデ私ハ斯ウ言ウタノデス、僕ハ大變テ年寄ダガ、此ノ通りノ元氣ダ、アナタノ顔ノ若イハ禁酒ノ結果デハナイカ、ドウデスカ、酒ノ積古ハ一遍ニハ出來マイケレドモ何トカ葡萄酒デモ猪口ニ一杯位オ積古ヲサツテ御覽ナサイ、私ニ騙サレタト思フテ二本程飲ンデ見テ御覽ナサレ、アナタノ身體ハスツカリ變リマスヨ、禁酒ナント云フモノニ因ハレテ洵ニ御氣ノ毒ナモノダト云ツタ所ガソナ馬鹿ナコトヲ云フ先生ノ話ハ聽カナイト云ツテ歸リマシタ、サウ云フコトモゴザイマス、是ハ實際身體ニ對スル榮養デアルト私ハ信ジマス、ノミナラズ害ハ害トシテ、大酒ノ害ハ別デスカラ、ソレハ教育ノ力デヤツテ戴ケバ宜シイ、法律ヲ以テ止メルト云フヤウナコトハ實ニ迷惑千萬ナ話デアリマシテ、一万人ニ一人カ、十万人ニ一人ノ禁酒論者ガアルト云ウテ、此ノ日本國中ノ者ガ大陸ギョスト云フコトハ、洵ニ怪シカラスコトト思ヒマス、故ニ絕對反對論ヲ述ベタノデアリマス、甚ダ長イ話ヲシテ済ミマセヌデシタ

ノ酒マデモ取上ゲテシマフコトハ洵ニ殘酷ナ話デアリマス、酒ノ癖ヒナ者ガ之ヲ決メルト云フノハ洵ニ濟マヌ話デアリマス、ソレカラ女ノ人モ一緒ニ飲ンダラ宜イノニ何デ男ガ飲ムノカト云ハレマシタガ是モ私ハ一寸申上ゲタイガ、主人ガ酒ヲ飲ムナラ女モ一緒ニ飲マナケレバナラスト云フヤウナ法律ヲ拵ヘテ呉レト云フコトヲ言ツテ居ル、尤モ是ハ餘所ノコトデゴザイマス、私共ハ家内モ毎晩三ツ程ヤリマス、是ハドンナ結構ナモノデアアルカ、酒ガドンナ家庭ノ圓滿ヲ作ルモノカ御想像ニ任セマス、私ハ二合ノ酒ヲ家内ニ三ツ程飲マシテ居リマス、何モ彼モ幸福ヲ取上ゲテシマツテハナラス、酒ハ人間ノ非常ニ幸福ナ嗜好品ノ一ツデアリマス、人間ニハ四ツモ五ツモノ樂シミガアルガ、年齢ニ依ツテ其ノ樂シミガ變ツテ來ル、ソレガ一つツ減ツテ來ルト、終ヒハ死スト云フコトニナルノデス、尚ホ世ノ中ガ實利主義一方デアリマシタラ公團ト云フヤウナモノハ要ラス、ソナモノハ潰シテシマツテ細ニシタラ宜イチヤナイカト云フヤウナ問題ガ起ツテ來ル、又活動寫眞ヤ芝居小屋モ要ラスチヤナイカト云フ問題モ起ツテ來ル、其ヲ打ツノモ時間潰シダカライカスト云フ話モ起ツテ來ル、煙草モ廢メナケレバナラスト云フ話ガ起ツテ來ル、ソレハ種々ナル弊害ガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、一方ニ結構ナコトデアツテモ、弊害ガ一方ニ起ルノデアリマス、酒モ一方ニ於テ人類ニ非常ナ幸福ヲ與ヘテ居ル、其ノ中ノ一二ノ理ヲ認メテ全體ノ害ヲ唱ヘルト云フコトハ非常ナ誤リデアラウト思ヒマス、此ノ酒ヲ廢シタナラバ、私ハ今ノ邊ヲタル日本民族ノ元氣ガ衰ヘヤセヌカ、

モ一致シテ居ラナイト思フノデアリマス、内務省ト致シマシテハ、飲酒ト云フ習慣ガ良イ習慣デアルトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ之ヲ過度ニ用ヒル場合ニハ保健上、衛生上有害デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ此ノ建議者ト同一ノ立場ヲ執リマス譯ハ、取締ノ點カラデアリマシテ、先程モ第二十三號ノ建議案ニ對シテ申述ベマシタヤウニ、飲酒ノ問題ヲ監督致シ、取締リマス爲ニハ、家庭ノ内ニ入ツテ之ヲ取締ラナケレバナラナイコトニナリマスカラ、法ノ執行ノ上ニ於テ非常ニ困難トナリ、之ヲ十分ニ執行致シマス爲ニハ、私生活ノ自由ニ立入ルヤウナ心配ガアルカラ、之ニ贊成致シ兼テ居ルノデアリマス、現ニ從來ノ未成年者飲酒禁止法ニ對スル違犯者ノ數字モ先程申上ゲタノデアリマスガ、大部分ハ説諭程度ニ止メテ居ル、サウ申上ゲタヤウナ譯デアリマス、ソレデモ斯様ナ數ガアルノデアリマス、若シ之ヲ年齢ヲ延長致シマシテ、二十五歳マデノ成年者ニ對シテモ禁止スルト云フヤウナコトニナリマスト、其ノ取締ガ一層困難トナリマシテ、却テ法ノ威信ヲ害スルヤウナコトニモナルノデハナイカ、又更ニ延イテハ只今行ハレテ居リマスル未成年者ノ飲酒取締ニモ影響ヲ及ボスヤウナコトガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、此ノ制定ニ贊成致シ難イノデアリマス

マシテモ、最近十箇年間に高松港ノ入港船噸數、移出入貨物噸數、乗降客人員、其ノ他ヲ見マシテモ、高松港ガ第一位ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ點カラ考ヘラレマシテ、特ニ最近ノ入港船噸數四百噸ヲ突破シ、移出入貨物百萬噸ヲ突破シ、乗降客人員二百萬人ニナツテ居リマス、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、鐵道省ハ、私共ガ此ノ前建議シタコトモ關係ガアツタト思ヒマスガ、此ノ港灣ノ一部ヲ改良致シマシテ、昭和十七年ノ一月カラダト思ヒマスガ、大型連絡船ガ此處ニ三艘程動クコトニナツテ參リマシタ、高松埠頭高松棧橋トガ更ニ改築サレマシテ、是等ノ必要ニ應ジテ居ルノデゴザイマス、是等ノ點カラ見マスルト、港内ノ一部ガ擴張サレマシタニモ拘ラズ、港全體ト致シマシテ、マダ不完全ナ所ガ大部分ツテ居ルノデアリマシテ、非常ニ跛行ノナ状態ヲ呈シテ居ルノデゴザイマス、ドウカスウ云フ點ヲ御考慮ニナリマシテ、高松港ノ一ハ單ニ高松ダケデゴザイマセス、四國ト本土トヲ連絡スル極メテ重要ナ地點デアルト云フコトヲ御考慮キマシテ、又工場アタリカラ見マシテモ、努力ガ頗ル多イト云フコトト電力ガ非常ニ多イコト、最近ノ電力飢饉ニ於キマシテモ、ソノ方面ハ電力飢饉ニ見舞ハレテ居リマセヌ、斯ウ云フヤウナ大キナ國家の見地カラ致シマシテモ、工場ガ此ノ方面ニ發達スル所ノ見透シモアルノデアリマス、高松港ヲ此ノ際ニ是ハ昨年ノ建議委員會ニ於キマシテモ御採擇ニナツテ居ルノデアリマスガ、特ニ此ノ際政府當局ノ御同情アル意見ヲ伺ヒマシテ、委員ノ皆サシ方ノ御贊成ヲ得マシテ、是非共是ガ實施ヲ早クシテ戴キタイト云フコトヲ

御願致シタイト思フゾアリマス、財政上
國家トシテ多難ノ時デゴザイマセウケレド
モ、以上ノヤウナ點ヲ御考慮ノ上、特ニ十
六年度ヨリ國庫補助ノ交付ヲセラレタイト
云フ點ヲ御願申上ゲタイト思フゾアリマ
ス、此ノ際政府ノ御説明ヲ承リマシテ、皆
サシ方ノ御賛成ヲ願ヒマス

○鶴見政府委員 高松港ハ只今御説明ニナ
リマシタヤウニ、大正十一年カラ昭和三年
ニ互リマスル七箇年間ノ繼續事業ト致シマ
シテ、總經費二百二十萬圓ヲ費シテ第三期
工事ヲ終ツタノデアリマス、併シナガラ其
ノ後ノ形勢ハ、只今詳細御説明ニ相成リマ
シタヤウニ、非常ナ進展ヲ致シマシタコト
港内ガ狭クナリマシタシ、又設備不足シ
テ居ルヤウナ有様デアリマス、隨テ政府ニ
於キマシテモ其ノ必要ヲ感じテ居リマスカ
ラ、將來國庫財政ノ許シマス限リ之ヲ助成
致シマシテ、御希望ノヤウニ致シタイト考
ヘテ居ル次第デアリマス

○野方委員 我國ノ港灣ノ修築ハ國策上總
テ必要デアリマス、特ニ高松港ハ重要港デ
アリマスカラ、只今前川君ノ御話ノ通り、
滿場一致ヲ以テ御賛成ヲ願ヒマス

○濱地主査代理 野方君ノ動議ニ御異議ア
リマセウカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○濱地主査代理 御異議ナキモノト認メマ
ス、可決致シマシタ

○濱地主査代理 内務省所管、日程第七、琵琶
湖ノ湖水ヲ利用スル大發電所建設ニ關スル
建議案、井上良次君外二名提出、第二九號、
提出者ノ説明ヲ求メマス——井上良次君
○井上良次君 只今上程ニナリマシタ琵琶

湖ノ湖水ヲ利用スル大發電所建設ニ關スル
建議案ノ趣旨ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、
建議ノ要旨ハ御手許ニ差上ゲテアリマス通
リ、「政府ハ速ニ中部以西日本ニ於ケル電力
供給ヲ確保セムカ爲、日本發送電會社ヲシ
テ琵琶湖ノ湖水ヲ利用スル大發電所ヲ建設
セラレムコトヲ望ム」ト云フノデアリマ
ス、御存ジノ如ク事業開始マリマシテ以來、我
國ノ産業ハ飛躍的ナ發展ヲ遂ゲマシテ、今
後更ニ一層擴大スル豫測ノ下ニ置カレテ居
ルノデアリマスガ、是等産業ノ原動力デア
リマス所ノ電力ハ、我國ニ於キマシテハ、
一ツハ水力ト一ツハ火力ノ發電ニ俟ツテ居
ルノデアリマス、所ガ我國ノ水力發電ノ現
狀ヲ見マシテ、大體中部山脈ニ是ガ依存ヲ
シテ居リマシテ、中部、關東、東北方面ハ
大體ニ於テ水力ニ重點ヲ置イテ居リマス、
所ガ關西及ビ中國地方ニ於キマシテハ、主
トシテ火力發電ニ其ノ主眼ヲ置カレテ居ル
ノデアリマス、昨年ノ夏以來非常ナ洪水ニ
見舞ハレマシタコト爲、所謂電力飢饉ノ大問
題ヲ起シマシテ、事變ノ下ニ於ケル重要産業
ガ此ノ爲ニ停止ヲシタコトハナラズ危機ニ
當面ヲ致シタノデアリマス、所ガ火力發電
ノ全能力ヲ發揮スルコトガ出来ズ、且ツ水
力方面ニ於ケル未嘗有ラ洪水ニ見舞ハレマ
シタコト爲、一層電力ノ飢饉ハ深刻化ヲ極メ
マシテ、本年一月十四日以來今日ニ至ルマ
デ尙且ツ電力飢饉ヲ解消スルコトノ出来得
ナイ現狀ニ置カレテ居リマシテ、此ノ及ボ
ス所ノ影響ハ洵ニ重大ナル問題ガアルコト
ハ、本會議ニ於キ、或ハ豫算總會ニ於キ、
或ハ各分科委員會ニ於キマシテ、既ニ同僚
各議員カラ政府當局ニ對シテ、ソレムノ
角度ヨリ所見ヲ質シ、且ツ意見ヲ述ベタ通

リデゴザイマシテ、今日ノ實狀カラ考ヘマ
シテ、兎モ角モ我國ノ産業ノ中心地デアリ、
經濟ノ心臟デアリマス所ノ京阪神地區ニ於
キマシテ、完全ナル電力ヲ供給スルコト云フ
コトガ絕對ニ必要デアリマス、サウ考ヘ
テ來マス、火力發電ニ其ノ電力供給ノ電
源ヲ求ムルコトハ、色々ナ點ニ鑑ミマシテ、
非常ナ不經濟ヲ來スノデアリマス、ソコデ
ドウシテモ天然的ニ惠マレテ居リマス所ノ
水力ヲ以テ、之ヲ電力飢饉ヲ緩和シ、將來ノ電
力問題ヲ考ヘル場合ニハ、水ニ基礎ヲ置ク
ト云フコトガ關西ニ於ケル電力供給ノ根本
問題ヲ解決スル上カラモ、極メテ重要デハ
ナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ點
カラ考ヘマス、幸ニ致シマシテ琵琶湖ハ
面積ニ於テ六百七十四萬方軒餘ノ我國第一
ノ湖デゴザイマシテ、此ノ水量及ビ水深ハ
極メテ豊富且ツ深イノデアリマシテ、之ヲ
利用致シマシテ一大發電所ヲ建設スル計畫
ヲ立テマシタナラバ、私ノ見透ス所ニ依リ
マス、今御手許ノ建議案理由書ニモ書イ
テアリマス通り、琵琶湖ノ放流川タル瀨田
川、宇治川ノ河底ヲ約二、六尺掘下ゲ
マス、此ノ水流ニ依リマシテ四十萬、キ
ロノ發電ガ出來ル計畫デアリマス、現在
大阪ノ尼崎第一火力發電所ニ於キマシテ
ハ、三十萬、キロノ電力ヲ發電スルノニ、
一日一萬瓩ノ石炭ヲ燃ヤシテ居ルノデアリ
マス、サウ云フ點カラ考ヘマス、如何ニ
此ノ琵琶湖ノ水ヲ利用スルコトノ經濟的
ニ、且ツ産業的ニ偉大ナル役割ヲ持ツカト
云フコトガ證明サレマスシ、此ノ琵琶湖ノ
湖水ヲ利用シテ四十萬、キロノ發電ヲ起シ
マスレバ、昨年ノ下半年ヨリ本年現在經驗シ

テ居ルヤウナ電力飢饉ト云フモノハ、名古
屋、京都、大阪、神戸、中國地方ニ於テ、
完全ニ解消サレムコトニナルト云フ見透シ
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ政府ハ一
大決意ヲ持ツテマシテ、今日ノ重大時局ヲ
産業的ニ經濟的ニ國民ノ協力ノ下ニ乘切
ルニハ、非常ナ英斷ヲ以テ此ノ琵琶湖ノ湖
水ヲ利用スル大發電所ヲ建設スルノ必要ヲ
認メテ貴ヒタイト思ヒマス、尙ホ此ノ琵琶
湖ノ湖水ヲ利用スルニ關シマシテハ、沿岸
居民及ビ農民ニ不便ヲサセナイヤウニ、
且ツ生活其ノ他ノ關係ヲ十分考慮ヲ對
策ヲ立テテ貴ヒマシテ、我國ノ飛躍的産業
躍進ノ原動力タル此ノ琵琶湖ノ湖水利用ト
云フ見地ニ立テマシテ、政府ノ御賛成ヲ
得、速ニ是ガ實現サレムコトヲ希望スル
デアリマス、尙ホ本案ニ關シマシテ内務省
局ノ御意向ナリ、且ツ選信當局ノ御意向ヲ
伺ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○鶴見政府委員 只今御説明ニナリマシタ
ヤウニ、琵琶湖ノ利用水深ヲ増シマシテ、放
水量ヲ增加シテ、之ニ依リマシテ發電ヲ致
シタイト云フ御提案ハ、洵ニ結構ナコトデ
アリマシテ、御趣旨ノ御辯明ガアリマシタ
通りデアリマス、更ニ進シテ此ノ湖水ヲ上
水ニ利用シ、或ハ灌溉用水、舟運其ノ他ニ
利用致シマスコトニ依ツテ、京阪神ノ産業
ノ爲ニモ有效ナ利用ガ出來ルト考ヘテ居ル
ノデアリマス、併シナガラ同時ニ他方ニ於
キマシテ琵琶湖ノゴザイマス沿岸ノ滋賀縣
ノ住民其ノ他ノ人々ノ利用關係モ、之ト相
並シテ洵ニ重大ナルコトデアリマスカラ、此

ガ、現在町村制ノ施行區域ヨリ除外サレテ
居ルノデアリマシテ、特別ナル島嶼町村制
ナル制度ノ下ニ特別行政ガ行ハレテ居ル
デアリマス、殊ニ小笠原諸島住者ノ如キハ、
現ニ東京府下ノ住民デアリナガラ衆議院議
員ノ選舉權ヲモ付與セラレテ居ラナイト云
フヤウナ狀態ニアルノデアリマス、伊豆七
島ニ付キマシテハ、衆議院議員ノ選舉權ハ
與ヘラレテ居リマスガ、自治行政ニ付テハ
極端ナル制限ガ設ケラレテ居リマシテ、選
舉制度ノ上ニ之ヲ見マシテモ、最近マデハ
地租ヲ納メル戸主連記制度ト云フヤウナ狀
態デアツタノデアリマス、最近ニナリマシ
テカラ、連記制度ガ廢サレマシテ、地租ヲ
納メル戸主ニ依ツテ單獨投票ガ行ハレテ、
村會議員ノ選舉ガ行ハレテ居ルノデアリマ
スガ、非常ニ制限ノ深キモノガアルノデ
アリマス、更ニ府會議員ノ選舉ニ當リマシ
テハ、府民デアリナガラ府會議員ノ選舉權
ヲ行使シ得ズシテ、府政ニ參與スル能ハズト
云フヤウナ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマ
ス、左様ニ考ヘマシテ、東京府下ノ住民デ
アリナガラ、他ノ地區ニ於ケル住民ト同様
ノ扱ヒヲ受ケナイト云フヤウナ不合理ニ鑑
ミマシテ、一日モ早く町村制ノ施行ヲ切望
スル次第デアリマス、最近ニ於キマスル住
民ノ狀況ハ、其ノ自覺ト當局ノ指導ニ依リ
マシテ、近時非常ニ飛躍的發展ヲ遂ゲテ、
教育、産業、經濟、何レモ他ト著シキ進
ヲ見ザル、狀態ニナツテ居ルノデアリマス、
隨テ此ノ際政府ニ於カレマシテハ、緊急伊
豆七島並ニ小笠原諸島ニ、町村制ノ施行ヲ
セラレムコトヲ切望スル次第デアリマス、
本建議案ハ昨年ノ第七十四議會ノ建議委員
會ニ提出ヲ致シマシテ、更ニ本會議ニ於キ

マシテモ、滿場一致ノ通過ヲ見テ居ルノデ
アリマス、其ノ際政府ノ聲明ニ依リマスル
ト、伊豆七島並ニ小笠原諸島ノ問題ニ關聯
致シマシテハ、東京都制ノ實施ト關聯シテ
考ヘルト云フ御答辯ガアツタノデアリマス、
所ガ東京都制案ハ今議會ニモ提出サレテ居
リマセズ、又來議會ニモ提出サレムコト云
フ見透シモナイヤウデアリマス、更ニ地方制
度調査會ニ於キマシテ、答申ヲ得テ居リマ
スル所ノ、地方制度改革ニ關スル議案モ、
本議會ニ提案ニナツテ居リマセズ、隨テ
中央ノ制度ノ改革ト關聯ノ下ニ、此ノ制度
ヲ改革スルコト云フコトハ、謂ハバ長キ日
ヲ要スルト思ハレムコトデアリマス、所ガ
本年六月ニハ、東京府會議員ノ選舉ガ行ハ
レルコトニナツテ居ルノデアリマス、
假ニ東京府會議員ノ選舉ガ行ハレバ、伊
豆七島並ニ小笠原諸島ノ住民ハ、爾後四箇
年ノ間、東京府民デアリナガラ、東京府政
ニ參與シ能ハザルコト云フ結果ニナルノデア
リマシテ、此ノコトモ考慮ニ入レマシテ、
適當ナ處置ヲ講ゼラレタイト思フゾデアリ
マス、殊ニ小笠原管内ニ於キマシテハ、現
在ニ於キマシテモ名主、年寄、村總代ト云
フヤウナ、封建時代ニ於ケル村寄合制度、
或ハ戶數制ニ代ルニ協議會費ト云フヤウ
ナ稅制ノ制度ノ上ニ於キマシテモ、今ノ市
町村トハ非常ニ懸離レタコトガ行ハレテ居
ルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ニモ思ヒテ
寄セラレマシテ、一日モ早く本制度ノ撤廢
致シマシテ、町村制ノ施行ヲ切望スル次第デアリマ
ス

○鶴見政府委員 島嶼ノ制度ニ付キマシテ
ハ、政府ニ於キマシテモ度々豫テヨリ調査

○濱地主査代理 御異議ガナケレバ可決致
シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○濱地主査代理 大分時間ガ過ギテ居リマ
スケレドモ、少シ勉強シテ戴キマシテモウ
一ツダケ進メマス、内務省所管日程第八、
伊豆七島並ニ小笠原諸島ニ町村制施行ニ關
スル建議案、第三二號——提出者淺沼稻次郎
君ノ説明ヲ求メマス
○淺沼稻次郎君 只今議題ニ供サレマシタ
伊豆七島並ニ小笠原諸島ニ町村制施行ニ關
スル建議案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲマシタ
ス建議案ノ主たる趣旨ハ、「政府ハ速ニ東京府下
伊豆七島並ニ小笠原諸島ニ町村制ヲ施行セ
ラレムコトヲ望ム」ト云フノデアリマス、理由
ニ付キマシテハ、建議案ノ理由書ノ中ニ記
載シテアル通りデアリマスガ、伊豆七島
並ニ小笠原諸島ハ東京府下デアリマスル

テ居ル、或ハ電力ハ自家發電デアルト云フ
ヤウナ製造會社ガ、眞ニ安全生産ニ於テハ
實績ヲシテ居ルノデアリマシテ、唯工場ガケ
ヲ持ツテ「コークス」モ買ヒ、石炭モ買フ、或
ハ電力モ買ハスルト云フコトデハ、其ノ貢獻
スル所ハ實ハ少イノデアリマス、サウ云フ
關係カラ見テモ、其ノ重大ナル問題ガ同時
ニ解決セラレナケレバ、直チニ此ノ生産
ノ國營ト云フコトハ、中々困難ナコトデア
ルト考ヘルノデアリマス、不日本議會ニモ提
案セラレル運ビニナルダラウト思ヒマス
肥料配給中樞機關ノ會社法案ニ於キマシテ
モ、今御述ニナリマシタヤウナ理想ヲ採入
レマシテ、製造ヲ直チニ國家ガドウスルト云
コトデナシニ、勿論非常ニ能率ガ惡イトカ
云フコトデ、必要ガアレバ場合ニ依レバ其
ノ新設ノ中樞會社ヲシテ製造工場ヲ管理
セシムルノ途モ一面ニ於テハ開キ、サウシ
テ其ノ配給ニ付テ今申シマシタ國策會社ニ
依ツテ少クモ完全ナ政府ノ命令ノ下ニ配
給ヲヤツテ行クト云フ趣旨デ、國策會社ノ
法案ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、是等モ今
提案者カラ御述ニナリマシタ現實ノ問題ト
シテ、見方ニ依レバ一步御趣旨ニ近付イテ
居ルヤウニモ考ヘラレルノデアリマスガ、
之ヲ要スルニ肥料國營ト云フコトハ眞面目
ナ問題トシテ今後十分ニ研究ヲシナケレバ
ナラスト云フコトヲ申上ゲタイト思フ次第
デアリマス

○伊藤東一郎君 只今政府委員ノ御親切ナ
ル御答辯ヲ恐縮ヲ致シマシタ、成程法規ニ
ハ其ノ取締ニ付テハ或ル程度マデアルノデ
ゴザイマスケレドモ、實際ニ於キマシテ
ハ全然是ガ勵行サレテ居ラスノデアリマス、
私本日內務省ノ方ガオ出デ下サイマシタナ
ラバ、其ノ點ヲ申上ゲタイト存ジテ居ツタ
ノデアリマスガ、厚生省ノ方デ御説明ヲ賜
ル手順ニナツテ居ルヤウニ聞キマシタカ
ラ、今改メテ此處ニハ申上ゲマセヌ、他日
ノ機會ニ於テ又詳シク申上ゲル考デ居リマ
スガ、兎ニモ角ニモ能ク一ツ內務省ノ御話
合ヲ下サイマシテ、成ベク此ノ建議ノ趣旨
ガ實現致シマスルヤウ、國家ノ爲ニ御考慮
ヲ御願致シマス

○小車主查 御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○小車主查 ソレデハ本案ハ可決確定致シ
マス

○小車主查 次ハ日程第一七、纖維配給機
構改善ニ關スル建議案ヲ討議致シマス
提出者渡邊玉三郎君
○渡邊玉三郎君 纖維配給機構改善ニ付テ
デアリマスガ、纖維配給調整協議會ナルモ
ノガ出來マシテ以來、纖維ニ關スル各工業
組合ノ聯合會ガ過去ニ於テ實施サレテ居リ
マシタル織物ノ絲ノ配給ヲ停止致シマシテ、
サウシテ纖維配給調整協議會ノ名ニ於テ配
給シテ居ルノデアリマス、是ハ昨年ノ七月、
國家ハ第二豫備金カラ多額ノ金ヲ支出シテ、
纖維配給調整協議會ヲ作り之ニ代ツテ直接
工業者ニ絲ヲ配給シテ來タノデアリマス、
サウシテ今日ノ現狀ハ配給ガ如何ニモ不圓

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

人的資源ノ涵養ニ資セントサルルヤニ開及
ンデ居リマス、私ハトモスレバ生産力擴
充ノ爲ニ人的資源ノ涵養ガ犠牲ニ供セラレ
テ居ルデハナイカト云フ愛アル實情ニ鑑ミ
マシテ、ソレハ至極結構ナコトト喜ンデ居
ル一人デアリマス、併シナガラ如何ニ國民
ノ健康ヲ保持シ、體力ノ向上ヲ圖ラウトナ
サレマシテモ、今日ノヤウニ斯様ニ古著類
ガ自由ニ横行調歩ヲ致シマスノニ委セテ居
リマスル間ハ、到底所期ノ目的ヲ達成致シ
マスコトハ不可能ナリト斷言ヲシテ懼リマ
セヌ、サリト申スマデモナク、時局下物
資愛護ノ意味カラ申シマシテモ、古物業ハ
大イニ獎勵ヲセナケレバナリマセヌ、否國
民ハ御上ノ獎勵ガナクモ能ク時局ヲ認識
致シマシテ、近來古著利用ニ大イニ關心ヲ
持ツテ居リマス所カラ、今ヤ古著ト云フモ
ノガ非常ナ勢デ市場ニ進出ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、サウシタ折柄デアリマスカラ、
之ニ關スル消毒取締法規ニ缺陷ガアルト云
フコトハ非常ニ遺憾トスル所デアリマス、
斯ルガ故ニ此ノ際速ニ法規ノ整備、竝ニ取
締ヲ強化シ、完全消毒ヲ經ルニアラザレ
バ古著類ハ賣買讓渡ヲ爲スヲ得ザラシメ、
以テ國民ノ保健並ニ物資愛護ニ資スルコト
ハ現下ノ喫緊ノ要務デアルト信ジマシタガ
故ニ、此ノ案ヲ提出致シ次第デアリマス、
何卒御可決アラントコトヲ切望致シマス同
時ニ、此ノ機會ヲ利用シテ政府ノ御所見ヲ
承リタイノデアリマス

○一松政府委員 只今伊藤君ノ古著類消毒
取締ニ關スル建議案ニ對シマシテノ提案理
由ノ御説明ヲ承ツテ見マスルニ、眞ニ憂國
ノ至情ガ溢レテ此ノ案御提出ノコトデア
ルト云フコトニ考ヘ及ビマシテ、深甚ノ敬意
ヲ表スルノデアリマス、近來諸種ノ傳染病、
肺結核等ガ勢ヒ猖獗ヲ以テ頻リニ傳染シツ
ツアリマスコトハ御説ノ通りデアリマス、
國民保健ノ上カラ申シマシテ實ニ深憂ニ堪
ヘナイノデアリマス、其ノ原因ハ色々數多
クアルデアリマセウガ、就中御指摘ニ相成
リマシタ古著類ノ消毒ノ完全デナイコトガ、
ヤハリ其ノ原因ノ一ツニ數ヘラレテ居ルコ
トデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ
對シマシテ、建議ノ御趣旨ハ古物商取締法
ノ消毒ニ關スル事務ガ十分デナイ、ソレガ
爲ニ是非此ノ法規ヲ整備強化シテ、消毒ヲ
十分ニ勵行シテ弊害ナカラシメタイト云フ
コトガ御趣旨ノヤウニ拜承致シタノデアリ
マス、成程サウ云フ點ガ多クアルデゴザイ
マセウガ、御承知ノ通りニ古物商取締法ニ
モ、又質屋取締法ニモ消毒ノシテナイ物ハ
之ヲ買受ケテハ賣ルコトヲ禁止テ居ルコ
トハ御承知ノ通りデアルト思フノデアリマ
ス、是レ以外ニ傳染病預防法ニモ、又結核
預防法ニモソレハ、是等ノ患者ノ用ヒマシ
タ物、若クハ其ノ身邊ニアツタ物ニ對シマ
シテハ、嚴ニ消毒ヲシナケレバナラスト云
フ規定ガアルノデゴザイマスカラ、是等ノ
消毒ニ關シマスル諸々ノ規定ヲ勵行致シマ
スレバ、必ズシモ只今御述ニナツタヤウナ
憂ハナカラウト思フノデアリマスガ、併シ
ナガラ理論ト實際トハ必ズシモ一致シナイ
ノデアリマシテ、法規ハ其ノヤウニ現存シ
テ居ツテモ、實際ニ之ヲ行フ時ニ開闢ナキ
ニシモアラズデゴザイマシテ、政府當局ト
致シマシテハ、サウ云フ點ヲ非常ニ心配ヲ
シテ居ルノデアリマスカラ、尙ホ一層是等
ノ法規ヲ勵行致シマシテ、萬遺憾ナキヲ期
シテ、御期待ニ副フヤウニ努力致シタイ、

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

○伊藤東一郎君 只今議題ト相成リマ
シタル古著類消毒取締ニ關スル建議案ニ付
テ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、古著類ノ賣買
ハ古物商取締規則ノ適用ヲ受ケテ居リマス、
該法律ハ明治二十八年ニ制定セラレマシテ、
爾來歲月ヲ閱スルコト四十有餘年、其ノ間
僅カニ三、四部分ノ改正ヲ加ヘラレタルニ過
ギマセヌ、然ルニ社會的情勢ハ此ノ間非常ナ
ル變化ヲ來シマシタ爲ニ、此ノ法律ヲ以テ
シテハ到底現下ノ實情ニ即セザルモノガ
多クアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ近來各
種ノ傳染病、就中結核病ガ頗ル猖獗ヲ極メ
テ居リマスルノハ、其ノ原因ハ固ヨリ色々
アリマセウカナレドモ、是等患者ノ衣服ノ
大部分ガ實際ニ於テ消毒ヲサレテ居ナイ、
或ハ消毒致シマシテモソレガ甚ダ不完全ノ
儘ニ古物商ニ依ツテ轉々ト取扱ハレテ居リ
マスコト、是ガ體テ傳播ノ媒介タル一大素
因デアルト私ハ信ジテ居ル者デアリマス、
政府ハ國民體力管理法ヲ制定ナサイマシテ

斯ウ云フヤウナウニ不快ナル状態デアリマス、經費ノミテ増加シテ、實績ガ學ヲナシ...

ニ付キマシテ、適切ナ調整ヲ行フ目的ヲ以テ設立セラレタデアリマス、其ノ加盟ノ關係ヲ簡單ニ申上ゲマス...

テハ、各種ノ絲ノ間ニ、詰リ綿絲、ス・フル、人絹絲、毛絲、是等ノ各種ノ絲ノ間ニ...

更致シマシタコトデアリマス、第二ハ從來ハ各工種ガソレレニ統制團體トシテ配給ノ...

ガ、元々現在ノ需給調整協議會デ以テ、國內用ノ絲ヲ綜合的ニ配給スルコト云フ...

ラ是ガ必要ダ、斯ウ云フ第一ノ理由ガアル、第二ニハ各種ノ絲ノ區別ガ稀薄ニナツ...

モ、ヤツテ居ラヌモノニ對シテモ、同ジヤウニ設備デ配給スル、言葉ヲ換ヘテ言フ...

評議員會中心ト云フ議論ヲ弄スル必要ガ何處ニアルカ、又適時整備改善シテ行ク...

者ノ話ヲ聴クト難カシイコトノヤウニ思フ
ノデアリマス、鐵道ノミニヤラシク難カ
シイ、難カシイト共ニ不平ハ絶エナカラウ
ト思フ、畑道ヒノ人ガヤツテ居リマスカラ、
中々一方ノ事情ニ暗イ、ソレデハハリ大綱
マア鐵道ノ組織ヲ幾ラカ只今ノ御話
ノヤウニ御變ヘニナル方宜イト思ヒマス
ガ、大體ノ方針ヲソコ決メサシテ、配給
ノ實施ニ當ツテハ、之ヲ各ノ工聯ニ委セテ
ヤラス、斯ウ云フコトガ現在最モ適當シク
コトデハナイカト思ヒマス、ソレハ商工省
デモ既ニ鐵道ト云フモノヲ御作リニナツテ
居ツテ、先程アナタノ御話デハ何カソレニ
代ルモノヲ拵ヘナケレバナラヌト云フコト
ヲ御話ニナツテ居ル程デアリマスカラ、吾
吾ノ言フコトヲ裏テ御認メニナツタコト云
コトハ大體分ル、併シ事柄ハ非常ニ困難ナ
コトナラダカラ、是ハ本當ニ考ヘテヤラナ
ケレバナラヌト思フ、鐵道ト云フモノヲ既
ニ御作リニナツタノダカラ、之ヲ一朝ニシ
テ全廢シテ、工聯ニヤラスト云フコトモ、
此ノ際ドウカ、私ハ商工省ノ御ヤリニナツ
タコトヲ御同情致シテサウ申上ゲルノデア
リマス、併シ鐵道ニハ大方針ヲ立テサセテ
實際ノ配給ヲ各工聯ニヤラセル、サウシテ
十分商工省ガ御監督ニナツタナラバ、私ハ
只今ヨリ圓滑ニ配給ガ出來ルデハナイカト
思ヒマス、御參考マデニ申上ゲテ善處シテ
戴キタイト思ヒマス

○渡邊三郎君 重ねテ申上ゲマスガ、唯
困難ナ點ハ工聯ニ代行セシメル時ニ絲ノ種
別ガ種海ニナツテトカニ重登録ノ度ガアル
トカ、斯ウ云フ辻局長ノ御答辯ノ理由デア
ツタト思ヒマス、ソコハ今鐵道協同會指示
ヲシテ居リマスカラ御心配ハナイ、隨テ本
案モ皆サシノ御質問ヲ得タイコトヲ望ム次
第デアリマス

○小車主査 本案ニ對シテ御異議アリマセ
ヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○小車主査 御異議ナシト認メマシテ可決
致シマス

者デアリマス、殊ニ是非トモ此ノ用材
ノ規格ヲ精製スルナラバ、先ツ以テ其ノ前
ニ建築規格ヲ國家的ニ精製シナケレバ非常
ニ用ノ材ヲ作ルト云フコトヲ私ハ前ニ申
上ゲテ置キタイ
次ニ政府ガ斯ウ云フ省令デアルトカ告示
デアルトカカカ民ニ強フルナラバ、必ズ行ヒ
得ルモノヲシナケレバナラヌノデアリマス、
形式的ノ法律デアツタリ、告示デアツタナ
ラバ其ノ威信ヲ損ズルノミデアリマス、然
ルニ現在在現ハレテ居リマスモノガ、
私共ガ實地ニ行ハレテ居ル實情ヲ見マスル
ト、農林當局ニ於テハ、此ノ検査ハ完全ニ
行ヘテ居ルト御認メナツテ居ラレマスカ、
又完全ニ行ヘナイト御認メナツテ居ルカド
ウカヲ疑フ者デアリマス、殊ニ九月二十七
日ニ此ノ規則ガ現ハレマシテ、ソレノ二條
三條ニ附隨シテ用材ノ規格規程ハ十月十三
日ニ現ハレマシタ、然ルニ年々變テ来ナイ其
ノ年ノ十二月二十九日ニハ最早御改正ニナ
ルテ居リマス、不備ナ點ガアツテ御改正ニ
ナツタモノト私ハ認メルノデアリマス、又
諸師委員會ニ於ケル山林局長ノ御答辯ニ依
リマシテモ、之ヲ御改正ニナルヤウニ承ツ
タノデアリマス、併シナガガ私ハソレナラ
縫ノ御改正デハ事實ニ則チナイト思ヒマ
ス、根本的ニ御改正ニナラナケレバナラ
ノ御改正ニ於ケル、此ノ用材規格規程ノ第
二十一條ヲ拜見シテ見マスルト、之ニ但書
ヲ加ヘテ、正角ノモノダケハ兩端カラ一尺
以內ノ腐リ以外ハ缺點ト認メス、マルキリ
是レ一條項下規格ノ缺點ヲ審査ハ何ヲナサ
ツテ居ルカ分ラヌヤウナ骨抜コナツテ居リ
ハセヌカ、又正角ダケヲ御認メナルナラバ

上カラ之ヲシナケレバナラヌ、品質ニ於テ
之ヲ餘程加ヘナケレバナラヌト云フ御話モ
アリマシタ、併シ木材ハ御承知ノ如ク品質
ハ非常ニ難カシイモノデアリマス、假ニ角
材ヲ取出シテ申シマスナラバ、故ニ五寸ノ
正角ガアルト致シマセウ、併シソレハ角ノ
正シイモノ、正シクナイモノ、末木デアアル
モノ、ナイモノ、樹齡ノ若イモノ、相當ニ古イモノ、
目ノ細カイモノ、荒イモノ、モウ一ツ申シマス
ナラバ、日常リニ育ツタモノ、日蔭ニ育
ツタモノ、一々品質ガ變ツテ來ルノデアリ
マス、殊ニ大森林地帯ニ出來タモノ、吉野
地方ノ如ク人工造林ノ發達シタ地方ニ出來
タモノ、非常ニ變ツテ參リマス、品質ノ上
カラハ非常ニ難カシイモノデアアル、サウナ
レバ正量検査以外ニハ延ビナイモノデナカ
ラウカ、斯様ニ私共ハ考ヘマス、然ルニ此
ノ規則ヲ拜見致シマスト丸太ニハ曲リニ對
シテノ規則ヲ正シク御決メニナツテ居リマ
ス、然ルニ角材ニハ輓曲リノ何等ノ制裁ハ
ナイ、角點ニ於テ四寸角ナラバ、四寸、五
寸角ナラバ五寸アルナラバ、是ハ輓イタ後如
何ニ曲ツテ居ラウガ、輓曲リヲシテ居ラウ
ガ何等此ノ規則ニハ制裁ガナイヤウニ私共
ハ見受ケルノデアリマス、斯様ニ規則デハ
實際困難リマス、殊ニ規格ノ上カラ製材其ノ
モノノ種類マデ決メラレマシテ、之ヲ實際
市場デ取引サレマシタモノヲ持ツテ歸ツテ
一般ノ建築ニ使ヒマス時ニハ、現在ノ日本
ノ建築規格カラ見マシテ相當業テナケレバ
ナラヌモノガ出テ居ルノデアリマス、殊ニ
素材検査ノ如キ末口二寸五分、是レ位小サ
ナモノマデ素材検査ヲスル必要ガアラウ
カ、斯ル點カラ考ヘマスナラバ、此ノ際
ハ根本カラ御變ヘテ願フコトガ出來ナイ

カ、サウシテ同時ニ將來ノ日本ノ國土保安
ノ上カラ濫伐ヲ防止スル意味ニ於キマシテ
モ、又不用材ヲ作ラナイ意味カラ考ヘマシ
テモ、先ツ第一ニ日本ノ建築規格カラ御決
メテ願ハナケレバナラナイ問題デアリマス、
此ノ點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リ、宜シク
御賛成願ヒタイノデアリマス

○田中政府委員 成程御話ニ依リマシテ、
殊ニ技術的專門家デナイ私トシマシテハ、
御尤モノ點ガアルノデアリマス、圓頭ニ御
話ノ建築規格ノ決定、是ハ趣旨トシテハ私
モ非常ニ同意デアリマス、併シナガガ御承
知ノヤウナ實情ニアリマスノデ、殊ニ御話
ノ中ニモアリマシタガ、趣味的ナ日本家屋
ト致シマシテハ、中々規格ノ決定、殊ニ地
方的ニ又坪ノ廣サニモ違ヒガアリマシテ、
甚ダ困難デアルト思ヒマスガ、併シ成程御
趣旨ハ私非常ニ賛成デアリマス、唯實行ノ
問題ト致シマシテ、專門家デナイ關係カラ
ハツキリ分リマセスガ、理想カラ言ヘバ反
對申上ゲル筋ハナイト思ヒマス、ソレカラ
検査員ノ質ノ問題デアリマスガ、能ク素人ガ
事務ヲ執ツテ居ル所ガアルカドウカハ、私
ニハ分リマセヌケレドモ、サウ云フ指導
ハ吾等トシテハスル、セヌノ問題デハナク
テ、成ベク検査員ノ質ノ向上ト云フコトニ
付テハ努メテ居ル譯デアリマス、尙ホ個々
ノ曲リノ問題トカ、管外移出ノ検査ニ付テ
ノ取扱ノ問題デアリマストカ、角物ノ寸法
ノ小サイモノ、或ハ丸太ノ寸法ノ小サイモ
ノニ付テモ、餘リ小サイモノハドウカト云
フヤウナ御話ガアリマシタガ、何レノ點ニ
付キマシテモ現ニ角検査ノ趣旨ニハ御賛成
ノヤウデアリマスルカラ、私共ト致シマシ
テハ、出シテ直グ直シテハ確信ガナイデハ

午後四時四十分散會
〔松本治三郎君發言參照〕
青少年學徒ノ校外保護教護ニ關スル
建議
時局益重大性ヲ加ヘツツアル今日青少年
學徒ノ健全ナル發達ヲ畫スルハ刻下ノ急
務ナリ此ノ際政府ハ速ニ校外保護教護事
業ノ規程ヲ定メ其ノ組織ヲ確立シ文部省
内ニ之カ中樞機關ヲ附設スルト共ニ道府
縣ヲシテ其ノ施設ヲ爲サシメ之ニ要スル
經費ハ國庫又ハ道府縣ノ負擔トシ以テ本
事業ヲ促進強化セラレムコトヲ望ム
右建議ス
青少年學徒ノ校外保護教護ニ關スル
建議理由書
青少年學徒ノ健全ナル發達ヲ期スルハ刻
下ノ最急務トスル所ニシテ其ノ目的ヲ達
セムニハ學校ニ於ケル教育ノ完備ヲ期ス
ルト共ニ校外ノ生活環境ニ於ケル彼等ノ
行動ニ意ヲ用ヒ最感受性ニ富ミ感傷性ノ
極メテ強烈ナル彼等ヲシテ四圍ノ誘惑ノ
爲ニ可憐有爲ノ前途ヲ誤ラシメサルヤウ
之カ保護教護ニ力ヲ須フルコトハ教壇ニ
於ケル教育ト同シク最大切ノコトタルヲ
信シ全國各地ノ教育者ニ依リテ校外保護
教護ノ機關ヲ組織シ以テ事ニ當リツツア
ルモ是等ハ國家及府縣公共ノ重要事業ト
シテ一般教育ト共ニ國費公費ヲ以テ之カ
完備ヲ期セザルヘカラス
茲ヲ以テ各保護教護ノ當事者ハ全國聯合
會ヲ作り文部大臣ヲ總裁ニ仰キ連絡提携
シテ之カ進捗ヲ圖リツツアルモ現ニ私設
的團體タルヲ以テ徒徒ニ多クシテ效之ニ
伴ハサルノ憾アリ仍チ昭和七年大會以來

○渡邊三郎君 重ねテ申上ゲマスガ、唯
困難ナ點ハ工聯ニ代行セシメル時ニ絲ノ種
別ガ種海ニナツテトカニ重登録ノ度ガアル
トカ、斯ウ云フ辻局長ノ御答辯ノ理由デア
ツタト思ヒマス、ソコハ今鐵道協同會指示
ヲシテ居リマスカラ御心配ハナイ、隨テ本
案モ皆サシノ御質問ヲ得タイコトヲ望ム次
第デアリマス

○小車主査 本案ニ對シテ御異議アリマセ
ヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○小車主査 御異議ナシト認メマシテ可決
致シマス

者デアリマス、殊ニ是非トモ此ノ用材
ノ規格ヲ精製スルナラバ、先ツ以テ其ノ前
ニ建築規格ヲ國家的ニ精製シナケレバ非常
ニ用ノ材ヲ作ルト云フコトヲ私ハ前ニ申
上ゲテ置キタイ
次ニ政府ガ斯ウ云フ省令デアルトカ告示
デアルトカカカ民ニ強フルナラバ、必ズ行ヒ
得ルモノヲシナケレバナラヌノデアリマス、
形式的ノ法律デアツタリ、告示デアツタナ
ラバ其ノ威信ヲ損ズルノミデアリマス、然
ルニ現在在現ハレテ居リマスモノガ、
私共ガ實地ニ行ハレテ居ル實情ヲ見マスル
ト、農林當局ニ於テハ、此ノ検査ハ完全ニ
行ヘテ居ルト御認メナツテ居ラレマスカ、
又完全ニ行ヘナイト御認メナツテ居ルカド
ウカヲ疑フ者デアリマス、殊ニ九月二十七
日ニ此ノ規則ガ現ハレマシテ、ソレノ二條
三條ニ附隨シテ用材ノ規格規程ハ十月十三
日ニ現ハレマシタ、然ルニ年々變テ来ナイ其
ノ年ノ十二月二十九日ニハ最早御改正ニナ
ルテ居リマス、不備ナ點ガアツテ御改正ニ
ナツタモノト私ハ認メルノデアリマス、又
諸師委員會ニ於ケル山林局長ノ御答辯ニ依
リマシテモ、之ヲ御改正ニナルヤウニ承ツ
タノデアリマス、併シナガガ私ハソレナラ
縫ノ御改正デハ事實ニ則チナイト思ヒマ
ス、根本的ニ御改正ニナラナケレバナラ
ノ御改正ニ於ケル、此ノ用材規格規程ノ第
二十一條ヲ拜見シテ見マスルト、之ニ但書
ヲ加ヘテ、正角ノモノダケハ兩端カラ一尺
以內ノ腐リ以外ハ缺點ト認メス、マルキリ
是レ一條項下規格ノ缺點ヲ審査ハ何ヲナサ
ツテ居ルカ分ラヌヤウナ骨抜コナツテ居リ
ハセヌカ、又正角ダケヲ御認メナルナラバ

午後四時四十分散會
〔松本治三郎君發言參照〕
青少年學徒ノ校外保護教護ニ關スル
建議
時局益重大性ヲ加ヘツツアル今日青少年
學徒ノ健全ナル發達ヲ畫スルハ刻下ノ急
務ナリ此ノ際政府ハ速ニ校外保護教護事
業ノ規程ヲ定メ其ノ組織ヲ確立シ文部省
内ニ之カ中樞機關ヲ附設スルト共ニ道府
縣ヲシテ其ノ施設ヲ爲サシメ之ニ要スル
經費ハ國庫又ハ道府縣ノ負擔トシ以テ本
事業ヲ促進強化セラレムコトヲ望ム
右建議ス
青少年學徒ノ校外保護教護ニ關スル
建議理由書
青少年學徒ノ健全ナル發達ヲ期スルハ刻
下ノ最急務トスル所ニシテ其ノ目的ヲ達
セムニハ學校ニ於ケル教育ノ完備ヲ期ス
ルト共ニ校外ノ生活環境ニ於ケル彼等ノ
行動ニ意ヲ用ヒ最感受性ニ富ミ感傷性ノ
極メテ強烈ナル彼等ヲシテ四圍ノ誘惑ノ
爲ニ可憐有爲ノ前途ヲ誤ラシメサルヤウ
之カ保護教護ニ力ヲ須フルコトハ教壇ニ
於ケル教育ト同シク最大切ノコトタルヲ
信シ全國各地ノ教育者ニ依リテ校外保護
教護ノ機關ヲ組織シ以テ事ニ當リツツア
ルモ是等ハ國家及府縣公共ノ重要事業ト
シテ一般教育ト共ニ國費公費ヲ以テ之カ
完備ヲ期セザルヘカラス
茲ヲ以テ各保護教護ノ當事者ハ全國聯合
會ヲ作り文部大臣ヲ總裁ニ仰キ連絡提携
シテ之カ進捗ヲ圖リツツアルモ現ニ私設
的團體タルヲ以テ徒徒ニ多クシテ效之ニ
伴ハサルノ憾アリ仍チ昭和七年大會以來

毎年熱心ニ審議セラレ其ノ結果毎ニ滿場一致ノ決議ヲ以テ之ヲ政府ニ建議シタルニ拘ラス未タ其ノ實現ヲ見サルハ甚ク遺憾トスル所ナリシモ昭和九年大會以來漸ク諮問ヲ發セラレ本事業ノ重要性ニ付テ確認セラレタルヲ多トス昭和十四年長クモ勸誘ヲ賜ハリ青少年學徒ノ完全ナル教育ニ全力ヲ盡スヘク全國教育者ノ感奮興起スルノ秋本事業ノ組織ヲ確立シ以テ國家教育ノ進展ヲ期スルハ喫緊ノ事ナリト認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

（渡邊玉三郎君發言參照）

宣言
曩ニ綿需給調査協議會設立セラレ次イデ昭和十四年七月全纖維部門ニ涉ル綿需給調整機關トシテ改組セラレ纖維需給調整協議會ト改稱セラレタリ仍而吾人ハ之ガ活用ニ依リ纖維産業從來ノ地歩ヲ確保シ以テ聖戰遂行途上ニアル國家ニ對シ聊カ寄與セムコトヲ期セリ

然ルニ昭和十四年十一月内地向給配給事業ヲ總リテ工聯ノ存在ヲ排除シ配給權ヲ一手ニ掌握スルコトニ依リ業界現在ノ混亂ヲ招來シ却而角ヲ挽メテ牛ヲ殺スノ結果ヲ生ゼシメタリ即チ六百三十餘萬圓ノ明年度度大豫算ノ計上二千八百餘名ノ職員ト之ガ増員豫定事務澁滞過重負擔等枚舉ニ遑アラズ然モ國家ノ現狀ニ徴シ將又國策ニ照シ妥當ト認ムベキモノ更ニナシ果シテ然ラバ吾人ハ眞ニ現時局ヲ認識シ業界ノ將來ヲ憂慮シ併而纖維需給調整協議會ノ健全ナル活動ヲ切望スルガ故ニ全國綿織物業者代表者大會ヲ開催シ業者ノ總意ニ依リ萬難ヲ排シテ之ガ機構ノ改革

ヲ期シ併而事業運用方針ノ是正ヲ期セムトス

右宣言ス

昭和十五年二月二十六日

全國綿織物業者代表者大會

決議

現纖維需給調整協議會ハ別記要綱ニ基キ速カニ其ノ機構ヲ改革スベキモノト認ム右決議ス

昭和十五年二月二十六日

全國綿織物業代表者大會

代表者 秋草 好作

理由

昭和十四年十一月以來纖維需給調整協議會事務執行ノ實績ヲ見ルニ國內用絲割當ノ算定ニ屢々業者ノ諒解ニ苦シムモノアルモノニ對シ何等適切ナル指導ヲ與ヘザルノミナラズ最モ迅速ヲ要スル配給ハ常ニ澁滞シテ業者ヲ不當ニ壓迫シ偶々之ガ救済ニ關シ衷情ヲ披瀝セムトスルモ本支部ノ連絡不圓滑ニシテ其ノ目的ヲ達スルニ由ナキ等々業界ハ之ガ怨嗟ノ巷ト化シ去リタリ畢竟之レ業界ノ實情ニ精通セズ且配給技術ニ經驗ト自信ナキモノヲ以テ協議會ヲ組織シ單ニ机上ノ計畫ニ依テ複雜ナル配給事務ヲ遂行ヲ期セムトスル矛盾ヨリ生ズル弊害ニ外ナラズ依而別記要綱ニ基キ速カニ機構ヲ改革シテ民意ノ暢達ヲ計ルハ我邦刻下ノ情勢上極メテ緊急ナリト信ズルガ故ナリ

纖維需給調整協議會機構改革要綱

- 職制
1 專任專務理事ヲ常置スルコト
2 理事會ハ有力工聯ヲ以テ組織スルコト
事業

1 統制事業

2 製品規格検査並ニ絲量檢閱事業
現在ノ纖維支部ハ其ノ儘存置シ規格検査、絲量検査等ニ專念セシメ之ガ監督指導ノ任ニ當ラシムルコト

統制事業ノ内容

- A 企劃ノ府トスルコト
- B 設備ノ登錄
- C 織機一臺當リノ絲種類別封度數量算定發表
- D 登錄織機ノ基準臺數算定方法ヲ左ノ如クスルコト
イ 如何ナル配給絲ヲ使用スル者ト雖モ同一名義人ニ付テハ其ノ綜合織機臺數ヲ以テ基準臺數ヲ算定スルコト
ロ 決定基準臺數ニ對シテハ業者ノ希望纖維ヲ決定シ併セテ各工聯ノ所屬組合分野ヲ明瞭ナラシムルコト
各工聯ハ纖維登錄番號ニ工聯登錄番號ヲ附記シ纖維ニ届出ツルコト
- E 工聯ハ前項ニ依リ決定セル當該工聯ノ分野別絲ノ割當數量ヲ一括シテ受ケ纖維ノ決定セル一定ノ基準ニ依リ其ノ所屬組合別割當ヲ爲ス
- F 各地方工業組合ハ工聯ヨリノ割當ニ基キ纖維決定ノ割當基準ニ依リ所屬組合員別割當數量表ヲ作成シ各所屬工聯ニ報告スルコト
- G 割當票ノ發行ハ前號ノ報告ニ基キ各工聯ニ於テ之ヲ爲ス
- 前項ニ依リ配給統制ヲ爲ス場合業者ノ希望番手ト實際割當番手トノ合致セザル事等生ズベシ、之ガ對策次ノ如シ
- 1 織物ノ生産統制ニ依リ之ガ處理ヲ爲ス

2 生産統制實施ノ場合其ノ製品ハ各關係工聯（又ハ當該纖維製品配給會社ヲ設立シ）ガ一手買上、加工又ハ布帛ヲ爲サシメ消費階級ニ對スル配給ヲ確保ス

3 中間配給者ニ對シテハ、コミツショントシテ一定料金ヲ支拂フ

以上ニ依リ機構改革ヲ爲サントスル場合各工聯ノ登錄織機決定ニ伴ヒ當該各工聯分野ノ混亂ヲ惹起シ著シク強弱ヲ生ゼシムル（即チ一工場ガ數種ノ工聯ニ加入シ居ル場合ハ其ノ所屬スベキ工聯ヲ新ニ選擇スル必要ヲ生ズ）虞アリト考ヘラル、モ此ノ問題ハ纖維設立以前ノ事實ニ基ク憶測ニシテ今日ニ於ケル纖維ノ事業運用ニ因ル幾多ノ缺陷ヲ認メテキル現在ニ於テハ工聯ト業者ノ自覺ニ照シテ聊カモ危惧スル要ナシ

昭和十五年二月二十七日印刷

昭和十五年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十五回帝國議會 院 建議委員會第二分科(農林省、商工省及厚生省所管) 會議錄(速記)第二回

會議

昭和十五年三月五日(火曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

主席 小串 清一君

釘本 衛雄君

大野 一造君

中川 重春君

長野 綱良君

兼務 山田 清君

濱地 文平君

委員長 齋藤 直橋君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 鶴見 祐輔君

文部參事官 仲井間宗一君

商工省總務局長 辻 謙吾君

特許局長官 大貝 晴彦君

厚生政務次官 一松 定吉君

保險院社會保險局長 清水 玄君

主任ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員星 一君 議員西川 貞一君

議員宮本雄一郎君 議員塚本 重藏君

本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ

內務省所管

一 印章ノ製作保管販賣ニ關シ取締令制定ニ關スル建議案(原玉重君提出)(第四〇號)

二 輕井澤親不知間國道改修ニ關スル建議案(羽田武嗣郎君提出)(第四六號)

農林省所管

三 自治功勞章制定ニ關スル建議案(宮本雄一郎君外三名提出)(第四七號)

四 官幣中社赤間宮昇格神社擴張ニ關スル建議案(西川貞一君外一名提出)(第八號)

文部省所管

五 學校ノ夏期休暇延長ニ關スル建議案(星一君提出)(第四三號)

六 學校教育ノ完成ニ關スル建議案(星一君提出)(第四四號)

農林省所管

七 飼料配給對策速進ニ關スル建議案(伊藤東一郎君外二名提出)(第四號)

八 飼料確保ニ關スル建議案(菊地養之輔君外二名提出)(第二二號)

九 飼料資源ノ確保並配給機構整備ニ關スル建議案(河野一郎君外十四名提出)(第四一號)

商工省所管

一〇 棉作獎勵ニ關スル建議案(林平馬君外一名提出)(第二七號)

一 石炭ノ國家管理ニ關スル建議案(加藤鐵造君外二名提出)(第三二號)

二 夕バオ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(西川貞一君外一名提出)(第三三號)

三 夕バオ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(伊禮繁君提出)(第三四號)

四 夕バオ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(田原春

次君外二名提出)(第三六號)

一五 夕バオ麻生産組合ノ生産セルマニラ麻輸入許可ニ關スル建議案(濱地文平君外一名提出)(第四二號)

一六 一億圓懸賞發明募集ニ關スル建議案(星一君提出)(第四五號)

厚生省所管

一七 健康保險法改正ニ關スル建議案(塚本重藏君外三名提出)(第二二號)

一八 農村ノ肺結核豫防ニ關スル建議案(林平馬君外一名提出)(第二二號)

一九 勞務者厚生年金法制定ニ關スル建議案(井上良次君提出)(第一七號)

二〇 勤勞者住宅建設計畫ノ擴充促進ニ關スル建議案(井上良次君提出)(第一八號)

二一 鑛山従業員ニ厚生保險及年金制度創設ニ關スル建議案(川保清音君外一名提出)(第三〇號)

〇 小串全查 是ヨリ會議ヲ開キマス、都合ニ依リマシテ文部省所管ノ日程第五ヨリ始メマス、日程第五、學校ノ夏期休暇延長ニ關スル建議案、第四三號、提出者星一君ノ説明ヲ求メマス

〇 星一君 只今議題ニ上程致サレマシタ建議案ハ、學校ノ夏期休暇ヲ三箇月乃至五箇月ニ延長シ、其ノ間學生ヲシテ勤勞セシメルコトニ教育令ヲ改正シ、本年度カラ之ヲ施行サレシコトヲ望ムト云フノデアリマス、理由ハ現在學校教育ノ弊ハ學生ニ知識ヲ過度ニ詰込マシメントシテ居ルノデアリマシテ、

夏期休暇モ外國、殊ニ北米合衆國ノ四箇月ニ比ベバ極メテ短少デアリマス、隨テ學生ノ體育上ニモ亦實地見學上ニモ缺クル所ガアリマス、學校教育ハ家族的生活ト國家的生活トガ不可分ナケレバナラヌト思ヒマス、夏期休暇ヲ延長スルコトハ、其ノ不可分ノ目的完成ノ一助ト思フノデアリマス、今ヤ我國ハ肇國以來ノ大使命タル東亞ノ新秩序ヲ建設シ、以テ東亞永遠ノ安定ヲ確保セシガ爲ニ、國家ノ總力ヲ發揮スベキノ秋デアリマス、故ニ政府ハ速ニ舊制ヲ改メ、處ニ從ヒ、學校ノ夏期休暇ヲ三箇月乃至五箇月ト爲シ、學校教育ト家族生活、國家生活ト一致セシメラレシコトヲ望ムト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、健全ナル頭腦ハ健全ナル身體ニ宿ルト言ウテ居ル通り、餘リニ知識上ニ重キヲ置イデモ、ソレハ人ヲ造ル所以デハナイト思ヒマス、知ツテ居ルト云フ人ヲ造ルト云フコトハ間違ヒダト思ヒマス、誰ニ聽イタラバ分ルカト云フ正シイ問ヲ持テ得ル人ヲ造ルノガ教育デアラウト思ヒマス、故ニ家庭生活ト又國家生活ト一致シテ行ケルヤウニ、教育ト云フモノハ出來テ居ナケレバナラヌト思ヒマス、結局今ヤ日本ガ新シイ秩序ヲ作ルト云フコトデアリマスカラ、新シイ秩序ヲ作ルノニハ吾々ガ過去經驗シテ來タ生活ト異ツタ、之ニ新自治生活トモ謂フベキ生活ニ進マシメナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日本ノ直面シテ居ル日本國民生活、是ノ基礎ヲ諒解セシメル爲ニハ、ドウシテモ今マデ

教ヘテ、ソレデ宜イノダ、是ダケハ文部省ニ御考ヲ願ヒタイ、科學トハ何ダ、科學トハ經驗ノ法則デアリマス、此ノ法則ハ進歩ニ依ツテ變ツテ行キマスケレドモ法則デアリマス、此ノ經驗ノ法則ヲ教ヘルニハ、經驗ガアツタラ樂ダト云フコトガ、是ハ當然分リサウナモノダ、ソレヲ經驗ノナイ者ニ經驗ノ法則ヲ注込デ、サウシテ忘レテ居リハセスカト試験ヲスル、斯ウ云フコトハ間違デアル、學校ヲ教ヘタモノデ此ノ世ノ中ニ設立ツタモノハ一ツモナイト多クノ學者ハ言ツテ居ル、新渡戸先生モタツタ一ツシカナイト言ハレマシク、此ノ世ノ中ニ同ジ物ガ二ツ無イト同ジコトデ、學校ヲ教ヘタ所ヲ其ノ儘實行出来ルナント云フコトヲ考ヘテ居ルノハ間違デアリマス、ドウゾ是ハ眞劍ニ考ヘテ、殊ニ東亞ノ永遠ノ安定ヲ確立シ、確保シテ行ク大キナ時代ニ直面シテ居ルノデアリマスカラ、是ハ文部省ハ必ズ私ハ實行シテ頂戴シタイと思ヒマス、第一文部省ハ子供ヲ教ヘル時ニハ、其ノ子供ノ親達ニ聽クノガ一番宜イト思ヒマス、親ガ一番正シイ判斷ヲスルと思ヒマス、ダカラアナタ方ノ審議會ハドウ云フ人ヲ呼ンダカ知ラヌケレドモ、一番親ガ正シイ判斷ヲサシテ居ル、所謂愛スルカラ心配シテ居ル、母親ニ聽イテ御覽ナサイ、私ノ説ニ皆賛成スルト思ヒマス、文部省ガ親ノ心ヲ無視シテ人間ヲ斯ウ云フ風ニシテ造リ得ルナント云フコトハ、意思モ何モ無視シテ議論ダト思ヒマスカラ、此ノコトハ文部省ニ篤ト考ヘテ貰ヒタイ、今年カラ實行シテ貰ヒタイ、斯ウ御願シタイノデアリマス

○訂本委員 一寸提案者ニ御覽キシタイノデスガ、科學ト云フテモ色々慶イノデアリマシテ、實習出来ルモノモアリマセウシ、社會科學ノヤウニ理論ダケヲ學ブ科學モアリマスカラ、サウスルトサウ云フモノハドウ云フ風ニスルノデセウカ、實習出来ルモノダケ實習シテ、實習出来ナイ科學ハ其ノ儘入學ヲ許スト云フヤウナコトニスルノデセウカ、一寸御覽致シマス

○星一君 實習ノ出来ナイ科學ノ例ハドンナモノデゴザイマセウカ

○訂本委員 例ハ社會科學ニ屬スルモノ、經濟學トカ或ハ喧マシイ問題ニナツテ居ル「マルクス」ノ學說「ヤウナモノヲ研究スル科學ノヤウナモノ」ハドウスルノデセウカ

○星一君 私人今日實生活ト雖レテ居ル「サイエンス」ハ殆ドナイと思ヒマス、ソレデアリマスカラ法學ヲ勉強シタイ者ニハ司法省ニ働カセルトカ、辯護士ノ家ニ働カセルト云フコトガ出来マス、例ハ美術、所謂繪ヲ描カウト云フモノハ畫家ノ所ニ奉公サセルナリ、或ハサウ云フ印刷物ヲスル場所ニ奉公サセルコトガ出来マス、唯茲ニ問題ハ哲學ハ科學トハ又別ニ取扱フテ居リマスガ、「フイロゴザイ」ト云フモノハ極ク少イノデアリマスカラ、大抵ノ學生ノ大部分ハ皆其ノ中ニ入レルコトガ出来ルト私ハ思ヒマス、出来ナイモノハ一ツモナイと思ヒマス、ドンナモノデモ今ノヤウナ「マルクス」ノ理論ヲ研究スル其ノ専門ノ人ガ出来ルカドウカ知リマセウガ、經濟學ノ一部分ニ「マルクス」ノ學說ガアルナラバ、其ノ人ハ餘所ノ會社ナリ、商會社ナリ、或ハ工場ナリデ働イテ來テ、ソレヲ續ケテモ私ハ惡イコトハナイと思ヒマス、サウシテ今私ノ提案ノヤウナコトニスルト、今ノ入學

難ヲ救フコトガ出来マス、今ハ唯學校ヲ卒業シタト云フコトデ、文部省ノ方針ガ惡イカラ皆ソレニ行ツテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ風ニ實際ニヤツテ居ルト、學問ヲセズデモ、一年間ノ實習ノ間ニ自分ノ向ハントスル所ニ自分ヲ發見スル、俺ニハ斯ウ云フ技能ガアルト云フ、所謂自己發見ガ出来テ、サウシテ進んで行クヤウナ人ガ出来テ、來ルト思ヒマス、今日ハ徒ニ學校ノ爲ニ其ノ働クベキ、考ヘルベキ時間ヲ浪費シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ今ノ實驗ヲスルニ難カシト云フモノハ一ツモナイト私ハ思ヒマス、或ハ一万人ニ一人位アルカドウカ分リマセウガ、斯ウ思ツテ居リマス

○訂本委員 御覽旨ハ一個ノ意見トシテ大變面白イコトデアリマスガ、之ヲ直チニ實行スルト云フコトニハ餘程研究スル餘地ガアラウト考ヘマスシ今日ハ委員ノ出席モ極メテ少イコトデアリマスカラ、先程ノ案同様採決ヲ保留サレシコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○小串圭查 御覽成ガアリマスカラ、ソレデハ訂本委員ノ勸諭ニ依ツテ延期シテ置キマス

○小串圭查 次ハ内務省所管ノ日程第三、自治功勞章制定ニ關スル建議案ヲ附議致シマス—宮本雄一郎君

○宮本雄一郎君 本建議ハ市町村長即チ名譽職ニ依ル自治當局者及ビ永年市町村會議員ノ職ニ在リマシテ功勞顯著ナル者ニ對シテ、自治功勞章ノ制ヲ設ケマシテ、之ヲ表彰シタイト云フ建議案デゴザイマス、極メテ簡單ニ建議ノ理由ヲ申述ベテ置キマス、我國ニ於ケル市町村制ハ明治二十一年ノ公布デアリマシテ、翌二十二年ヨリ實施セ

ラレテ居ルノデアリマス、今日ニ及ビマシタ此ノ間實ニ五十有餘年ノ星霜ヲ經テ居ルノデアリマス、申スマデモナク自治ハ國家興隆ノ根本デアリマシテ、即チ國家ノ基礎ヲ成シテ居ルモノデアリマス、而シテ市町村ハ單ニ其ノ固有事務ヲ處理スルノミナラズ、極メテ廣汎且ツ煩雜ナル國家事務ノ委任ヲ受ケテ、之ヲ處理シテ居ルノデアリマス、是ガ局ニ當ル者ノ苦心ハ中々多大デアリマシテ、推察ニ餘リアル次第デアリマス、願ミマスレバ維新ノ大業ガ成リマシテ、立憲政治ノ大綱ガ決定セラレ、地方分權ノ制度ガ成ルト申シマシテモ、國民全體ガ未ダ自治ニ慣レズ、而モ市町村財政ハ觀望ノ一途ヲ辿ツテ居リマシテ、其ノ經營ハ極メテ困難ナル沿革ヲ經テ居ルノデアリマス、然ルニ克ク此ノ困難ニ堪ヘ、而シテ公共事業ヲ振起シマシテ、以テ國家興隆ノ使命ヲ果スベキ所ノ基礎ヲ固ク致シマシテ、此ノ五十年間ニ於キマシテ國モ大分大キナ事變ニ際會致シマシテ、能ク此ノ場合ニ於キマシテ自治體ノ使命ヲ盡シ得テ參リマシタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、今回ノ日支事變ニ際シマシテモ、能ク此ノ後ノ憂キニ至ラシメタト云フコトニ付キマシテハ、常ニ市町村當局者ヲ初メ、是ト協力援助ノ誠ヲ效シテ居リマス市町村會議員ノ力ニ負フ所ガ亦多大デアルト考ヘマス、凡ソ功ヲ顯ハシ努力ヲ盡スルハ人ヲシテ感奮興起セシメ、益々奉公ノ志ヲ固カラシムル所以デアリマス、政府ハ宜シク思ヒテ茲ニ致サレマシテ、自治功勞章ノ制ヲ定メ、市町村當局者ヲ初メ、市町村會議員ニシテ多年其ノ職ニ在リマシテ功勞顯著ナル者ニ、之ヲ授與致シマシテ、其ノ功勞ヲ表彰

ノ方途ヲ講ゼラレンコトヲ希望シマス、以上ガ本案提出ノ理由デアリマス、尙ホ此ノ機會ニ極メテ簡單ニ此ノ問題ノ沿革ヲ申述ベマシテ、政府ノ御所信ヲ伺ヒ、皆豫方ノ御贊成ヲ御願シタイト存ジマス、此ノ問題ハ大分長イ問題デアリマシテ、安達謙藏君ガ内務大臣當時デアツタト記憶致シテ居リマスガ、當時ノ内務大臣トシテ大分之ニ御同情ヲ寄セラレマシテ、是ガ制度ノ制定ニ付キマシテ、大分進バレタコトガアツタノデアリマス、此ノ關係ハ内務省ノ記録ニハ殘ツテ居ラナイカモ知レマセウガ、其ノ後問題ガ一時殆ド消エタノデアリマス、故ニ本議會ニ於キマシテモ、前會又前々會ニモ建議案ト致シマシテ、自治功勞章ノ問題ハ、本議會ヲ通過致シテ居ルト存ジマス、然ルニモ拘ラズ其ノ以後ノ當局ニ於キマシテモ、是等ノ問題ニ關心ヲ持タレマシテ、是ガ制定ノ運ビヲ爲サントスル意思ガ洵ニ認メラレナイノデアリマス、故ニ重ねテ此ノ建議案ヲ提出致シタ次第デアリマス、是非當局ノ御所信ヲ伺ヒマシテ、皆サンノ御贊成ヲ御願致シタイと思ヒマス

○鶴見政府委員 御答ヲ申上げマス、自治功勞章ノ制定シタイト云フ御建議デゴザイマスガ、只今時勢ノ進展ニ伴ヒマシテ、市町村ノ仕事ガ非常ニ複雑ニナリ、御忙シクナツテ居リマスシ、又殊ニ最近日支事變勃發後、徒後ノ完備ヲ期スル爲ニ非常ニ並々ナラヌ御努力ヲ市町村ノ當事者ノ方ガ爲サツテ居リマスコトハ、政府トシテモ非常ニ感謝致シテ居ル所デアリマス、隨テ市町村ノ當局者ハ勿論、市町村ノ議員ノ方々ニ付キマシテモ、優遇ノ方法ヲ篤ト政府デモ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、只今御述ニナ

リマシタヤウニ、一般ノ功勞者ニ對シマシテハ既ニ表彰條令ニ依リマシテ、或ハ藍綬褒章ヲ下賜セラレマシタリシテ、内務大臣カラ表彰ヲ致シテ居リマス、例ハ内務大臣ガ表彰ノ數字ナド、最近非常ニ増加致シテ居リマシテ、明治四十二年カラ昭和十二年マデニ百五十一ゴザイマシタノガ、昭和十三年ニハ自治五十周年記念モゴザイマシテ、四百二十一ト云フ數字ニナツテ居リマス、總計五百七十二ニナツテ居リマス、又更ニ市町村長ニ對シマシテハ、叙勳ノ途モ開カレテ居ル次第デゴザイマスガ、十三年ノ四月ニ此ノ叙勳ニ關スル内規ヲ變ヘマシテ、更ニ優遇ノ方法ヲ講ジテアルノデアリマシテ、自治ノ功績ニ付テ顯著ナル方々ニ對シテハ、種々ナ方法ヲ其ノ御功勞ヲ表彰スルト云フコトニ努力致シテ居ルノデアリマス、例ハ敘勳セラレマシタ市町村長ノ數、最近非常ニ増シテ居リマスコトヲ數字ニ付テ一寸申上げマス、昭和三年カラ昭和十二年マデハ一番多イ年ガ昭和三年ノ百二デアリマス、昭和十二年ニハ僅ニ三十二デアリマシタモノガ、昭和十三年ニハ一躍二百二ニナツテ居リマス、昭和十四年ニハ更ニ殖エマシテ、二百五十七人ニナツテ居リマス、市町村當局者及ビ其ノ議員ノ方々ニ十分ナ表彰ノ途ヲ開キタイト云フコトハ、政府トシテモ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、唯此ノ際從來ノヤリ方ヲ變ヘマシテ、建議ノ御趣旨ノヤウニ、自治功勞章ヲ直チニ作ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、既ニ昭和十三年四月ニ一週改正ヲ致シマシテ、優遇ノ途ヲ開イタ直後デモゴザイマスカラ、更ニ十分ニ研究ヲ致シタイト存ジマス

○訂本委員 只今ノ建議案ニ對シテ政府委員カラノ御説明ヲ拜聽致シマシテ、御尤モニ存ジタノデアリマスガ、自治功勞者ニ對スル表彰ハ、唯其ノ足ラザルコトヲ恨レルト云フ状態ニアリマス、此ノ案ハ直チニ可決サレシコトヲ望ミマス

○小串圭查 本案ノ可決ニ御異議アリマセウカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○小串圭查 御異議ナシト認メマシテ、可決確定致シマス

○小串圭查 次ハ日程第四、官幣中社赤間宮昇格並神城擴張ニ關スル建議案—提出者西川貞一君

○西川貞一君 只今上程サレマシタ建議案ノ趣旨ヲ辨明致シマス、官幣中社赤間宮ハ山口縣下關ニ鎮座サレマシテ、安徳天皇ヲ奉祀スル神社デアリマス、長クモ、一天萬乘ノ皇祚ヲ繼ギ給ヘル、天皇ヲ奉祀致シマシテ、官幣中社ノ社格デアルトハ極メテ異例デゴザイマス、國民ト致シマシテ洵ニ恐懼ニ堪ヘザルモノガアルノデアリマス、天皇ヲ奉祀セル本社ニシテ官幣中社ニアラセラルル神社ハ他ニモ一二デアリマス、其ノ理由ニ付キマシテハ—何ガ故ニ、天皇ヲ奉祀スル神社デアツテ、官幣中社デアラセラレカト云フ理由ニ付キマシテハ、當局ニ於テ公式デアリマセウガ、説明ヲ聽イタコトガアリマス、併ナガラ吾々國民ト致シマシテハ承服致シ難イ説明デアルノデアリマス、私ハ此處當局ノ説明サレマシタ理由ヲ申上げルコトスラモ、恐懼ニ堪ヘナイト存スルノデアリマス、安徳天皇ノ御生涯ニ付キマシテハ、何人モ能ク承知致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ御生涯デアリマシタルガ故ニ、官幣中社デアラセラル

ルコトハ、洵ニ恐懼ニ堪ヘマセウ、萬世一系ノ皇祚ヲ繼ギ給ヘル、天皇ヲ奉祀セル神社デアリマス、内務當局ニ於キマシテハ此ノ尊嚴ナル御祭神ノ御神德ニ鑑ミラレマシテ、速ニ我國神社制度ニ於ケル最高ノ社格デアラセラルル官幣中社ニ御昇格遊バサレル措置ヲ執ラレマシテ、敬神崇祖ノ赤誠ヲ致サレタイノデアリマス、尙ホ同時ニ建議案ニ於テ政府ニ建議致サントスル趣旨ハ、同社ノ神城擴張ノ點デゴザイマス、同社ノ神城ニハ、安徳天皇ノ御陵ガゴザイマシテ、阿彌陀寺ノ御陵ト申上げテ居ルノデアリマス、此ノ阿彌陀寺御陵ハ甚ダ規模御粗末デゴザイマス、而モ同所ハ所謂日本ノ關門デアリマス、内外交通ノ要衝ニ當ツテ居ルノデアリマス、隨テ内外人トモ此ノ地ヲ通過致シマス者ハ、多ク此ノ神社ニ參拜ヲ爲シ阿彌陀寺御陵ニ參拜致スノデアリマスガ、其ノ規模甚ダ御粗末デアリマス、其ノ國民ノ齊シク恐懼ニ存ジテ居ツタ所デアリマス、然ルニ山口縣ニ於キマシテハ、紀元二千六百年ノ記念事業ト致シマシテ、此ノ御陵ノ兆域擴張、御修築ノ事業ヲ計畫致シマシタ、長クモ、上關ニ達シマシテ、宮内省ヨリ多額ノ御下渡金ガゴザイマシテ、只今其ノ工事ニ著手致シテ居ルノデゴザイマスガ、丁度此ノ御陵ハ赤間宮ノ境内ニ一翼ヲ爲シテ居ルノデアリマシテ、他ノ一翼ハ依然トシテ極メテ御粗末ナル儘ニ放置サレテ居ルノデアリマス、而モ其ノ御粗末サハ單ニ規模ガ狭小デアラセラルルミデナク、洵ニ恐懼ニ堪ヘザルモノガアルノデアリマス、政府委員ハ當局トサレマシテ若シ御參拜サレマシテ、其ノ境内ノ模樣ヲ御覽ニナリマシタルガ故ニ、又甚ダ恐懼ニ堪ヘザルモノガ

アル御感ジナルニ違ヒナイ、私ハ一々之ヲ舉ゲテ申シマセスガ、實ニ臣民トシテ恐縮ニ堪ヘナイコトモアルノデアリマス、是ハ私ガ此處デ一々申上ルコトヲ忍ビナイ、デゴザイマスカラ、御社格ヲ官幣大社ニ御昇格アラセラルレト共ニ、御社ノ擴張ヲ國費ヲ以テ行ハレトコトヲ建議スノデアリマス、斯ル事業ニ對シマシテハ、或ハ地方ヨリ淨財ヲ募リ、寄附金ニ依ツテ之ヲ爲スト云フヤウナコトハ、行ハレノデアリマスガ、既ニ先年赤間宮ノ神殿ノ御造營ニ際シマシテ、十數万円ノ寄附金ヲ集メテ居ル、今回又縣ガ主體トシテ阿彌陀寺ノ御殿ノ兆域擴張御修築ヲ申上ルニ當リマシテ、官内省ヨリ多額ノ御下渡金ガアリマシタニモ拘ラズ、縣ハ縣費ヲ以テ支出スルコト極メテ僅カデアリマシテ、又地元ヨリ相當多額ノ寄附ヲ集メテ居ルヤウナ次第デアリマス、今回ノ稅制改革ノ提案ニ際シテ、内務當局ガ國費ニ於キマシテモ、地方費ニ於キマシテモ寄附金ヲ募集スルヤウナコトハ、成ベク避ケタイト云フコトヲ明ニサレテ居リマスルコトハ、政府委員御承知ノ所デゴザイマスガ、斯ウ云フ風ニ引續イテ寄附金ニ依ル事業ガ行ハレマシタル此ノ際デゴザイマスカラ、此ノ神社ノ最後ノ完成ヲ致シマスル今回ノ事業ハ、是非ト國費ヲ以テ御支辨ニナツテ、速ニ事業ノ完成ヲ圖ツテ戴キタイト云フノガ、建議ノ趣旨デゴザイマス、此ノ際政府當局ノ御意見ヲ承リマスルト共ニ、問題ノ性質ニ鑑ミマシテ、委員諸君ノ贊成ヲ戴カントコトヲ御願スル次第デアリマス

○西川貞一君 本建議案提案ノ理由ハ、海
午後二時三十分休憩
午後二時三十分休憩
○小車室 御異議ナシト呼フ者アリ
○小車室 御異議ナシト認メマシテ、釘
本君ノ動議ノ通り決定シマス——暫時休憩
致シマス
午後二時三十分休憩
午後二時三十分休憩
○小車室 御異議ナシト呼フ者アリ
○小車室 御異議ナシト認メマシテ、釘
本君ノ動議ノ通り決定シマス——暫時休憩
致シマス
午後二時三十分休憩
午後二時三十分休憩

外同胞ノ拓殖事業ヲ保護助成スル爲ニ、比
律賓群島、ダバオニ於テ在留同胞ノ麻栽培
者ガ組織スル「ダバオ」麻生産組合ノ生産セ
ル「マニラ」麻ノ輸入ヲ許可スルノ處置ヲ執
ラレトコトヲ望ムノガ建議ノ趣旨デアリマ
シテ、大體此ノ趣旨一應ノ理由ハ盡キテ
居ルノデアリマス、又建議案ノ理由書ニ明
記致シテ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ
際尙ホ別個ノ此ノ以外ノ理由ニ付テ申上ル
テ、政府當局ノ御考慮ヲ煩ハシタイと思
フノデアリマス、麻ガ漁業方面ニ於テモ工
業方面ニ於テモ極メテ重要ナル生産ノ資源
ナルコトハ、申スマデモナイノデアリマ
ス、然ルニ貿易ノ調整ノ爲ニ是ガ可ナリ窮
屈ナ制限ヲ蒙ツテ居リマシテ、各方面ニ支
障ヲ及ボシテ居ルコトハ、政府ノ能ク御承
知ノコトデアリマス、特ニ私ガ之ヲ此ノ際
極メテ重大視シテハナラズト思フノハ、
水産方面ニ於ケル「マニラ」麻ノ資材ガ缺乏
シテ居ル爲ニ、水産生産力ノ上ニ多大ノ影
響ヲ致シテ居ル點デアリマス、現在私共ガ
本當ニ眞剣ニ考ヘナクテハナラズノハ、食糧
ノ問題デアリマスガ、色々ノ關係上家畜
ノ飼料ガ非常ニ缺乏シテ居ルコトハ争フベ
カラザル事實デアリ、又當局ガ如何ニ御努
力ニナリマシテモ、十分ナル家畜飼料ノ供
給ヲスルコトハ當分ノ間不可能デアラウト
考ヘラレ、其ノ結果家畜ハ急激ニ減少シ
ツツアルノデアリマス、特ニ養鶏業者ノ如
キハ飼料ハ非常ニ高價ノニ、卵ノ値段ハ割
合ニ安イ、是デハ引合ハナイカラ成バク駄
鶏ヲ整理シテハナラズ、ソコデ現在駄
鶏ノ整理ヲ強行シツツアリマスガ、既ニ
駄鶏ヲ整理シテハミデハ追付カナイカラ、
優秀鶏ヲ整理ノ槍玉ニ上ツテ、急激ニ

ハ現在ノ「ダバオ」ニ於ケル其ノ價格ト、サ
ウシテ内地ニ輸入サレテ是等ノ輸入商ヨリ
賣出サレル價格トノ關係ヲ、ズツト數字
ニ統計ヲ取ツテ見マサルナラバ、ヤ
ハリ相當ニ大キイ開キガアル、デアリマス
ルカラハ是ハ儲カデモ直接輸入ノ途ヲ開キマ
スルナラバ、少クモ價格ノ公正ヲ圖ルコ
トガ出來ル、サウシテ是等ノモノガ少シデ
モ有利ニ輸入スルコトガ出來ルマサルナラ
バ、ソレダケ内地ニ是等ヲ消費致シマスル
消費者ガ助カルト云フダケデナシニ、同ジ
三百萬圓ナラ三百萬圓ノ爲替ニ依ツテ、今
マデ六十萬圓輸入出來テ居ツタモノガ、六
十三萬圓ナリ六十五萬圓ナリ輸入ガ出來ル
コトニナル、其ノ二萬圓モ二百萬圓、ソ
レガ非常ニ大キナ水産資源ノ開發ニ役ニ立
ツノデス、ソレカラ又向フノ方デハ自分等
ノ生産シタ麻ヲ、少シデモ有利ニ日本ニ輸
出スルコトガ出來ルナラバ、是ハ日本ニ輸
出スルダケデハナク、亞米利加ニ輸出スル
モノモ歐羅巴ニ輸出スルモノモ、全部ノ方
面ニ輸出スル麻ヲ有利ニ賣ルコトガ出來ル
カラ、一万八千人ト云ウテ居リマスル「ダバ
オ」ニ於ケル麻生産者ノ同胞ノ經濟ガ非常
ニ裕カニナル、ソレガ裕カニナルベナル程
内地ニ對スル送金ヲ増加スルコトガ出來
ル、隨テ内地ニ直接販賣シタ麻ノ價額ハ、
之ヲ「ダバオ」ニ持テ歸リナクとも、内地ニ
於テ之ヲ預金スルコトモ出來ル、又内地ノ
物資ヲ物々交換ノ持テ歸ヘルコトガ出來
ルノデアリマス、何レノ方面カラ私共ガ檢
討致シマシテモ、是ハヤハリ許可シテヤル
ガ宜シ、之ヲ許可ガ出來ナイト云フ理由
ニ付キマシテハ、吾々ノ從來ノ研究ニ依リ

マスト、大數網ノ漁業、詰リ定置漁業デス、
是ハ割合ニ努力モ要ラナイシ石油モ要ラナ
イノデス、極メテ原始的ノ漁法デ、一ツノ
網代ニ網ヲ張ツテ置ケバ其處ニ魚ガ來テ網
ニ掛ル、ソレヲ朝晩ノ二回引揚ゲサヘスレ
バ宜イノデス、所ガ是ガ非常ニ成績ガ好イ、
此ノ定置漁業ノ成績ガ近年宜イノハドウ云
フ理由カト申シマス、ヤハリ油トカ、
其ノ他ノ資材缺乏ノ爲ニ漁船ガ沖へ出ル回
數ガ減ツテ居ル、隨テ魚族ガ能ク繁殖シテ、
ソレガ近海マデ泳イデ來テ定置漁業ノ網ニ
引掛ルノデス、所ガ此ノ定置漁業ニ對シテ
「マニラ」麻ノ供給ガ不十分デアルカラ、魚
ハ居ツテモ之ヲ十分ニ捕獲スルコトガ出來
ナイ、近來ハ斯ウ云フコトガアルノデス、
「マニラ」麻ノ供給ガ不足ノ爲ニ非常ニ粗悪
ナ原料ヲ混用シテ網ヲ作ル風ガアル、或ハ
一度使ツタ古い糸ヲ編ミ込シテ居ルヤウナ
「マニラ」麻ノ網ヲ編ミ込シテ居ルヤウナ
モノモアルラシイ、又規格ノ悪イモノヲ使
ツテ居ル、サウ云フコトガアルラシイ、ソ
レデ極ガ非常ニ澤山入ツタトカ、筋ガ入ツ
タト云フ時ニハ、引揚ゲル時ニ網ノ底ガ抜
ケタト云フヤウナコトガアル、是等ヲ何
トカシテ補フ爲ニ、此ノ際一袋デモ二袋デ
モ餘計ニ「マニラ」麻ヲ輸入スル途ヲ開キタ
イ、輸入爲替ヲ少シデモ餘計ニ出スコトハ
國際貸借ノ上ニ於テ、貿易調整ノ上ニ於テ、
政府トシテ御困リデアラレルデアラウコト
ハ、吾々十分承知シテ居ルケレドモ、現在
ノ輸入爲替ノ範圍内ニ於テ少シデモ餘計ニ
「マニラ」麻ヲ入レタイト云フノガ、私共水
産ニ多大ノ關心ヲ持ツテ居ル者ノ念願デア
リマス、何トカシテ金ヲ餘計に出サズニ少
シデモ餘計ニ「マニラ」麻ヲ入レルコトガ出來マイカ、

私ハ其ノ爲ニ態々「マニラ」ニ乘込シテ行ツ
テ、アソコノ取引ガドウ云フ状態ニナツテ
居ルカラ研究シタイ、斯ウ云フ念願ヲ持ツ
テ居ルノデアリマスガ、マダ其ノ念願ヲ果
シテ居リマセ、ソコハ偶々「ダバオ」ニ在
ル同胞ノ代表者ガコトヲ「マニラ」麻ノ
ガ生産スル麻ヲ直接ニ輸入サセテ賣ヒタイ
ト云フ陳情ヲ關係各省ニ致シマシタ、其ノ方
方ノ考ト吾々ノ少シデモ餘計ニ「マニラ」麻
ヲ入レタイト云フ希望ト、ハツキリ合致致シ
マシタノデ、吾々ノ立場トシテモ之ヲ建議
スルコトニナツタノデアリマス、是ハ政友
會ノ兩派、又時局同志會、社會大衆黨カラ
各々提案サレテ居リマス、多分民政黨カラ
出ルモノト思ツテ居リマス、サウスルト殆
ド全院各會派ノ代表者カラノ建議案デアリ
マシテ、此ノ問題ニ對シテ衆議院ガ如何ニ熾
烈ナル關心ヲ持ツテ居ルカラ有力ニ物語ツ
テ居ルト思フノデス、要スルニ此ノ問題
結果ハ斯ウデアラウト思フノデス、現在「マ
ニラ」麻ノ輸入ハ、七軒ノ指定商ニ依ツテ
爲サレテ居ル、此ノ者ニ對シテ輸入ガ許可
サレテ居ルノデアリマセウ、其ノ許可ノ外
ニ此ノ生産組合ニ對シテ幾分ノ割當ヲシテ
欲シイ、輸入量ノ大部分ヲ是等ノ業者ニ依
テ直接輸出スルコトヲ「マニラ」麻ノ輸入
ノ第一ニ「マニラ」麻ノ價格ノ公正ヲ維持ス
ルコトガ出來ルノデス、是ガ内地ニ於ケル
消費者ト致シマシテ、極メテ重大ナルコ
トデアリ、又現在ノ低物價政策ヲ行フ上
ニ付テ、極メテ重要ナルコトデアル、私共是

ハ現在ノ「ダバオ」ニ於ケル其ノ價格ト、サ
ウシテ内地ニ輸入サレテ是等ノ輸入商ヨリ
賣出サレル價格トノ關係ヲ、ズツト數字
ニ統計ヲ取ツテ見マサルナラバ、ヤ
ハリ相當ニ大キイ開キガアル、デアリマス
ルカラハ是ハ儲カデモ直接輸入ノ途ヲ開キマ
スルナラバ、少クモ價格ノ公正ヲ圖ルコ
トガ出來ル、サウシテ是等ノモノガ少シデ
モ有利ニ輸入スルコトガ出來ルマサルナラ
バ、ソレダケ内地ニ是等ヲ消費致シマスル
消費者ガ助カルト云フダケデナシニ、同ジ
三百萬圓ナラ三百萬圓ノ爲替ニ依ツテ、今
マデ六十萬圓輸入出來テ居ツタモノガ、六
十三萬圓ナリ六十五萬圓ナリ輸入ガ出來ル
コトニナル、其ノ二萬圓モ二百萬圓、ソ
レガ非常ニ大キナ水産資源ノ開發ニ役ニ立
ツノデス、ソレカラ又向フノ方デハ自分等
ノ生産シタ麻ヲ、少シデモ有利ニ日本ニ輸
出スルコトガ出來ルナラバ、是ハ日本ニ輸
出スルダケデハナク、亞米利加ニ輸出スル
モノモ歐羅巴ニ輸出スルモノモ、全部ノ方
面ニ輸出スル麻ヲ有利ニ賣ルコトガ出來ル
カラ、一万八千人ト云ウテ居リマスル「ダバ
オ」ニ於ケル麻生産者ノ同胞ノ經濟ガ非常
ニ裕カニナル、ソレガ裕カニナルベナル程
内地ニ對スル送金ヲ増加スルコトガ出來
ル、隨テ内地ニ直接販賣シタ麻ノ價額ハ、
之ヲ「ダバオ」ニ持テ歸リナクとも、内地ニ
於テ之ヲ預金スルコトモ出來ル、又内地ノ
物資ヲ物々交換ノ持テ歸ヘルコトガ出來
ルノデアリマス、何レノ方面カラ私共ガ檢
討致シマシテモ、是ハヤハリ許可シテヤル
ガ宜シ、之ヲ許可ガ出來ナイト云フ理由
ニ付キマシテハ、吾々ノ從來ノ研究ニ依リ

マシテハ、私共ハドウモ承服スルコトガ出
來ナイノデアリマス、隨テ此ノ際私ハ從
來ナレノ御許可ニナラナイカ、其ノ理由
ニ付テ御同僚ヲ致シマスルト共ニ、委員諸氏
ノ御同情ニ依リマシテ、是等「ダバオ」ニ於
テ祖國ノ爲ニ活動致シテ居リマスル生産者
ノ利益モ擁護シテヤツテ賣ヒ、又内地ノ低
物價政策ノ遂行ト生産力擴充ノ遂行、特ニ
食糧生産ノ開發ニ寄與シヨウトスル吾々提
案者ノ趣旨ヲ諒トセラレマシテ、御贊成ア
ラントコトヲ希望スルモノデアリマス
○社政府委員 戦時ノ食糧資源ノ確保ヲ圖
リマスル爲ニ、水産物ノ増獲ニ努力ヲスル
必要ガアル、而シテ其ノ爲ニハ水産業資材
ト致シマシテ「マニラ」麻ヲ必要トスルト云
フ點ニ付キマシテハ、全然同様ニ考ヘルノ
デアリマス、從來輸入ノ「マニラ」麻ノ配給
點ニ當リマシテモ、特ニ其ノ點ハ考慮致シ
マシテ、漁業用資材トシテノ數量ヲ、出來
得ル限リ確保シタイト云フ方針ヲ以テ進
デ参リマシタシ、又今後ト雖モ其ノ方針ヲ
以テ進デ参リタイト考ヘルノデアリマス、
「マニラ」麻ノ輸入ニ際シマシテハ、特ニ
邦人ノ、彼ノ地ニ於ケル企業ノ發展ニ寄與
致シマスル方針ヲ以テマシテ、從來ト雖モ
事情ノ許ス限リ同ジ品質ナラバ、又其ノ他
價格等ノ點ニ於テ許スナラバ、出來得ル限
リ「ダバオ」麻ヲ輸入シヨウト云フ方針ヲ以
テ進デ参ツタノデアリマス、現在ノ所ハ
御話ノ通り、輸入業者ヲ結成セシメマシテ、
輸入ヲ統制團體ヲ作ツテ、此ノ團體ヲシテ
輸入サセテ居リマス、向フニ於キマスル買
入價值、詰リ向フデ以テ賣買ヲ致シマシテ、
競落致シマスル競落價值、ソレニ運賃保險

料其ノ他ノ諸掛リ、ソレカラ一定ノ口錢ヲ加ヘテモノヲ以テ、内地ノ販賣價格トシテ販賣セテ居ルノデゴザイマシテ、尙ホ其ノ價格ノ點等ニ付キマシテハ、今後共十分政府ト致シマシテモ監督ヲ致ス積リデアリマス、此ノ建議ノ御趣旨デアリマス輸入ヲ彼ノ地ニ於ケル生産者組合ニ認メルト云フ問題ニ付キマシテハ、現地ニ於キマスル麻ノ生産量ニ取引ノ具體的事情等ニモ關係スル問題デゴザイマシテ、是等ノ點ヲ十分ニ検討スルコトモ必要カト存ジマス、現ニ拓務省並ニ外務省ニ於キマシテモ色々御調査ヲナスツテ居ラルルヤウデアリマス、聞ク所ニ依リマス拓務省カラハ、權威アル人ヲ現地ニ派遣シテ實地ニ就テ隨分綿密ニ調査ヲサレルサウデアリマスカラ、サウ云フ調査ノ結果ヲ俟チマシテ、外務省並ニ拓務省兩省ト協議ヲ致シマシテ、本件ニ付キマシテモ慎重ニ措置致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○西川貞一君 當局ノ御意見ニ依リマスレバ、更ニ現地ノ狀況ヲ御觀察ナスツテ調査ニナルヤウデアリマス、御調査ノ上價重ニ考慮ヲサレルト云フ方針ノヤウニ承ルノデアリマス、此ノ問題ハ日本ノ水産業ノ爲ニ非常ニ大キナ影響ヲ持ツデアリマスカラ、可ナリ眞剣ニ私共ハ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、私共ノ調査ノ結果ハ、是ハドウシテモ一日モ速ニ許可サルベキモノデアルト云フ結論ニ達シマシテ、單ニ是ハ私ガ左様ナ結論ニ達シマシテ、ミデナク、各派ノ水産問題ニ對シテ關係ヲ持ツ者ガ皆左様ナ結論ニ達シ、ソレハ黨内デ以テ各機關ニ諮リ、各機關ヲ經テソレハ正規ノ手續ヲ履ンデ此ノ建議案ヲ提出トナ

シタ結果、此ノ建議案ノ數案ガ同時ニ此ノ會議ニ上提スルト云フ結論ニ至ツタノデアリマスカラ、其ノ點ハ十分ニ御認識ノ上テ速ニ此ノ建議案ノ趣旨ヲ御採用アラントコトヲ希望スル者デアリマス

○釘本委員 本建議案ハ時局下殊ニ重要ナ趣旨ヲ持ツテ居ルト考ヘマスノデ、直チニ可決アラントコトヲ望ミマス

○小串主査 本案ノ可決ニ御異議アリマセスカ

○小串主査 異議ナシト認メマシテ可決確定致シマシタ

ドウゾ斯ウ云フヤウナ形ニシテ載キタイ、殊ニ本年ハ皇紀二千六百年ヲ迎ヘテ居リマス、萬國博覽會ハ延期ニナツテ居リマスガ、之ヲ直チニ實行サレンコトヲ望ム者デアリマス

○大貝政府委員 只今御述ニナリマシタ發明獎勵ハ特ニ必要デアリ、發明ガ公共ニ重要ナル部分ヲ持ツテ居リマスコトハ、生産力擴充、或ハ物動ノ方ニ重大ナル關係ガアルカラ、極力發明ノ獎勵ヲ致サナケレバ、ラスト云フ御趣旨ハ洵ニ御尤ニ存ジマス、政府ニ於キマシテモ是マデ發明獎勵ニ付キマシテハ、鋭意努力シテ参リマシタノデアリマシテ、有要ナル發明ニ對シマシテハ、發明獎勵委員會ニ於キマシテ之ヲ審査致シマシテ、或ハ優良ナル發明ヲ一堂ニ展示致シマシテ、事業家ト結付ケルト云フヤウナコトモ致シテ居リマス、又時局下ニ鑑ミマシテ、特ニ代用品ノ發明研究ト云フヤウナ方面ニモ、其ノ助成ヲ致シテ居リマス、其ノ他御承知ノ如ク發明家ノ團體デアリマス發明協會ニ助成金ヲ與ヘマシテ、或ハ研究所ノ施設デアルトカ、或ハ發明ニ關スル見本ヲ製作サセマシテ、ソレヲ一般ニ紹介スルトカ、或ハ事業家ト發明家トノ關係ヲ宜クスル爲ニ出資、援助ノ仕事ヲヤリマストカ、各般ノ施設ヲ致シテ居リマス、又來年度豫算ニ於キマシテハ、特ニ發明獎勵ノ爲ニ特許局ニ一部局ヲ新ニ設ケマシテ、徹底シタ施設ヲ致シタイト云フ風ヲ考ヘ進ンデ居ルノデアリマス、唯何分ニモ理想ハ高遠デアリマスルケレドモ、實行ハ經費等ノ關係デ甚ダ思フニ任セナイ點ガアルノデアリマス、今御話ノ如ク發明ノ重要性ニ鑑ミマシテ、一層是

等ノ施設ヲ擴充シテ行キタイト考ルノデアリマス、其ノ際ニ於キマシテ今御述ベナリマシタ如ク、應賞募集其ノ他ノ方面ニ付キマシテモ、十分ニ考究致シマシテ、ソレゾ適切ナル施設ヲ實行シテ行キタイト、

○星一君 今ノ御答辯ハ政府ハ發明ニハ意慢デハナイ、相當ノコトヲシテ居ルト云フ御説明ニ過ギナイノデアリマシテ、私ノハサウデアリマス、兎ニ角國民全體カラ募集シロト云フデアリマス、政府ノ今マデヤツテ居ツタコトハ知ツテ居リマスガ、極ク小部分ニ過ギナイデ、國民ガ満足スルダケノ發明獎勵ヲシテ居ルトハ思ヘマセヌ、一部分ノ所テ出來タ發明ダケヲ、或ハ事業家ニ結付ケルトカ云フヤウナ發明協會ガアルカナイガ、國民ニモ分ラナイ狀態デアリマス、サウデアリナイ、國民ニ向ツテ募集シロト云フノデス、政府ノ中テ發明獎勵ヲシヨウトカ、發明ノ研究ノ施設ヲシロト云フノデアリマス、國民ニ向ツテ斯ウ云フ風ヲ懸賞募集ヲシロ、國民ノ頭ヲ全部此ノ二十二分ノ成功ヲ來サシムルヤウニ、皆ニ徹底スルヤウニスウ云フノデアリマス、今マデ國民精神總動員ヲ言ウテ居リマスガ、何一ツ國民精神總動員ヲシイモノガ出來テ居リマセヌ、併シ此ノ一億ノ發明獎勵ヲシタラバ、頭腦的ノ國民總動員ガ致シハレルト思ヒマス、ソレガ隨テ今度此ノ發明ノ働キノ方ニモ起ツテ來マセウカラ、先ツ今日發表スレバ明日カラ國民全體ノ頭腦ノ總發揮ト云ヒマス、總動員ガ出來ルト思ヒマス、之ヲサレト云フノデアリマスカラ、政府ノ今ノ施設ヲ宜クシテ果

ニ發明ヲ獎勵シテ東亞ノ新秩序建設、東亞永遠ノ安定確保ノ實力ヲ涵養スルコトハ、最モ刻下ノ急務デアリマス、仍テ政府ハ直チニ一億圓懸賞ノ發明募集ヲ爲シ、生産擴充ニ邁進セラレンコトヲ望ムト云フノガ、本案提出ノ趣旨デアリマス、御覽後御見ノ御儀ニ於テ賜ハリタル御勸告ノ中ニ「我國ノ國是ハ日ニ進ムニ在リ日ニ新ニスルニ在リ」ト仰セナラレテ居リマス、又「夫レ浮華ヲ斥ケ質實ヲ尚ヒ模倣ヲ戒メ創造ヲ励メ日進以テ會通ノ運ニ乘シ日新以テ更張ノ期ヲ啓キ人心惟レ同シク民風惟レ和シト仰セナラレテ居リマス、又本議會ノ開院式ニ賜ツタ勸告ニ「偶歐洲ニ禍亂勃發シ世界ノ情勢複雜ヲ極ム宜ク字内ノ實情ヲ審ニシ國力ノ充實ヲ計リ以テ帝國ノ所信ヲ貫キ東亞安定ノ實ヲ舉グルニ遺憾ナキヲ期ス」ト仰スウデアリマス、ドウシテモ發明ニ俟ツベキコトガ多イノデアリマス、本議會ニ於ケル豫算委員會ノ論議モ、結局ハ直チニ一億圓懸賞發明募集ニ著手セラレンコトヲ望ムノデアリマス、ドウ云フ風ニシテ此ノ發明懸賞スルカト云ヘバ、先ツ政府ハ之ヲ公債デ與ヘテモ宜カラウト思ヒマス、此ノ發明ハ、元來斯ウ云フモノヲ發明シテ果シレバ幾ラ金ヲヤラウト云フ發明ヲ規定シテスベキモノデアリナイト思フ、サウ云フ發明ガ會テ成功シタト云フコトハ世界中ニマダナイト私ハ思ヒマス、デアリマスカラ、此ノ發明ハドンナモノデモ懸賞スルト云フノデアリマス、ソコデ發明懸賞スルト決リマシタラバ、先ツ各省ノ技術者ナリ、或ハ試驗所ナリ、研究所ナリ、大學校ナリ、ソレ

ノレノ權威者ヲ以テ各部門ニ分ケマシテ、審査員ヲ選定スルコトデアリマス、其ノ審査員ガ出來ルト同時ニ、此ノ發明懸賞ニ應ジテ來タモノヲ審査シ、是ハ賞格ヲスベキモノトシタラバ、ソレニ賞與ヲ與ヘル、ソレト同ジモノヲ作ツテ居ル民間ノ者ニ之ヲ與ヘルコトデアリマス、中ニハ發明ニハ自分ノ考ダケヲ書イテ來タ者、或ハ小サナ「シケール」デ實驗シタモノデ、マダ工業化シナイモノモ澤山アラウト思ヒマス、サウ云フモノハサウ云フ「アイデア」ヲ採ツテ、政府ノ試驗所ナリ研究所ニ於テソレヲ續ケテ行ツタラ宜カラウト思フデアリマス、極メテ簡單ニ行ケルト思ヒマス、ソレデ一億圓ハ一遍ニ出スト云フデアリマセヌ、應ジタ者ヲ一週間ノ後ニ審査シテ與ヘレバ宜イノデアリマスカラ、出來ルナラバ一億圓ノ金ヲ一年ニ與ヘテモマダ足ラヌ程ノ發明ヲ期待スルノデアリマスカレドモ、サウ來ナイカモ知レマセヌ、斯ウ云フ風ニシテ行キマスレバ、此ノ重大ナ時局ニ對シテ茲ニ愛國ノ大發明ガ出來ルト思ヒマス、見本ガ外國カラ來タヤウニ言ハレテ居リマスガ、今日ハ外國ニ負ケナイヤウナ發明ヲ爲シ得ル準備ガ吾々ニ出來テ居ルト思ヒマスカラ、茲ニ私ハ立派ナル發明ガ出來ルト思ヒマス、此ノ發明ヲスルコトニ依ツテ、第一ニ皆ガ今心配シテ居ル浪費ヲ防グコトニモナリ、サウシテ政府ガ募集スル五六十億圓ノ公債ニモ喜ンデ應ジ、百億ノ公債ニモ之ニ應ジテ、國家ガ立派ニ之ヲ支拂ツテ行ケルト云フ確信ヲ、國民ニ與ヘルコトガ出來ルト思ヒマス、是マデハ政府ハ發明デモ何デモ自分デシヨウト云フヤウニ思ツテ居ル、此ノ政府萬能主義ガ宜クナイト思ヒマスカラ、

○小串主査 別ニ政府ニ御反對モナイヤウデスカラ、是ハ採用スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

○小串主査 異議ナシト認メマシテ左様決定ヲ致シマス

○小車主査 次ハ厚生省所管第一七、健康保險法改正ニ關スル建議案、之ヲ上程致シマス、提出者ノ御説明ヲ求メマス、塚本重藏君

○塚本重藏君 健康保險法改正ニ關スル建議案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、御承知ノ如ク健康保險法ハ工場礦山等ニ使用セラレル者ノ爲ニ、其ノ病弱又ハ負傷等ニ關シ、療養ノ給付又ハ傷病手当金等ノ支給ヲ爲シ、以テ是等労働者ヲ初メ其ノ他小額所得者、日傭者ノ生活ノ安定ヲ圖リ労働力ヲ保全シ産業ノ進展ニ寄與スル趣旨ヲ以テ制定セラレ、既ニ實施以來十三年餘ヲ経過シタノデアリマス、所ガ過去ノ實績ニ鑑ミマシテ尙ホ幾多ノ不備ト缺陷ヲ痛感致シマス、殊ニ戰時下銃後産業ノ充實強化ト國民體位ノ向上、労働力ノ維持培養ノ緊切ナルヲ思ヒマシマス時、健康保險法改正ノ必要ヲ一層深ク強ク痛感致シマス、茲ニ本建議ニ及ンダ次第デアリマス、第一ハ現行ノ任意保險ヲ強制保險ニ改メテ貫ヒタイト云フノデアリマスガ、私共ハ今日マデ絶エズ此ノ保險範圍ノ擴大ヲ要望シテ來タノデアリマス、幸ニシマシテ七十四議會ニ於キマシテハ、私共ノ多年ノ要望デアリマシタ所ノ被保險者ノ家族ニモ、療養給付ヲ爲シ得ル途ガ開カレタノデアリマスガ、更ニ一歩進メマシテ是亦私共ノ多年ノ希望デアリマス所ノ、今日ノ現行法ニ於テ任意保險トナツテ居リマシマス、一歩進メテ強制保險ニ改メテ貫ヒタイト思フノデアリマス、即チ常時五人未滿ノ労働者ヲ使ツテ居リマシモノ、物ノ製造加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ如キ事業或ハ礦物ノ採掘、又ハ採取ノ事業、電氣ノ傳導又ハ動力發生若ハ傳導ノ事業、

地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受ケル所ノ事業デアリマス、更ニ又土木工事、又ハ工作物ノ建設、保存、修理若クハ破壊ノ工事ニ從事シテ主務大臣ノ指定スル所ノモノ、是モ任意保險ニナツテ居ルノデアリマスガ、強制保險ニシテ貫ヒタイト、更ニ又貨物積下シノ事業、其ノ他勸令ニ定メラレテ居ル所ノ指定事業、斯ウ云フモノモ任意保險デアリマス、ソレカラ第二點ハ平水及ビ沿海航路船乘組員其ノ他ニ適用範圍ヲ擴張スルコト、此ノ平水及ビ沿海航路船乘組員ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於キマシテ、或ハ船員保險法ニ關シマスル委員會ニ於キマシテ、同僚米議員、或ハ岡崎議員カラ色々ト御質問ガアリ、討論ガ交ハサシテ居ルヤウデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ政府デハ、豫テカラヤハリ是ハ工場礦山ノ労働者ニ適用シテ居ル現行ノ健康保險法ニ包含スルコトガ、一番便宜ト安當ナ途デアラウト云フ考ヲ以テ、色々調査研究ガ進メラレツツアルヤウデアリマス、併シ突進シテ同僚ヒマス、色々實施上ニ困難ガアルカラト云フコトデ、日ニチテ選

延致シテ居ルヤウデアリマスガ、困難アルカラト云フコト決斷力ガ缺ケテ居リマシテハ、何時マデ經ツテモ是ハ解決シナイ問題デアリマス、健康保險法ガ出來マシテカラ此ノ方面カラ絶エズ此ノ要求ガ出テ居ル、更ニ船員保險法ガ制定セラレマシタ後ニ於キマシテハ、一層此ノ要求ハ強クナツテ現ハレテ來タノデアリマス、同僚議員デアリナガラ船員保險ニハ入レテ貫フコトガ出來ナイト云フコトカラ

致シマシテ、非常チ希望トナツテ現ハレテ居ルノデアリマス、併シ實際問題トシテハ海員保險ノ方ニ入レルコトガ、色々困難ナ事情モアラウト思ヒマス、ヤハリ是ハ政府ノ見込通り、健康保險法ノ中ニ包括セラレルヤウニスルコトガ一番容易イ途デアリナカラウト思ヒマス、一ツ少トモ此ノ問題ハ來ルベキ議會ニ政府カラ改正案ヲ提案シテ載キタイト、切望シテ止マナイ者デアリマス、第三點ハ、傷病ニ對スル保險給付ノ問題デアリマスガ、今日ノ半年ノ期間ヲ、モウ半年延シテ一箇年ニシテ貫ヒタイ、ソレカラ結核性疾患ニ對シマシテハ、是亦七十四議會ニ改正ニナリマシテ、其ノ給付期間ガ一年間ニ延長セラレタノデアリマス、ソレヲ以テ致シマシテハ相當長期ニ互ツテ療養シナケレバナラス所ノ結核性疾患ニ對スル對策トシテ不十分デアリマス、少トモ完全治療ト云フコトヲ目指シマス、少トモ此ノ結核性疾患ニ對シマシテハ、少トモ三年間位ハ保險ヲ以テ面倒ヲ見テラナケレバナナイト考ヘルノデアリマス、是ハ多ク説明ヲ要サス所デアリト思フノデアリマス、ソレカラ第四點ハ、官公私設ノ各醫療機關ヲ廣ク利用セシメ、醫師選擇ノ自由ヲ得セシメテ貫ヒタイト、斯ウ云フノデアリマス、是ハ今日ノ被保險者ノ立場カラ申シマス、切實チ要求デアリマシテ、中々一週掛ツタ醫者ノ他ノ醫者ニ代ヘルト云フコトハ、實際問題トシテハ困難ナ事情ニ置カレテ居リマシテ、病氣ニナツテ醫者ニ掛リマス場合ハ、本人ノ意見ト云フヨリハ家口家族ノ者ノ意思ニ依ツテ、健康保險給付ノレバ誰デモ宜イト云フヤウナコトデ、鬼ノ角近クノ醫者ニ賦付ケテ來テ貫フ

ト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ後ニ於キマシテ療養ノ經過カラ見テ、適當ナ醫者ヲハナカツタ、自分ノ此ノ病氣ナラ、モツトアノ醫者ノ方ガヨリ適當デアラト云フ風ニ考ヘマシテモ、一旦此ノ被保險者證レナイノデアリマシテ、最初選ンダ醫者ヲ代ヘルコトガ出來ナイ事情ニ置カレテ居ルコトガ、ソレカラモウ一ツハ政府ハ日本醫師會ト此ノ保險契約ヲナサレテ居ルノデアリマスガ、今日日本醫師會ニ加盟シテ居ル所ノ醫者デ健康保險醫タルコトヲ好マナイデ、健康保險醫ニナツテ居ラナイ醫者ガ非常ニ多イ、ソコデ、アノ醫者ハ良イノダガ、アノ醫者ニ掛リタイガト考ヘテモ、其ノ醫者ハ健康保險醫デハナイト云フヤウナ者ガ非常ニ多イ、少トモ其ノ地方ニ於テ相當世間カラ信用ヲ受ケテ居ツテ、相當其ノ技術ガ認めラレテ居ツテ、多クノ者ガ行キタイト云フヤウナ醫者ニシテ、得シテサウ云フ風ニ健康保險醫デナイ者ガ多イノデアリマス、ソコデ健康保險ニ入ツテ居リマシテ、實ハ其ノ地方ニ於ケル所ノ大體信用ノアルト云フ醫者ニハ看テ貫フコトガ出來ナイト云フヤウナ事情ニ置カレテ居リマス、斯ク申シマス私共モ、被保險者デアリマシタ場合ニ於キマシテ、ヤハリ健康保險醫デナイ所ノ醫者ニ多ク掛ツテ居ルノデアリマス、私共三年程積イテ醫者ニ一週モ掛ラナカツタト云フコトデ、表彰シテ貫ツテ居リマシケレドモ、焉ノ知ラン、私ハ毎年ヤハリ醫者ニ掛ツテ居リマシテ、ソレハ健康保險醫デハ十分自分ガ信用シテ掛ルコトガ出來ナイノデ、健康保險醫デナイ所ノ醫者ニ掛

ト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ後ニ於キマシテ療養ノ經過カラ見テ、適當ナ醫者ヲハナカツタ、自分ノ此ノ病氣ナラ、モツトアノ醫者ノ方ガヨリ適當デアラト云フ風ニ考ヘマシテモ、一旦此ノ被保險者證レナイノデアリマシテ、最初選ンダ醫者ヲ代ヘルコトガ出來ナイ事情ニ置カレテ居ルコトガ、ソレカラモウ一ツハ政府ハ日本醫師會ト此ノ保險契約ヲナサレテ居ルノデアリマスガ、今日日本醫師會ニ加盟シテ居ル所ノ醫者デ健康保險醫タルコトヲ好マナイデ、健康保險醫ニナツテ居ラナイ醫者ガ非常ニ多イ、ソコデ、アノ醫者ハ良イノダガ、アノ醫者ニ掛リタイガト考ヘテモ、其ノ醫者ハ健康保險醫デハナイト云フヤウナ者ガ非常ニ多イ、少トモ其ノ地方ニ於テ相當世間カラ信用ヲ受ケテ居ツテ、相當其ノ技術ガ認めラレテ居ツテ、多クノ者ガ行キタイト云フヤウナ醫者ニシテ、得シテサウ云フ風ニ健康保險醫デナイ者ガ多イノデアリマス、ソコデ健康保險ニ入ツテ居リマシテ、實ハ其ノ地方ニ於ケル所ノ大體信用ノアルト云フ醫者ニハ看テ貫フコトガ出來ナイト云フヤウナ事情ニ置カレテ居リマス、斯ク申シマス私共モ、被保險者デアリマシタ場合ニ於キマシテ、ヤハリ健康保險醫デナイ所ノ醫者ニ多ク掛ツテ居ルノデアリマス、私共三年程積イテ醫者ニ一週モ掛ラナカツタト云フコトデ、表彰シテ貫ツテ居リマシケレドモ、焉ノ知ラン、私ハ毎年ヤハリ醫者ニ掛ツテ居リマシテ、ソレハ健康保險醫デハ十分自分ガ信用シテ掛ルコトガ出來ナイノデ、健康保險醫デナイ所ノ醫者ニ掛

ツテ居ル、サウシテ健康保險組合カラハ表彰シテ貫ツテ居ルト云フヤウナ皮肉ナコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ、今日ノ醫者ヲ出來ルダケ多數、ヤハリ何等カノ方法ニ於テ保險醫ニスルト云フヤウニシテ貫ハナケレバナラス、ソレカラモウ一ツハ、今日ヒマシタヤウナ事情デアリマシテモ、後日其ノ患者ガ自分ノ信頼スル醫者ニ代ヘタイ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、容易ク醫者ヲ代ヘ得ルヤウニシテ貫ヒタイトノデアリマス、ソレカラ保險醫ヲ多クスルト云フダケデハナク、モウ一ツハ現在施設セラレテ居リマスル所ノ官公立ニ私立ノ各醫療機關ヲ利用出來ルヤウニシテ貫ヒタイト、今日ハ大學アルトカ、或ハ大學ノ附屬病院等ヲ利用スルコトガ許サレテ居ルノデアリマスガ、是ハ昭和十二年末デハ全國デ五十五箇處アルト聞イテ居ルノデアリマス、其ノ他ニモツト施設ノ足ラヌ醫療機關デアツテモ、立派ナ診療機關トシテノ内容ヲ充實シテ居ル所ノモノヲ、私共ハ相當多ク見テ居ルノデアリマス、サウ云フモノモ廣ク此ノ健康保險ニ包括セラレテ、サウシテ被保險者ガ之ヲ利用スルヤウナ風ニシテ貫ヒタイト、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、甚ダ手前勝手ノヤウデアリマシケレドモ、西尾代議士、井上代議士、或ハ田代代議士等モツレソレ此ノ診療機關ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私共ガ健康保險醫トシテ被保險者ヲ診療シタイ、斯様ニ熱望シテ居ルノデアリマスガ、地方ノ醫師會ノ反對等ガアリマシテ、容易ニ是ガ實現シナイノデアリマス、是等ノモノニ付キマシテモ、何等カ一ツ方法ヲ考ヘテ貫ヒタイトノデアリマス、

勿論此ノ點ニ付キマシテハ、既ニ政府ノ方デモ出來ルダケサウ云フ風ニシヨウト云フ御意思ノヤウデアリマスガ、積極的ニ是ハ一ツサウ云フ風ニ取ツテ貫ヒタイトノデアリマス、ソレカラ次ハ主トシテ保險料ノ負擔ノ問題デアリマスガ、先ツ第一ニハ事業主ノ負擔ヲ、モウ少シ増額スルコトガ必要デアル、斯様ニ考ヘラレノデアリマス、言フマデモナク、健康保險法ガ出來マシテカラ後ト云フモノハ、事業主ノ負擔ト云フモノハ實ハ非常ニ輕クナツテ居ル、總體的ニハ輕クナツテ居リマセケレドモ、私ノ輕クナツテ居ルト云フモノハ、此ノ健康保險法ガ出來マシマデハ、工場法ノ規定ニ依ツテ事業主ノ獨自ノ負擔ニナツテ居ツタ所ノ、色々ノ労働者ニ對スル給付ト云フモノガ、健康保險ノ方カラ給付スルコトニナリマシタ、隨ヒマシテ工場法ノ規定ニ依ル所ノ給付デアリマシタナラバ、是ハ事業主デケガ支出スルノデアリマシケレドモ、健康保險ニ依ツテ支出スルト云フコトニナリマシタ、是ハ其ノ半額ガ事業主ノ負擔、半額ガ労働者ノ負擔ト云フコトニナリマス、ソレニ一部政府ノ補助金ガ付イテ居ルト云フコトデアリマシタ、嚴密ニ言ヒマスレバ、事業主ノ負擔ト云フモノハ此ノ方デ半額ハ助カツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、事業主ト被保險者ト半々ニ負擔シテ居ルト云フノガ大部分デアリマスガ、ソレデハ甚ダ當ラ得ナイノデハナカラウカ、イツノ此ノ際被保險者ノ負擔ヨリモ、事業主ノ負擔ノ方ヲ相當額増額セシムルト云フコトガ、色々ノ意味ニ於テ妥當デアルト考ヘテ、私共ハ長ク之ヲ要求シテ居ル次

第デアリマス、ソレカラ其ノ次ニハ、ヤハリ是ハ健康保險經營ニ關シマスル、財政ノ問題ニ關聯スルノデアリマスガ、事業主ノ負擔ヲ多クスルト云フヨリモ、更ニ進ンデ國庫ノ負擔ヲ増額セラレル必要ガアルト思フノデアリマス、試ミニ茲ニ昭和十五年度ノ健康保險ニ關スル政府提出ニ係ル所ノ豫算ヲ檢討シテ見マシテモ、保險ノ收入ガ五千三百六十二萬九千九百五十九圓トナツテ居リマスガ、此ノ内此ノ被保險者ニ對スル所ノ保險給付ノ豫算ヲ見マシレバ、四千八百三十四萬六千六百一十一圓デアリマス、保險收入金トノ差ハ五百五十九萬五千二百九十八圓デアリマス、政府ノ方デハ健康保險ニ對シマシテ一般會計カラ百八十二萬四千六百七十圓補助支出ヲ致シテ居リマス、更ニ一般會計ニ繰戻スモノガ四十五萬圓アル、是ハ勿論別ナ事業ヲ營ムノデアリマス、サウシテ支出ノ中ヲ檢討シテ見マシテ、俸給費トシテ百七十七萬八千餘圓、事務費ガ二百四十八萬九千餘圓、保健施設費ガ百八十八萬六千餘圓、恩給負擔金ガ三萬五千餘圓、諸支出ガ八萬四千餘圓トナツテ居リマスガ、事務費入中デモ職員俸人、其ノ他給與旅費、サウ云フ人件費ガ百七十七萬餘圓含マレテ居リマス、又保險施設ノ中ノ項中ヲ檢討シテ見マシテ、此ノ中ニモ俸給、雜給、旅費、サウ云フモノガ五十四萬六千餘圓含マレテ居ルハ百八十二萬餘圓出シテ居リマシケレドモ、俸給——此ノ人件費ニ於キマシテハ非常ニ多額ニ上ツテ居ルノデアリマス、政府ハ是等ノ俸給デアルトカ、事務費デアルトカ、斯様ナ人件費其ノ他、斯ウ云フモ

ノハ全國國庫ガ負擔セラレテ宜イデハナイカ、斯ウ考ヘルノガ當然デハナカラウカ、更ニ進ンデ今日ノヤウナ労働力ノ不足ノ時、所謂勞働力培養ヲ圖策トシテヤラナケレバナラスト云フヤウナ場合デアリマシタ、寧ロ進ンデ管ニ事務費ノ一部ヲ負擔スルト云フバカリデナシニ、醫療費ノ方ニマデ國庫負擔金ガ割ツテ來ルト云フヤウナ所マデ國庫ノ負擔金ヲ増サレルト考ヘ、時局下必要ナコトデハナカラウカト考ヘ、問題ヲ申上ガマシレバ明瞭ニナツテ來ルト思ヒマスガ、最後ノ問題ハ「日本醫師會ト診療契約及醫療報酬額ノ府縣分配ニ合理的改正ヲ加フルコト」ト云フノデアリマスガ、今日日本醫師會ト政府トノ間ニ醫療契約ヲナサレルト云フコトノ爲ニ色々良イ點モアリマスガ、又惡イ點モアルト云フコトハ、是ハ政府モ既ニ認メラレテ居ル所デアルト思フノデアリマス、之ニ如何ニ改善ヲ加ヘルカト云フコトハ、蓋シ研究ヲ要スル問題デアルト思フノデアリマスガ、今日ノヤウナ日本醫師會トノ間ノ人頭式ノ契約ト云フモノハ、抑宜クナイ、是ハドウシテモ定額式ニ改メル必要ガアル、醫者ガ藥ヲ盛リナガラ、此ノ藥代ニ幾ラ貫ヘルカ分ラナイト云フヤウナ不安定ノ醫療形式デハ宜クナイノデアリマス、一服ノ藥ヲ盛レバ、或ハ一罐ノ水藥ヲ作レバ、是ガ代金ハ幾ラ貫ヘルト云フ、醫者ニサウ云フ決ツタ醫療報酬ヲ得ラレルヤウニスルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、サウナツテ來マシタ、日本醫師會ト政府トノ間ノ醫療契約ト云フモノモ、根本カラ一ツヤリ直ス必要ガアルノデハナイカト考ヘラレノデアリマス、

キタイト思ヒマス、第二ノ平水及ビ沿海航路船乗組員ノ問題ハ説明致シマシタガ、其ノ他ノ適用ノ範圍ヲ擴張スルト云フ點デ、言葉ガ少シ足ラナカッタノデスガ、小型船員ト同様ニアル所ノ港灣從業員デアルトカ、或ハ又映畫劇場等ニ於ケル從業員、或ハ百貨店料理飲食店等ニ於ケル從業員等ニ對シマシテモ、ヤハリ健康保險ガ必要デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ是非一ツ御調査ヲ進メラレテ、來ルベキ議會ニ政府カラ改正案ヲ提案セラレルヤウニ切望シテ置ク次第デアリマス、ソレカラ此ノ機會ニモウ一ツ伺ツテ置キタイノハ、健康保險法ガ今御説明ノヤウニ七十四議會ノ改正ヲ以テマシテ、被保險者ノ世帯員ニマデ療養ノ給付ガ及ブコトニナツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ既ニ政府ノ方デハ準備ガ出來上ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、政府所管テナイ所ノ保險組合ノ方ノ問題デアリマスガ、政府所管ニ於テハサウ云フヤウニ被保險者ノ家族ニマデ療養ノ給付ガ及ブコトニナツタノデアリマスカラ、獨立シテ居リマス組合保險ニ於キマシテモ、ヤハリ同様ニサウ云フ取扱ヲシナケレバ勿論不公平ニナルノデアリマス、是ハ皆相當努力シテ居ルデアリマセウケレドモ、今日ノ組合保險ノ經濟ノ實力ニ於キマシテ、其ノ家族ニマデ今度改正ニナリマシタ法律通りニ實施スルコトガ困難ナ事情ニ置カレテ居ル保險組合ガアリハシナイカ、私共之ヲ心配致シテ居ルノデアリマス、又ソレ等ノ事業主ニ於テモ非常ナ心配ヲセラレテ、色々ト對策ヲ立テラレテ居ルト思フノデアリマスガ、ドウモサウ云フ組合ガ相當アルノデハナカラウカ、

積立金トシテ殘シテ居ル金モサウ十分デナク、ソレダケヲ以テシテハ、其ノ範圍ノ家族ニマデ及ボスト云フ給付ガ出來ナイ、療養ガ出來ナイ、是ハヤリタイノデアルガ、組合ノ財政ガソレヲ許サナイト云フヤウナ事情ニアルモノガナイトハ言ヘナイノデアリマスガ、ソレ等ノ事情ハドウナツテ居ルカ、其ノ場合ニ於キマシテモヤハリ事業主ノ負擔ヲ多クスルトカ、或ハ國庫ノ負擔ヲ重クシテ補助金ヲ増シテヤルトカ云フヤウナ適當ナ處置ガ執ラレナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、實際問題トシテ其ノ點ハドウナツテ居ルカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○松政府委員 御質問ハ二ツニ分レテ居ルヤウデアリマスガ、第一ノ點ニ對シテ御答申シタイト思ヒマス、其ノ他ノ適用ノ範圍ヲ擴張スルト云フ點ニ對シテ、平水及ビ沿海航路船乗組員以外ノ其ノ他ノ労働者、活動トカ料理屋トカ、色々ナ方面ニ努力ヲ提供シテ居ル者ニマデ擴張シナケレバナラヌノデアリマス、尙モ、陛下ノ赤子ニ、是ハ御尤モデアリマス、陛下ノ赤子デアリ、サウシテ其ノ努力資源ト云フモノヲ國家ニ奉仕シテ居ル人ニ對シマシテハ、同ジヤウニ健康保險ヲ以テソレ等ノ人ノ生活ヲ安定サセ、安ンジテ其ノ業務ニ從事スルコトガ出來ルヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、御趣旨ノ通りニ、是等ノ人ニ限リマセズ、其ノ他ノ範圍ニマデ範圍ヲ擴張シナケレバナラヌト思フテ居リマスガ、サウ云フ點ガ只今政府ニ於テ調査研究ヲ進メテ居ル範圍デアリマス、左様御答申ヲ願ヒタイノデアリマス、保險組合ニ

關スル所ノ現狀ノ點ニ對シマシテハ他ノ政府委員カラ御答致シマス

○清水政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、健康保險法ノ改正法ノ實施ニ付キマシテ、健康保險組合ノ方ニ付キマシテハ是ハ大體改正法ノ趣旨ガ任意給付ト云フ考デアリマシテ、必ズシモ健康保險組合デモヤレト云フ趣旨ニ出來テ居リマセヌノデ、吾々トシテハ之ヲ強制シテ政府同様ニ健康保險組合全部ニヤラセルト云フ積リハ今ノ所持ツテ居リマセヌ、大體組合ノ財政ノ都合デアリマセヌ、大體御承知ノヤウニ、此ノ頃股販產業ノ部分モ大變多イノデゴザイマシテ、景氣モ好イト云フヤウナ譯デアリマス、積立金モ多クデアリマス、保險料ノ收入モ多イト云フヤウナ狀態デアリマス、自然相當多數ノモノガ改正法デアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ尙ホ多少ハ保險料ヲ上ゲテモヤハリ斯ウ云フ善イコトダカラ實施シタイト考ヘテ居ル所モアルヤウデアリマスカ、恐ラク全部一齊ニト云フ所マデハ行カヌノデアリカト思フテ居リマス、此ノ部分ニ付テハ將來ノ問題トシマシテ吾々トシマシテハ組合財政等ノ指導監督等、十分氣ヲ付ケマシテ成ベクサウ云フ組合ニモ此ノ給付ヲヤウツテ賞ヒタイト云フ位ノ程度ニ只今ハ考ヘテ居リマス

○塚本委員 繰返シテ甚ダ相濟マヌヤウデアリマスガ、保險組合ノ第八強制デナク任意ニシテ置クト云フ今ノ御話デアリマシタガ、實際問題トシテハ同ジ程度ノ保險料ヲ拂ヒ、寧ろ保險組合ヲ組織シテ居ル方ノ被保險者ノ負擔額ガ多イカモ分リマセヌノデアリマスガ、同ジヤウニサウ云フ風ニ保險料ヲ負擔シテ置キナガラ、政府所管デアルモノハ漏レナク其ノ家族ニマデ醫療ノ手ガ及ンデ居ルシ、組合組織デアラレテ居リマスモノニ付テハ任意ニ委サレテ、一部ノ者ニハ其ノ手ガ伸ビナイト云フヤウナ狀態ニ放置サレルト云フコトハ、是ハ許サレナイコトデアリマス、又實際問題トシテハソレハ保險組合ハ潰レザルヲ得ナイコトニナルト思フノデアリマス、保險組合ヲ維持スル上カラ行キマス、ドウシテモ此ノ問題ハ財政的ニ何等カ打開策ヲ講ジナケレバナラヌ問題ト考ヘマス、現ニ私共ノ居ル會社ニ於キマシテモ、ドウシテモヤウツテ行ケナイノデ、組合ニ携ハツテ居ル所ノ事務員其ノ他ノ人件費ヲ負擔ニスルト云フヤウナコトヲヤウツテ居ルノデアリマス、サウデモシナケレバヤウツテ行ケナイト云フヤウナ事態ニマデナツテ居ルソレデモヤウツテ行ケル所ハ結構デアリマスケレドモ、ドウシテモヤウツテ行ケナイカラギリノ一杯デ此ノ事業マデ及ボスト云フコトハ、實際問題トシテハ出來ナイト云フヤウナ事情ニアル所モ必ズシモナイトハ言ヘナイト思フノデアリマスカ、併シソレハ任意ダカラヤラウト思ヘバヤリ、ヤラウト思ハナケレバヤラナイデモ宜イ、無理ヲシナクテモ宜イト云フヤウナ政府ノ態度ハ宜クナイ、ヤハリ同ジ被保險者デアリマスルカラ、同ジク其ノ醫療ノ給付ガ出來マヌルヤウニ取計ラツテ裁カネバナラヌ、此ノ點ニ付キマシテハ唯任意ニ委シテ置クト云フヤウナ冷淡デハナク、是非ハ一齊ニ萬難ヲ排シテ家族マデ醫療ノ

給付ヲ及ボスト云フヤウニ厚生省ノ方デ努力シテ貰フコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス

○小串主査 別段御異議ガアリマセウケレバ、本案ハ決定シヨウト思ヒマスガ、如何デスカ

(二)異議ナシト呼フ者アリ

○小串主査 御異議ガアリマセウケラ、是ハ可決確定致シマス、本日は是ニテ散會ヲ致シマス

午後四時二十分散會

頁	四
段	二
行	松本治三郎君 松本治一郎君
誤	正
案	衆議院建議委員第二分科會議
錄	第一回中正誤